

史料館所蔵史料目録 第66集

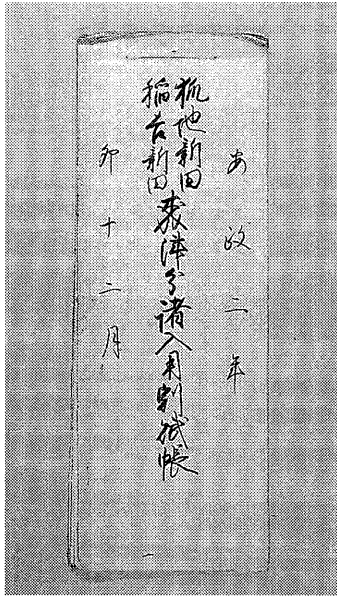
尾張国海西郡森津新田武田家文書目録

平成10年 3月

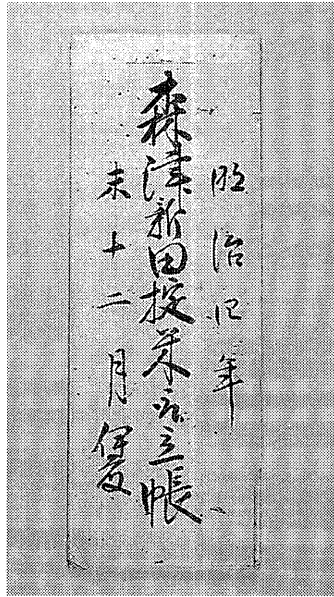
史 料 館

史料館所蔵史料目録 第66集

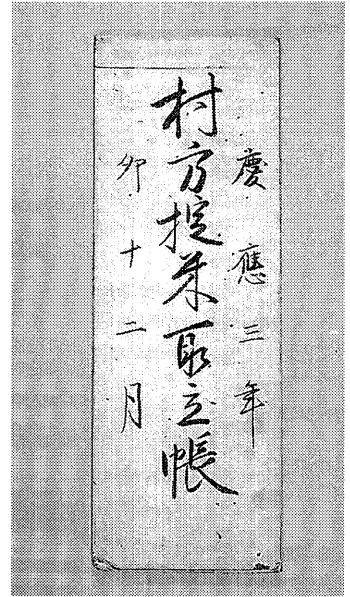
尾張国海西郡森津新田武田家文書目録



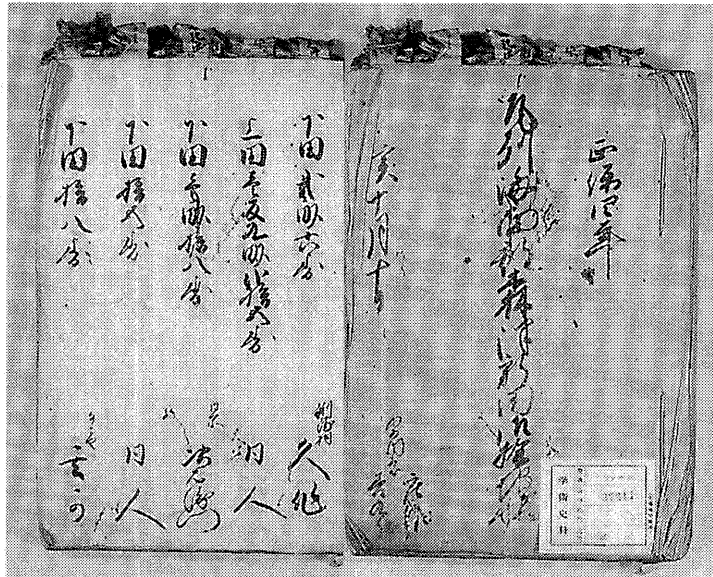
(整理番号0341)



(整理番号0205)



(整理番号0113)



(整理番号0567)

凡 例

- 本目録は、『史料館所蔵史料目録』第66集として「尾張国海西郡森津新田武田家文書目録」(24C)を取めた。
- 文書群を発生させた組織・集団のあり方に留意し、史料群の持つ内的構造を復元することに努め、その結果をふまえて大・中・小・小々の項目を立てて分類配列した。目録上では各項目の境目に横線を引き区切りを明確にした。また、必要に応じてさらに下位の項目を設けたが、ここでは横線を引かず、○印を附して区切を明確にした。さらに、各頁の肩に「森津新田／庄屋／年貢／年貢目録」などと示し、各文書の階層中における位置を把握できるように配慮した。
- 項目中の文書の配列は、原則として年代順とし、年欠文書は末尾に配列した。ただし、一括史料で、分割して掲載することが不適当な場合は、史料の配列順に従ったものもある。
- 本文記載はほぼ、(1)表題、(2)作成者または差出人、(3)宛名、(4)作成年月日、(5)形態・数量、(6)整理番号の順である。ただし、奥書きなどのある複合文書で右の(2)～(4)を単一に表現できないものについては、／(斜線)のあとに複合部分の差出・受取・内容を付記した。また、紙質、史料の保存状態などを適宜注記した。
- 表題は原表題のあるものはそれを採り、ないものについては()を附して内容・形態に応じて仮表題を付与した。また、表題のみでは内容が判別できないものについても、簡単な内容摘記をおこない、同様に()を付した。
- 作成年月日は和年号で示し、干支だけの場合はそれを採録した。推定年次については、()を付した。
- 史料の形態は、冊子型史料では、半(半紙縦折判)、美(美濃縦折判)、横長半(半紙横折判)、横長美(美濃横折判)、横半半折(半紙横折紙半折判)、横半列(半紙横折紙列帖装)などの略称によって原書の大概を示した。こうした表記の詳細については、『史料館所蔵史料目録』第50集の解題を参照されたい。書付型史料は、縦紙、折紙、縦切紙、横切紙、小切紙、小紙、縦継紙、横切継紙、巻紙などと表記した。また、絵図類は、縦横の寸法をセンチメートル単位で示した。さらに綴られた史料の場合は、「3冊一綴」などと、その構成を示した。これは枝番を附した該当史料が3冊一綴のうち1冊であることを示す。なお、枝番が続く場合は最初の史料にのみ示し、あとは省略した。
- 史料の利用にあたっては、解題を参照されたい。
- 本目録は、大友一雄がこれを担当したが、データ処理では当館リサーチ・アシスタント五島敏芳氏の、整理作業では丸山美季氏の協力を得た。記して謝意を表したい。

総目次

口 絵

凡 例

総目次

尾張国海西郡森津新田武田家文書目録

本文目次	1
解 題	4
1 武田家文書の伝来と整理の方針	4
2 武田家の機能と文書群の概要	6
3 文書群の構成	7
(1) 森津新田	8
(2) 狐地・稲吉新田	15
(3) 森津・狐地新田	19
(4) 三稻外操出新田	19
(5) 輪中惣代	20
(6) 御用	20
(7) 家	21
目録本文	29

尾張国海西郡森津新田武田家文書目録 本文目次

森津新田	29
庄屋	29
領主 (触書、触留、願書・願書留、届、御初穂米上納、領主御用、救恤)	
土地 (検地、反別書上)	
開発 (走新田)	
年貢 (年貢取立勘定、年貢目録、陣屋年貢請取通、年貢諸入用割賦、年貢諸入用差引、年貢諸入用割付 取集、役銀諸入用取集、麦代目録、諸役銀など受取、年貢舟積差引)	
諸役 (役銀・夫役)	
下用 (下用勘定)	
村政 (議定・出入、田畑譲渡役印、下作譲渡役印、金銭貸借役印)	
戸口 (宗門改、人数書上、人別送り)	
交通 (助郷)	
普請 (三郷、普請・治水)	
戸長	62
布達	
土地 (高反別改、重田願、譲渡・地価・地券)	
地租改正	
貢租・租税	
村費 (村費取集、品代など受取)	
合併 (与蔵山新田)	
普請	
地主惣代	78
普請	
支配人	79
土地 (地割、掟地反別、耕地絵図)	
作人	
掟米 (掟米高、掟積帳、検見、村方掟米取立・仕出、掟米取立 (伊藤)、惣扣地掟米取立 (伊藤)、掟米 取立、年貢掟高差引勘定、掟米差引勘定など)	
諸懸り	
地主作徳 (米金受取、配賦)	
不明	
狐地・稻吉新田	99
庄屋	99
領主 (留書・上納金・拝借金)	
土地 (検地・高反別改)	
開発 (地代金・入植・分村願)	

年貢 (免定・減免、免付・取高勘定、年貢諸入用、役銀諸入用、諸入用、諸役、年貢諸役割付)	
戸口 (人別改)	
村政 (覚書、井戸堀、出入、庄屋役印)	
諸務	
普請	
支配人	112
土地	
救済	
掬米 (積帳、検見、掬米取立、掬米仕出、口地米取立、仲間掬井口地米書出、仲間地米差引)	
地主作徳	
貢租・入費	
諸務	
不明	
稲吉新田	125
庄屋 (土地、年貢・諸役、普請)	
戸長 (土地)	
支配人 (掬米)	
森津・狐地新田	127
庄屋	127
領主 (調達金)	
支配人	127
掬米 (惣扣地掬米取立 (伊藤・二井)、掬米 (二井))	
三稲外操出新田	131
開発	
諸懸り	
土地譲渡	
掬米取立	
輪中惣代	137
西国出陣 (夫人足、軍費調達、大久手宿繰込人足、芸州人足、宿繰込人足など)	
普請	
御用	143
出入扱人	
普請 (堤守役・堤見廻役、堤塘締役、蒲穂締役、村々見分)	
借財締役	
家	150
領主	
公職 (農事通信者、農業改良米連合組合)	
家格 (由緒)	
記録 (日記)	
家計 (貨幣出納、差引計算、諸入費日記、勝手諸事覚、人足帳、奉公人、米蔵出入、金銭支払、家蔵普	

請)

土地 (資産、地租改正、譲渡)

地主 (丸山葭野新開、稲荷外新田、新田経営、取米、小作紛議)

経営 (金銭出納 (全体)、金銭貸借、金銭貸借 (足立)、金融講)

諸務 (庄屋・支配人関係文書を含む)

親族

信仰

尾張国海西郡森津新田武田家文書目録 解題

1 武田家文書の伝来と整理の方針

本目録に収めた文書は、尾張国海西郡森津新田（現、愛知県海部郡弥富町）に居を構えた開発地主武田家より、昭和24年（1949）、当館に譲渡されたものである。総件数は約3400余にのぼる。

当館では昭和24年に受け入れ、文書群記号24Cを与え、仮整理による史料目録で閲覧に供してきたが、今回の目録刊行にあたってはこの仮整理の史料配列順にしたがい、新規に番号を与え整理をおこなった。旧番号は便宜的なものであったため、これを本目録上に示すことはしなかった。

武田家文書には、関係文書を綴ったものが少なくなかった。なかには文書発生時から一定の時間を経た段階で綴られたものも見受けられた。また、一件書類が袋やこよりで一括りにされる場合もあった。これらの文書は、整理番号に枝番号、孫番号を用いて目録上に示した。整理作業では、綴られていることにより、地名などの確認が容易であったが、明らかな綴り間違いや、綴られたもの相互の関係が必ずしも明瞭でないものもあった。これらの存在をしかるべき発生組織の元に移動させ、史料を位置付けることも必要と考えられたが、煩雑なものとなりかねないため、袋入、こより括りなどの文書群は、移動させずに一まとまりとして目録上に示すことを基本とした。ただし、性格上、極端に異なる文書が一緒である場合は、枝番号・孫番号を付したものを、親番号の元から離し、それぞれふさわしい箇所にも収めることも一部おこなった。もちろん文書の原形そのものは崩していない。枝番号などが付される文書を閲覧請求すると、同じ親番号のものがすべて出てくることになる。この点了解されたい。

なお、本文書には年号を欠く文書が少なからず存在した。これらのうち干支の記載が見られる一部の文書に、（ ）を付して推定年代を示したが、この作業は、佐屋代官一覧（解題末第4表）、および森津新田・狐地新田の庄屋の変遷（第3表など）、および武田家系図（解題末）を根拠としている。

また、本文書群は、森津新田関係文書と、狐地・稲吉新田関係文書が多数を占めるが、文書によらずどの村の文書であるか、表紙などに明瞭に示されぬ文書も相当数見られた。これらの場合、文書に記される百姓・地主名などを頼りに、村を特定したものが少なくなかった。文書を閲覧した際、年代・所属村の推定基準が、以上の点にあることに留意されたい。

つぎに史料の分類編成作業について確認しておきたい。作業における基本姿勢は近年の史料整理に関する動向を踏まえ、個々の文書を発生させた集団や組織の存在に留意しながら進めた点にある。

しかし、武田家文書の構造は、後述のごとく従来の方文書に比して難解であった。これまでの村方文書で考えられた組織構造をモデルにすることは基本的に不可能と考えられた。すなわち、従来、異なる機能として認識されてきた「村役人としての機能」と、「家にかかわる機能」が帳簿上、分離しにくいものとして存在するのである。具体的には、「庄屋としての機能」と「地主にかかわる機能」という二つの機能に関わる。もちろん、二つの機能に跨る事項が一つの帳簿上に記されることは、確

かにありそうである。しかし、それは並列的な記事であるのか、統合化された不可分なものであるのか、その記事内容によって意味するところは異なるといえる。ここでは、後者に該当する。二つの機能に関わる事項が一つの仕事の流れとして存在するのである。しかも、それは臨時のことではなく、毎年繰り返される。よって、かかる状況が生み出された原因の究明と、帳簿記述や文書相互の關係にみられる集団と集団、集団と個人、個人と個人などが取り結んだ様々な關係を、追究する研究が必要となる。しかし、当該地域における地主經營を、帳簿記述や文書相互の關係から追究する研究はいまだ充分ではない。

したがって、地主關係文書を大量に含み、しかも庄屋文書と不可分な展開を見せる本文書群を扱うには、もっぱら以上の点に関する検討が必要となった。目録編成作業の多くはその検討に費やされたといえる。

しかし、本目録は組織構造や文書システムを充分に反映しているとは考えていない。そもそも「いくつもの秩序の複合体」と考えられる文書群を、一つの価値基準の元に、紙面上に示すには多くの紙幅と工夫が必要と考えられる。他の項目を参照するよう注記することも、工夫の一つといえるが、その処置は、異なる文書群の秩序、あるいは異なる文書システムが存在することの証でもある。そこで文書相互の關連を最大限に留意して組織像と文書システムを復元する必要は無いのだろうか。

文書群が有する様々な秩序、その体系化は立体的なものとして示すことがもっとも相応しいのではなからうか。そこでは文書群が有している複数の秩序を立体構造のなかで有機的に示すことが必要となる。その構造の開示には、コンピュータの利用なども考えられる。そこで検索システムは並列的な多角的検索手段でないことに注意すべきである。データベースの形は、並列的な事項検索ではなく、立体的な検索システムを考えることが必要である。

もちろん、ここでの議論は、煩雑を理由に、文書群の階層構造についての分析を放棄しようとするものではない。立体的な構造のデータ・ベースを構築するには、これまで以上に組織の構造的な分析と、組織の文書システム、文書管理などに関する研究が必要となる。近年の文書整理論の大きな流れに変更を求めるものではない。

文書群の伝来と整理方針を記すべき本節で、不自然ともいえる問題について縷々記さねばならなかった理由は、本文書群の階層構造を検討する中で、まったく、別個の組織構造の提示が可能なのではないかという不安と可能性を常に意識せざるを得なかったことによる。別の形の秩序を同時に示すことができないかと模索するなかで、文書群の構造を示すには、少なくとも三次元的な、さらには多元的な形をとることが必要と考えたのである。

以上の点は、今回の史料整理を進めるなかで到達した考えであり、作業に向けての基本姿勢であったわけではない。目録本文においても、配列などに特別な工夫を凝らしているわけではない。解題において、一部問題の指摘を行なったが、多くは今後の課題としなければならない。また、本文書群はそうした検討を行なう上で相当に興味深い史料群であることを指摘しておきたい。

2 武田家の機能と文書群の概要

まず、武田家と文書群の全体構造について示しておきたい。

武田家が居を構えた森津新田は、長良川河口部の干拓によって成立したものであり、屋敷は長良川から分流する鍋田川の肉厚の堤防上にある。同家は、長良川をやや遡った海西郡西保村の頭百姓であったが、近世前期、森津新田の開発にあたり、同地に居を構えたものである。帯はいわゆる輪中地帯であり、堤防上が、もっとも地高な場所である。洪水などによる不安があるが、輪中村落では堤防が決壊すれば、村内何処にしようが、水難を逃れることはできない。ここでは常日ごろからの堤防管理、普請が重要となる。もちろん、平時は船による物資移動が簡便な地である。産業の中心は立地条件を生かした稲作である。

武田家は、史料上で確認する限り、中期以降、一貫して庄屋役を務め、また、近隣地域の開発にも関わった。享保期には荒地化していた狐地新田・稲吉新田の再開発に乗り出し、ここでも庄屋役を務めた。また、近世後期には三稲外操出新田の開発に参加し、新開庄屋を務めている。森津新田にはじまる武田家の新田開発は、地理空間的には、より長良川河口部へ展開していった。上流部からの堆積物が巨大な洲を形成させたことによるが、海浜部の干拓は、堤防の決壊が海水の流入を意味するため壊滅的な打撃を受ける。新田開発はたいへん投機的なものであり、日ごろからの堤防管理、維持が重要であった。村単位ではもちろんのこと、輪中組合が結成され、普請に当たることが少なくない。武田家では輪中惣代を務めることも見られる。さらに藩から堤見廻り役、堤守り役などを委嘱されており、当該地域の水防活動面で固有な役割を負っていたとみられる。

ところで、干拓新田の開発では、切添的な開発とは異なり、巨額の干拓資金が必要であった。その内訳は、領主である尾張藩に納める地代金、そして干拓費用である。開発人は、自らの経費で人を募り、干拓を進める。そのため藩は10年余にわたって年貢を課さない。課す場合も微々たるものである。そのため堤防が決壊するなどの災害があってもならぬ救済しない。御普請や救済は、年貢が上納されるようになってはじめて得られる権利であった。

こうした干拓新田では、入植者の大半が最初から小作人として入村することになる。地主・小作関係を前提とする新田開発である。ここでの人的構成に注目するならば、地主には村外地主、村内地主（武田家は森津新田にあって地主経営を行うほぼ唯一の存在）の別があり、また、わずかな自作農がいる。そして、大半が小作人ということになる。森津新田など当該地域の新田では、金主には名古屋の都市商人なども多く、村外地主の土地占有率が高い。領主に年貢米を納めることと同様に地主への取米取納が手続上大きな意味を持つ。村外地主側でも責任者である支配人を村に置くことになる。支配人は、円滑な小作人管理事務と村外地主への報告のために、支配人文書ともいべき文書群を発生させることになる。

また、当該地域など中部地域では、小作料を掬米と呼ぶことが広く見られるが、これは地主取り分と年貢諸役などの諸経費から構成される。小作人が直接地主に掬米を納めるならば、地主は年貢諸役などを村方庄屋に収納し、その残りが、地主取り分（作徳米・正徳米）ということになる。しかし、森

津・狐地などの新田では、こうした収納手続きを採らない。掬米は村方におかれた支配人が小作人から直接徴収する。支配人はそこから年貢諸役や、地主が負担すべき村入用などの諸経費を地主に代わって庄屋に納め、差引勘定の上、残米を地主へ送る。それが地主取り分ということになる。取り分は販売の上、金納化されることもある。また、地主の求めに、その金銭が様々な決済金として利用され、第三者である支配人から直接送られることもある。

このため支配人は、収納すべき掬米額を検見帳、積帳などの作成を通じて決定し、その上で取立帳を作成することになる。また、支配人は収納すべき地主取り分を明確にし、これを村外地主に報告するため、掬米の収支決算を行なうことになる。つまり、年貢・諸役・村入用などの差引勘定が必要となるわけである。

ところで、村民の大半が小作人であるという状況の中で、この差引勘定を円滑に行なうには、年貢・諸役・村入用などの全体を承知していることが不可欠である。つまり、支配人としての役割をもっとも円滑にこなせる存在は、庄屋をおいていないことになる。実際、森津新田でも庄屋を務める武田家が支配人を兼ねている。こうした展開は年貢の村請制に規定されたものと考えられ、近世には村役人が支配人を兼ねることが体制的であったと見てよからう。

そして、村内の百姓の大半が小作人という状況下においては、支配人として掬米取立の事務を進めることが、結果として年貢・諸役の徴収事務を進めることに直結する。掬米取立の段階で、年貢収納を念頭におくことも可能である。年貢収納額・地主取り分などを念頭に掬米高を決定できるわけである。作成される帳簿は、こうした配慮の上に決定した掬米取立帳である。また、そこでは年貢と掬米の勘定が同時に行われるのである。その結果、地主的な機能と庄屋的な機能を、理念上切り分けることができても、実際に作成される帳簿類は一緒という状況が広く見られてくるのである。本文書群の大きな特色である。

なお、全体に関する事項で、あらかじめ確認すべき点に、武田家当主の交代があるが、これについては解題末の武田家略系図(27頁)を参照されたい。

以上、武田家の地域社会での役割や活動の一端について、その概略と、目録編成上全体にかかわる点について確認した。

3 文書群の構成

目録編成では、上述のような武田家の役割と文書システムのあり方を踏まえて、地主的な機能と庄屋的な機能という2つの機能にまたがるあり方をどのように提示するかが問題となった。

もちろん、そのあり方を固有なものとして示すことも考えられた。しかし、すべての面において、庄屋の機能と地主に関わる機能が、結びついているわけではない。固有の機能部分のみを独立させ、固有の組織とすることは乱暴である。

その結果、それぞれの機能に注目して、かなり多くの文書のグループから成り立っているという形で示すことになった

すなわち、(1) 森津新田、(2) 狐地・稲吉新田、(3) 森津・狐地新田、(4) 三稲外操出新田、

(5) 輪中惣代、(6) 御用、(7) 家である。グループ数が多く、やや煩雑な感もあるが、以下、こうしたグループ編成を採用した点に留意しながら、グループ内での文書群の構成について簡単に示しておきたい。

(1) 森津新田

森津新田関係文書の分析を通じて、次のような3つの項目のもとに編成することが好ましいと考えられた。すなわち、①庄屋、②戸長、③地主惣代、④支配人である。

①庄屋

武田家は前述のごとく近世前期に海西郡西保村から森津新田に居を移した。森津新田の開発状況などは不明であり、当時の武田家当主の名前についても確証はないが、武田家と森津新田との関係が同新田の開発に始まることは間違いなからう。

正保4年(1647)10月10日「尾州海西郡森津新田御検地帳」(No.0567)が伝存するが、開発着手から十数年を要し、検地に至ることが、当地域では一般であり、開発の発端を検地年次から推定することは必ずしも好ましくない。文政期に完成した尾張藩「尾張徇行記」(『名古屋叢書統編』第8巻、128頁)には、「此新田ハ慶安年中武田沢右衛門先祖開墾スル所也、今地主ハ沢右衛門、平島新田市兵衛・九兵衛、鎌島新田忠兵衛、松名新田次右衛門五人也」と、武田家を中心となって開墾した新田であることを記す。その規模は、正保4年の検地による打ち出しが、高318石1斗9升、田畑29町9反9畝24歩であった。ただし、このうち田畑1町5反3畝11歩が堤敷地証文引となり、年貢なども免除された。残る田畑の割合は、田方25町1反8畝27歩、畑方3町2反7畝16歩である。その後、地続きに走新田が開発され、慶安3年(1650)に検地が実施され、その結果は同年8月29日「尾州海西郡森津新田米野走新田御検地帳」(No.0569)にまとめられた。新田高は162石2斗9升2合、田畑反別14町3反2畝27歩である。ただし、正保の場合同様、堤敷地証文引があり、田方8反3畝22歩が引かれる。残りの田畑の割合は、田方12町4反4畝17歩、畑方1町4畝18歩である。その後、寛文2年(1662)に寅新田17石6斗7升9合、寛延元年(1748)に辰新田4石2斗3升9合、文化5年(1808)に土間新田5石5升の開発があり、ほかに見取所5反5畝21歩があったが、基本的に森津新田としての開発は、慶安3年に検地がなされる走新田の開発をもって、ひととおり終了したと見てよからう。

ところで、森津新田の性格が問題となるが、正保の検地帳では、多くの百姓の名前が見られ、自作農が広範に存在したように見受けられる。しかし、正保の検地帳に見られる名請人名は請作者、つまり小作人と見てよからう。開発期の地主名などは不明であるが、地主小作を前提として成立した新田と考えられる。なお、武田家は、先の「尾張徇行記」の記載から開発に際し大きな役割を果たしたと見られるが、現存する史料からは確認できない。庄屋名なども不明である。

庄屋名を具体的に確認できるのは、享保頃からであり、享保5年(1720)に宇右衛門、元文元年(1736)喜治郎、宝暦2年(1752)角左衛門などの名前が見られるが、これらを武田家の者とは考えにくい。武田家当主が村役人として名前が見えてくるのは、宝暦2年組頭沢右衛門である。そして、この沢右衛門は宝暦7年(1757)頃に庄屋に就任する。それまで庄屋役を務めていた角左衛門との二人

制である。しかし、宝暦13年（1763）頃に角左衛門の名は見られなくなり、沢右衛門一人が庄屋役を務める。この沢右衛門は天明6年（1786）12月頃まで庄屋役を務めた。それを継いだ子沢右衛門は文化13年（1816）5月まで31年間にわたって庄屋役を務める。この後も武田家が庄屋役を世襲し、次の交代期となる文化13年から文政初年には、武田猪八という名前が見られる。しかし、この人物も早々に名前を沢右衛門に改称し、安政5年（1858）頃まで庄屋役を勤める。ただし、安政3年には、沢右衛門とともに跡取哲次郎の名前が庄屋として見られる。両名が連名する安政3年から5年は、哲次郎の見習い期間ともいべき時期である。安政6年には武田哲次郎のみの署名となる。しかし、哲次郎は名前を沢右衛門に改めることはなかった。森津新田における庄屋の交代は以上の通りである。

ところで、森津新田庄屋の機能にかかわる文書を本目録では、領主、土地、開発、年貢、諸役、下用、村政、戸口、交通、普請の項目を立て示した。また、それぞれの機能のあり方に注意して下位の項目も立てた。ときにさらに下のレベルの項目を立てることもあった。これらは、事前に設定した項目に個々の文書を当てはめるのではなく、史料の性格、内容、そしてその文書のライフサイクルなどを念頭に下から順に組み立てるという作業を通じて編成したものである。従来の主題分類的な項目名を利用したものもあるが、作業の指向性が異なることを了解されたい。

注目すべき事項には、陣屋の年貢受取が通い形式を取り、分納の度ごとに収納の記録が書き加えられること、また、年貢と諸入用、役銀（堤銀・伝馬銀・綿布銀など）と諸入用と一緒に勘定されることなどがある。さらに下用帳にも村入用に止まらず、諸役銀などが記される。また事務遂行に伴い特定の帳簿が、江戸時代中期以降連年にわたって作成されることがない。その意味と、帳簿作成に伴う実務の変化を確認する必要があるが、今後の課題である。

②戸長など公職

慶応3年（1867）12月の大政奉還に伴い、慶応4年正月、尾張藩は名古屋藩となる。明治2年6月の版籍奉還にともない藩主は知藩事に、年寄（家老）は執政に、奉行衆は大参事・小参事に、代官は邑宰になった。また、明治4年（1871）7月14日の廃藩置県により、尾張には名古屋県と犬山県がおかれ、翌5年4月2日名古屋県は愛知県となった。佐屋代官所もこの間佐屋出張所となり、愛知県が置かれたときに海西出張所となった。9月には愛知県区画章程が定められ、海西・海東郡は第六大区となり、区会所は^{かもり}神守村（現愛知県津島市）に設けられた。

森津新田は第六大区二二小区に属した。同小区は、近隣与蔵山・鎌島・芝井・松名・島名・寛延・間崎・稲吉・狐地・稲元・稲荷・稲狐・三稲・操出（明治5年開発）の旧村によって構成され、大区には区長、3つの小区ごとに権区長、5・6か村ごとに戸長、各村に副戸長がおかれた。

この間、武田家当主哲次郎は江戸時代と変わりなく森津新田の運営に当たり、庄屋・副戸長を務めたが、明治6年（1873）には戸長の肩書きが見られる（No.0641）。大区制の中でより広域的な役割を負うのである（管轄下に置かれた具体的な村名は未確認）。さらに、区長とする史料も見られる（No.030-2）。

しかし、明治9年8月、大区小区制は廃止され、新たに区制が公布された。愛知県では全县を18に分割して区制を敷き、第六大区は第六区となった。しかし、この頃より武田家が戸長・区長などの役職に就任していることを示す史料はみられなくなる。森津新田戸長には、それまで副戸長を勤めていた

佐藤民輔の名前が見られる。当該期の武田家当主哲次郎は、明治16年ごろに死去しており、公職から離れた理由も体調の問題などがあったのかもしれない。なお、武田家では跡を継ぐべき男子がなく、明治16年1月20日に名古屋区栄町の足立家から養子銃次郎を迎えた。これは哲次郎の女房の甥にあたる。同年5月28日に相続するが、慶応2年生まれの人材は、この時18才である。明治21年2月には、名前を誠一とする改名届を出している。ただし、誠一の使用は、これより若干遡るようである。

公職などへの就任は、こうした同家の明治期の動向と関係することはいうまでもない。しかし、公職からは離れるものの、地域において重きを置かれた家であり、治水訴訟などでは地主惣代などとして公の立場に身を置くことが少なくない。

なお、明治期の森津新田の沿革をさらに確認するならば、明治11年、与蔵山新田が森津新田に編入となり、森津村が生まれる。

また、明治11年7月の郡区町村編制法の公布により、12月20日には区制がなくなり、各村ごとに戸長が置かれ、郡役所が津島村に設置された。さらに、明治22年10月1日、市制・町村制の施行により森津村は、近隣の鎌島新田・松木新田・芝井新田・寛延新田・間崎新田・稲元新田・稲荷新田・川原欠新田とともに大藤村を形成した。同一の大堤防で囲まれた輪中であることが一村となることを可能にしたといえる。

ちなみに明治39年、両国村・大藤村と彌富町中山新田が合併して鍋田村となる。大正2年、海東・海西郡が合併され、海部郡となり、昭和30年彌富町と鍋田村、市江村の東南部が合併して弥富町となった。

近代における森津新田の沿革を武田家との関連に注意しながら簡単に確認してみた。以上のなかで発生した文書を、武田家の就任した役職との関係で精密に分類し、これを目録上に示すことも心がけたが記述上やや煩雑であり、また、点数も少なく不確かな面も多く見られるため、ここでは明治初年から明治10年前後の区長・戸長・副戸長関係の文書を一つのグループとして示した。編成上の中項目は、布達、土地、地租改正、貢租・租税、村費、合併、普請である。行政組織との関連のなかで史料の閲覧を希望する場合は、以上の沿革に配慮されたい。

なお、地理的な状況から治水問題に関する史料が少なくない。ことに明治初年には大洪水が頻発して、大きな被害を受けたため復旧関連の史料が多い。しかも、藩から県への移行などに関連して、補償問題、井領米未納事件などが頻発した。裁判も起こされ、明治初年から10年にかけては、当主哲次郎も、さまざま形で関わった。そこに発生した文書は、本来、これを役職ごとに切り分けることが必要となるが、一つの洪水のもとでいかなる状況が村方・輪中組合、あるいはそれを越えるような結合のなかで起こったものか、その動向把握では、災害ごとに検討する方法が考えられる。大きな災害では広域で災害対策などを協議し、それを輪中へ、さらに村へというように連鎖・連続的な展開を見せる。これを役職ごとに分割したのでは、事件の展開はもとより、協議の展開とその事務の広がり、目録上に示すことはできない。ちなみに明治期の普請関係文書を武田家の役職などとの関係で示すならば、区長、戸長、副戸長という役職に関係してのもの、塘御締役（明治4年ごろ）、地主惣代、輪中惣代などに関係してのものがあ

しかし、本来は事件ごと、担当役職の双方についての分析を進め、これを両立させた目録編成を指向することが必要であろう。ただし、その作業を進めたにしろ、刊行する目録の紙面上に、文書を具体的に配列するには、また、別な技術を要する。それは組織がいくつもの秩序を有していることによる。その秩序を示そうとすると、それは二次元的な目録編成では難しいことが少なくないのである。

よって本目録では、区長、戸長、副戸長、塘御締役に関わる明治期の普請関係史料を、一つのまとまりとして扱い編年順に配列した。

また、地主惣代、輪中惣代に関わる普請史料については、輪中惣代、地主惣代であることを明記するもののみをそれぞれまとめた。なお、輪中惣代に関わる文書は、森津新田という枠の中に納まらない性格のものであるため、輪中惣代の大項目を設定した。

地主惣代としての普請文書は、戸長などの普請文書に続けて配列し、普請文書が各所に散らばらぬように配慮したが、明治期の普請・治水について検討する際には、これらの文書を総覧することが必要である。

③地主惣代

地主惣代を必ずしも常設のものと考えerことはできない。しかし、上述のごとく幕末期から明治期にかけて普請関係の訴願運動において、武田家は地主惣代という立場でも関係した。ここでは普請関係に限られるが、惣代であることを明記する史料のみ示した。

④支配人

支配人は前述のごとく、村外の不在地主に代わって小作人の支配を行なうものであり、森津新田では庄屋である武田家が務めた。支配人の役割の一端については、武田家の性格に触れた際に記したので、ここでは、同新田における地主・小作の形態などについて確認したい。

まず、天保12年(1841)の村外地主の持高・所持反別を確認するならば、第1表の通りである(下位の所持高の者に関しては省略の可能性はある)。村外地主の筆頭である伊藤治郎左衛門は尾張藩の御用達などを務めた名古屋商人であり、のちの百貨店「松坂屋」の起業家である(伊藤が森津新田に土地を所持する時期については未確認である)。

また、嘉永3年(1850)宗門人別改帳から地主・小作関係を示すと第2表の通りである。村民で土地を所持したのは、武田沢右衛門55石6斗1升5合、定四郎5石3斗3升、嘉平1石6斗2升の3人だけである。外はすべて伊藤・木村・佐野・武田といった地主の小作人であり、村外地主が所持する比率も高い。そして、小作人は複数の地主の土地を耕作する形態をとることが多い。また、天保12年と嘉永3年では、わずかな時間差であるが、地主の移動を確認できる。決して固定的な地主・小作関係ではなく、地主も経営上の問題から土地を異動させることが少なくない。こうした地主制のあり方からは、まず武田氏が村内差配において他を圧倒する存在であったことが考えられる(武田家の所持地は、周辺の狐地新田などにも存在した)。また、掬米勘定、収納などに関する支配人の業務が相当に手間を要するものであったことが考えられる。そこでは、それぞれ固有な帳簿も必要となったわけである。

支配人を庄屋である武田家が務めたことは前述したが、おそらく、小作人達も地主取米の積み出しなどでは、年貢米と同様に、武田家の監督のもと作業に参加したことが考えられる。村を挙げて地主

第1表 天保12年森津新田地主持高一覧

所在地	地主名	所持高（反別）
名古屋茶屋町	伊藤治郎左衛門	高130石0704（1236畝11歩）
名古屋本町	駒屋源兵衛	高 61石2095（ 581畝24歩）
松名新田	佐野治右衛門	高 42石 846（ 407畝 8歩）
名古屋京町	錢屋喜兵衛	高 29石0745（ 276畝11歩）
鎌嶋新田	木村忠右衛門	高 15石3024（ 145畝13歩）
名古屋杉ノ町	万屋利助	高 12石 242（ 116畝11歩）
鯛浦村	木下利右衛門	高 7石4235
松名新田	清三郎	高 7石4235

（出典：「（天保12年地主持高書上）」史料番号0668-2）

に対応していく体制を考えてよいのではなかろうか。

さて、この支配人のもとには、次のような項目を立てた。すなわち、土地、作人、掬米、諸懸り、地主作徳の5つである。このうち掬米には、掬米高、掬積帳、検見、村方掬米取立・仕出、掬米取立（伊藤）、惣扣地掬米取立（伊藤）、掬米取立、年貢掬高差引勘定、掬米差引勘定などの下位の項目を立てた。

村民の大半が小作人で、支配人が庄屋を務めるという状況では、掬米の最終的な収納箇所が地主と領主というように異なるにせよ、そこに至るプロセスでは一つの作業が両様の性格を有する。そして、実際の記録類も、そうした両様のものが少なくないのである。

また、支配人としての武田家を補助する者がいた点について述べておきたい。支配人関係文書のうち地主作徳のなかには、地主作徳米などの受取や受取事務に関する配賦史料が多数みられるが、この種の史料では、森津新田の小作人白木徳三郎の名前が差出・宛名に頻出する。武田家文書の中に白木名の文書が見られる理由が問題となるが、残されたこれらの手形類などから判断するに、白木家が、武田家の支配人としての業務を補助し、掬米、地主作徳米の管理・移出などの事務を行っていたと見られる。ときに必要となる金銭をまとめて武田家から預かるといった状況も認められる。地主からの作徳米の受取証には、武田家主人への挨拶なども時々確認できるのである。白木家では、年々のこうした事務に関する文書をまとめて武田家に引き継いでいたのではなかろうか。それらは袋入や、こよりなどで括られる形で現存しているのである。白木家の支配人補助に関する具体的なシステム検討は今後の課題であるが、ここにも固有な文書秩序、文書システムがあったといえる。

なお、上記に関する史料の形態は、書状や簡単な手形類が大半である。これはこうした性格の事務が、専ら簡略な紙面を利用してなされていたことを示している。決して書状などによる伝達方法が補助的なものとして存在したわけではなく、それを正規の意思伝達手段とする世界が存在したのである。書状の性格を見極めることが必要になるが、しかるべき検討がなされないまま書状が一括されると、その時代固有の意思伝達の世界が無視されることになる。書状や簡単な手形のようなものでしか意思伝達がなされぬ世界があったことに、我々はもっと注意すべきである。

ところで、武田家が支配人であることは、機能的なあり方から見てなんら問題はないが、それを明

第2表 嘉永3年森津新田人別持高地主名一覧

名前	持高	職業	地主名	持家有無
元四郎	無高	農業渡世	伊藤	自分持家
周平	無高	農業渡世	伊藤・木村・佐野	自分持家
源六	無高	農業渡世	武田	自分持家
安右衛門	無高	農業・作日用渡世	伊藤・木村・佐野	自分持家
作右衛門	無高	農業渡世	伊藤・木村・佐野	自分持家
又八	無高	農業・作日用渡世	伊藤・木村・佐野	自分持家
清藏	無高	農業渡世	武田	自分持家
孫藏	無高	農業・渡守渡世	伊藤・木村・佐野	自分持家
半四郎	無高	農業・作日用渡世	伊藤・木村・佐野	自分持家
なを	無高	苧機渡世	伊藤・木村・佐野	自分持家
善三郎	無高	農業渡世	伊藤・木村・佐野	自分持家
友四郎	無高	農業・渡守渡世	武田	自分持家
清助	無高	桑名郡松吉新田住		無家
嘉六	無高	農業・船乗渡世	野村留兵衛	自分持家
増藏	無高	大宝新田善六方へ奉公	服部治左衛門	自分持家
新四郎	無高	農業渡世	武田	自分持家
九平	無高	農業渡世	武田	自分持家
勘四郎	無高	農業・諸商渡世	武田	自分持家
清四郎	無高	農業・諸商渡世	甚三郎	自分持家
治助	無高	作日用渡世	伊藤・木村・佐野	自分持家
慶九郎	無高	農業渡世	伊藤・木村・佐野	自分持家
良助	無高	農業渡世	伊藤・木村・佐野	自分持家
茂七	無高	農業渡世	伊藤	自分持家
慶助 <small>後家ちよ</small>	無高	農業渡世	伊藤?	茂七と同居
浅藏	無高	農業渡世	伊藤?	林三郎と同居
林三郎	無高	農業渡世	伊藤	自分持家
文平	無高	農業渡世	伊藤・木村・佐野	自分持家
理八	無高	作日用渡世	伊藤	自分持家
喜助	無高	作日用渡世	伊藤・木村・佐野	自分持家
はつ	無高	苧機渡世	伊藤・木村・佐野	自分持家
周吉	無高	作日用渡世	武田・伊藤	自分持家
要助	無高	農業・作日用渡世	武田	自分持家
栄助 <small>後家なか</small>	無高	綿賃繰渡世	武田	自分持家
与左衛門	無高	作日用渡世	伊藤・木村・佐野	自分持家
新三郎	無高	農業・船乗渡世	伊藤・木村・佐野	自分持家
半左衛門	無高	農業渡世	伊藤・木村・佐野	自分持家
清六	無高	奉公		無家
円藏	無高	農業渡世	伊藤・木村・佐野	自分持家
理左衛門	無高	農業・作日用渡世	伊藤・木村・佐野	自分持家
平六	無高	農業渡世	伊藤・木村・佐野	自分持家
三左衛門	無高	農業渡世	伊藤・木村・佐野	自分持家
忠八	無高	農業渡世	伊藤・木村・佐野	自分持家
半右衛門	無高	農業渡世	伊藤・木村・佐野	自分持家
友七	無高	作日用渡世	伊藤・木村・佐野	自分持家
新助	無高	農業渡世	伊藤・木村・佐野	自分持家
円右衛門	無高	農業渡世	伊藤・木村・佐野	自分持家

名 前	持 高	職 業	地 主 名	持家有無
定 四 郎	持高5.330	農業渡世		自分持家
善右衛門	無高	農業渡世	伊藤・木村・佐野	自分持家
清 三 郎	無高	農業渡世	伊藤・木村・佐野	自分持家
清 七	無高	農業渡世	伊藤・木村・佐野	自分持家
源 九 郎	無高	農業渡世	伊藤・木村・佐野	自分持家
甚 九 郎	無高	農業渡世	伊藤・木村・佐野	自分持家
平 吉	無高	農業渡世	伊藤・木村・佐野	自分持家
も よ	無高	綿賃繰渡世	伊藤・木村・佐野	自分持家
重 五 郎	無高	農業渡世	伊藤・木村・佐野	自分持家
武助後家こよ	無高	苧機渡世	伊藤・木村・佐野	自分持家
九 八	無高	作日用渡世	伊藤・木村・佐野	自分持家
藤 三 郎	無高	農業渡世	伊藤・木村・佐野	自分持家
武田礼輔	無高	医師四日市出張		無家
海 助	無高	桑名服部新田で稼		無家
嘉 助	無高	農業・木挽渡世	伊藤・木村・佐野	自分持家
半 九 郎	無高	農業渡世	伊藤・木村・佐野	自分持家
松 蔵	無高	農業渡世	?	自分持家
新 九 郎	無高	農業渡世	?	自分持家
武田澤右衛門	持高55.615	農業渡世	自分地	自分持家
嘉 平	持高1.620	農業渡世	武田	自分持家
喜 平	無高	農業渡世	武田	自分持家
久平(次郎事)	無高	農業渡世	武田	自分持家
浅右衛門	無高	農業・桶師渡世	武田	自分持家
平 兵 衛	無高	農業渡世	武田	自分持家
茂 平	無高	農業・木挽渡世	武田	自分持家
幸 四 郎	無高	農業・諸商渡世	武田	自分持家
惣右衛門	無高	農業渡世	武田	自分持家
伴 蔵	無高	農業・大工渡世	武田	自分持家
助 七	無高	桑名長島山新田で稼		無家
善 八	無高	農業渡世	武田	自分持家
宗 吉	無高	農業・売薬渡世	武田	自分持家
三 九 郎	無高	農業渡世	武田	自分持家
ふ そ	無高	桑名服部新田で稼		無家
良平後家るの	無高	桑名服部新田で稼		無家

(出典：嘉永3年「森津新田人別御改帳」史料番号1505)

注：伊藤は伊藤次郎左衛門、木村は木村忠右衛門、佐野は佐野民五郎。なお、表中の?印は、文書記載が不確かであることによる。

記した帳簿や文書は、ほとんど見るできない。そうしたなかで明治7年10月「内見帳」(No.0511)は、新田百姓代武田哲次郎、副戸長佐藤民輔・武田茂兵衛から県令に宛てられたものであるが、大変興味深いものである。記述内容は、田畑の所有者を字毎耕地毎に示し、その上で支配人を記す。ここでは作人が全く記されない。地主と支配人だけである。すなわち、「田主伊藤次郎左衛門 支配人武田哲次郎」といった記載が続くのである。文書の差出しなどに肩書として記されるものではないが、武田を支配人として記す唯一のものといってよい。武田家はこのほか二井与吉家の土地も支配人として管理する。

ただし、この明治段階では、支配人は武田家にとどまっていなかった。管理する土地は少ないが、同帳簿には木下文吾支配人佐藤円九郎、蟹江史郎支配人加藤喜七、黒宮織之介支配人佐藤友四郎といった名前も見られる。明治になり租税が村請から個人請に代わる中で、支配人の性格が変化し、その人数が増えていったと見てよかろう。

(2) 狐地・稲吉新田

狐地新田・稲吉新田という二つの新田名を併記して、一つの大項目を設定した。これは両新田が不可分な存在であることによる。ついてはまず両新田の開発の経緯について、簡単に確認したい。

狐地新田きつねじの開発は、元禄のころ伊勢国長島の者、市江の者、平島新田平八、森津新田善蔵などが開発権を獲得して開発したという。検地は元禄11年(1698)に実施されており、その内「海西郡狐地新田之内市江分御検地帳」(No.0571)では田方5町9畝24歩、畑方3町2反8畝5歩が打ち出されている。名請人は、勘兵衛・藤兵衛・喜三郎のみである。しかし、その後、度々水害があり、開発は順調に進まなかった。武田家でも盛んに入植者を募ったが、享保7年(1722)には大風高潮で亡所に帰している。

享保10年(1725)、鯛浦村宇佐美孫左衛門、子宝新田吉田平左衛門は藩から許可を得て再開発を本格化する。また、武田家でも当主善蔵が平島新田平八が有した田地8町3反歩余を相対のうえ取得した。狐地新田はこの3人を開発主に、再開発が進められる。年貢は再開発に経費もかかるため4分(4%)という低率であり、基本的には享保11年から15年間、作取りが認められた。ほかは葭野御年貢2石8斗を従来通り納めることであった。藩役人安坂才右衛門・間宮甚五左衛門・岡本平吉は連印のうえ、これを条件として、15年後の寛保2年(1742)に検地を行なうことを3人に示している(No.1256)。

寛保2年の検地では田34町7畝29歩、畑1町2反5畝4歩が打ち出された。高は353石3斗1升3合である。このうち子宝新田平左衛門・鯛浦村孫左衛門が担当した箇所の反別は256石3斗9升7合、武田家が担当した市江分が96石9斗1升4合である(No.1258・宝暦13年2月)。年貢免定などは、双方取りまとめた形で、発給されたが、検地帳はそれぞれ別個に作成されている(No.1372)。

また、新田場へはそれぞれ入植者を募り、開発を進めた。武田家で宗門改めの際、市江分へ入植した者達をすべて森津新田の自分の家の後に続け、「家来百姓」という肩書きを付していることも認められる。

こうした状況や年貢・諸役收取の煩わしさから武田家では自分が担当してきた箇所を独立させ、一個の新田として扱うよう藩役人へ願うのであった。その運動は、寛延元年(1748)頃から宝暦4年

(1754)頃にかけて連続してみられる。しかし、これは受け入れられなかったようである。その結果、年貢収納などでは、後述のごとく手続きがやや煩雑なものとなっている。

つぎに、狐地新田の庄屋役について確認したい(第3表参照)。前述の通り同新田は大きく二つに区分され、それぞれに庄屋が置かれた。市江分では武田家(善蔵)がこれを務め、子宝新田平左衛門・鯛浦村孫左衛門が開発権を得た部分では、当初孫四郎、ついで太郎兵衛などの名前が見られる。この孫四郎、太郎兵衛などは宇佐美孫左衛門・吉田平左衛門にかわって庄屋を担当したものと見てよからう。実際は宇佐美・吉田らが実権を握っていたといえそうである。年貢や諸入用などの割当て・徴収は、吉田・宇佐美側の庄屋が中心となり、市江分全体の割当が、武田側へ示されることになる。武田家はそれに基づき地主や小作人から諸懸り物を徴収した。こうした中間的な機能を武田家が果たした理由は、庄屋であることに止まらず、市江分の支配人を務めたことと無関係では無からう。武田家では市江分からの掬米徴収を担当しており、見方を変えればその立場にあるからこそ、市江分からの円滑な年貢・諸役の徴収が可能になったといえる。

ところで、狐地新田と不可分な新田に稲吉新田があることを指摘したが、この新田についても簡単に指摘しておきたい。

稲吉新田の開発は、狐地新田同様元禄期に始まる。知多郡朝倉村七郎兵衛が自分金による開発を申請し許可を得、11年目の宝永4年(1707)に検地を受けた。その打ち出しは高51石6斗2升であった。しかし、正徳3年(1713)の潮入から開発は頓挫する。再開発は、享保10年(1725)、狐地新田の開発権を取得した鯛浦村宇佐美孫左衛門、子宝新田吉田平左衛門が、七郎兵衛から開発権の譲渡を受けて始まる。藩からの許可は享保20年(1735)とやや遅れるが、延享5年(1748)から宝暦6年(1756)まで作取り、宝暦7年(1757)の検地が条件として示された(No.0605)。しかし、検地は結果的に宝暦12年となり、高は元禄の時と同じ51石6斗2升であった。

以上の開発経緯からは、稲吉新田と武田家との関係、または狐地新田と稲吉新田を一つの項目のものと示すことの原因が不明瞭であるが、検地に際しての武田家の次のような主張に注目したい。すなわち、開発権の取得者は名義上、子宝新田平左衛門・鯛浦村孫左衛門の両人であるが、稲吉新田は狐地新田に付属し、自分が管理する狐地新田市江分にも耕地が見られるため、検地帳の下付先を、自分も含め3名にすることを藩側に求めるのである。この願書には奥書があり、平左衛門・孫左衛門も了解している旨が記される(No.1299)。実際、稲吉新田は、ときに「狐地新田之内稲吉新田」と記されることもある。また、文書記載などでは、狐地新田のみの表題であっても、実際には稲吉新田に関する記述が含まれることが少なくない。年貢免定では両村と一緒に記される場合と、別個に記される場合がある。残存する免定が少なく、傾向などははっきりしないが、領主側も、村方の実態を反映してあいまいな把握であったといえる。ときに別個に文書が作成されることもあるが、多くの場合、村運営は、両村を一緒とする、そうした枠組みで行なわれたといえる。こうしたことからここでは、狐地新田と稲吉新田を一緒の大項目で扱った。なお、まったく、片方の新田に関する内容に限定される場合もある。狐地新田とある場合は、その断定に十分な検討を要するが、稲吉新田とある場合、同新田に記述が限れる。この種の史料を狐地・稲吉の両新田にまたがる文書中に散らばして編成することも

第3表 狐地新田庄屋名一覽

年 代	庄 屋 名
延享2年	森津新田百姓同郡狐地新田庄屋善藏
寛延1年	森津新田同郡狐地新田市江分庄屋善藏
寛延2年	森津新田同郡狐地新田市江分庄屋善藏
宝曆1年	市江分庄屋善藏
宝曆4年	狐地新田庄屋森津新田善藏
宝曆4年	狐地新田庄屋善藏・孫四郎
宝曆5年	狐地新田庄屋孫四郎・善藏
宝曆5年	狐地新田庄屋善藏
宝曆7年	狐地新田庄屋善藏・孫四郎
宝曆8年	鯛浦村右(狐地)新田庄屋宇佐美孫左衛門、子宝新田同断吉田平左衛門
宝曆9年	狐地新田庄屋太郎兵衛、森津新田庄屋善藏
宝曆9年	新田庄屋太郎兵衛・善藏、狐地分地主宇佐美孫左衛門・吉田平左衛門
宝曆10年	新田庄屋太郎兵衛・善藏、狐地分地主宇佐美孫左衛門・吉田平左衛門
宝曆12年	狐地新田庄屋太郎兵衛、市江分地主庄屋沢右衛門
宝曆14年	狐地市江分庄屋・稻吉新田・森津新田沢右衛門
宝曆14年	庄屋武田沢右衛門
宝曆14年	狐地新田庄屋太郎兵衛、同断沢右衛門
宝曆14年	狐地新田地主庄屋沢右衛門
明和9年	新田庄屋太郎兵衛、地主庄屋武田沢右衛門、地主宇佐美孫左衛門・吉田平左衛門
安永7年	庄屋武田沢右衛門
安永9年	庄屋武田沢右衛門
天明1年	新田庄屋武田沢右衛門
天明2年	狐地新田庄屋嘉兵衛、地主庄屋武田沢右衛門
天明4年	狐地新田庄屋善六、地主庄屋武田沢右衛門、新田頭地主宇佐美孫左衛門・吉田平左衛門
享和1年	狐地新田・稻吉新田庄屋太郎兵衛、右同断森津新田庄屋沢右衛門
文化12年	庄屋武田沢右衛門
文化13年	庄屋武田猪八
文化14年	庄屋武田猪八
文政4年	庄屋武田猪八
文政5年	狐地新田庄屋善六
文政12年	庄屋武田沢右衛門
文政13年	庄屋武田沢右衛門
天保2年	庄屋武田沢右衛門
天保3年	庄屋武田沢右衛門
天保12年	狐地新田森津分庄屋武田沢右衛門
天保12年	狐地新田年寄・庄屋吉田平左衛門
天保13年	狐地新田森津分庄屋武田沢右衛門
天保15年	庄屋武田沢右衛門
弘化2年	庄屋武田沢右衛門
弘化3年	庄屋武田沢右衛門
弘化4年	庄屋武田沢右衛門
嘉永1年	庄屋武田沢右衛門
嘉永2年	庄屋武田沢右衛門
嘉永6年	庄屋場(武田)
安政3年	狐地新田森津分庄屋所(武田)
安政4年	狐地新田森津分庄屋所(武田)
慶応3年	庄屋場(武田)
慶応3年	庄屋所(武田)
明治2年	狐地森津分庄屋所(武田)
明治2年	庄屋場(武田)
明治2年	狐地森津分庄屋場(武田)
明治3年	狐地森津分庄屋所(武田)
明治3年	狐地新田森津分庄屋場(武田)
明治4年	狐地森津分庄屋所(武田)

考えられたが、稲吉新田分のみを切りわけて文書が作成されることの意味に留意し、稲吉新田という中項目を別に立てた。

なお、狐地新田・稲吉新田は、明治22年、稲狐新田・三稲新田・操出新田・大谷新田（明治13年開発）・末広新田（明治26年開発）・加稲新田・加稲付新田・加稲九郎治新田・三好新田・富島新田・富島付新田・富崎新田・稲荷崎新田・稲荷崎付新田・加稲山新田・境新田と両国村を構成した。両国村は、狐地輪中と加稲輪中がもとになっており、加稲輪中の村々が、明治13年5月12日、三重県桑名郡から愛知県海西郡へ編入となって以来、両輪中は両国輪中を構成してきた。治水への共同活動が旧村合併の前提となっているわけである。なお、役場は狐地におかれた。

本中項目は①庄屋、②支配人、③稲吉新田によって構成した。

①庄屋

武田家の庄屋役は、狐地・稲吉の全域に及ぶものではなく、市江分（森津分とも）に関してのみであり、全体の調整は、孫左衛門・平左衛門側が握っていた。年貢をはじめとする様々な諸役負担などでは、武田家の原則的な立ち会いの下に、割賦勘定がなされ、市江分のみを武田家が集め、期日までに先方の庄屋役に納めている。孫左衛門から善蔵へは「狐地新田杖諸入用割付如此-相見申候間、御取集被成候而新田へ御渡可被成候」（No.1473）といった書状が頻繁にやり取りされる。また、年貢などの徴収簿も市江分のみを対象として作成されている。市江分全体の懸り高や、収納催促に関する小手形・書状類が多いのも特徴といえる。

小項目には、領主・土地・開発・年貢・戸口・村政・諸務・普請をたてた。このうち開発関係には、入植者に関するもの、分村に関する史料などがある。それは庄屋としてよりも開発人としての性格が強いものと見ることもできる。また、年貢収納なども自己が開発を担当した分のみであり、後述のごとく、その範囲は支配人としての新田管理の範囲と重なる。領主への年貢諸役上納のための枠組としての村の完結性以上に、開発地主、支配人といった面での枠組みが同地域のあり方を強く規定したといえよう。

②支配人

支配人文書には、土地・救済・掬米・地主作徳・貢租入費・諸務の項目を立てることができた。量的には掬米関係のものが多い。掬米徴収に関わる掬米積り帳、検見帳、取立帳、差引帳などの帳簿が見られる。掬米は、それぞれの地主の掬高を計算した上で、小作人から取立て、そこから年貢・諸役・諸入用などを差し引き、残りを地主徳分とする。地主は必ずしも固定的ではない。明治3年（1870）段階では、二井利左衛門が6割以上の土地を保有し、ついで武田家が1割5分余、服部治左衛門が1割、熊谷庄蔵が1割、吉田平左衛門0.25割余であった。作徳米が地主に届けられると地主が発給する受取が、支配人である武田家に届けられた。

なお、文久3年（1863）正月、狐地新田安三郎が武田家から金銭を借用した際の証文には、証人の一人に「市江分支配人留八」との記載が見られる（No.0831-7）。武田家が狐地新田に支配人をおいたことが考えられるが、具体的な状況に関しては不明である。

③稲吉新田

前述のごとく稲吉新田は、狐地新田の一部として扱われることが多く、帳簿類も一緒に記されることが一般である。表題が狐地新田のみであっても、実際には稲吉新田に関する記述が含まれることが少なくない。しかし、ときに別個に文書が作成されることもある。狐地新田とある場合は、稲吉新田分を含むものかどうか確認を要するが、稲吉新田とある場合、同新田に記述が限られることが大半である。よってここでは、稲吉新田に関するものをひとまとまりとし、中項目「稲吉新田」を立てた。庄屋文書、支配人文書からなる。年代的に特定の時期に集中するものでもない。動向は基本的に狐地新田・稲吉新田と同様といえる。

(3) 森津・狐地新田

「森津・狐地新田」という大項目を設けたが、こうした項目を要する理由は、武田家における組織認識や新田認識と深く関係する。この点にも留意しながら、ここでの中項目、庄屋と支配人について確認したい。

支配人に関する文書は、天保3年(1832)から明治期にかけてみられる。具体的には「森津新田・狐地森津分両新田惣扣地掟米取立帳」などといった内容の帳簿である。「狐地森津分」は「狐地新田市江分」と同意であり、ここには稲吉新田分も含まれる。つまり、森津新田、狐地新田、稲吉新田という3新田にまたがる帳簿が出現するのである。狐地と稲吉が一つの支配単位として存在することについては、先に指摘したが、この両新田と森津新田は、支配行政的には全く別個な存在であり、ひとまとまりに記録が作成される理由はない。ここで見られる帳簿は、基本的に地主制に関わる帳簿であり、地主制の展開に対応して合理的な帳簿のあり方を模索したとき、新田を越えた帳簿が出現したと見てよからう。いうまでもなく、そこには村という枠に納まらない地主制の展開があったわけである。村を越えて土地を所持する村外地主へ、支配人が提出する最終的な報告書は、村を越え関係する地所をすべて書き上げる形となる。ここでの帳簿はそうした地主へ提出された帳簿の控、あるいは下書と見られる。地主には名古屋の伊藤治郎左衛門、二井利左衛門などの名前が見られる。

庄屋に関する文書は、慶応3年(1867)、藩が村々から調達金を集めた際の帳簿であり、森津新田と狐地新田それぞれの徴収簿と一緒に綴られて存在する。これは森津新田・狐地新田の庄屋を務めた武田家が、地主から高に応じて調達金を徴収する際、村単位に作成した帳簿を、同一の内容のものとして一緒に綴り、徴収事務を進めたことによると見られる。そのため、異なる村の帳簿が、一緒に綴られたまま今日に伝えられたといえる。これらの文書を、それぞれの村の箇所位置付けることも可能であるが、村のあり方、地主制のあり方を反映した文書の残り方と解釈し、また、一緒に綴られている状況にも留意して、一つのまとまりとして、ここに編成した。

(4) 三稲外操出新田

三稲外操出新田の項目のもとでは、開発、諸懸り、土地譲渡、掟米取立の項目を立てた。

三稲外操出新田は操出新田、または三稲外新田などとも記され、長良川の最河口、三稲新田の東側に位置する。明治3年(1870)9月、三稲新田海岸堤が暴風高潮で切れたのを機に、その再興との関連

で開発が進められた。それ以前は葭野であった。新田造成の世話役は、三稲新田庄屋政成新田大河内庄五郎が勤めたという。しかし、明治4年5月、暴雨のためほとんど完成していた海岸堤が切れ、明治5年入植者を募るが、人は容易に集まらなかった。明治15年の地籍図には地主総代として「佐野治郎・武田鏡治郎・蟹江史郎・佐野国弘・絹川忠衛・佐久間代輔などの名前が見え、大正15年（1926）には、50戸、302人を数えるにいたる。『弥富町誌』などからは、以上のような事情が明らかとなるが、従来、具体的な状況は不明であった。

しかし、本文書からは、武田家が新田開発に出資し、さらに明治4～6年にかけて、新開庄屋を吉田平左衛門とともに勤めたことが明らかである。また、武田宛の手紙が「新開会所」（明治4年8月）宛で見られる。さらに、年不明であるが、「新開御役人武田哲次郎」といった記載も見られる（No.1415-86）。史料には、開発への出資者との通信文も多く、それらからも武田家が庄屋であると同時に支配人としての機能も有していたことが明らかである。したがって、本文書群は庄屋・戸長・支配人の3つの柱のもとに編成する必要があったが、書状類が多く判断がつき兼ねるものが多数に及ぶため、前述の項目を立てた。

なお、同人がいつまで庄屋・戸長などを務めたものか、この点については確認できない。支配人としては、掟米取立帳が明治12年から19年にかけて確認でき、また、前述のごとく明治15年の地籍図に地主惣代として名前が見える点からもかわりを持ち続けたと見られる。

（5）輪中惣代

当該地域が輪中地帯であることは、既述したところであり、村々は共通する環境から組合を結成し、惣代を置いた。その実態については、輪中議定書や輪中村々書上といった文書が確認できないため、必ずしも明らかではないが、基本的には水防のための共同機能をベースにした組織と見てよからう。しかし、村と領主の間にあって次第に様々な機能をはたすことになる。その結果、のちの町村合併の折の枠組みともなるのである。

ところで、本目録には具体的な輪中名として、森津輪中（鎌島・松名・寛延・芝井・森津）などの名称が見られる（芝井輪中とも呼ばれる）。また、「三稲輪中惣代武田哲次郎」といった記載も見られるが、具体的な構成は不明である。残された史料は、その大半が森津輪中に関するものである。文書は長州戦争に伴う夫役編成に関わる史料と、普請関係史料からなる。

（6）御用

ここでは臨時的な御用に関するものを配置した。通常、臨時の御用などは庄屋の機能の一部として捉えられることが多かったが、これを庄屋の中に入れることは、百姓に期待された様々な社会的な機能、また、御用という方法そのものが有した歴史的意義を見失うことにもなる。御用は庄屋の機能と基本的に異なるものと考えこれを別項目とした。

具体的には、出入扱人、そして普請・治水関係の堤守役・堤見廻役、堤塘締役、蒲穂締役などの文書を取めた。

なお、ここで取り上げた普請関係の文書は、いずれも任免などに関するものである。本来であるならば、これらの職への就任に伴って作成された文書の特定が必要となるが、文書中に役職名が明記されぬため不可能であった。森津新田の普請関係、狐地新田の普請関係の文書などを精密に検討することが必要といえる。

また、ここに借財締役の項目を立てた。具体的には、鎌嶋新田木村忠右衛門の借財処理に関する史料である。武田家が蟹江史郎と務めた「借財締役」の性格が不明であるが、藩あるいは地域からの推挙によるものであることは間違いなからう。

(7) 家

家では、領主・公職・家格・記録・家計・土地・地主・経営・諸務・親族・信仰の項目を立てた。

領主との関係では、藩から苗字帯刀を認められた折の申渡がある。これは庄屋役に関係するものである。

公職に関係しては、臨時的なものに限ってあげたが、農事通信関係の書類がまとまっている。武田哲次郎は、明治11年、愛知県勸業課附属農事通信者に委嘱され、稲作の景況などに関する報告書を県に提出した。しかし、翌年には眼病を患い免職を愛知縣令安場保和宛に提出している。2年ほどの勤めであるが、比較的良好に史料が揃っている。また、武田誠一は明治21年から翌年にかけて「森津外八ヶ村聯合改良米組合」の副頭取を務めたことも確認できる。

家格・由緒に関わるものは、近世後期、藩役人に提出した控である。普請関係などの臨時御用を積極的に勤めたことと、由緒書の作成は関連すると見られる。家日記も幕末より明治20年代にかけて現存する。

家計に関わるものでは、金銭出納帳・差引帳・諸入費日記・勝手諸事覚・米蔵出入・金銭支払手形・人足帳・奉公人・蔵普請関係の史料が、やはり明治期が中心であるが、比較的良好に残っている。

資産関係は、大規模な地主経営を行なったにも関わらず、それらの決算簿が見られない。断片的なもの、または田地の売買などに関するものに限られる。

新田開発に関するものは少なくない。森津新田・狐地新田などで、庄屋役を務めるのも、武田家にとっては広い意味で、新田経営の内ではなかったかという感もある。ここでは、丸山葭野新開・稲荷外新開などの史料を示した。

また、地主経営に関係しては、明治32年7月の「森津永小作権被告并拵米請求原告訴訟賃計算帳」が見られる。史料館に譲渡された武田家文書の下限もほぼこの時期である。

金銭貸借では、金子借用証文などが主である。幕末には武田家も狐地新田の田畑をすべて担保とするなど、大規模な資金調達を行なっている。理由が不明であるため、ここに納めたが、三稲外操出新田への出資も考えられるところである。また、養子誠一の実家との間での金銭貸借も確認できる。

「諸務」という項目を設けたが、ここではコヨリなどで一括され、庄屋・支配人・家文書の混在するものを収めた。本来であるならば、しかるべき箇所に配置することも考えられたが、こうした内容のものが、一括されるという状況も一つのあり方と考えここに示した。

なお、ほかに親族と見られる者との間での書簡の往復、信仰などに関するものが若干ある。

〈参考文献〉

- ・『弥富町誌』(通史編)(1995年、弥富町)
- ・『弥富町誌』(村絵図編)(1990年、弥富町)
- ・『弥富町誌』(資料編1)(1991年、弥富町)
- ・『弥富町誌』(資料編2)(1993年、弥富町)

本書には、当館が所蔵する武田家文書も収録される。ことに天保15年の武田家由緒書は、同家の活動や様々な役職への就任状況を知る上でも有用な情報である。

- ・林董一著『近世名古屋商人の研究』(1994年、名古屋大学出版会)

森津新田の村外地主の一人である伊藤治郎左衛門の性格の一端については同書を参照した。

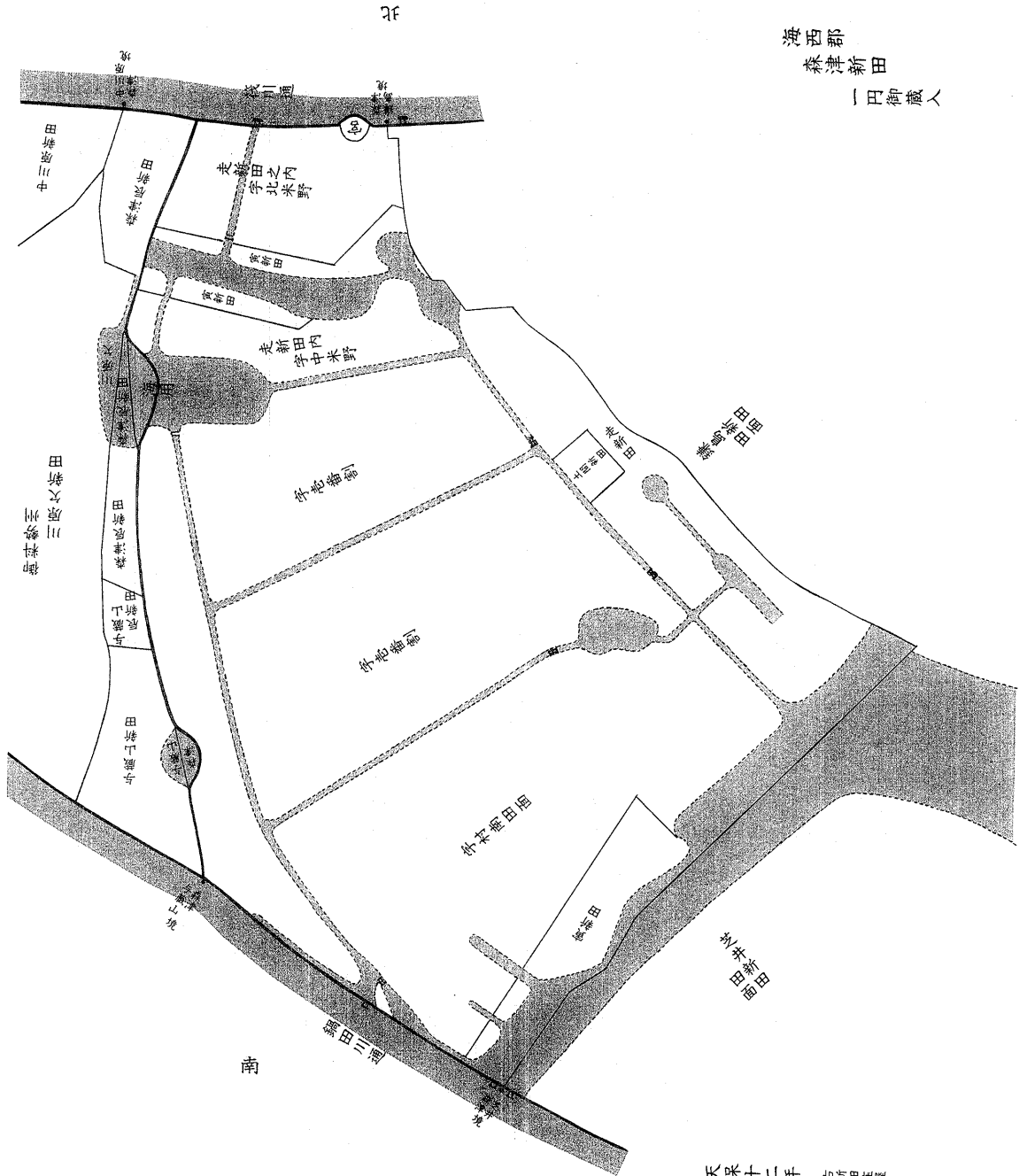
- ・「尾張徇行記」(『名古屋叢書続編』第8巻)

第4表 佐屋代官一覧

氏名	就任 (西暦)		退任 (西暦)		備考
	就任	退任	就任	退任	
小笠原九郎右衛門	天明元・5・23	1781	天明3・8・5	1783	
飯沼定右衛門	天明3・8・5	1783	寛政元・12・1	1789	
橘田長七郎	寛政元・12・1	1789	寛政11・2・8	1799	
太田文左衛門	寛政11・2・8	1799	文化元・10・27	1804	太田代官病中 真鍋茂太夫代役
長坂萩助	文化元・10・27	1804	文化2・閏8・4	1805	
金森市之進	文化2・閏8・4	1805	文化5・閏6・5	1808	
岡勝右衛門	文化5・閏6・5	1808	文政元・5・10	1818	
石川小兵衛	文政元・5・10	1818	文政6・11・26	1823	
馬場九八郎	文政6・11・26	1823	文政10・10・22	1827	
三沢喜右衛門	文政10・10・22	1827	文政12・6・26	1829	
織田大助	文政12・6・26	1829	天保4・6・24	1833	
大森庄九郎	天保4・6・24	1833	天保4・7・26	1833	
矢野藤九郎	天保4・10・10	1833	天保8・10・9	1837	
水野篤助	天保8・10・9	1837	天保10・6・19	1839	
(朝田藤三郎)	天保10・6・19	1839	天保10・8・20	1839	跡役決定まで 大代官代
小山清次郎	天保10・8・29	1839	天保11・9・7	1840	
(朝田藤三郎)	天保11・9・7	1840	天保11・11・4	1840	跡役決定まで 大代官代
三村平六	天保11・11・4	1840	天保15・1・28	1844	
児玉定一郎	天保15・1・28	1844	弘化4・11・21	1847	
吉田助次郎	弘化4・11・21	1847	嘉永4・4・16	1851	
山田貫一郎	嘉永4・4・16	1851	安政5・12・29	1858	
須賀井重五郎	安政5・12・29	1858	安政6・12・18	1859	
一色庄左衛門	安政6・12・18	1859	文久2・12・18	1862	
岡田喜太郎	文久2・12・18	1862	文久3・1・27	1863	
金森五郎兵衛	文久3・1・27	1863	慶応元・7・19	1865	
岡崎新吾	慶応元・7・19	1865	慶応2・12・26	1866	
上田喜兵衛	慶応2・12・26	1866	慶応4・5・14	1868	
天野勘太夫	慶応4・5・14	1868	明治2・2・25	1869	
山内滝江	明治2・2・25	1869	明治3・3・12	1870	
安井喜一	明治3・3・12	1870	明治4・7月	1871	

(出典：『佐屋町史』169頁より転載)

天保12年森津新田絵図



海西郡
森津新田
一田御蔵人

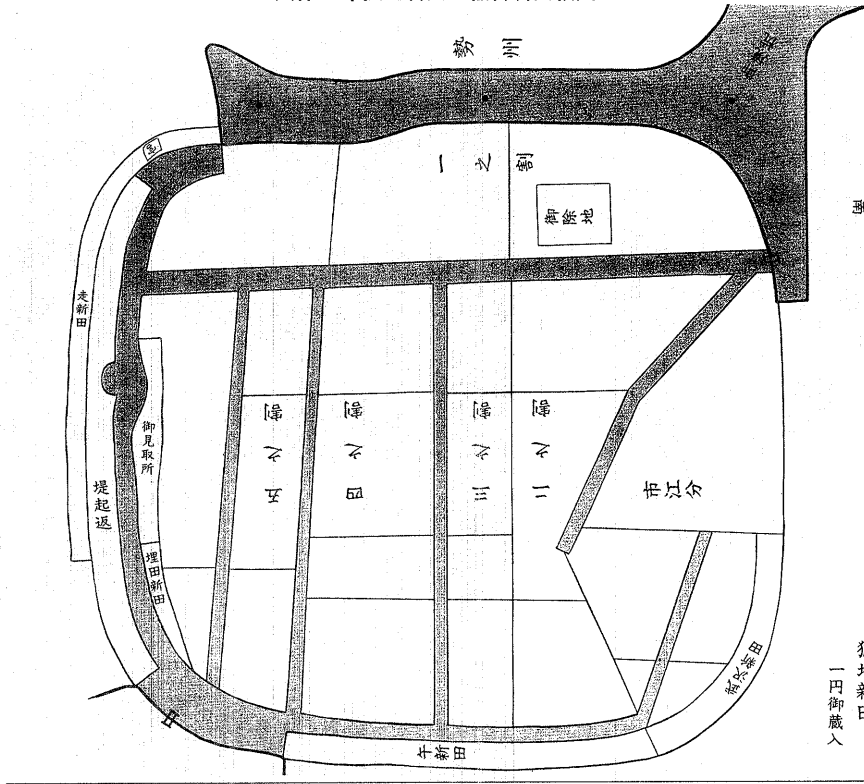
天保十二年 新田産
五月八月 武田澤右衛門 (印)

(出典：『弥富町誌』村絵図編55頁)

天保12年狐地新田・稲吉新田絵図

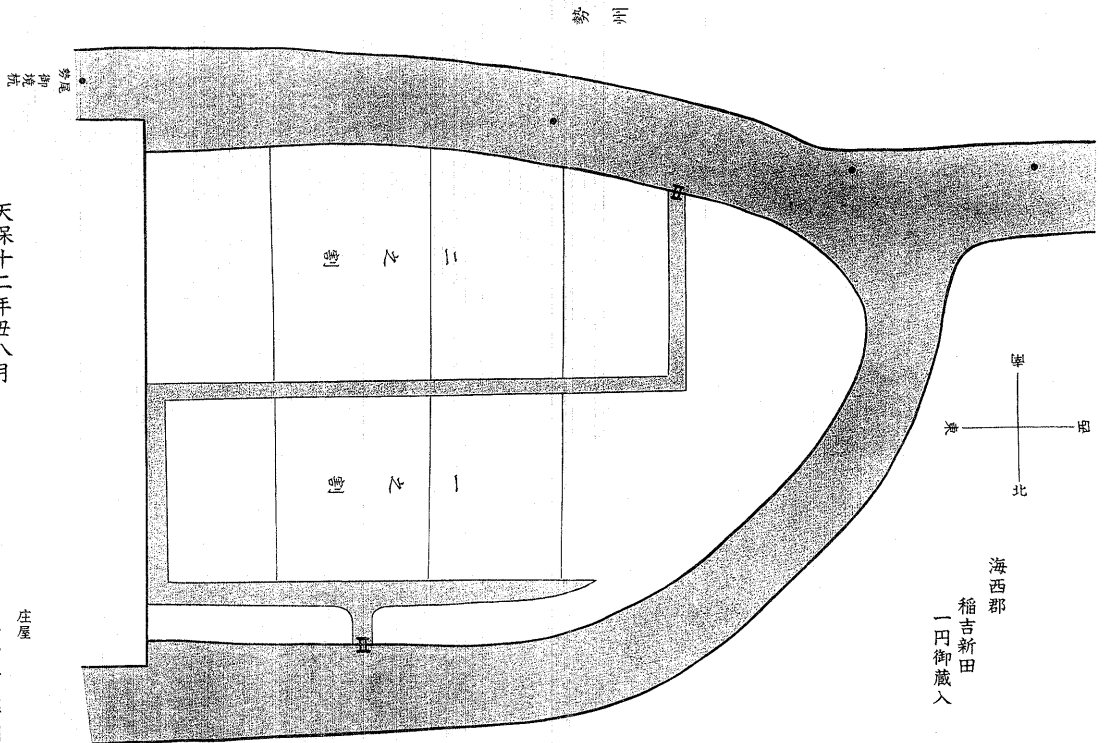
天保十二年丑八月

庄屋
吉田平左衛門(印)



天保十二年丑八月

庄屋
吉田平左衛門(印)



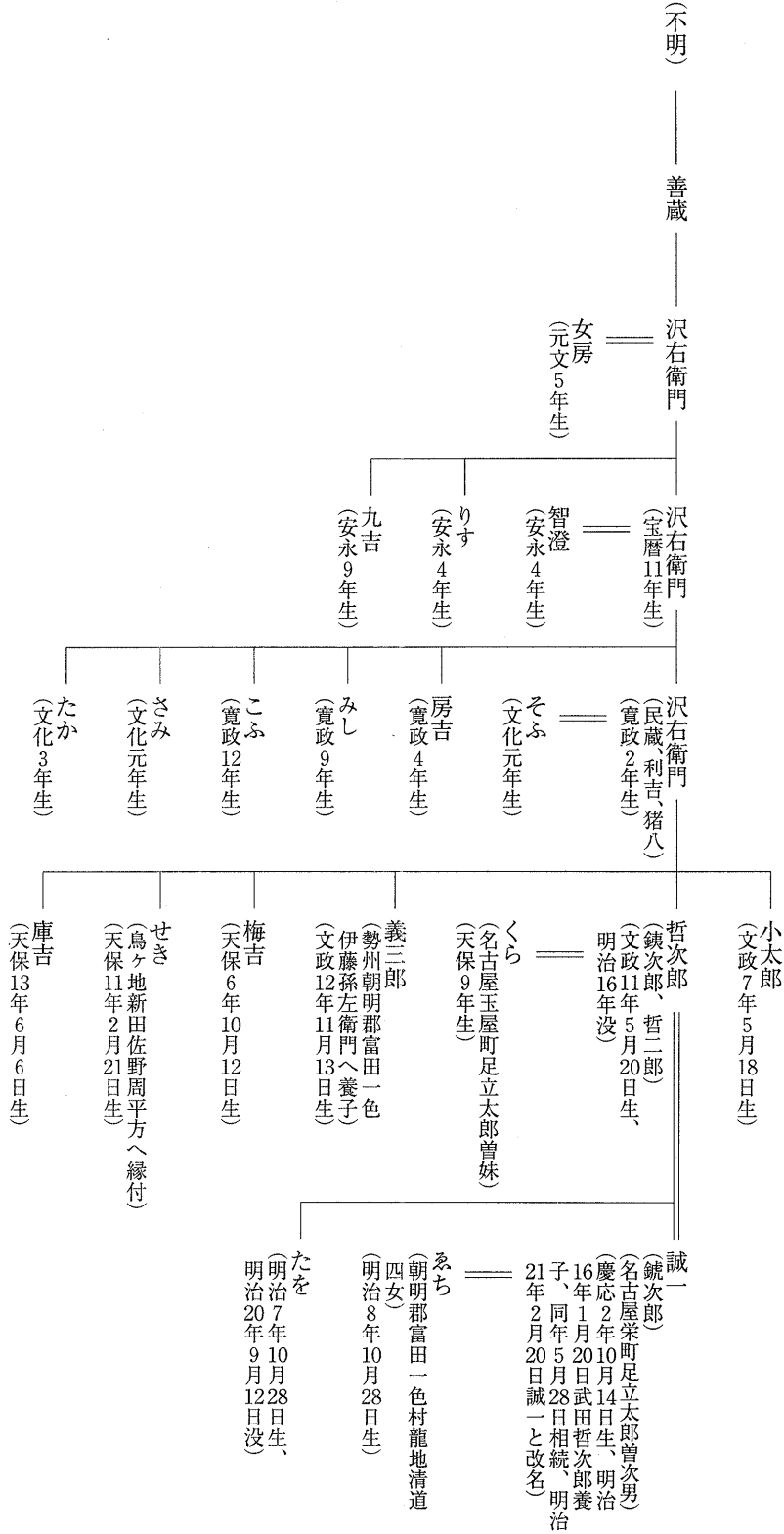
(出典：『弥富町誌』村絵図編69、89頁)

武田家文書関係地絵図



(出典：弥富町役場「弥富町全図」より部分転載)

武田家略系図



(出典「宗門人別改帳」、「永代帳」(No.〇五三九)、「悪水路故障解除訴訟12ヶ村関係書類」(No.一二九三))

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

森津新田／庄屋／領主

触書

(御料国中在々にて一所不住の者取締につきお尋ね) 山田作之右衛門	(寛文7カ) 未3月18日	縦継紙・1通	1351
(領内法度二十一箇条) 本多久兵衛・小山市兵衛・遠山 傳十郎	寛文7年未9月	縦継紙・1通	1356
覚(吉利支丹宗門禁止五か条申渡)	(享保元年カ)申5月8日	縦継紙・1通	1272
(宝暦元年御国奉行所村方取締触書写) 海西郡森津新 田	宝暦2年申正月吉祥日	半・1冊<15丁>	0903
簡略触之写(宝暦9年御国奉行所百姓相統方触書)	文政4年正月28日写取	半・1冊<12丁>	0914
書付を以申上候覚(米穀高値他国売買停止につき村方 百姓連印請書) 井兵衛外61名→武田沢右衛門様	天保5年午5月	半・1冊<4丁>	1529
(領内百姓法度) 御国奉行所	卯7月	縦継紙・1通	1352
覚(吉利支丹宗門改方申渡)	巳正月27日	縦継紙・1通	1273
御請書(祭礼・休日の触申渡につき請書) 海西郡森 津新田庄や武田沢右衛門、組頭久左衛門→御国方御役所 寺沢平三郎、堀田曾左衛門	(未8月)	半・1冊<5丁>	0625
(村方取締条々)	酉5月	半・1冊<2丁>/ (7点一綴)	0662-2
演舌書(二条様御製薬売払いにつき押売など不法取締 の旨通達) →鎌嶋新田木村忠右衛門、森津新田武田沢 右衛門	戌4月	横切継紙・1通	1061
(天和2年・正徳4年浦々高札写)		半・1冊<13丁>	0916

触留

当丑年御触状留帳	宝暦7年正月吉日	横長半・1冊<17 丁>	0587
[]正月より御触状留 海西郡森津新田	宝暦14年	半・1冊<65丁>	0586
亥年御触留帳 海西郡森津新田	明和4年正月吉日	半・1冊<68丁>	0588
卯年御触留帳 森津新田	明和8年正月吉日	半・1冊<58丁>	0589
午御触状留帳 森津新田	安永3年正月吉日	半・1冊<43丁>	0591
(御触留帳)(前後欠)	(安永8年)	半・1冊<75丁>	0590
卯とし御触状写(後欠) 森津	天明3年	半・1冊<108丁>	0592
御触状留帳	享和4年子2月より	半・1冊<44丁>	0593
御触状留(後欠)	文化7年午正月	半・1冊<54丁>	0594
御触状留	文化13年子10月ヨリ辰 (文政3) 春まで	半・1冊<123丁>	0595
御触状留	文政11年子正月ヨリ同 12年丑年マテ	半・1冊<119丁> /(野紙)	0596

(森津新田御用留)	年不詳	縦継紙・5点	1361
願書・願書留			
午年より御願留記 森津	天明6年2月日	半・1冊<50丁>	0634
(森津新田願書など綴)	(江戸後期)	一綴<34丁>	1299
(森津新田願書など綴)	(江戸後期～明治11年)	一綴<19丁>	1300
(森津新田願書など綴)	(江戸後期)	一綴<35丁>	1301
(森津新田願書など綴)	(明治前期)	一綴<22丁>/ (野紙)	1302
乍恐奉願上候御事 (勢州桑名郡川原欠新田での芝居興行差止願) 尾州御領海西郡森津新田庄屋武田沢右衛門→笠松御郡代官所	丑正月	縦紙・1通	1106
乍恐奉願上候御事 (勢州桑名郡川原欠新田での芝居興行差止願) 海西郡森津新田庄屋武田沢右衛門→田宮仙右衛門様	丑正月	縦紙・1通	1107
届			
海西郡森津新田品々書上ヶ帳 (控) (森津) 新田庄屋 角左衛門・沢右衛門→磯村藤七郎様	宝暦9年卯4月	半・1冊<9丁>	1276
海西郡森津新田家并下改帳	天明元年丑6月	横長半・1冊<12丁>	0506
森津新田二有之候船数帳 (控) 森津新田庄屋武田沢右衛門→御船手役所	文化13年子2月	半・1冊<4丁>	0629
乍恐御達申上候 (天保4年取建郷蔵現存しない旨届) 右新田惣代鎌嶋新田木村忠右衛門外1名→三村平六様御陣屋	(天保13年) 寅8月	縦紙・1通	1112
(天保13年新田地主別年貢・三役銀・諸入用米差引米高書上) 森津新田庄屋武田沢右衛門→永田太助様、水谷就八様	(天保14年) 卯3月	半・1冊<5丁>/ (6冊一綴)	0668-1
川添村々開発高成高町数年曆取調書面 (御役所より依頼につき)	文久2年戌11月	半・1冊<43丁>	0620
(大野綿屋新田・稻荷新田ほか取立由来届)		縦継紙・1通	1366
御初穂米上納			
(5年間手作初穂米差上願御聞届につき申渡) 海西郡 鯛浦村服部治左衛門外31名	天保14卯年11月	横切継紙・1通	1046
(5年間手作初穂米差上願御聞届につき申渡) 海西郡 鯛浦村服部治左衛門外31名→御奉行長野久兵衛様、吟味役岡田喜太郎様、支配勘定早川曾左衛門様	天保14卯年11月	横切継紙・1通	1047
領主御用			
○御借財片付方			
米金納拂内訳 (藩財政)		美・1冊<14丁>/ (2冊一綴)	1021-1
米金御納拂之訳 (藩財政)		美・1冊<5丁>	1021-2

惣御借財大法積（藩財政）		美・1冊<6丁>	1022
御借財献金一卷（藩財政）	安政3年辰7月	袋（14点入）	1023
（森津新田高反別地主所持高書上）（森津）新田庄屋 武田沢右衛門、同所組頭善八→三村平六様御陣屋	（天保14年）卯6月	半・1冊<3丁>／ （2冊一綴）	1023-1-1
（森津新田高書上）（森津新田）庄屋沢右衛門、同所組 頭善八	（天保14年）卯6月	半・1冊（8丁）	1023-1-2
（申年分森津新田上納残金控）（森津）新田庄屋武田 哲二郎→一色庄左衛門様御陣屋	（文久1年）酉8月	縦紙・1通／（2点 一綴）	1023-2-1
乍恐御請書奉差上候御事（借財方片付けにつき上納金 割当）（森津）新田庄屋武田沢右衛門、同所同断哲二 郎、同所与頭善八、同所与百姓円蔵→山田貫一郎様御陣 屋	（安政4年）巳11月	半・1冊<5丁>／ （虫損大）	1023-2-2
乍恐御請書奉差上候御事（借財方片付けにつき上納金 割当）（森津）新田庄屋武田沢右衛門、同所同断哲二 郎、同所与頭善八、同所与百姓円蔵→山田貫一郎様御陣 屋	（安政3年）辰10月	半・1冊<6丁>	1023-3
戌十一月改文久二戌年より年々上納巨割	巳11月	半・1冊<3丁>／ （2冊一綴）	1023-4-1
安政戌巳年上納割賦	安政4戌巳年	横長半・1冊<3丁>	1023-4-2
乍恐御請書奉差上候御事（森津新田上納金人別割合）	巳11月	半・1冊<5丁>	1023-5
（御借財金60万両の内佐屋陣屋割当内訳）		縦紙・1通	1023-6
乍恐御請書奉指上候（借財方片付けのため上納金引受） 御呼出代惣代連名印→山田貫一郎様御陣屋	（安政3年）辰9月	半・1冊<2丁>	1023-7
乍恐御達奉申上候（借財引受献金につき）森津新田 庄屋武田沢右衛門、同哲二郎→山田貫一郎様御陣屋	（安政5年）午正月	縦紙・1通	1023-8
乍恐御請書奉差上候御事（借財引受献金につき） 森津新田庄屋武田沢右衛門→山田貫一郎様御陣屋	（安政5年）午正月	縦紙・1通	1023-9
乍恐奉願上候御事（借財御仕法立につき）海西郡惣 代荷之上村服部弥兵衛、平嶋新田服部市兵衛、又八新田 大島又八、海東郡惣代佐屋村加藤五左衛門、津辺村井沢 佐助、須賀村大河内竹右衛門→山田貫一郎様御陣屋	（安政3年）辰8月	半・1冊<2丁>	1023-10
（海東・海西郡家数・人数・割当金高書上ほか）（前後 欠）		半・1冊<4丁>	1023-11
政成新田・朝日新田分弁納金高割符覚		半・1冊<4丁>	1023-12
乍恐御請書奉指上候御事（御借財方片付け上納金割付 狐地新田・同走新田分）（前後欠）		半・1冊<6丁>	1023-13
乍恐御請書奉差上候（御借財方片付けのため上納金西保 村ほか52村分割合）	辰9月	半・1冊<8丁>／ （2冊一綴）	1023-14-1
（西保村ほか54村庄屋・組頭・高持など書上）		横長半・1冊<4丁>	1023-14-2
御借財御請高村々引分調上帳 海西郡	安政3辰年9月26日ヨリ 至27日	横長半・1冊<17 丁>	1029
御借財御請高村々高・家別引分元帳 海西郡	安政3年辰9月	横長半・1冊<16 丁>	1026
御借財金引受高之内抱金集帳 森津新田庄屋所	安政3年辰11月	横長美・1冊<3丁>	1024
御借財金引受高之内抱金集帳 森津新田庄屋所	安政4年巳11月	横長美・1冊<3丁>	1025

越高江付差上金内抱年々集通 森津新田	安政5年より	横長美・1冊<7丁>	1028
越高江付差上金内抱年々集通 森津新田庄屋	文久2戌年より	横長美・1冊<4丁>	1027
(御借財減筋につき金10両を10か年間1両宛差上願聞届) →森津新田武田沢右衛門	6月	巻紙・1通	1037
○調達金			
覚(調達金21両受取上納) 飯定右衛門→森津新田竹田沢右衛門・兵藏	(天明4年カ) 辰2月	横切継紙・1通 / (6点一綴)	1081-1
覚(調達金33両内訳) 森津輪中五ヶ村(鎌島・松名・寛延・芝井・森津)惣代武田沢右衛門→橘田長右衛門様	(寛政3年) 亥1月16日	堅紙・1通 / (虫損大)	1081-2
(元金・利金5両余内訳) 森津新田武田沢右衛門、兵藏		堅紙・1通	1081-3
(寛政3年調達金元金・利金覚) 武田沢右衛門	(寛政3年)	堅紙・1通	1081-4
(天明2年調達金元金・利金覚) 森津武田沢右衛門、兵藏	(天明2年)	堅紙・1通	1081-5
調達金御証文(寛政4年改め、包紙として利用か)	(寛政4年改)	堅紙・1通	1081-6
乍恐御尋ニ付奉申上候(天保12・弘化4・嘉永元・2年調達金狐地新田出金書上雛型)	丑4月	横切継紙・1通 / (6点一綴)	1399-1
(口地米高ほか覚)		小切紙・1通	1399-2
覚(森津新田くじ調達金額など陣屋へ届) 黒宮→武田様		横切継紙・1通	1399-3
(人別米合計)		横切継紙・1通	1399-4
(人別金銭書上覚)		横折紙・1通 / (虫損大)	1399-5
覚(くじ引調達金ほかにつき書状) 吉田平左衛門→武田沢右衛門様		横切継紙・1通	1399-6
鬮引調達金利足年々渡通 佐屋陣屋→森津新田	(天保13年) 寅11月	横折紙・1通 / (2点一綴)	0834-1
覚(調達金37両2分借上覚) 佐屋陣屋 / (奥裏書) 勘定所→海西郡森津新田金主共	天保12年丑12月	堅紙・1通	0834-2
鬮引調達御請取書付并御利足年々御渡之御通共 森津新田	天保13年寅11月	袋(2点入)	0834
○御講上納金			
御講御上納金割合集帳 森津村方	天保12年丑12月	横長半・1冊<5丁> / (2点一綴)	0410-1
(六人者地御講上納金勘定)		横長半・1冊<2丁>	0410-2
森津新田惣反別改帳	天保14年卯6月	横長半・1冊<3丁> / (2点一綴)	0436-1
御講ニ付惣反別改帳 森津新田	天保12年丑10月	横長半・1冊<6丁>	0436-2
救恤			
○窮民書上			
当村方窮民書上帳 森津新田庄や沢右衛門、与頭久左衛門→飯沼定右衛門様	天明7年未4月	半・1冊<6丁>	0615

○種粃拝借

(御陣屋下り勘定書共種初代一卷綴)	(明治元～3年)	7点一綴 (袋付)	0875
種初代金取替集帳 森津新田庄屋所	明治元年辰11月	横長半・1冊<4丁>	0875-1
種初代金割戻帳 森津新田庄屋所	明治3年5月	横長半・1冊<4丁>	0875-2
覚 (森津ほか新田別渡金・内入用差引金受取)		横長半・1冊<2丁>	0875-3
覚 (新田別謝礼割合)		横折紙・1通	0875-4
(新田別金額覚)		縦紙・1通	0875-5
覚 (新田別入用割・御下金など覚)		縦紙・1通	0875-6
(御下金勘定)		横折紙・1通	0875-7

○夫食

亥年夫食割附帳 森津新田	安永8年8月28日夜受取	横長美・1冊<7丁>	0508
作食夫食借入割符帳 森津新田	天明3年卯3月17日	半・1冊<9丁>	0510
覚 (夫食割賦書上控) 森津新田庄屋武田沢右衛門、組頭久左衛門→小笠原九郎右衛門様	天明3卯4月	半・1冊<3丁>	0509
辰春夫食渡帳 森津新田庄屋	天明4年3月15日渡	横長半・1冊<4丁>	0505
夫食代取集帳 庄屋武田沢右衛門	天保8年酉5月	横長半・1冊<2丁>	0886
寅年拾ヶ村入用割賦集帳 (森津・鎌島・嶋名・松名・三井・寛延・間崎・稲森・狐地・稲吉・稲狐・三稲)	(慶応2) 寅年	横長半・1冊<4丁> ／ (8点一綴)	0887-1
卯年拾ヶ村入用割賦集帳	(慶応3) 卯年	横長半・1冊<4丁>	0887-2
辰年分拾ヶ村入用割賦集帳 森津	明治2年巳3月	横長半・1冊<5丁>	0887-3
御救米并高持より施米割 森津		横長半・1冊<4丁>	0887-4
拝借金割賦		横長半・1冊<3丁>	0887-5
(寅5月極困窮者・困窮者へ救米渡高など覚)		横長半・1冊<2丁>	0887-6
(新田別米割渡し高書上ほか)		横折紙・4通	0887-7
(困初代米の内より御救割当分など割賦)		横長半・1冊<3丁>	0887-8
(施物関係書類綴)	(慶応2～明治3)	半・24点一綴 (袋付)	0840
拝借金・救米代指引渡帳 (地主方) 森津新田庄屋	慶応3年卯5月	横長半・1冊<4丁> ／ (2冊一綴)	0883-1
(武田哲次郎ほか拝借金・救米代指引渡覚) 森津新田		横長半・1冊<2丁>	0883-2
御救一卷	慶応4年辰5月ヨリ	袋 (4点入)	0819
日数御夫食割賦		横長半・1冊<2丁>	0819-1
御小納戸より御救夫食割賦		横長半・1冊<2丁>	0819-2
(日数御夫食割賦)		横長半・1冊<2丁>	0819-3
(森津新田男女人数別夫食麦割当高書上)		縦切紙・1通	0819-4

拝借米一巻入	明治2巳年4月	袋 (3点入)	0813
御内々拝借仕御米之事 (森津・芝井・鎌嶋新田御米10石拝借証文) 木村小八郎・佐久間右馬之助・武田哲次郎→山内瀧江様御陣屋	明治2巳年4月	縦紙・1通	0813-1
乍恐御願奉申上候 (森津・芝井・鎌嶋新田難渋につき拝借米10石延納願) 森津新田庄屋武田哲次郎、芝井新田庄屋佐久間右馬之助、鎌嶋新田庄屋代木村小左衛門→山内瀧江様	(明治2年) 巳12月	縦紙・1通	0813-2
(加人足弁当米かし・拝借米勘定)	(明治2) 巳年	横折紙・1通／(4点一綴)	0813-3-1
拝借米升当り		小切紙・1通	0813-3-2
(拝借米村方渡差引覚) (後欠)		横切継紙・1通	0813-3-3
拝借米割賦		横切継紙・1通	0813-3-4
○拝借金			
御拝借金覚帳	安永2年巳3月6日	半・1冊<5丁>	1304
酉年利足取立帳	文政8年12月	横長半・1冊<20丁>	0421
丑年より名古屋 []	天明元年12月	横長半・1冊<24丁>／(2冊一綴)	0860-1
(名古屋借財銘々扣帳)		横長半・1冊<7丁>	0860-2
(海東・海西両郡家数人別改のうえ拝借金割賦勘定)		横長半・1冊<12丁>／(2冊一綴)	0893-1
差上金覚(森津新田外13か村拝借金10か年賦返納額覚)	安政4年巳11月	横長半・1冊<2丁>	0893-2
拝借金一巻入	慶応3卯年春	袋 (18点入)	0817
(森津新田ほか12か村当卯麦代金内金より拝借金差引書上)		半・1冊<3丁>	0817-1
(森津新田ほか12か村麦引当・年貢米引当金内訳) →右組惣代共江	3月	半・1冊<3丁>	0817-2
(村々拝借金願入用・浮浪人足賃割合の通り出金依頼) 森津	10月23日	横長半・1冊<2丁>	0817-3
別段拝借二付内入用		横折紙・1通	0817-4
別拝借二付内入用		横折紙・1通	0817-5
(武田哲次郎出府六度入用・出金・利足合計覚)		小切紙・1通	0817-6
(御救米願入用取替分受取ならびに講加入の件につき書状) 佐野→武田様		横切継紙・1通	0817-7
(拝借金取扱いにつき書状) 佐野治右衛門→武田哲次郎様	5月19日	横切継紙・1通	0817-8
(麦代金内金上納命令ならびに拝借金につき書状) 加藤五左衛門、鈴木四郎左衛門→佐野治右衛門殿、武田哲次郎殿	5月6日	横切継紙・1通	0817-9
覚 (拝借金406両勘定書)	卯5月	縦紙・1通	0817-10
(別段拝借金内願の件につき書状) 佐野→武田様	5月20日	横切継紙・1通	0817-11
(拝借預り米代救米など差引分受取につき書状)	6月22日	横切継紙・1通	0817-12

忠□→信良大人 (御礼出府につき書状) →武田君	5月18日	横切継紙・1通	0817-13
急キ廻章(拝借金割渡につき森津新田へ参集願) 佐野治右衛門・武田哲次郎→芝井外12村右村々御庄屋衆中	5月18日	横切継紙・1通	0817-14
(御勝手吟味役ほか名前書上)		横折紙・1通	0817-15
(拝借方経費受取につき書状) 服部市兵衛→武田哲次郎様	5月20日	横切継紙・1通	0817-16
(代官等役人へ礼金書上)		横折紙・1通	0817-17
(菓子折代金ほか覚)		巻紙・1通	0817-18
覚(笠松郡代官所金100両借上証文控) 常四郎・喜右衛門・丹五郎		縦紙・1通	1113
○施行			
覚(90歳の者へ長寿祝い米1俵支給につき申渡) 飯定右衛門	(天明5年) 巳12月	横切紙・1通	1044
乍恐御達申上候御事(長病の夫と息子を養うために乞食に出た女房ぬいの貞節褒賞) 森津新田庄屋武田沢右衛門→橋田長七郎様	(寛政10年) 午3月	半・1冊<2丁>	1530
(森津新田源吉後家ぬい貞実奇特成る者につき鳥目支給申渡) 太(田)文左衛門→海西郡森津新田庄屋武田沢右衛門	寛政11未年7月24日	横切継紙・1通	1070
(森津新田源吉後家ぬい貞実奇特につき鳥目3貫文支給申渡) 太文左衛門	(寛政11年) 未7月日	横切紙・1通	1036
(米価高直難渡の時節に窮民へ施し奇特につき申渡) →海西郡森津新田武田沢右衛門	天保午(5年) 12月9日	横切継紙・1通/ (5点こより括り)	1059-1
(窮民へ施物奇特につき紬1反遣わす旨申渡) →海西郡森津新田武田沢右衛門	天保11子年12月	横切紙・1通	1066
(窮民へ施物奇特につき銀1枚遣わす旨申渡) →海西郡森津新田武田沢右衛門	嘉永5子年11月	横切紙・1通	1065
(村方困窮の者へ鳥目・麦施し奇特につき酒代銀2朱支給申渡) →海西郡森津新田武田沢右衛門・円藏・兵藏	3月22日	横切紙・1通	1054

土地

検地

尾州海西郡森津新田御検地帳 村瀬彦左衛門外3名(案内者庄作・善九郎)	正保4年亥10月10日	美・1冊<56丁>	0567
尾州海西郡森津新田御検地帳(写) 村瀬彦左衛門外3名(案内者庄作・善九郎)	正保4年亥10月10日	半・1冊<56丁>	0566
尾州海西郡森津米野走新田御検地帳 南部安右代水谷弥次右衛門(案内庄作)	慶安3年寅ノ8月29日	美・1冊<12丁>	0569
尾州海西郡森津米野走新田御検地帳(写) 南部安右代水谷弥次右衛門外3名(案内者庄作)	慶安3年寅ノ8月29日	半・1冊<11丁>	0568
堤切口検地之目録(森津走新田反別ならびに年貢差引指示) 松井金右衛門、後藤半太夫(奥書) 小安左、平瀬重、渡半十→後藤半太夫殿、松井金右衛門	万治元年戌10月	縦紙・1通	1431

森津新田／庄屋
 土地／反別書上
 開發／走新田
 年貢／年貢取立勘定

尾州海西郡森津新田走分御検地帳 中野理右代永田新右衛門外1名 (案内寛左衛門)	寛文2年寅8月	美・1冊<7丁>	0570
海西郡森津辰新田検地帳 中西甚左・林又左代加藤仁右衛門外2名→海西郡森津新田庄屋・百姓	延享5年辰3月	半・1冊<6丁>	0574
海西郡森津辰新田検地帳 中西甚左・林又左代加藤仁右衛門外2名	延享5年辰3月	美・1冊<7丁>	0575
森津屋鋪検地改帳	宝暦11年辛巳2月吉祥日	横長美・1冊<16丁>／(2点一綴)	0388-2
海西郡森津土間新田検地帳 御勘定吟味役見習朝田藤吉、佐屋御代官岡勝右衛門 (案内武田沢右衛門) → (森津) 新田庄屋	文化6年巳3月	美・1冊<3丁>	0576

反別書上

北南堤添砂畑反 []	寛政6年寅12月朔日	横長美・1冊<4丁>／(表紙欠損)	0537
天保四巳五月三日佐屋御陣屋より御尋ニ付左之通達申上候留 (森津新田高・田畑内訳) 森津新田庄屋武田沢右衛門→織田大助様御陣屋	(天保4年) 巳5月	半・1冊<2丁>／(6冊一綴)	0668-4
乍恐御達申上候 (森津新田高・田畑内訳) 森津新田庄屋武田沢右衛門→三村平六様御陣屋	(天保12年) 丑3月	半・1冊<2丁>／(6冊一綴)	0668-3
天保十二年丑八月廿一日達扣 (新田地主別高・田畑書上) 森津新田庄屋武田沢右衛門、同所組頭善八→三村平六様御陣屋	(天保12年) 丑8月	半・1冊<2丁>／(6冊一綴)	0668-2
海西郡森津新田損亡書上帳 森津新田庄や沢右衛門→矢野藤助様 (森津新田高反別書上)	亥7月	半・1冊<4丁> 半・1冊<5丁>／(4点一綴)	0619 0660-2
寛 (森津新田・同走新田高・田方反別など書上)		竖継紙・1通	1101

開 発

走新田

乍恐奉願上候御事 (森津新田北堤外野走新開新田取立願) (森津) 新田庄屋角左衛門、同所与頭沢右衛門→富田八郎兵衛様	宝暦5年亥11月	竖継紙・1通	1365
乍恐奉願上候御事 (森津走新田起返り新開堤の土取場につき願) (森津) 新田庄屋角左衛門、同所同断沢右衛門→御普請御奉行所	宝暦7年丑3月	竖紙・1通	1247
乍恐奉願上候御事 (森津走新田起返り新開堤の土取場につき願控) (森津) 新田庄屋角左衛門、同所同断沢右衛門→御普請御奉行所	宝暦7年丑3月	竖紙・1通	1248

年 貢

年貢取立勘定

海西郡森津新田高田畑立毛附帳 庄屋武田沢右衛門	宝暦13年未9月	横長美・1冊<6丁>	0529-2
-------------------------	----------	------------	--------

森津新田口地附惣屋敷本立覚帳 庄屋武田沢右衛門	文政3年辰10月	／(4点一綴)	
(文化9年～文政4年年貢米御藏納高覚) 森津新田庄屋 武田猪八→石川小兵衛様御陣屋	(文政5年) 午6月	横長美・1冊<7丁>	0854
申年より戌年迄三ヶ年御年貢残取立帳	天保10年亥12月	半・1冊<6丁>	0672
屋敷并外畑御年貢取立帳	慶応2年寅12月	横長半・1冊<23丁>	0423
(年貢払居米受取状など綴) →(武田哲次郎)	(明治元年～)	横長半・1冊<17丁>	0425
ヶ所引米・苗代米・辰年屋敷并畑米入土場御年貢米割賦帳	明治2年巳12月調	5点一綴	1346
辰年御免割目録	辰年	横長半・1冊<7丁>	1339
御免割目録(後欠)		半・1冊<19丁>	0941
(森津走新田取米勘定)		半・1冊<8丁>/ (貼紙多数)	0940
		堅切継紙・1通	1096

年貢目録

巳年御年貢目録(佐屋陣屋受取共) (森津新田)	(文政4カ) 巳年	横折紙・1通/ (24通一綴)/ (貼紙あり)	0974-1
亥年御年貢目録(佐屋陣屋受取共)	(天保10カ) 亥年	横折紙・1通/ (貼紙あり)	0974-2
卯年御年貢目録(佐屋陣屋受取共)	(天保14カ) 卯年	横折紙・1通/ (貼紙あり)	0974-3
巳年御年貢目録(佐屋陣屋受取共)	(弘化2カ) 巳年	横折紙・1通/ (貼紙あり)	0974-4
丑年御年貢目録(佐屋陣屋受取共)	丑年	横折紙・1通/ (貼紙あり)	0974-5
辰年御年貢目録(佐屋陣屋受取共)	(安政3カ) 辰年	横折紙・1通/ (貼紙あり)	0974-6
午年御年貢目録(佐屋陣屋受取共)	(安政5カ) 午年	横折紙・1通/ (貼紙あり)	0974-7
巳年御年貢目録(佐屋陣屋受取共)	(安政4カ) 巳年	横折紙・1通/ (貼紙あり)	0974-8
未年御年貢目録	(安政6カ) 未年	横折紙・1通/ (貼紙あり)	0974-9
戌年御年貢目録(佐屋陣屋受取共)	(文久2カ) 戌年	横折紙・1通/ (貼紙あり)	0974-10
子年御年貢目録	(元治元カ) 子年	横折紙・1通	0974-11
丑年御年貢目録(佐屋陣屋受取共)	(慶応元カ) 丑年	横折紙・1通	0974-12
寅年御年貢目録(佐屋陣屋受取共)	(慶応2カ) 寅年	横折紙・1通/ (貼紙あり)	0974-13
卯年御年貢目録(佐屋陣屋受取共)	(慶応3カ) 卯年	横折紙・1通/ (貼紙あり)	0974-14

辰年御年貢目録	(慶応4カ) 辰年	横折紙・1通	0974-15
巳年年貢目録 (佐屋陣屋受取共)	(明治2カ) 巳年	横折紙・1通 / (貼紙あり)	0974-16
壬申貢米目録	(明治5カ) 壬申年	横折紙・1通	0974-17
午年御年貢目録	(明治3カ) 午年	横折紙・1通	0974-18
未年御年貢目録	(明治4カ) 未年	横折紙・1通	0974-19
記 (辛未入出米割渡)	(明治4カ) 辛未	横折紙・1通	0974-20
明治六年貢租目録	明治6年	明治6年	0974-21
甲戌貢租	(明治7カ) 甲戌	横折紙・1通	0974-22
寅年御年貢目録 (佐屋陣屋受取共)	寅年	横折紙・1通 / (貼紙あり)	0974-23
申年御年貢目録 (佐屋陣屋受取共)	申年	横折紙・1通 / (貼紙あり)	0974-24

陣屋年貢請取通

(森津新田御物成受取通綴) (藩役人)	(明和元年～天明8年)	横長美・20点一綴	0857
(森津新田御物成受取通綴) (藩役人)	(寛政2年～享和元年)	横長美・11点一綴	0858
(森津新田御物成受取通綴、天明元年狐地・稻吉新田御物成受取通を含む) (藩役人)	(享和2年～文政4年)	横長美・19点一綴	0859
文政六未年御物成之内於廣井御蔵請取通 青山山良八郎・神田藤八郎→森津新田	文政6年未 (11月10日～17日)	横折紙・1通 / (24通一綴)	0973-1
文政九戌年御物成之内於廣井御蔵請取通 馬場九八郎手附小川孫六・酒井忠左衛門・永田祐九郎→森津新田	文政9戌年 (11月17日～亥3月)	横折紙・1通 / (一部木版)	0973-2
文政十一子年御物成廣井御蔵請取通 三沢喜右衛門手附早川程五郎・小川孫六→森津新田	文政11子年 (11月5日～12月3日)	横折紙・1通 / (一部木版)	0973-3
天保九戌年御物成廣井於御蔵請取通 水野篤助手附永田市蔵・福井蔵輔→森津新田	天保9戌年 (12月5日～6日)	横折紙・1通 / (一部木版)	0973-4
天保九戌年御物成廣井於御蔵請取通 大代官手附天登伝五郎→森津新田	天保9戌年10月 (10月16日)	横折紙・1通 / (一部木版)	0973-5
天保十亥年御物成廣井於御蔵請取通 大代官手附佐合増次郎・佐屋御代官手附永田市蔵→森津新田	天保10亥年10月11日 (11月21日～24日)	横折紙・1通 / (一部木版)	0973-6
天保十三寅年御物成廣井於御蔵請取通 大代官新田八木仙次郎・佐屋御代官手附三浦梅太郎→森津新田	天保13寅年 (10月17日～12月7日)	横折紙・1通 / (一部木版)	0973-7
天保十四卯年御物成廣井於御蔵請取通 大代官方加藤七郎→森津新田	天保14卯年 (10月21日)	横折紙・1通 / (一部木版)	0973-8
天保十四卯年御物成廣井於御蔵請取通 大代官手附川嶋彦助→森津新田	天保14卯年 (12月3日～5日)	横折紙・1通 / (一部木版)	0973-9
弘化二巳年御物成廣井於御蔵請取通 児玉貞一郎手附鈴木為蔵・永田重三郎→森津新田	弘化2巳年 (11月6日～12月6日)	横折紙・1通 / (一部木版)	0973-10
嘉永六丑年御物成廣井於御蔵請取通 山田貫一郎手附石原代太郎・永田市蔵→森津新田	嘉永6丑年 (11月19日～12月7日)	横折紙・1通 / (一部木版)	0973-11
安政三辰年御物成廣井於御蔵請取通 山田貫一郎手附鈴木鐸之助→森津新田	安政3辰年 (12月9日～10日)	横折紙・1通 / (一部木版)	0973-12

安政五午年御物成廣井於御蔵請取通 鈴木鐸之助→海西郡森津新田	山田貫一郎手附	安政6未年(12月5日納)	横折紙・1通／ (一部木版)	0973-13
安政六未年御物成廣井於御蔵請取通 附□部作助・伊東忠治→森津新田	須賀井重五郎手	文久元寅年(12月10日 ～12日)	横折紙・1通／ (一部木版)	0973-14
文久元酉年御物成廣井於御蔵請取通 鈴木鐸之助→海西郡森津新田	佐屋御代官手附	文久元酉年(12月大晦 日納～戊正月9日)	横折紙・1通／ (一部木版)	0973-15
文久二戌年御物成廣井於御蔵請取通 大黒万左衛門・伊藤潤吉→森津村	佐屋御代官手附	文久2戌年(11月23日 納～12月8日納)	横折紙・1通／ (一部木版)	0973-16
文久三亥年御物成廣井於御蔵請取通 附永田啓次郎・松山文左衛門→森津新田	金森五郎兵衛手	文久3亥年(12月10日 納～15日納)	横折紙・1通／ (一部木版)	0973-17
元治元子年御物成廣井於御蔵請取通 附鈴木与一郎→森津新田	金森五郎兵衛手	元治元子年(翌カ1月 19日納～22日直し入)	横折紙・1通／ (一部木版)	0973-18
慶応元丑年御物成廣井於御蔵請取通 若田啓次郎→海西郡森津新田	岡崎新五郎手附	慶応元丑年(11月20日 納～22日納)	横折紙・1通／ (一部木版)	0973-20
慶応二卯年御物成廣井於御蔵請取通 羽田野又藏→森津新田	上田喜兵衛手附	慶応2卯年(12月17日)	横折紙・1通／ (一部木版)	0973-21
壬申貢米請取通 愛知県租税課吉田文光外5名→海西郡森津新田		(明治5年)壬申(11月 23日～明治6年1月14 日)	横折紙・1通／ (一部木版)	0973-22
癸酉貢金請取通 愛知県租税課今川親宗→海西郡森津新田		(明治6年)癸酉(翌カ 1月15日～4月25日)	横折紙・1通／ (一部木版)	0973-23
甲戌貢金請取通 愛知県租税課山田俊次郎→海西郡森津新田		(明治7年)甲戌(翌カ 2月17日～5月5日)	横折紙・1通／ (一部木版)	0973-24
(森津新田年貢金受取)		10月4日	横折紙・1通／(4 通一綴)	0995-2

年貢諸入用割賦

御年貢米諸入用割符目録	宝暦6年子12月	半・1冊<18丁>	0917
御年貢諸入用割符目録	明和7年寅12月	半・1冊<24丁>	0918
御年貢諸入用割賦帳 森津新田	文政元年寅12月	半・1冊<25丁>	0919
御年貢諸入用割賦帳 森津新田	文政6年未2月	半・1冊<20丁>	0920
御年貢諸入用割賦帳 森津新田	文政8年酉12月	半・1冊<20丁>	0921
御年貢諸入用割賦帳 森津新田	文政12年丑12月	半・1冊<20丁>	0922
御年貢諸入用割賦帳 森津新田	天保5年午12月	半・1冊<20丁>	0923
御年貢諸入用割賦帳 森津新田	天保9年戌12月	半・1冊<20丁>	0610
御年貢諸入用割賦帳 森津新田	天保10年亥12月	半・1冊<20丁>	0924
御年貢諸入用割賦帳 森津新田	天保14年卯12月	半・1冊<21丁>	0925
御年貢諸入用割賦帳 森津新田	弘化2年巳12月	半・1冊<20丁>	0926
御年貢諸入用割賦帳 森津新田	嘉永4年亥12月	半・1冊<20丁>	0927
御年貢諸入用割賦帳 森津新田	安政3年辰12月	半・1冊<20丁>	0928
御年貢諸入用割賦帳 森津新田	安政6年未12月	半・1冊<20丁>	0929
御年貢諸入用割賦帳 森津新田	万延元年申12月	半・1冊<19丁>	0848

御年貢諸入用割賦帳	森津新田	文久2年戌12月	半・1冊<21丁>	0930
御年貢諸入用割賦帳	森津新田	元治元年子12月	半・1冊<21丁>	0931
御年貢諸入用割賦帳	森津新田	慶応元年丑12月	半・1冊<21丁>	0932
御年貢諸入用割賦帳	森津新田	慶応2年寅12月	半・1冊<21丁>	0933
御年貢諸入用割賦帳	森津新田	慶応3年卯12月	半・1冊<21丁>	0934
御年貢諸入用割賦帳	森津新田	明治元年辰12月	半・1冊<9丁>	0935
御年貢諸入用割賦帳		明治2年巳12月	半・1冊<21丁>	0936
御年貢諸入用割賦帳		明治3年午12月	半・1冊<21丁>	0937
御年貢諸入用割賦帳		明治4年未12月	半・1冊<21丁>	0938
御年貢諸入用割賦帳		明治5壬申冬	半・1冊<18丁>	0939

年貢諸入用差引

御年貢諸入用差引帳	(森津新田)	天明3年卯12月	横長美・1冊<22丁>	0372
御歳貢諸入用差引帳	武田沢右衛門	天明4年辰12月	横長美・1冊<26丁>	0373
御年貢諸入用差引帳	(森津新田)	天明5年巳12月	横長美・1冊<20丁>	0377
御年貢諸入用差引帳	(森津新田)	天明6年午12月	横長美・1冊<19丁>	0376
御年貢諸入用差引帳	(森津新田)	天明7年未11月	横長美・1冊<16丁>	0375

年貢諸入用割付取集

御年貢諸入用割付取集帳	森津新田	明和6年丑12月	横長美・1冊<50丁>	0352
御年貢諸入用割符取集帳		天明元年丑12月	横長美・1冊<27丁>	0353
御年貢諸入用割賦取集帳	森津新田	天明2歳寅12月	横長美・1冊<30丁>	0354
御年貢諸入用割賦取集帳		天明3年卯12月	横長美・1冊<30丁>	0355

役銀諸入用取集

御役銀諸入用取集帳	森津新田武田沢右衛門	天保5年午12月	横長美・1冊<5丁>	0951
御役銀諸入用取集帳	武田沢右衛門	天保9戌年12月	横長美・1冊<5丁>	0952
御役銀諸入用取集帳	武田沢右衛門	天保10年亥12月	横長美・1冊<5丁>	0953
御役銀諸入用取集帳	庄屋武田沢右衛門	天保13年寅12月	横長美・1冊<5丁>	0954
御役銀諸入用取集帳	武田沢右衛門	天保14年卯12月	横長半・1冊<5丁>	0955
御役銀諸入用取集帳	森津新田武田沢右衛門	弘化2年巳12月	横長半・1冊<5丁> ／(2冊一綴)	0956-1

日掛銭（取集帳） 武田沢右衛門	弘化2年巳12月	横長半・1冊<3丁>	0956-2
御役銀諸入用取集帳 武田沢右衛門	嘉永3年戌12月	横長半・1冊<5丁>	0957
御役銀諸入用取集帳 武田沢右衛門	嘉永4年亥12月	横長半・1冊<4丁>	0958
御役銀諸入用取集帳 武田沢右衛門	嘉永6年丑12月	横長美・1冊<5丁>	0959
御役銀諸入用取集帳 森津新田庄屋	安政3年辰12月	横長半・1冊<5丁>	0960
御役銀諸入用取集帳 森津新田庄屋	安政5年午12月	横長半・1冊<5丁>	0961
御役銀諸入用取集帳 森津新田庄屋	安政6年未12月	横長半・1冊<5丁>	0962
御役銀諸入用取集帳 森津新田庄屋	万延元年申12月	横長美・1冊<5丁>	0963
御役銀諸入用取集帳 森津新田庄屋所	文久2年戌12月	横長美・1冊<5丁>	0964
御役銀諸入用集帳 森津新田庄屋所	元治元年子12月	横長半・1冊<5丁>	0965
御役銀諸入用集帳 森津新田庄屋所	慶応元年丑12月	横長半・1冊<5丁>	0966
御役銀諸入用集帳 森津新田庄屋所	慶応2年寅12月	横長半・1冊<5丁>	0967
御役銀諸入用集帳 森津新田庄屋所	慶応3年卯12月	横長半・1冊<5丁>	0968
御役銀諸入用集帳 森津新田庄屋場	明治元年辰12月	横長美・1冊<5丁>	0969
御役銀諸入用集帳 森津新田庄屋所	明治2年巳12月	横長半・1冊<7丁>	0970
御役銀諸入用集帳 森津新田庄屋所	明治3年午12月	横長半・1冊<6丁>	0971
御役銀諸入用集帳 森津新田庄屋場	明治4辛未12月	横長半・1冊<6丁>	0972
諸役銀下用米并下用共割合高		半・1冊<10丁>	0942

麦代目録

麦代目録（佐屋陣屋受取共）	元治元年子12月	半・1冊<3丁>／ （貼紙あり）	0943
麦代目録（佐屋陣屋受取共）	慶応元年丑12月	半・1冊<3丁>／ （貼紙あり）	0944
麦代目録（佐屋陣屋受取共）	慶応2年寅12月	半・1冊<3丁>／ （貼紙あり）	0945
麦代目録（佐屋陣屋受取共）	慶応3年卯12月	半・1冊<2丁>／ （貼紙あり）	0946
麦代目録（佐屋陣屋受取共）	慶応4年辰	半・1冊<3丁>／ （貼紙あり）	0947
麦代目録（佐屋陣屋受取共）	明治2巳年	半・1冊<2丁>／ （貼紙あり）	0948
麦代目録	明治3午年	半・1冊<2丁>	0949
麦代目録	明治4辛未	半・1冊<2丁>	0950

諸役銀など受取

（森津新田分払居差米代など受取） 佐屋陣屋→（森津新田庄屋）	（明治年間カ）	小切紙・1通	0980
（森津新田当子年分年貢金餅米代・大豆代など受取）	子12月	小切紙・1通	0981

森津新田／庄屋／年貢／年貢舟積差引

佐屋陣屋→森津新田			
(森津新田卯年分佐屋陣屋納代など書上) →森津新田	卯10月	小切紙・1通	0985
(森津新田麦代・伝馬銀受取綴) 佐屋陣屋→森津新田 村庄屋	(辰6月ほか)	小切紙・5点一綴	0978
(森津新田当巳年伝馬銀受取) 佐屋陣屋→森津新田	巳10月	小切紙・1通／(6 通一綴)	0992-1
(森津新田当巳年伝馬銀の内受取) 佐屋陣屋→森津新 田	巳6月	小切紙・1通	0992-2
(森津新田当巳年堤銀受取) 佐屋陣屋→森津新田	巳12月	小切紙・1通	0992-3
(森津新田当巳年麦代の内受取) 佐屋陣屋→(森津新 田) 庄屋	巳5月	小切紙・1通	0992-4
(森津新田当巳年麦代受取) 佐屋陣屋→(森津新田) 庄屋	巳6月	小切紙・1通	0992-5
(森津新田当巳年夫銀受取) 佐屋陣屋→森津新田	巳2月	小切紙・1通	0992-6
(森津新田餅米・大豆代など受取) 佐屋出張所→森津 新田	午11月	巻紙・1通	0986
(森津新田餅米代・大豆代など受取) →森津	未12月	小切紙・1通	0984
(森津新田米俵数・賃銭内金など受取覚) →森津新田	正月19日	堅切紙・1通	0991
(森津新田御払居米など覚) →森津新田		小切紙・1通	0988
(森津新田・芝井新田切米書上)(断簡) 森津新田・寛 延新田		堅切紙・1通	0994
(芝井新田納代など覚)		小切紙・1通	0987
(稲元・森津新田ほか新田別石高書上)		小切紙・1通	0993
(森津新田金銭戻り受取) (御蔵・日雇頭取締方請取) →森津新田		小切紙・1通	0990

年貢舟積差引

御年貢舟積差引帳 (森津新田)	天明8年申12月12日	横長美・1冊<17 丁>	0374
亥歳御年貢船積帳	天保10年12月	横長美大・1冊<34 丁>／(2冊一綴)	0043-1
戌歳御年貢船積帳	天保9年12月	横長美大・1冊<32 丁>	0043-2
酉年御年貢船積帳	嘉永2年12月	横長半・1冊<38 丁>	0023
戊年御年貢船積帳	嘉永3年12月	横長半・1冊<34 丁>	0024
亥年御年貢船積帳	嘉永4年12月	横長半・1冊<38 丁>	0025
子年御年貢船積帳	嘉永5年12月	横長半・1冊<35 丁>	0026
丑年御年貢船積帳	嘉永6年12月	横長半・1冊<36 丁>	0027

寅年御年貢船積帳	嘉永7年12月	横長半・1冊<34 丁>	0028
卯歳御年貢船積帳	安政2年12月	横長半・1冊<34 丁>	0029
辰歳御年貢船積帳	安政3年12月	横長半・1冊<35 丁>	0030
巳年御年貢船積帳	安政4年12月	横長半・1冊<32 丁>	0031
午歳御年貢船積帳	安政5年12月	横長半・1冊<33 丁>	0032
未年御年貢船積帳	安政6年12月	横長半・1冊<32 丁>	0033
申歳御年貢船積帳	万延元年12月	横長半・1冊<32 丁>	0034
酉年御年貢舟積帳	文久元年12月	横長半・1冊<32 丁>	0035
子歳御年貢舟積帳	元治元年12月	横長半・1冊<33 丁>	0036
寅年御年貢舟積帳	慶応2年12月	横長半・1冊<33 丁>/ (2冊一綴)	0037-1
寅年未進米取立帳	慶応3年卯12月	横長半・1冊<6丁>	0037-2
卯年御年貢船積帳	慶応3年12月	横長半・1冊<33 丁>	0038
巳年御年貢舟積帳	明治2年12月	横長半・1冊<33 丁>	0039
午年御年貢舟積帳	明治3年12月	横長半・1冊<30 丁>	0040
辛未御年貢船積帳	明治4年12月	横長半・1冊<30 丁>	0041
壬申貢米舟積帳	明治5年12月	横長半・1冊<29 丁>	0042

諸 役

役 銀

○柳枯草銀 (森津新田分当寅年柳枯草場所改極銀上納割) 上田 伴右代蘭田利左衛門、箕影善左代鈴木武左衛門→ (森津) 新田庄屋組頭中	享保7年寅11月	横折紙・1通/ (4 通一綴)	0995-3
堤柳枯草銀割符	宝暦5年12月	横長美・1冊<9丁> / (4点一綴)	0551-1
堤柳枯草銀割符	宝暦12年午12月	横長美・1冊<9丁>	0551-2
御上納割附 (堤柳枯草銀)	天明7年11月24日	横長美・1冊<9丁>	0551-3
枯草銀割付		横長美・1冊<4丁>	0551-4

森津新田／庄屋／諸役

巳年枯草集帳		天明5年12月	横長半・1冊<10丁>	0356
未より年々柳枯草取集帳	森津新田	文政6年11月	横長半・1冊<10丁>/ (2点一綴)	0359-1
申より年々柳枯草採集帳	森津新田	文化9年11月	横長半・1冊<9丁>	0359-2
子より年々柳枯草取集帳	森津新田	文政11年11月	横長美・1冊<14丁>	0361
寅より年々柳枯草取集帳	森津新田	天保13年11月	横長半・1冊<15丁>	0357
柳枯草銀御上納堤間数改扣帳	森津新田庄屋武田沢右衛門・同哲次郎、組頭善八、惣代円蔵・兵蔵外3名	安政5年午8月	横長美・1冊<16丁>	0360
○船役銀				
御役銀附船数之覚(控)	森津新田庄屋武田猪八、同所組頭久左衛門	文化14年丑11月	半・1冊<2丁>/ (2冊一綴)	1297-1
御役銀不相勤船数之覚(控)	森津新田庄屋武田猪八、同所組頭久左衛門	文化14年丑11月	半・1冊<3丁>	1297-2
御役銀不相勤船数覚(控)	海西郡森津新田庄屋武田沢右衛門、同所与頭善八	安政3年辰11月	半・1冊<3丁>/ (2冊一綴)	1512-1
海西郡森津新田之内御役銀付船数覚(控)	森津新田庄や武田沢右衛門、同所与頭善八	嘉永5年子4月	半・1冊<4丁>	1512-2
○池川運上				
乍恐奉願上候御事(森津新田池川運上金継年季願)	森津新田庄屋武田沢右衛門、芝井新田庄屋佐久間右馬之助、鎌島新田庄屋小八郎→山田貫一郎様御陣屋	(安政3年)辰3月	半・1冊<2丁>/ (4冊一綴)	1520-1
乍恐再奉願上候(森津新田池川魚殺生村方請負運上金継年季願)	森津新田庄屋武田沢右衛門、芝井新田庄屋佐久間右馬之助、鎌島新田庄屋小八郎	(安政3年カ)辰4月	半・1冊<2丁>	1520-2
乍恐奉願上候(森津新田池川運上金増方受入れにつき願)	森津新田庄屋武田沢右衛門、芝井新田庄屋佐久間右馬之助、鎌島新田庄屋小八郎→山田貫一郎様御陣屋	(安政3年)辰5月	半・1冊<4丁>	1520-3
乍恐奉願上候御事(森津新田池川運上金従来通り村請願)	森津新田庄屋武田哲治郎、芝井新田庄屋佐久間右馬之助、鎌島新田庄屋木村小八郎→須加井重五郎様御陣屋	(安政6年)未3月	半・1冊<2丁>	1520-4
○綿布銀				
高持人数木綿役書上帳	海西郡森津新田→橋田長七郎様	寛政5年丑8月	半・1冊<4丁>	1510
高持人数木綿役書上帳	海西郡森津新田→橋田長七郎様	寛政6年寅8月	半・1冊<3丁>	1511
○伝馬銀				
当伝馬銀取集帳(控)		宝暦7年6月18日	横長半・1冊<4丁>	0405
堤伝馬両役銀御年賦御通(森津新田分)	佐屋陣屋	子6月(朱筆「十一月十五日上納」)	横切紙・1通(封筒入)	1441
(森津新田当戌年伝馬銀の内受取)	佐屋陣屋→森津新田	戌6月	小切紙・1通	0989
○その他				
(森津新田諸上納金銀受取)	橋長七郎代堀田文兵衛・同永田喜四郎	寛政8辰2月	横長半・1冊<2丁>	1313

目懸銭上納請取通 (一銭講) 佐屋陣屋→森津新田	(弘化2巳年7月5日～午12月19日)	横折紙・1通(封筒入) / (虫損)	1455
佐屋御支配下両郡村々夫銀高帳 武田	慶応3年卯10月	半・1冊<10丁>	0604
金札御引換上納金割賦集帳 (森津新田) 庄屋場 (武田)	明治2年巳6月	横長半・1冊<3丁>	0441

夫 役

夫賃銀一卷	明治2年巳9月ヨリ	袋 (5点入)	0826
覚 (人足賃金の内3両余受取) 鱒江新田彦七→御庄屋衆中	(明治2年) 巳9月朔日	小切紙・1通	0826-1
(森津組代官引受・夫賃金受取) 佐屋陣屋	(明治2年) 巳9月	小切紙・1通	0826-2
京都夫人足 (村々人足数・賃金ほか書付)		横長半・1冊<2丁>	0826-3
(明日上納につき新田別割賦夫賃金割当納入通知) 当番	(明治2年) 巳9月20日	横長半・1冊<2丁> / (3点一綴)	0826-4-1
(佐屋代官支配分大代官役所引受夫賃金差引金171両余上納すべき旨通知)	(明治2年) 巳9月	縦紙・1通	0826-4-2
(海東・森津ほか組別高・田畑・銀書付)		横長半・1冊<2丁>	0826-4-3
(森川組御守衛夫入用取替金ほか差引勘定書付)	(午6月26日)	横長半・1冊<2丁>	0826-5
覚 (森津新田当戌年分夫銀受取) 佐屋陣屋→森津新田庄屋	戌2月	小切紙・1通	0979

下 用

下用勘定

卯年免割入用目録帳 (下用勘定) 森津新田	明和8年12月	横長半・1冊<5丁>	0502
巳年御免割目録帳 (下用勘定) 海西郡森津新田庄屋武田猪八、高持立会内田源兵衛・佐野右衛門・木村忠右衛門・佐野才兵衛 (明治6年の書き込みあり)	文政4年12月	横長半・1冊<4丁>	0444
高懸り物当座覚	天保3辰年	横長半・1冊<5丁> / (3冊一綴)	0478-1
(辰11月21日会合の諸入用書上)		横長半・1冊<5丁>	0478-2
宗門寄当番諸入用覚帳 (懸り御役人小川又蔵様、永田市蔵様)	天保3辰3月24日下改	横長半・1冊<5丁>	0478-3
下用米 (庄屋給・組頭給ほか勘定)		横折紙・1通 / (4点一綴)	0996-4
○			
寅年村下用帳 森津新田	文化15年正月吉日	横美半折・1冊<48丁>	0742
辰年村下用帳 森津新田	文政3年正月吉日	横美半折・1冊<28丁>	0744
未年村下用帳 森津新田	文政3年正月吉日	横美半折・1冊<24丁>	0745

御年貢御三役銀之外村下用之覚 (写) 森津新田庄屋武田猪八、組頭久左衛門、組百姓円藏・兵藏、小百姓甚三郎・伊右衛門→石川小兵衛様御陣屋	(文政3年) 辰正月	半・1冊<5丁>	0674
巳年村下用帳 森津新田	文政4年正月吉日	横美半折・1冊<20丁>	0743
午歳村下用帳 森津新田	天保5年正月吉日	横美半折・1冊<30丁>	0746
亥年村下用帳 森津新田	天保10年正月吉日	横美半折・1冊<26丁>	0747
卯年村下用帳 森津新田	天保13年正月吉日	横美半折・1冊<26丁>	0748
巳年村下用帳 森津新田	弘化2年正月吉日	横美半折・1冊<29丁>	0749
亥年村下用帳 森津新田	嘉永4年正月吉日	横美半折・1冊<30丁>	0750
辰年村下用帳 森津新田	安政3年正月	横美半折・1冊<26丁>	0751
午年村下用帳 森津新田	安政5年正月	横美半折・1冊<26丁>	0752
未年村下用帳 森津新田	安政6年正月	横美半折・1冊<26丁>	0753
申年村下用帳 森津新田	安政7年正月	横美半折・1冊<26丁>	0754
戌年村下用帳 森津新田	文久2年正月吉日	横美半折・1冊<26丁>	0755
子年村下用帳 (森津新田)	文久4年正月吉日	横美半折・1冊<24丁>	0756
丑年村下用帳 (森津新田)	元治2年正月吉日	横美半折・1冊<24丁>	0757
寅歳村下用帳 (森津新田)	慶応2年正月吉日	横美半折・1冊<24丁>	0758
卯年村下用帳 (森津新田)	慶応3年正月吉日	横美半折・1冊<20丁>	0759
辰年村下用帳 (森津新田)	慶応4年正月吉日	横美半折・1冊<24丁>	0760
巳年村下用帳 (森津新田)	明治2年正月吉日	横美半折・1冊<24丁>	0761
午年村下用帳 (森津新田)	明治3年正月	横美半折・1冊<24丁>	0762
未年村下用帳 (森津新田)	明治4年正月	横美半折・1冊<26丁>	0763
申年村下用帳 森津新田	明治5年正月	横美半折・1冊<24丁>	0764
○ 村下用時々取集帳 森津新田庄屋所	文政3年辰正月吉日	横美半折・1冊<10丁>	0765

村下用時々取集帳	森津新田庄屋所	文政4年巳正月吉日	横美半折・1冊<6 丁>	0766
村下用時々取集帳	森津新田庄屋所	文政6年未正月吉日	横美半折・1冊<6 丁>	0767
村下用時々取集帳	森津新田庄屋所	文政11年子正月吉日	横美半折・1冊<6 丁>	0768
村下用時々取集帳	森津新田庄屋所	天保5年午正月吉日	横美半折・1冊<6 丁>	0769
村下用時々取集帳	森津新田庄屋所	天保9年戌正月吉日	横美半折・1冊<6 丁>	0770
村下用時々取集帳	森津新田庄屋	天保10年亥年正月	横美半折・1冊<4 丁>	0771
時々出金取集帳	庄屋所	天保14年卯正月	横美半折・1冊<6 丁>	0772
時々出金取集帳	森津庄屋所	弘化2年巳正月	横美半折・1冊<6 丁>	0773
時々出金取集帳	森津新田庄屋所	嘉永4年亥正月	横美半折・1冊<6 丁>	0774
時々出金取集帳	森津新田庄屋所	嘉永6年丑正月	横美半折・1冊<6 丁>	0775
時々出金取集帳	森津新田庄屋所	安政3年辰正月	横美半折・1冊<6 丁>	0776
時々出金集帳	森津新田庄屋	安政6年未正月	横美半折・1冊<6 丁>	0777
時々出金集帳	森津新田庄屋	安政7年申正月	横美半折・1冊<6 丁>	0778
時々出金集帳	森津新田庄屋所	文久2年戌正月	横美半折・1冊<6 丁>	0779
時々出金集帳	森津新田庄屋所	文久3年亥正月	横美半折・1冊<6 丁>	0780
時々出金集帳	森津新田庄屋所	文久4年子正月	横美半折・1冊<4 丁>	0781
時々出金集帳	森津新田庄屋所	元治2年丑正月	横美半折・1冊<4 丁>	0782
時々出金集帳	森津新田庄屋所	慶応3年卯正月	横美半折・1冊<4 丁>	0783
時々出金集帳	森津新田庄屋所	慶応元年寅正月	横美半折・1冊<4 丁>	0784
時々出金集帳	森津新田庄屋所	慶応4年辰正月	横美半折・1冊<4 丁>	0785
時々出金集帳	森津新田	明治2年巳正月	横美半折・1冊<4 丁>	0786
時々出金集帳	森津新田	明治3年午正月	横美半折・1冊<4 丁>	0787

村 政

議定・出入

極申一札之事（稲番役人設置、稲盗取締につき村中連判） 茂七後家外61名→角左衛門殿、沢右衛門殿	宝暦8年寅9月	縦継紙・1通	1257
森津新田七右衛門烏ヶ地新田庄蔵口上之覚（田地出入控） 森津新田沢右衛門	宝暦12午年5月	半・1冊<7丁>	0617
当年平嶋新田より連判金割符帳 当村連判惣代金借主 善三郎外5名→当村庄屋沢右衛門殿外1名	天明6年12月26日	縦紙・1通	0536
乍恐奉願上候御事（与蔵山新田違井御普請残金につき平嶋新田留兵衛らと出入） 海西郡森津新田庄屋武田沢右衛門／（奥書）（森津新田）組頭久左衛門→太田文左衛門様	（寛政11年）未9月	半・1冊<12丁>	1522
与兵衛道具せりうり帳	寛政12年申4月25日	横長半・1冊<10丁>	0451
一札（飛鳥新田への出作人同村庄屋へ書付差出しにつき一札） 飛鳥新田出作人定蔵・喜代蔵・又右衛門外6名→森津新田御庄屋武田沢右衛門殿	享和3年亥7月	縦紙・1通	1423
一札（飛鳥新田への出作人同村庄屋へ書付差出しにつき一札） 飛鳥新田出作人森津新田伊兵衛外7名→森津新田御庄屋武田沢右衛門殿	享和3年亥7月	縦紙・1通	1422
一札（飛鳥新田への出作人同村庄屋へ書付差出しにつき一札） 飛鳥新田出作人森津新田嘉兵衛、同断仙蔵外6名→森津新田御庄屋武田沢右衛門殿	享和3年亥7月	縦紙・1通	1421
一札（前ヶ須新田百姓所持材木盗賊一件無実につき一札） 藤堂和泉守様御領地勢州川野郡肥田村平八、平八親類森津新田友右衛門外1名→烏ヶ地新田庄屋松吉・三右衛門、森津新田庄屋武田猪八殿	文政元年寅11月	半・1冊（3丁）／（7点一綴）	0662-3
差出申御請書之事（新田作小屋へ出作者受入れ方につき一札） 武田沢右衛門外1名	天保13年寅5月	縦紙・1通／（7点一綴）	0662-6
堀抜井戸手当金集帳（金8両） 森津新田庄屋	元治元年子4月	横長半・1冊<3丁>	0975
一札之事（麦5斗と金1両取替え出入り武田哲次郎仲介解決につき一札） 小三郎、證人留八→惣吉殿	慶応2年寅4月	横切継紙・3通／（懸紙あり）	1111
和泉山入札年貢平嶋と差引勘定物（立合勘定ならびに年貢金等勘定覚） 平嶋九兵衛→武田沢右衛門殿	子7月8日	横長美・1冊<4丁>	1453
口上（四日市宿中納屋町立花太中方奉公人森津新田吉助逃去につき金銭支払請求） 勢州四日市南町安田屋儀右衛門	酉3月	半・1冊<5丁>／（7点一綴）	0662-5
乍恐以上書奉申上候御事（請作百姓との争論書上） 海西郡森津新田庄屋武田沢右衛門→田宮仙右衛門様	亥正月	半・1冊<5丁>	1521

田畑譲渡役印

證文役印扣（借用金証文など役人奥印控帳）	従文久元酉年6月	半・1冊<14丁>	0627
役印扣帳（借用金・田畑売買など付込）	文久4甲子正月ヨリ（～明治7年）	横半列・1冊<94丁>	0805
末々まで相渡申田地証文之事（森津新田津嶋口壺口分の内八分の一売却） 森津新田うり主甚左衛門、同所	元文元年辰12月	縦紙・1通	1140

口入丹七郎、同所証人庄屋新右衛門→円藏殿			
永代相渡シ申田地証文之事（森津新田の内惣中分請林右衛門屋敷田畑7畝歩）尾州海西郡森津新田屋敷渡主林右衛門、同所庄屋喜治郎、与頭喜左衛門→勢州長嶋加路戸新田武左衛門殿	延享2年丑3月	縦紙・1通	1141
永代相渡申田畑之事（森津新田津嶋口の内）名古屋伏見町田地渡シ主忠四郎、森津新田庄屋角左衛門、同所組頭沢右衛門→森津新田喜左衛門殿	宝暦2年申8月	縦紙・1通	1142
相渡申屋敷之事（森津）新田屋敷渡主七右衛門、同新田庄屋角左衛門・沢右衛門→名古屋本重町円藏殿（宛先下「扣」とある）	宝暦7年丑12月	縦紙・1通	1143
永代相渡申田畑之事（森津新田津嶋口の内）森津新田田地渡主喜左衛門、同村庄屋角左衛門・沢右衛門→名古屋本重町円藏殿	宝暦9年卯正月	縦紙・1通	1145
相渡申屋敷之事（森津新田万右衛門仲満請屋敷御前田畑5畝10歩）（森津）新田屋敷渡主万右衛門、同所証人元右衛門、同断孫右衛門、同所庄屋角左衛門・沢右衛門→平嶋新田林藏殿（端裏下「扣成候、見合」とある）	宝暦9年卯12月	縦継紙・1通	1147
一札之事（森津新田津嶋口壺口の内八分一代金受取）押森村田地渡シ主清左衛門、加判喜治郎→（森津新田）庄屋沢右衛門	宝暦10年辰12月	縦紙・1通	1149
相渡申屋敷之事（森津新田仲満請屋敷捨地など）（森津）新田屋敷渡主忠蔵・市右衛門、同所庄屋角左衛門・沢右衛門→平嶋新田林藏殿（宛先下「是八年々見合せ」とある）	宝暦11年巳11月	縦紙・1通	1151
永代相渡申田地之事（森津新田鯛浦口壺口の内四分の一田畑）（森津新田）田地渡主久四郎・忠八郎、同所庄屋角左衛門・沢右衛門→円藏殿	宝暦12年午2月	縦紙・1通	1152
永代相渡申一札事（森津新田鯛浦口壺口の内四分の一・八分の一田畑）（森津）新田田地渡主此右衛門、同所庄屋角左衛門→円藏殿	宝暦12年午2月	縦紙・1通	1153
質流相渡申田畑之事（桑名郡田代新田2反5畝歩）勢州近江島新田田地渡シ主幸助、同田代新田請人庄太夫、同田代新田庄や市左衛門／（奥書）近江口借主幸助、田代新田請人庄太夫→尾州森津新田佐藤円藏殿／（奥書）佐藤円藏殿	安永6年酉11月	縦継紙・1通	1156
質流相渡申田地之事（桑名郡小林新田の内）勢州小林新田右田地渡シ主新四郎、同郡長地新田証人勘右衛門、同郡小林新田庄屋庄治郎／（奥書）右金子借り主新四郎、証人勘右衛門→佐久間善左衛門殿	天明元年丑7月	縦継紙・1通	1160
質流相渡申田地之事（桑名郡小林新田の内）勢州小林新田右田地渡シ主新四郎、同郡長地新田証人勘右衛門、同郡小林新田庄屋庄治郎／（奥書）右金子借り主新四郎、証人勘右衛門→佐久間善左衛門殿	天明元年丑7月	縦継紙・1通	1161
売渡申候証文之事（鍋田川通森津新田堤添外）平嶋新田讓主傳四郎、同所親類証人七右衛門／（奥書）森津新田庄屋武田沢右衛門→九吉殿御取次	文政9年戌11月	縦紙・1通（包紙付）	1169
売渡シ申屋舗証文之事（堤も含む）森津新田屋敷売主助右衛門、同所証人九吉、同所庄屋武田沢右衛門→田嶋屋利左衛門殿	天保2年卯2月	縦紙・1通	1177
売渡シ申家屋敷之事（森津新田家屋敷売主武助、同所親類惣代嘉助、同所証人平吉・平六・円藏、同所庄屋武田沢右衛門→新居利左衛門殿	天保7年申正月	縦紙・1通（包紙付）	1184

森津新田／庄屋／村政／下作譲渡役印 金銭貸借役印

質流相渡シ申田地証文之事（狐地新田扣田地口地の内半口分） 勢州桑名傳馬町田地渡主古古作左衛門、同郡外平喜新田親類証人泉精九郎、森津新田右地所庄屋武田沢右衛門／（奥書）桑名傳馬町借主古古作左衛門、長嶋外平喜新田証人泉精九郎、森津新田右地所庄屋武田沢右衛門→桑名今一色町新居利左衛門殿／（奥書同）	天保7申年5月	縦紙・1通（包紙付）	1185
譲渡屋敷証文之事（森津新田のうち堤添4か所） 海西郡森津新田屋敷譲主作右衛門・丹七・利助・富八、同所証人忠蔵・清四郎・伊兵衛・久左衛門／（奥書）（森津）新田庄屋武田沢右衛門→伊藤次郎左衛門殿・喜兵衛殿	天保10年亥7月	縦紙・1通（包紙付）	1186
譲り渡屋敷証文之事（森津新田中堤添、作人屋敷3か所） 森津新田屋敷譲主丹七・富八・利助、同所証人清四郎・伊兵衛・忠蔵・久左衛門／（奥書）（森津）新田庄屋武田沢右衛門→伊藤次郎左衛門殿・喜兵衛殿	天保10年亥11月	縦継紙・1通	1187
譲渡屋敷証文之事（森津新田筏川通堤添、作人屋敷） 森津新田屋敷譲主周平、同所証人源六・久左衛門／（奥書）（森津）新田庄屋武田沢右衛門→伊藤次郎左衛門殿・喜兵衛殿	天保10年亥11月	縦継紙・1通	1188
譲渡申屋敷証文之事（森津新田久蔵居屋敷・中堤添屋敷堤とも） 森津新田屋敷譲主久平、同所証人茂七・三九郎／（奥書）（森津）新田庄屋武田沢右衛門→藤倉屋・太兵衛殿	天保12年丑12月	縦継紙・1通	1189
質流譲渡申田地証文之事（森津新田のうち字北寅一円、160両） 名古屋杉之町地所譲主萬屋理助、森津新田親類証人善右衛門／（奥書）（森津）新田庄屋武田沢右衛門→伊藤治郎左衛門殿（庄屋所諸帳面名前変更の旨奥書あり、本状端上の懸紙に「証文 森津新田北寅一円、嘉永元申五月十八日調へ」とある）	嘉永元年申5月	縦継紙・1通（包紙付）	1192
売渡申証文之事（源蔵居屋敷） 売渡主林三郎、証人源六→與助殿	嘉永4年亥2月	縦紙・1通（包紙付）	1193

下作譲渡役印

鍛先下作譲渡証文之事（森津新田口地下作四分の壱） 森津新田下作譲主忠蔵、同所親類証人幸助、同所証人九吉／（奥書）（森津）新田庄屋武田沢右衛門→田嶋屋利左衛門殿（端裏下「六番忠蔵殿」とある）	文政9年戌12月	縦紙・1通	1170
売渡シ申下作証文之事（森津新田口地・六人物四分の壱） 森津新田下作売主平左衛門、同所親類惣代半左衛門、同所証人九吉、同所庄屋武田沢右衛門→田嶋屋利左衛門殿	文政10年亥12月	縦紙・1通（包紙付）	1171
売渡シ申証文之事（下作半口） 森津新田下作うり主弥三七、同所証人九吉、同所庄屋武田沢右衛門→田嶋屋利左衛門殿	天保元年寅12月	縦紙・1通（包紙付）／（2通一折）	1173-1

金銭貸借役印

以質物借用申金子事（金3両2分） 海西郡森津新田金借主此右衛門、同所庄屋沢右衛門→鳥ヶ地新田重郎治殿（宛先下「扣」とある）	宝暦7年丑12月	縦紙・1通	1144
以質物借用申金子事（金3両） 森津新田金借主此右衛門、同所庄屋角左衛門・沢右衛門→名古屋本重町門蔵殿	宝暦8年寅12月	縦紙・1通	1146
借用申金子之事（金7両） 森津新田金借主喜左衛門外4名→同所平蔵殿	明和3年	縦紙・1通	1139
借用申金子之事（金3両） 海西郡与蔵山新田金借主文助、同郡同所親類請合円七郎、同郡森津新田請合兵右衛門→森津新田門蔵殿（本状端に懸紙貼付）	天明7年末12月日	縦紙・1通（包紙付）	1165

借用申金子之事(質物与蔵山新田) 与蔵山新田金子借主勘右衛門、証人定蔵、(与蔵山) 新田庄屋服部市兵衛→森津新田九吉殿	天保2年卯3月	豎紙・1通(包紙付)	1176
借用申金子之事(質物家屋敷書入) 森津新田金かり主平兵衛、同所親類証人清蔵、同断隣証人久助、同断証人円蔵、同所庄屋武田沢右衛門→桑名今一色二井利左衛門殿	天保2年卯11月	豎紙・1通(包紙付)	1175
添証文之事(質物居屋敷・本家・長屋共書入につき) 森津新田書入主平兵衛、同断親類清蔵、同所組頭久助→金御取次佐藤円蔵殿	天保2年卯12月	豎紙・1通(包紙付)	1174
借用申金子証文之事(質物森津新田口地式拾四口のうち下作4歩) 森津新田金借主清七、同所証人勘三郎、同所証人善右衛門、同所庄屋武田沢右衛門→名古屋萬屋利助殿	天保6年末12月	豎紙・1通	1182
(森津新田のうち辰下作2反歩質物に3両借用の証文) 森津新田金借主平左衛門、同所証人周助、同所庄屋武田沢右衛門→ナコヤ萬屋利助殿(前欠)	天保6年末12月	豎紙・1通	1183
借用申金子証文之事(質物森津新田のうち字南寅) 森津新田金借主文平、同所証人林三郎・茂七、同所庄屋武田沢右衛門→桑名今一色二井利左衛門殿	嘉永6年丑12月	豎紙・1通(包紙付)	1195
借用申金子証文之事(質物森津新田のうち字南寅ほか) 森津新田金借主九平、同所証人清四郎・友四郎、同所庄屋武田沢右衛門→桑名今一色二井利左衛門殿	嘉永6年丑12月	豎紙・1通(包紙付)	1194
借用申金子証文之事(質物森津新田のうち松名嘉兵衛下作壱口) 森津新田金借主清蔵、同所証人孫吉、同所庄屋武田沢右衛門→桑名今一色二井利左衛門殿	嘉永7年寅正月	豎紙・1通(包紙付)	1196
乍恐奉願上候御事(桑名郡東対地新田兵八へ金子貸与のところ加地子米不払いにつき) 鳥ヶ地新田願主松吉三右衛門、森津新田庄屋金子口入武田沢右衛門→久世甚右衛門様	寅6月	半・1冊<2丁>	1523

戸口

宗門改

海西郡森津新田宗門御改帳 海西郡森津新田庄や武田沢右衛門外1名、組頭久左衛門	寛政6年寅3月	半・1冊<73丁>	0579
海西郡森津新田宗門御改帳(下書) 海西郡森津新田伊兵衛外72名→太田文左衛門殿	享和2年戌3月	半・1冊<64丁>	0581
海西郡森津新田宗門御改帳 森津新田庄屋武田沢右衛門、組頭久左衛門→岡勝右衛門様	文化6年巳3月	半・1冊<78丁>	0585
海西郡森津新田宗門御改帳(当番松名) (森津新田庄屋武田沢右衛門、同所組頭久左衛門)→矢野藤九郎様	天保5年午3月	半・1冊<91丁>	1507
海西郡森津新田宗門御改帳(当番平嶋) 武田沢右衛門、久左衛門→矢野藤九郎様	天保7年申3月	半・1冊<92丁>	0582
海西郡森津新田宗門御改帳(当番前ヶ須) (森津新田庄屋武田沢右衛門、同所組頭久左衛門)→矢野藤九郎様	天保8年酉3月	半・1冊<78丁>/ (虫損大)	1508
海西郡森津新田宗門御改帳(当番三稲) 森津新田庄屋武田沢右衛門、組頭吉八→小山清次郎様	天保11年子3月	半・1冊<84丁>	0583
海西郡森津新田宗門御改帳(当番寛延) (森津新田庄	天保15年辰3月	半・1冊<83丁>	1509

屋武田沢右衛門) → 児玉貞一郎殿			
人別御改帳 (森津新田) 海西郡森津新田庄屋沢右衛門 → 児玉貞一郎様御陣屋	弘化3年午正月	半・1冊<69丁>/ (2冊一綴)	1504-1
人別御改増減帳 森津新田庄屋武田沢右衛門→児玉貞一郎 様御陣屋	弘化3年午正月	横長半・1冊<4丁>	1504-2
人別御改帳 (狐地新田森津分人別御改帳、奉公人改帳 共) 海西郡森津新田→吉田助次郎様御陣屋	嘉永3年戌2月	半・1冊<68丁>	1505
人別御改帳 (狐地新田森津分人別御改帳、奉公人改帳 共) 海西郡森津新田	嘉永7年寅2月	半・1冊<69丁>	1506
(温泉寺檀家書上)		横長美・1冊<3丁>	0584

人数書上

人数書上帳 (森津新田分) (森津) 新田庄屋武田沢右 衛門、同所組頭久左衛門→田宮仙右衛門様	安永8年亥9月	半・1冊<10丁>	0645
海西郡森津新田高田畑家数人数奉公人并牛馬書上帳 (森津) 新田庄や武田沢右衛門、同所与頭久左衛門→飯沼 定右衛門様	天明6年午3月	半・1冊<14丁>	0646
村中人数書上帳 (森津新田分奉公人・百姓家数馬書上 帳共) (下書) 森津新田庄屋武田沢右衛門、組頭久左 衛門→橘田長七郎様	寛政4年子3月	半・1冊<6丁>	0648
村中人数書上帳 (森津新田) 右新田庄屋武田沢右衛門、 組頭久左衛門→橘田長七郎様	寛政4年子3月	半・1冊<6丁>	0578
村中人数書上帳 (森津新田分奉公人・百姓家数馬書上 帳共) (下書) 森津新田庄屋武田沢右衛門、同所組頭 久左衛門→橘田長七郎様	寛政10年午	半・1冊<7丁>	0649
増人数覚 (下書) 海西郡森津新田庄屋武田沢右衛門、組 頭久左衛門→太田文左衛門殿	享和2年戌3月	半・1冊<10丁>	0580
村中人数書上帳 (森津新田分百姓家数牛馬数書上帳ほ か共) 海西郡森津新田武田沢右衛門、同所組頭久左衛 門	文化7年午2月	半・1冊<8丁>	0650
村中人数書上帳 (森津新田分百姓家数牛馬数書上帳ほ か共) (下書) 海西郡森津新田庄屋武田沢右衛門、同 所組頭久左衛門	文化13年子2月	半・1冊<8丁>	0651
村中人数書上帳 (森津新田分百姓家数牛馬数書上帳ほ か共) 海西郡森津新田庄屋武田沢右衛門、同所組頭久 左衛門→三沢喜右衛門様御陣屋	文政11年子2月	半・1冊<8丁>	0653
村中人数書上帳 (森津新田分百姓家数牛馬数書上帳ほ か共) 海西郡森津新田庄屋武田沢右衛門、同所組頭久 左衛門	天保5年午2月	半・1冊<17丁>	0654
村中人数書上帳 (森津新田分百姓家数牛馬数書上帳ほ か共) 海西郡森津新田庄屋武田沢右衛門、同所組頭善 八→小山清次郎様御陣屋	天保11年子2月	半・1冊<9丁>	0655
村中人数書上帳 (森津新田分百姓家数牛馬数書上帳ほ か共) 海西郡森津新田庄屋武田沢右衛門、同所組頭善 八→児玉貞一郎様御陣屋	弘化3年午2月	半・1冊<9丁>	0656
人数書上帳 (森津新田分百姓家数牛馬数書上帳ほか共) 海西郡森津新田庄屋武田沢右衛門、同所与頭善八→山田 貫一郎様御陣屋	嘉永5年子2月	半・1冊<9丁>	0657
海西郡森津新田人別御改増減帳 森津新田庄屋武田沢右	嘉永7年寅2月 (奥付に	横長半・1冊<4丁>	0881

衛門、同所与頭善八→山田貫一郎様御陣屋	は丑2月とあり)		
村中人数書上帳(森津新田分百姓家数牛馬数書上帳ほか共) 海西郡森津新田武田猪八、同所組頭久左衛門→石川小兵衛様御陣屋	安政5年午閏正月	半・1冊<8丁>	0652
村中人数書上帳(森津新田分百姓家数牛馬数書上帳ほか共) 海西郡森津新田庄屋武田沢右衛門、同所組頭善八→山田貫一郎様御陣屋	安政5年午2月	半・1冊<9丁>	0658
(森津新田村中人数・家数・牛馬数ほか書上) 海西郡森津新田庄屋武田哲次郎、与頭善八→金森五郎兵衛様御陣屋	(元治元年)子2月	半・1冊<5丁>	0647

人別送り

奉願上候御事(森津新田沢右衛門桑名郡加路戸新田しづと縁組につき) (森津)新田庄屋角左衛門、同所与頭沢右衛門→富田八郎兵衛様	宝暦6年子3月	豎紙・1通	1270
一札(森津新田村清七懸人直右衛門送り状写) 尾州海西郡森津新田庄屋武田沢右衛門→桑名入江町大円寺殿	天保13年寅5月	豎紙・1通／(7点一綴)	0662-7

交通

助郷

定(無用添人馬ならびに道中人馬荷物取締り触) (和宮下向につき人足賃銀など割戻帳ほか綴)	延享4卯年3月	豎継紙・1通 8点一綴(袋付)	1347 0888
助郷ニ付御伝馬所入用一卷入	明治2年巳正月以来	袋(12点入)	0820
仕覚書(御一新宿制改革につき) 佐屋宿附属村々	(明治2年)巳6月	横切継紙・1通	0820-1
(午正月より3月迄宿駅入用内金森津新田分受取) (佐屋宿)→(森津新田)	4月5日	豎切紙・1通	0820-2
(巳正月より午3月迄宿駅御用振出し入用森津新田分取立) →(森津新田)	(明治3年)午7月6日	豎切紙・1通	0820-3
(巳5・6月分諸入用森津新田分差引勘定) (佐屋宿) →(森津新田)		豎切紙・1通	0820-4
(森津新田御還幸人足賃銀割)		豎切紙・1通	0820-5
(辰7月より11月迄森津新田分往還人足数・代金書上) →(森津新田)		豎切紙・1通	0820-6
(森津新田辰年出人足代ほか書上) (森津新田)		小切紙・1通	0820-7
(辰12月より巳12月迄宿入用割符森津新田分差引勘定) (佐屋宿)→(森津新田)		豎切紙・1通	0820-8
覚(森津新田運人足代金勘定)		豎切紙・1通	0820-9
立田輪中目安銭覚(宿入用・買上物諸色分ほか)		横長半・1冊<5丁>	0820-10
(宿駅入用規則整備まで村々へ割当の旨触)	(明治3年)午6月	豎紙・1通／(3通一綴)	0820-11-1
乍恐奉願上候御事(佐屋宿伝馬所へ人馬触当につき願) 海東村連印	(明治2年)巳11月	豎紙・1通	0820-11-2
乍恐奉願上候御事(佐屋宿伝馬所へ人馬触当につき願)	(明治2年)巳11月	豎紙・1通	0820-11-3

市江村連印→当滝江様御陣屋 (諸入用差引不足金ほか書上)		巻紙・1通	0820-12
普 請			
三 郷			
三郷立合杖諸勘定帳 森津新田	文政6年未3月晦日	横長半・1冊<4丁>	0997
三郷立合九尺杖伏替諸入用帳 (森津・芝井・鎌嶋)	天保15年辰正月7日～17日	横長半・1冊<7丁> / (2冊一綴)	1004-1
立合杖御伏替諸入用覚牒 (森津・芝井・鎌嶋)	天保14年卯12月	横長半・1冊<8丁>	1004-2
三郷立合九尺杖御伏替諸入用帳 (森津・芝井・鎌嶋)	天保15年辰正月7日～17日	横長半・1冊<6丁>	1003
三郷杖御繕一卷入并木送入	安政3年辰11月	袋 (6点入)	1033
三郷立合杖御繕二付取替物扣	安政3年辰10月	横長半・1冊<7丁>	1033-1
(森津新田地内鍋田川通悪水路普請資材引渡) 杖方 役所→(森津・芝井・鎌嶋新田) 庄屋	安政3年辰10月	横折紙・1通	1033-2
覚 (古木代差引覚)		横折紙・1通	1033-3
(杖古木代ほか請求) 杖方役所→森津新田・鎌嶋新田・ 芝井新田庄屋	12月23日	巻紙・1通	1033-4
三郷立合杖御繕入用集帳 森津新田庄屋所	安政3年辰11月	横長半・1冊<4丁>	1033-5
三郷立合九尺杖御繕入用帳	安政3年辰11月	横長半・1冊<6丁>	1033-6
三郷築流自普請入用帳	安政6年未2月	横長半・1冊<3丁>	1012
三郷築流杭刻自普請入用割賦	安政6年未8月	横長半・1冊<2丁>	1013
三郷立合乗込杖御伏替諸入用帳	(万延元年申10月19日 ～11月朔日)	横長半・1冊<6丁>	1016
三郷立合乗込杖御伏替諸入用取集帳 森津新田庄屋	万延元年申11月	横長美・1冊<5丁>	1017
三郷立合乗込杖御伏替諸入用帳	万延元年申10月	横長半・1冊<6丁>	1015
乗込杖御伏替二付御手伝銀諸入用集帳 森津新田庄屋 武田哲次郎	文久3年亥11月	横長半・1冊<3丁>	1018
三郷立合乗込杖式間御伏替諸入用帳	元治2年丑2月19日	横長半・1冊<5丁>	1020
三郷立合杖御伏替諸入用割当り取集帳 森津新田庄屋 武田哲次郎	丑3月	横長美・1冊<4丁>	1014
立合江通境杭一卷入	元治元年	袋 (7点入)	1031
芝居三郷杖先浚築流先継配符(間尺受取の旨奥書あり) 沢藤左衛門/ (奥書) 古瀬友右衛門→村々庄屋	安永8年亥12月	横長美・1冊<2丁>	1031-1
立合杖江通并立合杖所より下堤通分間野帳	元治元年子2月17日・3 月3日	横半半折・1冊<11 丁>	1031-2
森津・鎌嶋・芝井三郷立合杖外江通分間図		44.5×122cm・1 枚	1031-3
(済口証文へ添え提出した森津・鎌嶋・芝井三郷立合 杖外江通分間図面控)	元治元年子3月晦日	32×45.5cm・1枚	1031-4

為取替申約定證文之事（森津・鎌島・芝井三郷立合悪水落杖外江通訴訟取計の件） 森津新田庄屋武田哲次郎、鎌島新田庄屋木村小八郎、芝井新田庄屋佐久間右馬之助、立入人服部市兵衛・野村留兵衛	元治元年子3月	豎継紙・1通	1031-5
乍恐奉願上候御事（三郷悪水落杖差支えにつき願書控） 鎌島新田庄や木村小八郎、森津新田庄屋武田哲次郎→金森五郎兵衛様御陣屋	（文久3年）亥6月	半・1冊<3丁>	1031-6
差上申済口証文之事（森津・鎌島・芝井三郷立合悪水落杖訴訟） 訴訟人鎌嶋新田庄屋木村小八郎、森津新田庄屋武田哲次郎、相手方芝井新田庄屋佐久間右馬之助、立入人野村留兵衛・服部市兵衛→金森五郎兵衛様御陣屋	元治元年子3月晦日	半・1冊<3丁>/ (2冊一綴)	1031-7-1
為取替申約定證文之事（森津・鎌島・芝井三郷立合悪水落杖外江通渡方取計の件） 芝井新田庄屋佐久間右馬之助、森津新田庄屋武田哲次郎、鎌島新田庄屋木村小八郎、立入人服部市兵衛・野村留兵衛	元治元年子3月	半・1冊<3丁>	1031-7-2
三郷池川地境杭出入一卷	從慶応元年丑4月至同2年寅3月	袋（12点入）	0829
乍恐奉願上候御事（芝井新田と境争論につき森津・鎌嶋・芝井三郷悪水落地川内へ境杭再建願下書） 森津新田庄屋武田哲次郎→岡崎新吾様御陣屋（書出しに「い印八月十三日出願」とある）	（慶応元年）丑8月	半・1冊<3丁>/ (貼紙あり)	0829-1
乍恐再応奉願上候御事（三郷悪水落地川内へ再度地境杭打建願下書） 森津新田庄屋武田哲次郎→岡崎新吾様御陣屋（書出しに「ろ印九月廿一日出願」とある）	（慶応元年）丑9月	半・1冊<3丁>	0829-2
ろ印再願ニ相添出候図面（上記願書添図面）		27.5×39cm・1枚	0829-3
乍恐御請書奉差上候（双方呼び出し三郷池川地境杭先規通り申渡につき） 芝井新田多助、同所組頭円吉（書出しに「は印十二月廿日御請書」とある）	（慶応元年）丑12月	豎紙・1通	0829-4
差上申済口証文之事（三郷池川地境杭建て先規通りたる旨） 森津新田庄屋武田哲次郎、芝井新田庄屋佐久間右馬之助、同村組頭円吉、同所百姓惣代多助外1名→岡崎新吾様御陣屋（書出しに「に印九月廿一日出願」とある）	（慶応2年）寅2月21日	半・1冊<4丁>	0829-5
三郷立合池川之内森津新田地内池川境杭打立方ニ付芝井新田与出入一件（覚書）		半・1冊<5丁>	0829-6
（三郷池川地境杭出入内済につき杭立図）	文化14年丑9月26日	30.5×38.5cm・1枚	0829-7
朱印芝井新田より榜示相建候ヶ所（図面）		24.5×16cm・1枚	0829-8
覚（丸太ほか代金3両余受取） 桑名西町五兵衛→森津円九郎様	寅2月25日	横切継紙・1通	0829-9
森津鎌島芝井立合川相定為取替一札之事（川殺生規定など） 木村忠兵衛・佐久間善左衛門・武田沢右衛門	天明4辰年正月	豎継紙・1通	0829-10
（地改めにつき芝井・鎌島新田の定引高ほか書上）		横切継紙・1通	0829-11
（境出入一件につき書状） 村井定八→武田哲次郎様	3月27日	横切継紙・1通	0829-12
三郷築流堤御繕普請一卷	慶応2年	3点一綴（袋付）	1034
乍恐奉再願上候御事（三郷悪水落杖先築流堤普請願下書） 森津新田庄屋武田哲次郎、鎌嶋新田庄屋木村小八郎、芝井新田庄屋佐久間右馬之助→岡崎新吾様御陣屋	（慶応2年）寅8月	豎紙・1通	1034-1
乍恐奉願上候御事（大地震にて悪水落方差支につき三	（慶応2年）寅3月	半・1冊（2丁）	1034-2

郷悪水落杖先築流堤普請願) 鎌嶋新田庄屋木村小八郎、芝井新田庄屋佐久間右馬之助、森津新田庄屋武田哲次郎→岡崎新吾様御陣屋			
乍恐奉願上候御事(大地震にて悪水落方差支につき三郷悪水落杖先築流堤普請願) 木村小八郎・佐久間右馬之助・武田哲次郎→岡崎新吾様御陣屋	(慶応2年) 寅8月	半・1冊(3丁)	1034-3
御届(武田久平・服部喜三郎を森津三郷悪水杖守に任じた旨) 芝井新田庄屋佐久間多助殿、森津新田庄屋武田哲次郎→愛知縣御廳	(明治5) 壬申8月	豎紙・1通/(4点こより括り)	1410-2
普請・治水			
(御普請所出来注進すべき旨御用状) 御国奉行代矢野藤兵衛、同加藤仁左衛門、浅野久治/(奥裏書) 浅野久治代高橋佐兵衛、同種田貞四郎、矢野藤兵衛、加藤与左衛門→(海西郡森津新田) 村庄屋	寛保3年亥3月/(奥裏書) 亥6月6日	横切継紙・1通/(3通一折)/(虫損大)	1482-1
(御普請所出来注進すべき旨御用状) 御国奉行代河野猪左衛門、同代後藤弾助、天野沢之右衛門/(奥裏書) 天野沢之右代佐合喜傳治、同断伊東林吉、河野猪左衛門、後藤弾助→海西郡森津新田庄屋	延享元年子3月/(奥裏書) 子5月28日	横切継紙・1通/(虫損大)	1482-2
(御普請所出来注進すべき旨御用状) 御国奉行代矢野藤兵衛、加藤仁左衛門、浅野久治/(奥裏書) 浅野久治代高橋佐兵衛、種田貞四郎、矢野藤兵衛、加藤仁左衛門→(海西郡森津新田) 村庄屋	寛保3年亥6月/(奥裏書) 亥6月13日	横切継紙・1通/(虫損大、末尾開披不能)	1482-3
寛延新田堤築方見分帳	寛延4年未10月	横長半・1冊<15丁>	0475
海西郡森津新田万入用帳(控) 庄屋角左衛門・沢右衛門	宝暦12年午8月	横長半・1冊<10丁>	0489
乍恐御達申上候事(油嶋ノ切り御尋ねにつき川下村々支障なき旨) 海西郡狐地・稲吉新田庄屋多郎兵衛、大野綿屋・稲荷新田庄屋彦市、森津新田庄屋沢右衛門、鎌嶋新田庄屋忠右衛門、芝井新田庄屋佐久間善左衛門→土岐市右衛門様・河野猪左衛門様・尾崎友次郎様	(明和元年カ) 申7月	豎紙・1通	1419
尾州勢州御境川通上下ノ切願書并口上書共(控)	明和元年申9月	半・1冊<14丁>	0613
(森津新田など普請出来受渡帳綴)	(明和元~文久元年)	横長半・16冊一綴<45丁>	1310
(森津新田など普請出来受渡帳綴)	(明和3~天保4年)	横長半・15冊一綴<47丁>	1311
森津南ヶ輸入土改帳	明和4年亥3月14日改	横長半・1冊<5丁>/ (2点一綴)	0513-1
森津田面之内所々江通埋田見分帳 立合沢右衛門外3名	亥[]	横長半・1冊<6丁>	0513-2
御川浚耆卷留覚(鍋田川成り直し免除願) 寛延新田・芝井新田庄屋佐久間善左衛門、森津新田庄屋沢右衛門、与歳山新田庄屋服部市兵衛、中山新田庄屋留兵衛→御普請方御役所	明和4年亥10月より	半・1冊<14丁>	0616
丑年所々人足佐屋[]	明和6年正月吉日	横長半・1冊<9丁>	0483
大須海用御普請切渡し仕様扣	明和9年辰10月2日	横長半・1冊<5丁>	0488
(輪中立合悪水落杖出精にて困留につき褒状) →武田沢右衛門	安永4年未9月8日	横切紙・1通	1071
普請願書留	(天明2年~弘化元年)	半・5冊一綴	1275

乍恐御達申上候（渡海路目論見御普請支障御尋ねにつき差止願）森津新田庄屋武田沢右衛門外8名→矢野藤九郎様御陣屋	(天保4年) 巳11月	半・1冊<3丁>	1275-1
覚（筏川通普請仕立方覚綴）鎌島新田木村忠兵衛外5名→太田文左衛門様	(享和元年) 酉2月	半・1冊<4丁>	1275-2
乍恐御達奉申上候（森津新田高・田畑変化の年暦など詳細不明の旨）森津新田庄屋武田沢右衛門→児玉貞一郎様御陣屋	(弘化元年) 辰9月	半・1冊<3丁>	1275-3
乍恐奉願上候御事（凶作につき困窮者へ夫食支給願）森津新田庄屋武田沢右衛門→小笠原九郎右衛門様	(天明2年) 寅12月	半・1冊<3丁>	1275-4
乍恐奉願上候御事（公儀川々水行直し地元村請願）森津新田庄屋沢右衛門外7名	酉2月	半・1冊<6丁>	1275-5
覚（大川通堤普請敷地禿の分御国方吟味役見分覚ほか）橋長七郎印→海西郡与藏山午新田庄屋	寛政2戊8月	半・1冊<5丁>／ (4点一綴)／(青色罫紙)	0660-4
覚（筏川通り川巾ほか書上）	寛政10午11月23日	半・1冊<7丁>／ (7点一綴)	0662-1
平岩右膳重野長左衛門廻村先々申渡請書帳（濃州尾州勢州川々水行直御普請につき）尾州領海辺惣代尾州海西郡鎌嶋新田村忠兵衛外10ヶ村	寛政12年申12月	半・1冊<8丁>	0612
差上申御証文之事（熱田桑名渡海路普請6人へ依頼につき）尾州領尾州海西郡鎌嶋新田忠兵衛、鳥ヶ地新田周平・才兵衛、福原新田多郎治、鳥ヶ地前新田藤左衛門、大宝新田新右衛門→御普請御懸り御役人中様	寛政13酉年2月	半・1冊<3丁>／ (7点一綴)	0662-4
御法度連判帳（御普請場人足取締につき） (森津新田水門・杵所場所替願ほか)	享和元年酉3月 (享和3～万延元年)	半・1冊<16丁> 9点一綴	0614 1086
乍恐御内達申上候御事（津藤堂伊織家中奉公人森津新田藤蔵女子のふ一件）森津新田庄屋武田沢右衛門、同所組頭久左衛門→岡勝右衛門様御陣屋	(文化6年) 巳6月	半・1冊<5丁>	1086-1
乍恐奉願上候御事（森津新田悪水路水門場所替伺）森津新田地仲満駒屋源兵衛代平嶋新田服部市兵衛、右仲満惣代松名新田佐野治右衛門、右同断鳥ヶ地新田佐野才兵衛、右同断鎌島新田庄屋佐久間善兵衛、森津新田庄屋武田沢右衛門→太田文左衛門様	(文化元年) 子2月	半・1冊<4丁>	1086-2
乍恐書付を以奉申上候御事（森津新田水門杵場所替願）森津新田庄屋武田沢右衛門→太田文左衛門様	(文化元年) 子2月	半・1冊<2丁>	1086-3
乍恐奉願上候御事（寅年震災で田面・地面変化につき三郷水門場所替願）森津新田庄屋武田哲次郎→杵方御役所様	卯10月	堅紙・1通	1086-4
乍恐奉願上候（森津新田地内鍋田川通森津三郷悪水落杵伏替願）芝井・鎌嶋・森津三郷庄屋惣代森津新田新田庄屋武田沢右衛門→一色庄左衛門様御陣屋	(万延元年) 申6月	半・1冊<2丁>	1086-5
乍恐奉願上候御事（来5日に杵潮伏替願）海西郡森津新田庄屋武田沢右衛門、同所組頭久左衛門→杵御奉行所	巳6月	半・1冊<2丁>	1086-6
乍恐奉願上候御事（悪水落杵伏替願）武田沢右衛門→杵御奉行所	巳6月	半・1冊(2丁)	1086-7
乍恐奉願上候御事（森津三郷組合悪水落杵伏替願）芝井新田庄屋佐久間善兵衛、森津新田庄屋武田沢右衛門、鎌嶋新田庄屋木村忠兵衛→杵方御役所	(享和3年) 亥正月	半・1冊<2丁>	1086-8
乍恐御達奉申上候御事（森津新田悪水路水門筏川通	(享和3年) 亥10月	堅紙・1通	1086-9

りへ場所替願) 鎌嶋新田庄屋木村忠兵衛、森津新田庄屋武田沢右衛門、芝井新田庄屋佐久間善兵衛→太田文左衛門様			
間ノ川見分帳 武田沢右衛門	文化元年子12月朔日	半・1冊<4丁>	0618
筏川通川巾改帳	文化6年巳5月13日	横長半・1冊<5丁>	0431
杵橋水門御伏替并御繕御願事之扣 武田沢右衛門	文化9年申7月ヨリ(～弘化4年)	半・1冊<20丁>	1084
(森津新田用水懸伏替物請渡書綴) 杵方役所→森津新田庄屋	(文化10～慶応3年)	横長半・24点一綴	1312
立合杵御伏替諸入用帳	文政6年末2月22日	横長半・1冊<9丁>	0998
用水杵御伏替諸入用覚帳 森津新田	文政7年申12月	横長半・1冊<2丁> ／(2冊一綴)	0999-1
用水杵御伏替諸入用之帳 森津新田	文政8年酉正月～21日	横長半・1冊<8丁>	0999-2
用水入御伏替諸書付入袋	文政8年酉正月	袋(17通入)	1502
(森津新田水門・橋・作方手伝銀受取) 杵御作事場→(森津新田)庄屋	酉5月	小切紙・1通	1502-1
(急御用につき村継遅滞なく達すべき旨) 杵御作事場→古渡・岩塚外7村右間屋庄屋	正月晦日	小切紙・1通	1502-2
(新田水門作方手伝御用代受取) 杵御作事場→(森津新田)庄屋	酉6月	小切紙・1通	1502-3
(杵古木引上用代受取) 杵御作事場→(森津新田)庄屋		小切紙・1通	1502-4
(杵杭古木払代の内差出すよう書付) 杵御作事場→(森津新田)庄屋	2月3日	小切紙・1通	1502-5
(杵杭古木払代の内差出すよう書付) 杵御作事場→(森津新田)庄屋	7月18日	小切紙・1通	1502-6
辰年御勘定目録(森津新田分年貢納入勘定目録)		縦紙・1通	1502-7
(村方杵諸木届代請求願) 杵方御用頭善右衛門→森津御庄屋御衆中様	4月朔日	縦切紙・1通	1502-8
(包紙)		包紙・2通	1502-9
(杵諸木積船運賃代など船人へ渡しにつき覚) 船御番所→(森津新田)庄屋	4月	小切紙・1通	1502-10
(村杵作方手伝日雇代受取) 杵方役所→(森津新田)庄屋	3月	小切紙・1通	1502-11
覚(杵諸木積船運賃船頭へ渡しにつき) 船御番所→森津新田・鎌嶋新田・芝居新田右庄屋	未2月24日	継紙・1通	1502-12
(村杵古木払代受取) 杵御作事場→(森津新田・鎌嶋新田・芝井新田)庄屋	2月3日	小切紙・1通	1502-13
(残枚数・本数など覚)		小切紙・1通	1502-14
覚(人足代など)		横切紙・1通	1502-15
(五寸釘本数内訳覚)		小切紙・1通	1502-16
(岩津新田杵巾など覚)(後欠)		小切紙・1通	1502-17
利平腰乗込杵御伏替諸事覚帳 森津新田	文政12年丑正月	横長半・1冊<10丁>	1000

申歳高懸諸事覚帳 (用水杖御繕雑入用など)	天保7年正月吉日	横長半・1冊<14丁>	0482
乗込杖御伏替諸入用帳 (森津新田)	天保10年亥2月5日ヨリ	横長半・1冊<12丁>/ (2点一綴)	1001-1
覚 (わらじ・酒代ほか諸入用)		横折紙・1通	1001-2
用悪水杖御伏替諸入用帳 (森津新田)	天保11年子11月3日	横長半・1冊<12丁>	1002
御普請所了張帳 (持溜土)	天保13年寅正月26日手始	横半半折・1冊<14丁>/ (4冊一綴)	1308-1
筏川通堤外流作畑御普請所江土取場諸歩改帳	天保13年寅8月14日改	横半半折・1冊<6丁>	1308-2
鍋田川通・堤外野方御普請土取場跡歩改帳	天保13年寅8月14日改	横半半折・1冊<10丁>	1308-3
芝井中堤重上土坪積帳 武田沢右衛門	天保13年寅4月26日	横半半折・1冊<14丁>	1308-4
(持溜土御普請入用帳綴)	天保13・14年	5冊一綴	1341
持溜土御普請入用帳 森津新田	天保13年寅正月吉日	横長半・1冊<20丁>	1341-1
持溜土御普請入用取集帳 森津新田	天保13年寅10月	横長半・1冊<3丁>	1341-2
御普請内入用集帳 森津新田→(寛延・島名ほか村々御庄屋衆)	天保14年卯正月	横長半・1冊<3丁>	1341-3
持溜土御普請内金集帳 森津新田庄屋武田沢右衛門	天保13年寅2月	横長美・1冊<8丁>	1341-4
持溜土御普請諸入用勘定帳 森津新田	天保13年寅正月吉日	横長半・1冊<11丁>	1341-5
堤御普請諸入用勘定帳 森津新田	天保13年	横長半・1冊<8丁>/ (虫損大)	1338
中堤了張	嘉永元年申6月15日	横半半折・1冊<24丁>	0795
乍恐御願奉申上候御事 (平嶋新田より新規横越願取下につき) 森津新田横越口人友四郎・同断孫吉/(奥書) 武田沢右衛門→吉田助次郎様御陣屋	(嘉永元年カ) 申8月	縦紙・1通	1254
乍恐再応奉願上候御事 (森津新田中堤普請願) 森津新田庄屋武田沢右衛門→吉田助次郎様御陣屋	(嘉永元年) 申8月	半・1冊<3丁>/ (虫損大)	1526
嘉永元申九月壹尺重上自普請書付、同二年酉六月中堤平馬自普請書付、同三年戌二月森津・鎌嶋・稲吉三ヶ村組合普請書付	(嘉永元年9月～嘉永3年2月)	横半半折・2冊一綴 (袋付)	0844
(普請持ち場書上)		横半半折・1冊<9丁>	0844-1
(残金渡覚)		横半半折・1冊<6丁>	0844-2
乍恐御願奉申上候 (森津新田中堤自普請願) 森津新田庄屋武田沢右衛門外4名→吉田助次郎様御陣屋	(嘉永2年) 酉5月	半・1冊<2丁>	1527
杵橋水門御伏替并御繕願書留 森津新田庄屋所	嘉永2年酉6月 (~明治3年)	半・1冊<21丁>	1085
乗込杖御伏替諸入用覚帳	嘉永3年戌2月9日 (9月)	横長半・1冊<7丁>	1006

19日昼まで)			
权御伏替并御普請諸入用割賦取集帳 武田沢右衛門→高持御衆中	嘉永3年戌3月	横長半・1冊<5丁>	1007
乗込权御伏替諸入用覚帳	嘉永3年戌12月・正月	横長半・1冊<7丁> ／(3冊一綴)	1005-1
覚(乗込权御伏替諸入用)		横長半・1冊<4丁>	1005-2
覚(乗込权御伏替諸入用)		横長半・1冊<8丁>	1005-3
三ヶ村立合式間权御伏替諸入用帳	嘉永6年丑2月6日手始メ 同17日出来	横長半・1冊<7丁>	1009
用水权御繕諸入用覚帳	嘉永6年丑3月21日ヨリ 28日マテ	横長半・1冊<6丁>	1010
用水权御繕諸入用帳	嘉永6年丑3月	横長半・1冊<5丁>	1011
用水权御繕諸入用割賦取集帳 武田沢右衛門→高持御衆中	嘉永6年丑4月	横長半・1冊<4丁>	1008
稲狐堤急水留入用割当并起堤防入用取集帳 武田沢右衛門	安政2年卯12月	横長美・1冊<2丁>	0856
用悪水权御伏替一卷入并木送り入	安政3年辰12月	袋(9点入)	1032
(权作り方手伝日雇代受取) 权方役所→森津新田	9月	小切紙・1通	1032-1
(权古木御払代請求) 权方役所→森津新田庄屋	正月17日	巻紙・1通	1032-2
(权古木代外請求) 权方役所→森津新田庄屋	12月23日	巻紙・1通	1032-3
(权出来につき手伝銀請求) 权方役所→森津新田庄屋	12月5日	巻紙・1通	1032-4
(权伏方に来月参上の旨書状) 大塚仁右衛門、林平→森津新田庄屋中	11月29日	巻紙・1通	1032-5
(森津・芝井・鎌島分埴土覚)		巻紙・1通	1032-6
森津新田权伏替御普請中仕人足 文田鎌太郎・鈴木小七郎・志村定治	戌2月	横折紙・1通	1032-7
用悪水权御伏替二付入用覚	安政3年辰11月	横長半・1冊<7丁>	1032-8
覚(用悪水权御伏替入用覚)	安政3年辰11月	横長半・1冊<4丁>	1032-9
東起嶋上普請丁張扣	安政6年未6月12日	横長半・1冊<3丁>	0487
筏川通乗込权御伏替入用帳	文久3年亥10月	横長半・1冊<6丁>	1019
水行割賦(森津新田)		横長半・1冊<2丁> ／(5冊一綴)	0976-1
水行目論見二付諸入用集帳 森津庄屋所	慶応2年寅12月	横長半・1冊<4丁>	0976-2
水行御普請二付雑用金集帳 森津庄屋所	明治3年午2月	横長半・1冊<4丁>	0976-3
水行御償御普請金集帳 森津庄屋所	明治3年午2月	横長半・1冊<4丁>	0976-4
水行調金へ御引当米割当・入出場年救下米割渡・水行二付借用米返済割賦 森津庄屋所	明治3年午12月	横長半・1冊<7丁>	0976-5
入土持溜野帳	慶応3年卯8月	横半半折・1冊<20丁> ／(4冊一綴)	0867-1
丁場金渡帳		横半半折・1冊<12丁>	0867-2

渡金通 伝九郎・九右衛門引請		横半半折・1冊<4丁>	0867-3
栄四郎丁場渡金通	閏4月8日	横半半折・1冊<4丁>	0867-4
入土坪数并渡金扣	慶応3年従卯11月	横長半・1冊<12丁>	0869
(入土出金関係書類綴) 森津新田	慶応3年卯12月	15点一綴	0870
(礼金頂戴の御礼ならびに日雇代増額伺) 黒木孫兵衛 →服部市兵衛様、野村留兵衛様、武田哲次郎様	(幕末) 6月29日	巻紙・1通	1442
御勘定御奉行様御代官様立合御泊り入用帳 飛ばし新田庄治郎→木村小兵衛様	慶応4年辰9月4日夜	横長半・1冊<3丁>/ (2冊一綴)	0891-1
仕出シ覚帳 七兵衛→尾州御衆中様	明治2年巳4月	横長半・1冊<5丁>	0891-2
森津新田堤長改帳	(江戸)	横半半折・1冊<10丁>	0796
(森津新田杖伏替材料帳・御普請吟味役人賄い方など綴)	(江戸)	横長半・一綴<24丁>	1332
御普請中諸弁金(書上帳)	(江戸)	半・1冊<17丁>	0676
(寅年以後勘定)	(江戸)	横切紙・1通	1445
(御普請方接待入用など勘定) 松名新田庄や→森津新田御庄屋衆中	寅8月	横長半・1冊<2丁>	1315
所々杖御人足帳 森津新田	卯2月	横長半・1冊<10丁>	0474
水行ニ付御代官様并ニ森田様源六新田江御出張御休泊造用記 宿本佐久間多輔	巳3月5日・6日	横長半・1冊<3丁>	0485
(出水輪中村々出人足書上帳下書) 佐久間吉兵衛・武田沢右衛門外3名→御普請方御奉行所	午4月	半・1冊<6丁>	0671
乍恐奉願上候(兩輪中悪水除堤など普請場所書上、その他) 地主惣代黒宮助三郎外3名→佐屋御出張所	(明治4) 未5月	半・1冊<5丁>	1528
乍恐奉願上御事(境川通りならびに加稲・富田新田間の川メ切り難渋訴訟につき添状願) 海西郡大野綿屋村・稲荷村庄屋彦市、同郡狐地村・稲吉村庄屋太郎兵衛、同郡右同断森津村庄屋沢右衛門、同郡鎌嶋村庄屋忠右衛門、同郡寛延村稲狐村庄屋利兵衛、同郡右同断芝井村庄屋佐久間善左衛門→尾崎友次郎様、松田六兵衛様、水野清左衛門様	申9月	縦継紙・1通	1255
乍恐奉願上候口上之覚(境川通ならびに加稲新田・富田新田間の川上下築留につき尾州御料九か村より難渋の旨願) 尾州御領海西郡大野綿屋村・稲荷村庄屋彦市、森津村庄屋沢右衛門、鎌嶋村庄屋忠右衛門、寛延村稲狐村庄屋利兵衛、芝井村庄屋佐久間善左衛門	申	縦継紙・1通	1252
乍恐奉願上候御事(渡海船路見分にて普請箇所あれば惣代裁許役へ就任願) 森津新田武田沢右衛門→千賀志摩様御家衆老中様	酉5月	半・1冊<3丁>	1525
(御救御普請金につき書状)		巻紙・1通	1493
差上申御請証文之事(筏川通前ヶ須前より稲荷新田前まで普請地先村々引受につき) 庄屋武田沢右衛門・佐野治右衛門・伊藤左兵衛・佐久間善左衛門・善兵衛・利兵衛・良助・仙太郎・長八・善六・山田藤左衛門・松		半・1冊<2丁>	1363

下三右衛門→佐屋神守御役所			
自普請入用帳（下書）		横長半・1冊<3丁>	0411
御救金割渡帳（村々普請金など）		半・1冊<10丁>	0628
治水策建白（下書）		半・1冊<4丁>／ （7点一綴）／（青色罫紙）	0664-1

戸長

布 達

御布令留	明治5年申9月	半・1冊<64丁>／ （罫紙）	0597
御布令留	自明治6年2月至同8年 12月	半・1冊<118丁> ／（罫紙）	0598
地方切要御布令（第一号） （「愛知県尾張国海西郡第六 大区廿三小区森津新田副戸長」の朱印あり）	（明治6～8年）	版本・1冊<264丁>	0729
證印紙御布告（「愛知県尾張国海西郡第六大区廿三小区 森津新田副戸長」の朱印あり）	（明治6～8年）	版本・1冊<104丁>	0722
（明治7～8年布令綴）	（明治7～8年）	版本・1冊<182丁>	0732
（布令）	（明治7年）	版本・4点一括り	0730
地方切要御布令（第貳号） （森津新田副戸長印あり）	（明治8～9年）	版本・1冊<111丁>	0731

土 地

高反別改

高反別御改ニ付書上一巻	明治5年申5月	7点一綴（袋付）	0845
（森津新田高反別御改につき開発地ごと書上） （森津）新田庄屋武田沢右衛門→近藤甚作様	（天保3年）辰4月	半・1冊<2丁>	0845-1
（森津新田荒地引高反別書上）		半・1冊<10丁>／ （虫損）	0845-2
（森津新田荒地引高反別書上） （森津）新田庄屋武田 哲次郎、同所組頭伊藤九郎、同所同断武田茂兵衛→愛 知縣御廳	（明治5年）壬申5月	半・1冊<9丁>	0845-3
御届奉申上候（反別改めの際六段帳と検見帳が符合し ない旨届） （森津）新田庄屋武田哲次郎→愛知縣御廳	（明治5年）壬申	半・1冊<3丁>／ （裏表紙に貼紙）	0845-4
（砂入り田畑変地につき現在の田畑石盛書上） （森津）新田庄屋武田哲次郎、同所組頭伊藤九郎、同所同 断武田茂兵衛	明治5年壬申2月	半・1冊<4丁>	0845-5
（流作見取砂畑反別ほか書上） （森津）新田庄屋武田 哲次郎	（明治5年）壬申5月	罫紙・1通／（橙 色罫紙）	0845-6
（文久元年～明治3年森津新田年貢米書上） （森津）新田庄屋武田哲次郎→愛知縣御廳	（明治5年）壬申6月	半・1冊<12丁>	0845-7
尾張国海西郡第六大区廿二小区森津新田検地帳（第壹	明治第6年7月	半・1冊<110丁>	0639

号)			
尾張国海西郡第六大区廿二小区森津新田検地帳 (第武号)	明治第6年7月	半・1冊<110丁>	0640
(田地反別書上)		半・1冊<15丁>	0666
重田願			
重田願一卷	明治4未	袋 (9点入)	0814
堀田潰小前帳 海西郡森津新田副戸長介佐藤円九郎	明治6年8月	横長半・1冊<10丁>	0814-1
乍恐奉願上候 (水損難渋につき低地重田願下書)		縦紙・1通	0814-2
地低所重田江敷禿御高引願 森津新田副戸長武田哲次郎 →井関権令殿	(明治5年) 壬申10月晦日	縦紙・1通	0814-3
重田江敷禿願之節伺 (下書)		縦紙・1通	0814-4
重田江敷潰御高引願 (下書)		縦紙・1通 / (黒色罫紙)	0814-5
乍恐奉願上候 (水損難渋につき格別低地の場所重田願下書)		半・1冊<3丁>	0814-6
西重郎右堀田江敷 (扣地重田願)		半・1冊<8丁>	0814-7
(重田願地書上)		半・1冊 (8丁) / (黒色罫紙)	0814-8
(堀田潰場所重田願図面) 海西郡森津新田副戸長介佐藤円九郎		30.5×43cm・4枚一綴	0814-9
重田願一卷	明治8年	袋 (10点入)	0827
重田潰小前帳 (森津新田分控) 海西郡森津新田副戸長武田茂兵衛、佐藤民輔	明治8年2月	横長半・1冊<4丁>	0827-1
重田潰小前帳 (与蔵山新田武田家分、図面共) 海西郡与蔵山新田副戸長三輪政次郎	明治8年11月	半・1冊<3丁> / (青色罫紙)	0827-2
重田願 (低地の耕地付荒れにつき) (森津新田) 村副戸長武田茂兵衛外1名 / (奥書) 戸長武田哲次郎→愛知縣令鷲尾隆聚殿	明治8年2月	半・1冊<3丁> / (青色罫紙)	0827-3
重田地直場貢租の儀に付願 (重田掘潰分貢租年数引き願) 森津新田副戸長佐藤民輔外2名 / (奥書) 戸長武田哲次郎外1名→愛知縣令鷲尾隆聚殿	明治8年3月	半・1冊<2丁> / (青色罫紙)	0827-4
重田覚 (低地重田許可願) 芝井新田副戸佐久間多輔、与蔵山辰新田副戸長三輪政次郎、鎌嶋新田副戸長木村半之輔→愛知縣令鷲尾隆聚殿	明治8年4月	半・1冊<2丁> / (青色罫紙)	0827-5
(重田潰地図面) 海西郡森津新田副戸長佐藤民輔外1名		32×43.5cm・1枚	0827-6
(重田潰地図面下書)		32×43.5cm・1枚	0827-7
(重田潰地小割)		縦紙・1通	0827-8
(重田潰地小割)		縦紙・1通	0827-9
(重田潰地長さ・巾書付)		横長半・1冊<4丁> / (2冊一綴)	0827-10-1
(重田潰地長さ・巾書付)		横半半・1冊<6丁>	0827-10-2

譲渡・地価・地券

尾張国海西郡第六大区廿二小区森津新田地価仕出帳 (二冊之内第貳号) 海西郡第六大区廿二小区森津新田副 戸長介佐藤円九郎、同武田耕太郎、戸長武田哲次郎	明治6年8月	半・1冊<152丁>	0641
証券奥印留	(明治6年～同8年)	半・1冊<15丁>	0631
地主扣反別収獲地価帳 (森津新田)		半・1冊<13丁>/ (青色罫紙)	0688
地券入費割賦帳 (第七号) 森津新田副戸長 (佐藤民輔)	明治7年7月	半・1冊<8丁>/ (8点一綴)	0602-3
手続書 (日比喜兵衛病死につき地券証書換下渡願) 第一区愛知郡和泉町式丁目三拾七番屋敷居住相続人日比 ます、親類日比喜十郎、第六区海西郡森津村用係佐藤民 輔→愛知縣令安場保和殿	明治11年6月	半・1冊<2丁>/ (3冊一綴) / (黒 色罫紙)	0667-2
地所譲渡地券証御書換願 (日比喜兵衛分) 第六区海 西郡森津村用係佐藤民輔→愛知縣令安場保和殿	明治11年6月	半・1冊<6丁>/ (3冊一綴) / (黒 色罫紙)	0667-3
(森津新田御証文引願場絵図)		24×34cm・1枚/ (2点袋入)	1355-2
(森津新田畑反別図面)	(明治14年)	半・1冊<46丁>	0673
(堤敷地組替開墾に関する願書類綴、図共)		半・一綴<45丁>	0675

地租改正

地租改正取調中書付	(明治8～同9年)	袋 (7点入) / (虫損大)	0835
地間杭御通 竹屋佐七→森津新田御村方様	明治8年亥4月吉日	横半半折・1冊<6 丁>	0835-1
記 (地間杭代受取) 中山竹屋佐七→森津御村方様	(明治8年) 亥4月10日	小切紙・1通	0835-2
(人足覚)		横折紙・1通	0835-3
(人足覚)		横折紙・1通	0835-4
覚 (代金2円受取) →上	3月5日	小切紙・1通	0835-5
(地間杭本数・代金書上) 大工藤十郎→武田様	(明治9年) 子1月	小切紙・1通	0835-7
記 (地間杭本数・使および代金書上) 嘉左衛門 (尾 州森津竹屋嘉十郎) →武田様	(明治9年) 子7月	巻紙・1通	0835-6
地引帳 (地租改正につき森津新田地所実地丈量書上) 森津新田地主惣代飯田保七、副戸長佐藤民輔、戸長武田 哲次郎	明治9年5月	半・1冊<73丁>	0689
字限地図帳 (森津新田・与蔵山新田) 第六大区二十 二小区尾張国海西郡森津新田戸長武田哲次郎、副戸長佐 藤民輔	明治9年5月	31×43cm・14枚 一綴	0695
字毎反別調帳並各名扣反別調	明治9年6月	半・1冊<17丁>	0684
地引帳 第六大区廿一小区尾張国海西郡奥蔵山新田→愛知 縣令安場保和殿	明治9年7月	半・1冊<9丁>/ (3冊一綴) / (青 色罫紙) / (虫損)	0667-1

再丈量野帳	明治10年6月1日	横半半折・1冊<25丁>	0800
壹村限田・畑・宅地毎等反別寄牒 第六区海西郡森津新田地主惣代同地位詮評議員武田哲次郎外10名	明治10年7月	半・1冊<6丁>/ (青色罫紙)	0642
地位字毎反別調帳 森津新田	明治10年7月	半・1冊<17丁>/ (青色罫紙)	0683
田畑宅毎等反別取獲地価明細書 第六区尾張国海西郡森津村	明治10年12月	半・1冊<7丁>	0624
段差表(森津村分地租改正につき) 森津村用係佐藤民輔→尾張国地租改正係御中	明治10年12月	半・1冊(2丁)/ (7冊一綴)/ (青色罫紙)	0663-2
共有地連名簿 尾張国海西郡森津村	明治10年12月	半・1冊<13丁>	0622
願書留(地租改正など)	(明治10年~同11年)	半・1冊<60丁>/ (青色罫紙)	0632
明治十二年度地價割税仕譯書(森津村分) (尾張国海西郡森津) 村戸長佐藤民輔	明治12年8月19日	半・1冊<3丁>/ (3点一綴)/ (青色罫紙)	0643-1
(森津新田耕宅地地価見込み書上) 海西郡廿二部落森津新田村議員荻子常九郎、地主惣代飯田保七、用係佐藤民輔→地租改正係御中	明治10年7月	堅紙・1通/ (青色罫紙)	0643-2
(地租改正につき田・畑・宅地反別并に地価など取調) (尾張国海西郡森津新田) 村地主惣代加藤藤四郎外7名→愛知縣令安場保和殿	明治12年8月19日	半・1冊<2丁>/ (青色罫紙)	0643-3
連算并書換調直し願(控) 第六区森津新田用係佐藤民輔→地租改正係御中	□9月22日	半・1冊<2丁>/ (6冊一綴)/ (青色罫紙)/ (虫損大)	0668-6

貢租・租税

貢租入費金穀割賦(森津新田)	明治6年	横美半・1冊	0897
地券証印税凡五分金集帳(第貳号) 森津新田副戸長介	明治6年12月	半・1冊<5丁>/ (8点一綴)	0602-8
石代始納金集帳(第三号) 森津佐藤円九郎	明治7年1月	半・1冊<4丁>/ (8点一綴)	0602-7
石代二納金集帳(第五号) 森津副戸長介佐藤円九郎	明治7年3月	半・1冊<4丁>/ (8点一綴)	0602-5
石代皆納金集帳(第六号) 森津副戸長介佐藤円九郎	明治7年4月	半・1冊<4丁>/ (8点一綴)	0602-4
貢租入費金穀割賦(森津新田)	明治7年	横美半・1冊	0898
甲戌検見貢租假免状	(明治7年カ) 甲戌	堅切紙・1通	1353
明治七年分石代金五分上納集帳(第十号) 森津新田副戸長(佐藤民輔)	明治8年1月	半・1冊<3丁>/ (3点一綴)	0603-1
明治七年分石代金貳度目上納集書(第拾三号) 森津新田副戸長	明治8年3月	半・1冊<3丁>	0603-2
戊年石代皆金集帳(第拾四号) 森津新田副戸長(佐藤民輔)	明治8年4月	半・1冊<5丁>	0603-3

(森津新田租税受取状綴)	(明治9年)	3通一綴	1349
證(森津新田租税9円余受取) 愛知縣廳(租税課) → 佐藤民輔	5月5日	小紙・1通 / (3通こより綴)	1350-1
證(森津新田地租407円余受取) 愛知縣史生村井高忠 → 納入武田藤兵衛	明治9年3月19日	小紙・1通	1350-2
證(森津新田地租409円受取) 愛知縣(愛知縣第三課) → 納入武田藤兵衛	明治9年1月25日	小紙・1通	1350-3
(本年貢租畑地仮額確収につき受取) 第六区会所(第六区国税係) → (納入森津新田) (一部印刷、差出印文「第六区国税係」)	明治10年9月28日	小紙・1通	1497
(本年貢租畑地仮額確収につき受取) 第六区会所(第六区国税係) → (納入森津新田) (一部印刷、差出印文「第六区国税係」)	明治10年10月20日	小切紙・1通	1498
貢租畑地地五歩通假割賦集帳 森津新田用係印(佐藤)	明治10年10月16日	半・1冊<3丁> / (4冊一綴) / (青色罫紙)	0644-1
貢租畑地地式分通假割賦集帳 森津新田用係	明治10年9月27日	半・1冊<3丁> / (青色罫紙)	0644-2
貢租畑地地五歩通假割賦集帳 字与蔵山森津新田用係印(佐藤)	明治10年10月16日	半・1冊<2丁> / (青色罫紙)	0644-3
貢租畑地地式分通假割賦集帳 字与蔵山森津新田用係	明治10年9月27日	半・1冊<2丁> / (青色罫紙)	0644-4

村 費

村費取集

壬申村入費内金集帳 森津新田	明治6年1月	横長半・1冊<4丁> / (4点一綴)	0996-3
明治六年村費(支出書上勘定) (森津新田)	明治6年	横美半・1冊	0895
明治六年分村費割賦集帳(第八号) 森津新田副戸長(佐藤民輔)	明治7年7月	半・1冊<8丁> / (8点一綴)	0602-2
明治六年分村費凡金集(第四号) 森津副戸長介佐藤円九郎	明治7年2月	半・1冊<4丁> / (8点一綴)	0602-6
明治七年村費扣(森津新田)	明治7年	横長半・1冊<27丁> / (反古紙)	0445
明治七年村費(支出書上勘定) (森津新田)	明治7年	横美半・1冊	0896
明治七年分村費凡金集帳(十式号) 森津新田副戸長(佐藤民輔)	明治8年1月25日	半・1冊<3丁> / (8点一綴)	0602-1
(森津新田堤上下草税ほか納税由来ならびに納税者届)(森津新田) 村副戸長佐藤民輔 → 愛知縣令鷺尾隆聚殿	明治8年3月	半・1冊<2丁> / (9点一綴) / (青色罫紙)	0894-1
(堤上下草税場図面・魚漁税場図面・鳥獵税場図面・蒲税場図面) 海西郡森津新田副戸長佐藤民輔		25×34cm・一綴<4丁>	0894-2
口地(収納米高勘定)		半・1冊<8丁> / (黒色罫紙)	0894-3

明治六年ヨリ改訂村費米		半・1冊<2丁>／ (青色罫紙)	0894-4
掘田潰 (森津新田潰反別書上)		縦紙・1通／ (黒色罫紙)	0894-5
記 (村費ノ・会所入費割合)		縦紙・1通／ (青色罫紙)	0894-6
当一ヶ年御定免請之儀ニ付願 (森津新田) 邨副戸長武田茂兵衛→愛知縣令權參事生田純貞殿	明治8年10月22日	縦紙・2通／ (青色罫紙)	0894-7
公有地取調書 (図面付) (森津新田) 村副戸長佐藤民輔→愛知縣令鷲尾隆聚殿	明治8年3月	半・1冊<2丁>／ (青色罫紙)	0894-8
(公有地・民有地ほか反別調) (森津新田) 村副戸長佐藤民輔	明治8年4月	半・1冊<2丁>／ (青色罫紙)	0894-9
明治七年分邨費割賦集帳 森津新田	明治8年6月	半・1冊<6丁>／ (青色罫紙「武田所用罫紙」名入)	0902
明治八年村費	明治8年	横半半折・1冊<16丁>	0793
公租邨費金穀割賦	明治8年亥	半・1冊<17丁>／ (青色罫紙)	0900
明治八年分村費集帳 (第貳拾号) 森津副戸長	明治9年1月	半・1冊	0899
明治九年村費	明治9年	横半半折・1冊<16丁>	0794
銓評入費集帳 森津新田	明治10年3月	半・1冊<4丁>／ (3冊一綴)／ (青色罫紙)	0901-1
明治九年分村費内金集帳 森津用係	明治10年1月	半・1冊<6丁>／ (青色罫紙)	0901-2
明治九年分村費内金集帳 森津用係 (佐藤)	明治10年1月22日	半・1冊<8丁>／ (青色罫紙)	0901-3
管内割区内割半年分民費 (出金願) 森津用係 (佐藤)	明治10年11月16日	半・1冊<4丁>／ (2冊一綴)	0601-1
管内割区内割前半年分民費 (出金願) 森津邨用係	明治11年1月11日	半・1冊<4丁>	0601-2
田方培養法諸費		半・1冊 (3丁)／ (7冊一綴)／ (虫損大)	0663-1

品代など受取

村費書付	(明治6～同10年)	袋 (52点入)	0823
覚 (代金23銭受取) 升屋半二郎→上	6月7日	小切紙・1通	0823-1
覚 (代金5両20匁受取) 灰田屋助三郎→森津新田御村方中様	正月19日	小切紙・1通	0823-2
覚 (杉丈丸太ほか代金勘定) 材木問屋忠八郎→森津武田鏡次郎様	4月24日	小切紙・1通	0823-3
覚 (作料・表具直し代8匁5分書上) 表具師佐七→武田沢右衛門	(明治6年カ) 酉7月	小切紙・1通	0823-4
覚 (細口水筆代金15匁受取) 青柳堂→上	7月28日	小切紙・1通	0823-5

覚 (朱硯・筆ほか代金5匁5分受取) 揮雲堂→上	6月26日	小切紙・1通	0823-6
口上状 (桧など代金1兩1朱請求) 長兵衛→武田様	8月20日	小切紙・1通	0823-7
覚 (戸籍入用・守札・申初穂代金勘定)		横折紙・1通	0823-8
覚 (山吹ほか代金1分1朱受取) こま屋→上	2月17日	小切紙・1通	0823-9
(布告代62銭余差出すべき旨通知) 小区長 (伊藤) → 森津新田	3月23日	小切紙・1通	0823-10
覚 (旧戸長取扱い区内入費ほか諸入用書上)		横折紙・1通	0823-11
(森津分戸長月給区内入費ほか差出すべき旨通知)		横折紙・1通	0823-12
覚 (代金勘定) 米や→竹田鏡治郎様	3月6日	巻紙・1通	0823-13
覚 (白半切代金18匁受取) 鏡屋正七→上	5月15日	小切紙・1通	0823-14
覚 (代金3匁7分受取) 揮雲堂→上	5月19日	小切紙・1通	0823-15
覚 (天久半切代金10匁5分ほか書上) 半七→上	11月2日	小切紙・1通	0823-16
覚 (半紙ほか代金勘定) 綿屋與三兵衛→竹田鏡治郎様	12月22日	横切紙・1通	0823-17
覚 (戸長別月給ほか諸入用差引勘定) 佐野→武田君	5月4日	横折紙・1通	0823-18
覚 (生中代金16匁受取) 綿屋与三兵衛→森津久平様	4月28日	横切継紙・1通	0823-19
(明治7年3月割森津新田会所入費正副区长月給ほか村 費13円余勘定)		横切継紙・1通	0823-20
覚 (白あさほか代金7匁4分受取) 名古屋杉之町通御園 西エ入呉服金物類美濃屋長七→武田沢右衛門	(明治6年カ) 酉7月	縦紙・1通	0823-21
覚 (桧代金受取) 佐七→武田様	5月18日	小切紙・1通	0823-22
記 (白半切ほか代金68銭余書上) →竹田様	8月28日	横切継紙・1通	0823-23
覚 (朱墨代金1朱ほか受取) 揮雲堂→上	1月5日	小切紙・1通	0823-24
覚 (代金2両書上) 升や清左衛門→森津村方様		小切紙・1通	0823-25
記 (高木水筆ほか代金受取) 揮雲堂→上	1月13日	小切紙・1通	0823-26
覚 (須崎半紙ほか代金受取) 鏡屋正七→上	6月27日	小切紙・1通	0823-27
覚 (須崎半紙ほか代金受取) かかみ屋正七→上	10月4日	小切紙・1通	0823-28
覚 (半紙・半切代金受取) 鏡屋正七→武田鏡次郎様	1月4日	小切紙・1通	0823-29
覚 (大所・中所ほか代金76匁余受取) 大工新六→武 田様	(明治9年カ) 子4月21 日	横切紙・1通	0823-30
記 (石油代受取) (後欠) カネ好→上	1月7日	巻紙・1通	0823-31
(筆・唐墨代書付) 本町拾一丁目御筆墨所青柳堂清二 (区費取替金ほか村費勘定)		袋・1点 縦折紙・1通	0823-32 0823-33
覚 (杉丈丸太ほか代金113匁余受取) 材木間屋正忠八 郎→森津武田鏡次郎様	4月22日	小切紙・1通	0823-34
覚 (東京黒軸白腰真書3匁受取) 揮雲堂→上	6月4日	小切紙・1通	0823-35
覚 (石油ほか代金43匁受取) 永楽屋和助→上	4月8日	小切紙・1通	0823-36
おほへ (代金清算) 稲元川→上様	(明治6年カ) 酉2月21	小切紙・1通	0823-37

	日		
記(酒・人足代ほか合計代金受取) 宿屋宗三→佐藤民輔様外1名	10月7日	小切紙・1通	0823-38
記(宿泊・酒ほか代金45銭受取) 宿屋宗三→佐藤民輔様	10月7日	小切紙・1通	0823-39
記(戸籍調入費4円余受取) →武田哲次郎様	6月3日	小切紙・1通	0823-40
(代金書上) 野島屋利助	9月7日	小切紙・1通	0823-41
覚(バレンほか代金39匁受取) 板木師源兵衛→伊藤孫十郎様	3月16日	小切紙・1通	0823-42
(割柱1000本代金5両受取) 大工源三郎→森津村御村方中様	正月22日	小切紙・1通	0823-43
(平島組合会所益後入費出金願) 戸長→副戸長御中	明治7年12月22日	小切紙・1通	0823-44
證(県庁新築費森津新田分金3円余受取) 愛知県第六区會所→納入佐藤門右衛門	明治10年6月23日	小切紙・1通	0823-45
覚(炭1俵代金1分余受取) 市屋嘉右衛門→藤八様	2月19日	小切紙・1通	0823-46
(麻さらし1尺代金3銭余ほか受取) みの長→田中様	12月30日	小切紙・1通	0823-47
(93銭受取) 秋葉樓		小切紙・1通	0823-48
記(輪中水行拝借金年賦上納金2円余受取) →武田君	明治9年10月	小切紙・1通	0823-49
覚(半切ほか代金勘定) →上	(明治7年) 11月28日	横切紙・1通	0823-50
(日別人足割当白米など書付)		横長半・1冊<2丁>	0823-51
(材木代受取・大工手間代など勘定)		小切紙・4点一綴	0823-52

合併

与蔵山新田

高反別書上帳 与蔵山新田庄屋服部多三郎、同所組頭三輪忠兵衛	明治5申年5月	半・1冊<5丁>/ (6点一綴) / (橙色罫紙)	0842-1
記(地租係横田太郎へ提出の高反別・戸数・人口産物書上控) 与蔵山新田副戸長三輪政次郎、人民惣代服部市兵衛→地租改正係御中	明治9年8月	半・1冊<2丁>	0842-2
届(高反別書上) 与蔵山新田用懸り三輪政次郎→尾張国地租改正掛出張所御中	明治9年11月11日	罫紙・1通	0842-3
届(与蔵山新田高反別書上) 与蔵山新田三輪政次郎→地租改正係御中	明治10年3月	半・1冊<3丁>	0842-4
届(与蔵山新田高反別書上) 与蔵山新田右邨用係三輪政次郎→地租改正係御中	明治10年3月	半・1冊<2丁>/ (貼紙あり)	0842-5
(与蔵山辰新田・堤外新田反別・略図)		横長半・1冊(2丁)	0842-6
地引帳(地租改正宅地丈量報告) 海西郡与蔵山新田地主惣代服部市兵衛、副戸長三輪政二郎、戸長宮崎十郎二 / (奥書) 副区長服部章→愛知県令安場保和殿	明治9年7月	半・1冊<12丁>	0847
(本年貢租畑宅地仮額確収につき受取) 第六区会所	明治10年10月20日	小切紙・1通	1499

(第六区国税係) → (納人と蔵山新田) (一部印刷、差出印文「第六区国税係」)			
(本年貢租畑宅地仮額確収につき受取) 第六区会所 (第六区国税係) → (納人と蔵山新田) (一部印刷、差出印文「第六区国税係」)	明治10年9月28日	小切紙・1通	1500

普 請

(輪中村々井領米上納ならびに水行御普請関係書類綴)	(明治3年～明治9年)	半・一綴<75丁>	1295
堤通樹木伐拂一卷	明治4未年6月	袋 (18点入)	0816
(森津新田堤通樹木伐払入札につき種類別本数・寸法書上) (森津新田) 村庄屋→佐屋出張所	6月7日	横長半・1冊<3丁>	0816-1
(治水規模改正ならびに実地点検規定写) 太政官	(明治4年) 未2月	半・1冊<3丁>	0816-2
笠松表出張之土木司人員書 民部省土木司出張所		横折紙・1通	0816-3
(大垣藩・名古屋藩・長島藩管轄河川担当書上)		横折紙・1通	0816-4
(他藩県入会伊尾川初め諸川濃州分引受担当書上ほか)		横折紙・1通	0816-5
(塘竹木伐払方太政官布告通り津嶋元神領内佐屋村16か村終了につき表彰)	(明治4年) 未7月	横切継紙・1通	0816-6
(堤樹木入札延引につき書状) 稲元庄屋→塘御締役 武田哲次郎様	6月11日	小切紙・1通	0816-7
(治水見分廻村につき案内人・休泊所など用意すべき旨書状) 辛島儀三郎外1名→武田哲次郎様	6月2日	横切継紙・1通	0816-8
(堤樹木入札の件につき書状、追啓あり) 辛島儀三郎外1名→武田哲次郎様	6月7日	横切紙・2通	0816-9
(堤竹木伐払方尽力奇特につき書状) →真野理兵衛、武田哲次郎、野村留兵衛	(明治4年) 未7月	縦紙・1通	0816-10
(堤樹木入札の件につき書状) 佐屋出張所治水掛元属 吏鈴木与一郎→武田哲次郎様、野山安兵衛	6月9日	横切継紙・1通	0816-11
(入札控)		横折紙・1通	0816-12
(入札控) (前後欠)		横切継紙・1通	0816-13
(入札控)		横切継紙・1通	0816-14
入札控 (森津治助・鎌島栄吉ほか)		横長半・1冊<3丁>	0816-15
覚 (堤通自分植の樹木本数改め書上) 森津新田組頭 円九郎	(明治4) 未年6月	半・1冊<3丁>	0816-16
(堤伐払木種類別本数書上)		半・1冊<4丁>	0816-17
(森津新田堤伐払木種類別本数書上)		横長半・1冊<5丁>	0816-18
(局金・御裏判口返済につき取決)	(明治5年) 壬申2月	半・1冊<5丁>	1306
(用悪水禿地書上類綴)	明治5壬申6月	6点一綴	1083
堤法通根走建物地坪調帳	明治5壬申8月	横長半・1冊<5丁>	1082
(武田久兵衛を森津新田杖守へ任命願) → (武田久平)	(明治5年) 壬申9月	横切継紙・1通/ (4点こより括り)	1410-1

(伊藤宇平・江崎新三郎を森津新田用悪水权守へ任命願) → (伊藤宇平・江崎新三郎)	(明治5年) 壬申9月	横切継紙・1通／ (4点こより括り)	1410-3
御願 (給米5斗で伊藤宇平と江崎新三郎を森津新田用悪水权守へ任命願) (伊藤宇平・江崎新三郎) → 愛知縣御廳	(明治5年) 壬申9月	横切継紙・1通／ (4点こより括り)	1410-4
(森津新田堤通建物地坪御届) 森津新田庄屋武田哲次郎 → 愛知縣御廳	(明治5年) 壬申9月	半・1冊<6丁>／ (7冊一綴)	0663-4
間崎より申出之ヶ条 (井領米の件など取決め)		半・1冊<2丁>／ (3冊一綴)	1294-1
御届書 (加稲・稲元両輪中村々小前共口所权脇堤にて水通し切明につき) 森津新田庄屋武田哲二郎、松名新田庄屋富尾渡一郎、寛延新田間崎新田庄屋代伊藤市三郎、芝井新田庄屋佐久間多助、鎌嶋新田庄屋木村平之助 → 愛知縣御廳	(明治5年カ) 壬申6月	半・1冊<2丁>	1294-2
(稲元新田字狐地割权先より稲荷新田堺割反歩・掬米・残米書上) 稲元新田地主中 → 武田哲二郎様	明治9年9月	半・1冊<2丁>／ (黒色野紙)	1294-3
(森津新田堤上家居取調絵図) → (県庁土木掛り)	(明治5年)	30×80cm・1枚／ (2点袋入)	1355-1
官費営繕之堤防確証御調ニ付差出候書付	明治5申年	袋 (2綴入)	0832
(筏川通堤御普請所勘定方見分のうえ取掛方達) 普請奉行代福住権右衛門外3名 → (森津新田) 村庄屋	明和2年酉9月	横長半・1冊<3丁>／ (6冊一綴)	0832-1-1
(中堤御普請所見積ならびに普請掛金ほか書上) 森津新田庄屋	午12月	横長半・1冊<2丁>	0832-1-2
(鍋田川通堤御普請所勘定方見分のうえ取掛方達) 御普請奉行代山中彦七外3名 → (森津新田) 村庄屋	文化元子11月	横長半・1冊<4丁>	0832-1-3
(与蔵山堤ほか御普請所勘定方見分のうえ取掛方達) 御普請奉行代武田傳兵衛外3名 → (森津新田) 村庄屋	天保6年未9月	横長半・1冊<3丁>	0832-1-4
(油除・杭刎御普請所勘定方見分のうえ取掛方達) 御普請奉行代木村代次郎外2名 → (森津新田)	安政5年午3月	横長半・1冊<7丁>	0832-1-5
(田面除堤御普請所勘定方見分のうえ取掛方達) 御普請奉行代鹿野半右衛門外4名 → (森津新田) 村庄屋	御 宝曆3酉4月	横長半・1冊<3丁>	0832-1-6
御布告写 (官費で修繕した堤防权橋である証拠書類の提出達) 愛知縣廳	(明治5年カ) 壬申8月	横切紙・1通／ (2点一綴)	0832-2-1
(明和2年分ほか堤御普請関係書類写) 御普請奉行代鹿野半右衛門外4名 → (森津新田) 村庄屋	(明治年間写)	横長半・1冊<21丁>	0832-2-2
明治六年ヨリ堤防橋梁自普請ヶ所入費調書	明治6年 (～明治10年)	半・6点一綴<12丁> (袋付)	0846
堤法箇所取調帳 (鍋川通・中堤・筏川通) 尾張国海西郡森津新田副戸長佐藤丹九郎	明治7年6月10日	半・1冊<5丁>／ (3冊一綴) (黒色野紙)	0892-1
堤敷定引高二相成候分 佐藤民輔	明治11年7月	半・1冊<3丁>	0892-2
堤法樹木調		半・1冊<26丁>	0892-3
悪水路事件ニ付上申書類 (普請不履行につき井領米未納)	(明治7～同8年)	袋 (8点入)	0808
(芝井輪中稲荷新田内权長さ・巾普請積)		横折紙・1通	0808-1
(芝井・松名・寛延新田普請堀書上)		小切紙・3通 (紐括り)	0808-2

(新規水路図面)		29×39cm・1枚	0808-3
悪水路当分築留願(新水行路築き方願) (海西郡松名新田・寛延新田・間崎) 新田副戸長伊藤貞次郎→愛知県令鷺尾隆聚殿／(奥書) 戸長伊藤正 (「戸長伊藤正」の奥印あり)	明治7年11月24日	半・1冊<2丁>／(2点一綴)／(青色罫紙)	0808-4-1
悪水路築留方差障御尋ニ付届(水路築き方難儀につき不許可願) 森津新田副戸長佐藤民輔、鎌島新田・島名新田副戸長木村吉輔→正副区長御中	明治7年11月	罫紙・1通／(青色罫紙)	0808-4-2
芝井初メ三ヶ邨反別寫(井路敷引分勘定) 森津・鎌島副戸長	明治8年11月	半・1冊<3丁>／(青色罫紙)	0808-5
乍恐以書付奉願上候(加稲・稲元・森津輪中水害難渋につき間川東西築留願) 尾州森津新田庄屋哲次郎、芝井新田庄屋右馬之介、鎌島新田庄屋小八郎、松名新田庄屋渡一郎、寛延新田・間崎新田庄屋権次郎、稲元新田・稲荷新田庄屋長三郎、狐地新田・稲吉新田平左衛門、三稲新田・稲狐新田庄屋小平、勢州加稲新田・稲荷寄新田・同付新田・境新田・富崎新田・同附新田・加稲九郎二新田・庄屋清太郎、三好新田庄屋金右衛門、富嶋新田・加稲山新田庄屋三郎右衛門、富嶋村新田庄屋常三郎	明治2年巳4月	美・1冊<3丁>	0808-6
乍恐奉願上候(輪中村々水害難渋のため悪水堀付設願) 尾州芝井新田・松名新田・間崎新田・寛延新田・鎌島新田・森津新田・三稲新田・稲狐新田・狐地新田・稲吉新田・稲元新田・稲荷新田(庄屋・百姓惣代名省略)→笠松県御役所	明治2巳年9月	美・1冊<4丁>	0808-7
約定為取替一札之事(普請後の維持管理につき村々議定) 三好新田・加稲新田・同九郎治新田・稲荷崎新田・同付新田・留崎新田・加稲付新田・森津新田・狐地新田・稲吉新田・芝井新田・三稲新田・稲狐新田・鎌島新田・寛延新田・間崎新田・松名新田・稲元新田・稲荷新田(庄屋名省略)／奥書取扱人白木金五郎	明治2巳年4月	美・1冊<3丁>	0808-8
堤法拝借願 第六大区二十二小区海西郡森津新田→愛知県令鷺尾隆聚殿	(明治7年)	半・1冊<60丁>／(罫紙)	0621
鍋田川通渡除普請(普請願、普請箇所書上、図面共) 森津新田村副戸長佐藤民輔→愛知県令鷺尾隆聚殿(袋の年次は明治9年)	明治8年7月	半(袋入)・1冊<3丁>	1358
井領米不渡催促之訴答書(明治3年から5か年滞納につき) (海西郡鎌島新田・森津新田・芝井新田・松名新田・寛延新田・嶋名新田)	明治8年12月	半・一綴<34丁>	0806
(森津新田井領米差出方ならびに水路定約関係綴)	(明治8～10年)	半・5冊一綴	0811
井領米差出方并水路定約可否之伺 第六大区二十二小区海西郡森津新田副戸長武田茂兵衛外1名／(奥書) 武田哲次郎外1名→愛知県権參事生田純貞殿	明治8年12月5日	半・1冊<4丁>／(黒色罫紙)	0811-1
井領米差出方并水路定約ノ義ニ付伺(森津新田初め七新田組合)	明治8年12月20日	半・1冊<3丁>／(黒色罫紙)	0811-2
手続書(間ノ川築留方出願につき) 第六大区二十二小区海西郡森津新田副戸長武田茂兵衛、鎌島・嶋名両新田内木村吉輔	明治8年12月20日	半・1冊<4丁>／(青色罫紙)	0811-3
井領米留出方并水路定約ノ義再伺 第六大区二十二小区海西郡森津新田副戸長武田茂兵衛、鎌島・嶋名両新田副戸長木村吉輔→愛知県令安場保和殿	明治9年1月9日	半・1冊<2丁>／(黒色罫紙)	0811-4
悪水敷地米ノ義ニ付指令再願	明治10年1月31日	半・1冊<2丁>	0811-5
(井領米請求ならびに悪水路水行訴訟関係書類綴)	(明治8年～10年)	半・一綴<14丁>	1303

(悪水路関係訴訟綴)	(明治8～13年)	6点一綴	0828
(悪水路の裁判約定錯誤につき加筆願)		半・1冊<3丁>	0828-1
御受書(悪水路松名新田外4村地内掘鑿潰地分井領米差出す旨) 島名・鎌島新田副戸長木村吉輔、森津新田副戸長武田茂兵衛→愛知縣令鷺尾隆聚殿	明治8年10月12日	半・1冊<2丁>	0828-2
御受書(悪水路松名新田ほか4村地内掘鑿潰地分井領米差出す旨) 鎌島新田副戸長木村吉輔、森津新田副戸長武田茂兵衛→愛知縣令生田純貞殿	明治8年10月22日	半・1冊<2丁>	0828-3
(稲元新田字狐地割杖先より稲荷新田境までの掟米など差出方願) 稲元新田地主中→鎌島新田・森津新田御中	明治9年9月	半・1冊<2丁>	0828-4
定(願入用出金割合) 佐久間右馬之助外4名	寅正月	半・1冊<3丁>	0828-5
代人届并保証書失念ニ付猶予願 尾張国海西郡森津村三十二番地佐藤民輔→名古屋区裁判所長	明治13年7月5日	竖紙・1通	0828-6
(井領米関係訴訟記録)	(明治9年)	袋(31点入)	1501
(井領米事件につき書状) 伊藤正外式名代理疋田東一→木村吉輔殿・武田茂兵衛殿・服部平左衛門殿	(明治)9年9月10日	横切紙・1通	1501-1
控(東京裁判所へ控訴の件愛知裁判所へ届につき書状) 木邨吉助外2名→北洲舍中疋田東一殿		継紙・1通	1501-2
請取証(書状一通) 北洲入吉→木村吉助殿外式名	(明治)9年9月16日	竖切紙・1通	1501-3
慶応二寅五月廿八日田面水深(森津・松名・寛延・芝井・稲元・稲荷・狐地)		横長半・1冊<4丁>	1501-4
御届(松名新田村高より水路路低所につき入土分差引残高) (松名)新田庄屋富尾東一郎→愛知縣御廳	(明治5年)壬申6月	竖紙・1通	1501-5
(上訴につき書状) 東京室町三丁目十六番地名倉屋平兵衛方ニテ木村吉輔→愛知縣下名古屋朝日町二丁目七番地青木絨殿	第12日	卷紙・1通(封筒入) / (2点こより括り)	1501-6-1
(寛延新田伊藤正ほかに係わる井領米控訴などにつき書状) 同縣下海西郡鎌島新田木村吉輔→愛知縣下名古屋朝日町二丁目七番地(東京室町三丁目名倉屋平兵衛方ヨリ)青木絨殿	明治9年9月4日	卷紙・2通(封筒入)	1501-6-2
(9月15日電報控) 東京台マチサシナクラヤニテ木邨吉輔→名古屋玉屋町服部平左衛門		小切紙・1通	1501-7
(約定書を紛失したが約束事項に相違ない旨書状) 武田哲次郎		竖紙・1通 / (黒色罫紙)	1501-8
證(代書代ほか受取) 保権□→服部平左衛門殿外御一人殿	明治9年11月4日	卷紙・1通	1501-9
(稲元・稲荷堤間数覚)		卷紙・1通	1501-10
(森津輪中巾巾・長さなど覚)		横折紙・1通	1501-11
御願申上候(間川築留につき稲元新田ほか村々より用水杖伏込方願) 武田哲次郎外4名→愛知縣御廳	(明治5年)壬申6月	竖紙・1通	1501-12
(五ヶ所水行井領米の儀につき書状) 稲元新田地主中→戸長武田様	(明治)9年1月21日	卷紙・1通	1501-13
(書状・旅費がなく帰国難渋につき送金願) 從東京木邨吉輔→服部平□		竖紙・1通	1501-14

(武田氏同道につき書状) 木村吉輔君→加藤省	10月5日	巻紙・1通	1501-15
(稲元・稲荷両新田の井領米一件につき書状)	8月27日	巻紙・1通／(青色罫紙)	1501-16
(控訴入費送金なきにつき書状) 木村吉輔→地主惣代 伊藤治郎右衛門殿、武田哲次郎殿外7名	第19日	堅紙・2通	1501-17
(控訴につき委任状の件など書状)		堅紙・2通	1501-18
(水路築留につき奥印の件書状) 区長→森津芝井初正 副戸長御中	10月29日	巻紙・1通	1501-19
(封筒のみ) →加藤省様		封筒・1通	1501-20
(約定書を紛失したが約束事項に相違ない旨書状) 武田哲次郎		堅切紙・1通	1501-21
(佐屋村加藤省殿への別紙来状拝見につき書状) 鎌 島平→モリス武田君	10月1日	巻紙・1通	1501-22
(事件につき詫び状) 木村吉輔→青木紋殿	第18日	横切紙・1通／ (赤色罫紙)	1501-23
(電報) キムラキチスケ→ハツトリヘイヘモン	明治9年9月16日	堅切紙・1通(封筒入)	1501-24
(直ちに名古屋へ出張依頼の件など書状) 加藤省→服 部平右衛門殿	9月30日	巻紙・1通	1501-25
芝井境立切(むしろ・縄・人足・船数ほか覚) 武田 哲次郎		堅紙・1通／(黒色罫紙)	1501-26
(地主連署終了後に委状を至急廻してほしい旨など書 状) 木村吉輔→鎌島新田木村春樹殿、森津武田哲治郎 殿	第27日	巻紙・1通／(2通 封筒入)／(赤色 罫紙)	1501-27-1
(東京からの別紙に回答の件など依頼状) 青木紋・堀 部勝一郎→武田哲太郎様御地主中	10月2日	巻紙・1通／(赤 色罫紙)	1501-27-2
(電報) キムラヨシスケ→アラキアキラ	明治9年10月5日	堅切紙・1通(封筒入)	1501-28
(松名筋水行井領米の件にて召喚につき書状) 大谷 甚平→武田哲治郎様	8月12日	堅紙・1通／(2通 包紙入・青色罫 紙)	1501-29-1
(父甚平帰宅遅く訪問不能の件詫び状) 大谷鎌造→武 田哲二郎殿	8月13日	巻紙・1通(包紙 入)	1501-29-2
(間崎新田間ノ川東メ切り長さ・土砂・人足など覚)		横折紙・1通	1501-30
(協議のうえ電信願) 省→武田大君	10月10日午前	横切紙・1通	1501-31
(森津新田鍋田川通り普請資材・人夫・費用目論見書 上ならびに愛知県修築許可)／(奥書)愛知県土木係	明治10年3月	半・1冊(3丁)／ (7冊一綴)／(赤 色罫紙)	0663-3
悪水路公裁中諸費 鎌島森津	明治10年6月調	袋(50点入)	0812
記(代金1円余受取) 近江屋直吉→上	12月13日	小切紙・1通	0812-1
記(金25円入りの包受取) 伊藤店→武田哲次郎様	7月12日	小切紙・1通	0812-2
入金記		横折紙・1通	0812-3
記(代金受取) 丸竹屋岩吉(東京桜田久保町通善右衛門 町丸竹屋)→上	9月27日	小切紙・1通	0812-4

證（千字文代金受取） 須原屋金花堂佐助（日本橋南） →上	10月7日	小切紙・1通	0812-5
記（飛脚賃・書留郵便ほか支払代金書上） （明治8・9年分支払代金書上）		横折紙・1通	0812-6
		横折紙・1通	0812-7
東京日々新聞代価確受取之証 日報社→堀部勝四郎様	子8月16日	小紙（版）・1通	0812-8
記（代金受取） 美濃屋佐兵衛→木村吉助様	8月8日	小切紙・1通	0812-9
記（袴ほか納入） 越後や栄太郎外1名→木村吉助様	9月3日	小切紙・1通	0812-10
記（出金覚） （出金覚）		横折紙・1通	0812-11
		横折紙・1通	0812-12
書留郵便物請取證（東京室町三丁目十六番地名倉屋平兵衛方木村吉輔から愛知県名古屋朝日町貳丁目青木宛郵便）	明治9年8月17日	小紙（版）・1通	0812-13
書留郵便物請取證（東京室町三丁目拾六番地名倉屋平兵衛方木村吉輔から愛知県名古屋朝日町二丁目七番地名青木宛郵便）	明治9年8月24日	小紙（版）・1通	0812-14
書留郵便物請取證（室町三丁目名倉屋平兵衛方木村吉輔から尾張名古屋朝日町青木宛郵便）	明治9年9月22日	小紙（版）・1通	0812-15
書留郵便物請取證（東京室町三丁目名倉屋平兵衛方木村吉輔から愛知県名古屋朝日町青木宛郵便）	明治9年9月26日	小紙（版）・1通	0812-16
書留郵便物請取證（室町三丁目名倉屋平兵衛方木村吉輔から名古屋朝日町二丁目青木宛郵便）	明治9年9月22日	小紙（版）・1通	0812-17
覚（茶わん代金受取） 信松（伊勢町堀川岸信濃屋）→上	9月4日	小切紙・1通	0812-18
（東京木村吉輔より名古屋青木宛音信料金受取証） 電信局	明治9年9月29日	堅切紙・1通	0812-19
（東京木村吉輔より名古屋青木宛音信料金受取証） 電信局	明治9年10月19日	堅切紙・1通	0812-20
（東京木村吉輔より名古屋青木アキラ宛音信料金受取証） 電信局	明治9年9月26日	堅切紙・1通	0812-21
（東京木村吉輔より名古屋服部平左衛門宛音信料金受取証） 電信局	明治9年9月16日	堅切紙・1通	0812-22
（東京木村吉輔より名古屋青木宛音信料金受取証） 電信局	明治9年9月2日	堅切紙・1通	0812-23
（東京木村より名古屋青木宛音信料金受取証） 電信局（築地電信局）	明治9年10月5日	堅切紙・1通	0812-24
（名古屋前払い音信料金受取証） 電信局（築地電信局）	明治9年10月5日	堅切紙・1通	0812-25
（林麟太郎より名古屋青木アキラ宛音信料金受取証） 電信局（日本橋電信局）	明治9年8月14日	堅切紙・1通	0812-26
覚（代金受取証） 両国元町市野屋春吉→上	8月15日	堅切紙・1通	0812-27
覚（蒲焼代金受取証） 室町浮世小路（安房屋）→上	8月16日	堅切紙・1通	0812-28
覚（代金受取証） 室三丸金→六ばん御客様	8月22日	堅切紙・1通	0812-29
覚（料理代金受取証） 京橋銀座巷丁目松田→上	9月9日	堅切紙・1通	0812-30
覚（代金受取証） 深川仲町川清→上	9月24日	堅切紙・1通	0812-31
覚（料理代金受取証） 京橋銀座巷丁目松田→上	10月16日	堅切紙・1通	0812-32

証（罫紙代価上納）	海西郡森津新田武田茂兵衛	(明治) 9年12月4日	堅切紙・1通	0812-33
証（罫紙代価上納）	海西郡鎌島新田木村吉輔	(明治) 9年12月4日	堅切紙・1通	0812-34
証（罫紙代価上納）	海西郡鎌島新田服部平左衛門	(明治) 9年12月4日	堅切紙・1通	0812-35
記（代金受取）	三島宿相模屋利兵衛→上	第8月12日	小切紙・1通／ (青色罫紙)	0812-36
覚（代金受取）	はまたや傳六（勢州四日市）→木村様	8月30日	小切紙・1通	0812-37
記（下足袋ほか代金4貫969文受取）	中村屋→木村様	10月	小切紙・1通	0812-38
記（荷物解・人足持出し代金8錢ほか受取）	福井忠兵衛→木村様	第10月21日	小切紙・1通	0812-39
記（酒・塩焼ほか代金65錢余受取）	松屋五兵衛→木村吉輔様	8月27日	小切紙・1通	0812-40
記（尾州米100俵代金より水上賃など差引金86円余渡し）	田島屋与吉→武田様	5月26日	小切紙・1通	0812-41
記（船賃ほか代金勘定）			小切紙・1通	0812-42
記（金銭勘定）	伊藤→武田様		小切紙・1通	0812-43
(封筒のみ)	森津用係→鎌島用係木村二朗殿		封筒・1点	0812-44
(水引一件につき書状)	金森源三郎→武田哲次郎様	3月11日	小切紙・1通	0812-45
(米手付金の件につき書状)	花井啓九郎→武田哲次郎様	5月17日	小切紙・1通	0812-46
(組合議決の件につき書状)	青木絨→森津新田武田哲太郎様	11月17日	巻紙・1通（封筒入）	0812-47
(稻荷新田より出願の塚樋の件につき廻達）	第六区 会所→森津新田・鎌島村右村々用係中	(明治) 11年9月6日	巻紙・1通（封筒入）	0812-48
(かめ彦にて亥年12月16日夕飯・22日午飯献立覚）			巻紙・1通	0812-49
(明治9～10年諸掛り代書上）			横折紙・1通	0812-50
井敷米勸解中書類		明治10年8月	7点一綴（袋付） <14丁>	0807
(鍋田川通堤防普請願書類類)		明治10年	半・4冊一綴	0678
御普請願（鍋田川通危険箇所検査の上普請許可願）	(森津新田・芝井新田・寛延新田・松名新田・鎌島新田土木惣代・用係) →愛知縣令安場保和殿	明治10年9月	半・1冊<8丁>	0678-1
御普請願（幹流木曾川の支流鍋田川通堤防危険箇所普請願、請書など共）	森津新田土木惣代白木徳太郎、用係佐藤民輔	明治9年9月28日	半・1冊<7丁>	0678-2
杭出追修繕願（鍋田川堤普請目論見帳など共）	尾張 国海西郡森津新田→愛知縣令安場保和殿	明治10年7月	半・1冊<5丁>	0678-3
杭出追修繕願（鍋田川堤普請目論見帳など共）	(森津新田・芝井新田・寛延新田・松名新田・鎌島新田土木惣代・用係) →愛知縣令安場保和殿	明治10年8月6日	半・1冊<9丁>	0678-4
御休泊之通	内川屋宗三→森津村御用係様	明治10年	横半半折・1冊<6丁>／ (2点一綴)	0560-1
御休泊簿帳	内川屋宗三→森津村御用係様	明治10年丑1月	横半半折・1冊<12丁>	0560-2

証（鍋田川通堤防修繕入費下渡につき受取） 第六区海西郡森津新田森津新田土木惣代荻子常九郎、（森津）村用係佐藤民輔→愛知縣令安場保和殿	明治11年1月	縦紙・1通／（7点一綴）／（青色罫紙）	0664-6
鍋田川通悪水杖樋伏換目論見帳 第六区海西郡森津始メ三ヶ村（森津村・芝井新田・鎌島新田）	明治11年11月	半・1冊<9丁>／（2冊一綴）（青色罫紙）	0849-1
杖樋伏替願（鍋田川通悪水杖樋） 右井組村々森津村大工惣代白木憲太郎、鎌島新田大工惣代加藤喜七、芝井新田大工惣代八木大五郎、森津村用係佐藤民輔、鎌島新田用係木村二郎、芝井新田用係佐久間代輔→愛知縣令安場保和殿	明治11年11月22日	半・1冊<2丁>	0849-2
悪水路事件ニ付地方官エ申告ノ書類	（明治11年）	5点一綴（袋付）	0810
悪水路之儀ニ付届 第六区海西郡鎌島新田用係木村二郎外1名→第六区区长御中	明治11年5月30日	縦紙・1通／（青色罫紙）	0810-1
悪水路敷地之儀ニ付御答	明治11年12月	半・1冊<4丁>／（黒色罫紙）	0810-2
自首願（悪水路敷地米償却方につき）		半・1冊<4丁>／（青・黒色罫紙）	0810-3
乍恐奉願上候御事（筏川・鍋田川に挟まれた輪中村々水害難渋につき） 富尾儀一郎外5名→岡崎新吾様御陣屋	（慶応2年） 寅正月	半・1冊<3丁>／（青色罫紙）	0810-4
乍恐奉願上候御事（当輪中悪水路普請につき願） 松名富尾儀一郎外5名→岡崎新吾様	（慶応2年） 寅正月	半・1冊<2丁>	0810-5
記（宿泊・酒肴ほか代金6円余受取） 下茶屋町玉屋ゆか→森津新田用係御衆中様	寅1月31日	横長美・1冊<3丁>／（6点一綴）	0556-1
記（宿泊・煙草ほか代金4円余受取） 内川屋宗三→森津新田伊藤民輔様	7月	横長半・1冊<3丁>／（貼紙あり）	0556-2
記（宿泊・煙草ほか代金6円余受取） か見屋彦十郎→森津新田武田様、伊藤様	明治10年9月5日	横長半・1冊<3丁>	0556-3
記（宿泊・酒ほか代金16円余受取） 名古屋か見屋彦十郎→武田様、佐藤様御連中	明治11年7月	横長美・1冊<4丁>／（貼紙あり）	0556-4
記（宿泊・昼代ほか代金11円余受取） 玉屋ゆか→森津新田用懸り御衆中様	丑7月	横長半・1冊<3丁>／（貼紙あり）	0556-5
記（宿泊・昼代ほか代金28銭請求） 玉屋ゆか→森津新田用懸り御衆中様	丑7月	横折紙・1通	0556-6
（5か村入用・諸費書付および同受取書類）（伊藤正、森津円九郎、森津半三郎、大工藤十郎、森津村与兵衛、茂三郎、引受茂兵衛など）→（武田様、五ヶ村様、五ヶ村御役所様、五ヶ村御番屋中様、引受茂兵衛様など）	（未12月～酉6月21日）	10点一綴	1450
請書（森津・芝井・松名・寛延・鎌島新田堤防修繕春普請届） 森津新田用係佐藤民輔外3名→第六区区长御中	明治10年	縦紙・1通／（7点一綴）／（青色罫紙）	0664-4
御請書（森津新田地内鍋田川通堤本年臨時普請請書） 土木惣代白木謙太郎、森津邸用係佐藤民輔→愛知縣令安場保和殿	明治10年11月10日	縦紙・1通／（7点一綴）／（青色罫紙）	0664-5
作毛達年々扣覚		半・1冊<26丁>／（7点一綴）	0664-7

地主惣代

普請

井水堤塘江付確証		袋 (5点入)	1287
確証 (堤敷地米1斗7升9合森津新田へ引渡相違無き旨) 第六区鎌島新田用掛木村替輔→森津新田用掛佐藤民輔殿	明治10年7月	堅切紙・1通 / (赤色罫紙)	1287-1
確証 (井領米7升7合森津新田へ引渡相違無き旨) 第六区鎌島新田用掛木村替輔→森津新田用掛佐藤民輔殿	明治10年7月	堅切紙・1通 / (赤色罫紙)	1287-2
確書 (堤敷地米1斗7升9合森津新田へ引渡相違無き旨) 松名新田用掛伊藤柳右衛門→森津新田用掛佐藤民輔殿	明治10年7月	堅紙・1通 / (青色罫紙)	1287-3
確書 (堤敷地米1斗7升9合森津新田へ引渡相違無き旨) 寛延新田用掛伊藤権左衛門→森津新田用掛佐藤民輔殿	明治10年7月	堅紙・1通 / (青色罫紙)	1287-4
為取換約定証券 (水引立普請につき旧藩より拝借金新田別年賦記) 森津新田地主惣代武田哲次郎外5名	明治8年6月	半・1冊<4丁> / (青色罫紙)	1287-5
(井領米関係綴)	明治10年	4点一綴	0670
井領米割渡之記 森津新田用係佐藤民輔	明治10年7月	堅紙・1通 / (青色罫紙)	0670-1
保証書 (武田哲次郎ほか6名井領米引渡につき) 海西郡森津新田地主惣代佐藤円九郎外4名、用係佐藤民輔	明治10年7月	堅紙・1通 / (青色罫紙)	0670-2
井路敷券帙御下渡願 (確証共) 第六区森津新田地主惣代武田哲次郎、用係佐藤民輔→愛知縣令安場保和殿	明治10年7月	堅紙・4通 / (青色罫紙)	0670-3
(森津新田井路敷につき図面) 第六区海西郡森津新田用係佐藤民輔	(明治10年)	32.5×43cm・1枚	0670-4
(悪水路ノ訴訟関係書類綴)	明治11年	半・4冊一綴	0809
悪水路ノ義二付具申書 第六区海西郡鎌島新田地主惣代加藤喜七・木村忠三郎、右村用係木村二郎、森津村地主惣代飯田保七・佐藤円九郎、右村用係佐藤民輔→愛知県令安場保和殿	明治11年8月	半・1冊<4丁> / (青色罫紙)	0809-1
悪水路敷地ノ義二付御答 第六区海西郡鎌島新田地主惣代海東郡佐屋邨加藤省、右村用係木村二郎、森津新田地主惣代名古屋茶屋町伊藤次郎左衛門・武田哲次郎、右村用係佐藤民輔→第六区区长御中	明治11年3月11日	半・1冊<4丁> / (青色罫紙)	0809-2
悪水路ノ義二付具申書 第六区海西郡鎌島新田地主惣代加藤喜七外5名→愛知県令安場保和殿	明治11年8月	半・1冊<4丁> / (青色罫紙)	0809-3
悪水路敷地ノ義二付御答 第六区海西郡鎌島新田地主惣代海東郡佐屋邨加藤省外4名→第六区区长御中	明治11年3月11日	半・1冊<4丁> / (青色罫紙)	0809-4
(悪水路故障解除訴訟12か村関係書類綴、絵図共) (被願人惣代武田誠一)	(明治19~24年)	半・一綴<30丁>	1293

支配人 / 土地

地割

森津新田鯛浦口地割帳 作主善蔵	宝曆7丑10月	横長半・1冊<5丁>	0504
-----------------	---------	------------	------

海西郡森津新田津嶋口大口ニ割込差引帳	宝暦11年辛巳正月	横長美・1冊<6丁>	0387
海西郡森津新田口割附帳	宝暦11年正月	美大・1冊<17丁>	0720
一札之事(当巳春地割につき、津嶋口縮メ鬮取り等一札) (森津)新田庄屋沢右衛門・覚左衛門→烏ヶ地新田庄蔵殿	宝暦11年巳3月	豎継紙・1通	1150
鯛浦口小割覚帳	寛政9歳巳2月	横長半・1冊<23丁>	0395
宮地割覚帳	文化4年卯正月	横長半・1冊<15丁>	0400
口地通地割入用帳	文化6年巳正月7日	横長半・1冊<5丁>	0399
地割帳(森津新田口地)	文化6年巳正月	横長美・1冊<15丁>	0401
(森津新田地割帳)	文化9年申年	横長美・1冊<16丁>	0402

掟地反別

(森津新田掟地反別帳)	(文化元年2月～)	横半半列・1冊<229丁>/ (虫損)	0727
口地田畑地主扣反別帳(地租改正につき)(第一号) (森津新田)	明治9年	横長半・1冊<26丁>	0460
口地屋敷反別地主扣調帳(地租改正につき)(第二号) (森津新田)	明治9年	横長半・1冊<19丁>	0459
分高地主扣反別調帳(地租改正につき)(第三号) (森津新田)	明治9年	横長半・1冊<15丁>	0458
村方扣地掟反別人名簿	明治第10年12月	横長半・1冊<28丁>	0456
手作分田畑掟反別帳	明治11年12月改正	横長半・1冊<13丁>	0461
森津掟地反別帳(地主伊藤分掟米高年々書上) 伊藤	明治11年(～明治22年)	横半列・1冊<78丁>/ (虫損)	0789
口地仲間掟反別帳	明治11年(～明治21年)	横半列・1冊<230丁>	0791
口地田畑宅反別掟米帳(伊藤・二井・武田など地主毎の田畑書付) 海西郡森津	明治21年12月調	半など・(16点こより括り)	1513
口地壱口歩作掟米反別帳(白木控)	明治21年12月調	横長半・1冊<4丁>	0470
口地仲間掟反別帳	明治22年12月	横長半・1冊<26丁>	0462
口外反別掟帳 武田	明治22年	横長半・1冊<5丁>/ (7点一綴)	0548-6
分高反別地価帳(明治20年度調) 森津村(地主会所)	明治23年12月訂正	半・1冊<38丁>	0686
口地反別地価仕出帳(明治20年度調) 森津村(地主会所)		半・1冊<12丁>	0685
口地耕地地収獲口割賦帳		半・1冊<11丁>/ (3冊一綴)	0687-1

森津新田／支配人／^{土地／耕地絵図}
 作人
 掬米／掬米高 掬積帳

分高収穫割賦帳		半・1冊<22丁>	0687-2
辰新田・与蔵山収穫割賦帳 (森津新田掬地反別帳)		半・1冊<6丁> 横半半列・1冊<79 丁>/ (虫損)	0687-3 0726
森津新田六人物掬帳 (伊藤次郎左衛門ほか反別差引地価書上)		横長半・1冊<3丁> 半・1冊<8丁>/ (6冊一綴) / (青 色罫紙)	0889 0668-5

耕地絵図

口地廿四口割略図 (森津新田) (森津新田耕地部分図) (森津新田廿四口割略図) (森津新田耕地略図) (森津新田耕地略図) (森津・芝井新田など付近絵図) (森津新田周辺絵図下書)	明治29年12月	25×34cm・31枚 一綴 25×34cm・1枚/ (2点一綴) 25×34cm・3枚一 綴 25×34cm・17枚 一綴 25×34cm・3枚一 綴 44×64cm・1枚/ (2点一綴) 40×85cm・1枚	0696 0697-1 0697-2 0698 0699 0700-1 0700-2
---	----------	--	--

作 人

慶応二年寅口地下作間作壺口通 宅地並宅地付田畑作人帳 (埋田3か所)	慶応2年 明治11年改正	横長半・1冊<6丁> 横半半折・1冊<49 丁>	0469 0798
---------------------------------------	-----------------	--------------------------------	--------------

掬 米

掬米高

(森津新田掬米書上) (人別年々取米高書上) (後欠) (人別取立米勘定) (前欠)	(文化14年～)	半・1冊<4丁> 横長美・1冊<19 丁>/ (2冊一 綴) / (虫損大) 横長美・1冊<7丁> / (虫損大)	0681 0565-1 0565-2
--	----------	--	--------------------------

掬積帳

森津新田屋敷掬積帳 狐地稻吉屋敷米積帳 (慶応4年8月13日吉田氏より借覽)	宝暦11年辛巳4月 慶応3卯年(慶応4年写)	横長美・1冊<16 丁>/ (2点一綴) 横長半・1冊<7丁>	0388-1 0429
---	---------------------------	---------------------------------------	----------------

○			
壺口通積り帳（津嶋口）	文化6巳年12月	横長半・1冊<8丁>	0044
午年積り帳（津嶋口）	文化7年12月	横長半・1冊<9丁>	0045
壺口通積り帳（山路口）	文化8未年	横長半・1冊<8丁>	0046
申年積り帳（山路口）	文化9年	横長半・1冊<11丁>	0047
積り覚帳	文化11年戌12月	横長美・1冊<8丁>	0048
亥年積り帳（山路口・森津壺口通）	文化12年	横長半・1冊<12丁>	0049
子年積り帳（山路口）	文化13年12月15日	横長半・1冊<12丁>	0050
丑年口地積り帳（津嶋口）	文化14年12月	横長半・1冊<8丁>	0051
寅年積り帳（津嶋口）	文政元年	横長半・1冊<12丁>	0052
卯年積り帳（津嶋口）	文政2年12月	横長半・1冊<12丁>	0053
午年積り帳（津嶋口）	文政5年12月	横長半・1冊<11丁>	0054
未年積り帳（山路口）	文政6年12月	横長半・1冊<8丁>	0055
申年積り帳（鯛浦口）	文政7年12月	横長半・1冊<12丁>	0056
戌年積帳（山路口）	文政9年12月	横長半・1冊<12丁>	0057
亥年積り帳（森津新田）	文政10年	横長半・1冊<11丁>	0058
子年積り帳（森津新田）	文政11年	横長半・1冊<12丁>	0059
丑年積帳（森津新田）	文政12年12月	横長半・1冊<11丁>	0060
寅年積帳	文政13年	横長半・1冊<12丁>	0061
卯年積り帳	天保2年	横長半・1冊<12丁>	0062
辰年積り帳（森津新田）	天保3年	横長半・1冊<12丁>	0063
巳年積り帳	天保4年	横長半・1冊<12丁>	0064
午年積り帳（鯛浦口）	天保5年	横長半・1冊<13丁>	0065
未年積帳（鯛浦口）	天保6年	横長半・1冊<12丁>	0066
申年口地積り帳（森津新田）	天保7年	横長半・1冊<11丁>	0067

酉年積り帳	天保8年	横長半・1冊<12 丁>	0069
口地壺口通積帳（森津新田）	天保9年戌12月	横長半・1冊<13 丁>	0068
子年積り帳	天保11年	横長半・1冊<11 丁>	0070
丑年積り帳	天保12年	横長半・1冊<12 丁>	0071
寅年壺口通積り帳	天保13年	横長半・1冊<9丁>	0072
卯年つもり帳	天保14年	横長半・1冊<11 丁>	0074
辰年壺口通積り帳	天保15年	横長半・1冊<10 丁>	0073
巳年積り帳	弘化2年	横長半・1冊<11 丁>	0075
午年壺口通積帳	弘化3年12月	横長半・1冊<11 丁>	0076
弘化四未年積帳	弘化4未年	横長半・1冊<10 丁>	0077
田畑口地下作つもり米扣帳	万延元年申12月	横長半・1冊<5丁> ／（7点一綴）	0416-1
嘉永七年積帳	嘉永7年	横長半・1冊<10 丁>	0416-2
嘉永五稔子積帳	嘉永5年	横長半・1冊<8丁>	0416-3
嘉永四亥年積帳	嘉永4亥年	横長半・1冊<12 丁>	0416-4
戌年積帳	嘉永3年	横長半・1冊<12 丁>	0416-5
嘉永二酉年壺口通積帳	嘉永2酉年	横長半・1冊<11 丁>	0416-6
嘉永元申年積り帳	嘉永元申年	横長半・1冊<8丁>	0416-7
壺口通掟米積帳	安政2年卯12月	横長半・1冊<10 丁>	0081
午歳壺口通掟米積	安政5年	横長半・1冊<7丁>	0079
未年壺口通積帳	安政6年	横長半・1冊<7丁>	0080
酉年壺口掟米積帳	文久元年	横長半・1冊<10 丁>	0082
文久二年戌積り帳	文久2年	横長半・1冊<8丁>	0083
元治元子年壺口掟積帳	元治元子年	横長半・1冊<8丁>	0084
慶応元年丑壺口通積帳	慶応元年	横長半・1冊<8丁>	0085
明治二巳年積帳	明治2巳年	横長半・1冊<7丁>	0465
明治三午年積帳	明治3午年	横長半・1冊<6丁>	0086
明治四辛未壺口通積帳	明治4未年	横長半・1冊<7丁>	0087

明治五壬申巻口積	明治5申年	横長半・1冊<7丁>	0088
明治六年巻口積帳	明治6年	横長半・1冊<5丁>	0089
明治七年巻口間作米	明治7年	横長半・1冊<6丁>	0090
明治八年巻口積帳	明治8年	横長半・1冊<7丁>	0091
九年巻口通積帳	(明治) 9年	横長半・1冊<7丁>	0093
十年巻口通積帳	(明治) 10年	横長半・1冊<5丁>	0092
明治十一年口地一口積帳	明治11年	横長半・1冊<4丁>	0094
巻口通掟米	巳年	横長半・1冊<8丁>	0078
(壹口通積帳)		横長半・3点一綴<27丁>	0550

検見

森津大口三口小作寄帳	安永2年未3月	横長半・1冊<14丁>/ (4点一綴)	0512-1
鯛浦口卯積り帳		横長半・1冊<4丁>	0512-2
巳年積米積り一口分		横長半・1冊<6丁>	0512-3
未年検見帳		横長半・1冊<5丁>	0512-4
森津検見坪附覚帳 (津嶋口)	天明3年卯10月28日	半・1冊<13丁>	0559
森津検見坪付覚帳 (山崎口)	天明4年辰10月5日	横半半折・1冊<12丁>	0561
覚 (地主衆中御検見諸入用書上)	文政3辰年	横長半・1冊<3丁>/ (4点一綴)	0996-1
東堤起検見帳	安政3年辰10月	横半半折・1冊<4丁>	0890
口地并埋田南寅北寅毛見帳	万延元申年10月	横長半・1冊<10丁>	0535
内見帳 (田方検見書上、図面) 森津新田新田百姓代武田哲次郎、副戸長佐藤民輔・武田茂兵衛→愛知県令鷲尾隆聚殿	明治7年10月	横長美・1冊<29丁>	0511
伏田毛見米帳	明治11年11月18日	横長半・1冊<7丁>	0453
口地立毛検見覚帳 (森津新田)	明治14年巳旧10月	横長半・1冊<49丁>	0457
森津田方一枚毎検見畝引米積出帳	明治18年乙酉旧曆嘉平月調	横長半・1冊<25丁>	0503

村方掟米取立・仕出

去辰年村方取立米帳	明治2年巳10月調	横長半・1冊<9丁>	0466
○			
村方掟米取立帳	文久2年戌12月	横長半・1冊<20丁>	0108
村方掟米取立帳	文久3年亥12月	横長半・1冊<18丁>	0109

森津新田／支配人／掟米／掟米取立（伊藤）

村方掟米取立帳	元治元年子12月	丁> 横長半・1冊<16	0110
村方掟米取立帳	慶応元年丑12月	丁> 横長半・1冊<18	0111
村方掟米取立帳	慶応2年寅12月	丁> 横長半・1冊<20	0112
村方掟米取立帳	慶応3年卯12月	丁> 横長半・1冊<20	0113
村方掟米取立帳	明治2年巳12月	丁> 横長半・1冊<20	0114
村方掟米取立帳	明治3年午12月	丁> 横長半・1冊<20	0115
村方掟米取立帳	明治9年	丁> 横長半・1冊<22	0116
村方掟米取立帳（外川原欠）	明治11年	丁> 横長半・1冊<25	0117
村方掟米仕出帳	明治12稔	丁> 横長半・1冊<20	0118
村方掟米仕出帳	明治22年	丁> 横長半・1冊<15	0119
村方掟米仕出帳	明治23年	丁> 横長半・1冊<15	0120

掟米取立（伊藤）

森津新田掟米取立帳（伊藤）	明治4年未12月	丁> 横長半・1冊<15	0205
森津新田掟米取立帳（伊藤）	明治10年	丁> 横長半・1冊<14	0206
森津村掟米取立帳（伊藤治郎左衛門分控）	明治11年	丁> 横長半・1冊<16	0123
森津掟米取立帳（伊藤治郎左衛門分控）	明治12年	丁> 横長半・1冊<10	0124
森津掟米取立帳（伊藤治郎左衛門分控）	明治13年	丁> 横長半・1冊<10	0125
森津掟米取立帳（伊藤治郎左衛門分控）	明治14年	丁> 横長半・1冊<9丁> ／（2冊一綴）	0126-1
六人者取立米帳（伊藤治郎左衛門分控）	明治14年12月	丁> 横長半・1冊<5丁>	0126-2
森津掟米取立帳（伊藤治郎左衛門分控）	明治15年	丁> 横長半・1冊<8丁>	0127
森津掟米取立帳（伊藤治郎左衛門分控）	明治16年	丁> 横長半・1冊<10	0128
森津掟米取立帳（伊藤治郎左衛門分控）	明治17年	丁> 横長半・1冊<11 丁>／（虫損）	0129
森津掟米取立帳（伊藤治郎左衛門分控）	明治18年	丁> 横長半・1冊<11 丁>／（虫損）	0130

森津掬米取立帳（伊藤治郎左衛門分控）	明治19年	横長半・1冊<11丁>/（虫損）	0131
森津掬米取立帳（伊藤治郎左衛門分控）	明治20年	横長半・1冊<10丁>/（虫損）	0132
森津掬米取立帳（伊藤治郎左衛門分控）	明治21年	横長半・1冊<9丁>/（虫損）	0133
森津掬米取立帳（伊藤治郎左衛門分控）	明治22年	横長半・1冊<9丁>/（虫損）	0134
森津掬米取立帳（伊藤治郎左衛門分控）	明治23年	横長半・1冊<9丁>/（虫損）	0135
森津掬米取立帳（伊藤治郎左衛門分控）	明治24年	横長半・1冊<9丁>/（虫損）	0136
森津掬米取立帳（伊藤治郎左衛門分控）	明治26年	横長半・1冊<8丁>/（虫損）	0137
森津掬米取立帳（伊藤治郎左衛門分控）	明治27年	横長半・1冊<8丁>/（虫損）	0138
森津掬米取立帳（伊藤治郎左衛門分控）	明治28年	横長半・1冊<7丁>/（虫損）	0139
森津掬米取立帳（伊藤治郎左衛門分控）	明治29年	横長半・1冊<6丁>/（虫損）	0141
森津掬米取立帳（伊藤治郎左衛門分控）	明治30年	横長半・1冊<8丁>/（虫損）	0140

惣扣地掬米取立（伊藤）

森津新田惣扣地掬米取立帳（伊藤口） →伊藤治郎左衛門殿・太兵衛殿・安兵衛殿 （半左衛門他掬米取立帳）	武田沢右衛門	天保13年寅12月	横長半・1冊<15丁>/（2点一綴）	0142-1
			横長半・1冊<4丁>	0142-2
森津新田惣扣地掬米取立帳（伊藤口） →伊藤治郎左衛門殿・太兵衛殿・安兵衛殿	武田沢右衛門	天保14年卯12月	横長半・1冊<16丁>/（3点一綴）	0143-1
伊藤米計		天保14年12月23日	横長半・1冊<3丁>	0143-2
伊藤船積覚			横長半・1冊<2丁>	0143-3
森津新田惣扣地掬米取立帳（伊藤口） →伊藤治郎左衛門殿・太兵衛殿・安兵衛殿	武田沢右衛門	天保14年辰12月	横長半・1冊<21丁>/（3点一綴）	0144-1
辰年小計伊藤分（掬米差引勘定・渡米書上）		12月22日小計	横長半・1冊<4丁>	0144-2
武田米（差引勘定） 善八→武田様		巳年2月24日	横長半・1冊<2丁>	0144-3
森津新田惣扣地掬米取立帳（伊藤口） →伊藤治郎左衛門殿・太兵衛殿・安兵衛殿	武田沢右衛門	弘化2年巳12月	横長半・1冊<17丁>/（4点一綴）	0145-1
巳年伊藤分（掬米取立控）		巳年	横長半・1冊<7丁>	0145-2
取米覚（掬米差引勘定） （作人毎掬米勘定）			横長半・1冊<3丁>	0145-3
			横長半・1冊<2丁>	0145-4
森津新田惣扣地掬米取立帳（伊藤控） →伊藤治郎左衛門殿・太兵衛殿・安兵衛殿	武田沢右衛門	弘化3年午12月	横長半・1冊<17丁>	0146
森津新田惣扣地掬米取立帳（伊藤） 伊藤治郎左衛門殿・安兵衛殿・弥九郎殿	武田沢右衛門→	弘化4年未12月	横長半・1冊<17丁>/（4点一綴）	0147-1

森津新田／支配人／掬米／惣扣地掬米取立（伊藤）

未年（伊藤分掬米勘定）		（弘化4年）未	横長半・1冊<2丁>	0147-2
（村方米・掬米など差引勘定）		（申正月16日船積皆済）	横長半・1冊<3丁>	0147-3
未伊藤積（作人毎掬米書出など）		（申正月17日藤次郎船積）	横長半・1冊<2丁>	0147-4
森津新田惣扣地掬米取立帳（伊藤控） →伊藤治郎左衛門殿・安兵衛殿・弥九郎殿	武田沢右衛門	嘉永元年申12月	横長半・1冊<19丁>/（3点一綴）	0148-1
（作人毎掬米勘定）			横長半・1冊<2丁>	0148-2
（掬米差引勘定）			横長半・1冊<2丁>	0148-3
森津新田惣扣地掬米取立帳（伊藤控） →伊藤治郎左衛門殿・安兵衛殿・弥三郎殿	武田沢右衛門	嘉永2年酉12月	横長半・1冊<20丁>/（3点一綴）	0149-1
（掬米差引勘定）			横長半・1冊<2丁>	0149-2
（作人毎掬米勘定、村方積武田積各船積石高書上状）			横長半・1冊<2丁>、横切紙・2通	0149-3
森津新田惣扣地掬米取立帳（伊藤控） →伊藤治郎左衛門殿・安兵衛殿・弥三郎殿	武田沢右衛門	嘉永3年戌12月	横長半・1冊<20丁>/（3点一綴）	0150-1
（掬米差引勘定）			横長半・1冊<3丁>	0150-2
（作人毎掬米勘定）			横長半・1冊<3丁>	0150-3
森津新田惣扣地掬米取立帳（伊藤控） →伊藤治郎左衛門殿・弥三郎殿・重平殿	武田沢右衛門	嘉永4年亥12月	横長半・1冊<20丁>/（3点一綴）	0151-1
（掬米差引勘定）			横長半・1冊<3丁>	0151-2
（作人毎掬米勘定）			横長半・1冊<3丁>	0151-3
森津新田惣扣地掬米取立帳（伊藤） 伊藤治郎左衛門殿・弥三郎殿・重平殿	武田沢右衛門→	嘉永5年子12月	横長半・1冊<20丁>/（3点一綴）	0152-1
子年伊藤（作人毎掬米勘定）			横長半・1冊<4丁>	0152-2
（掬米差引勘定）			横長半・1冊<3丁>	0152-3
森津新田惣扣地掬米取立帳（伊藤） 伊藤治郎左衛門殿・弥三郎殿・重平殿	武田沢右衛門→	嘉永6年丑12月	横長半・1冊<20丁>/（2点一綴）	0153-1
（作人毎掬米勘定および差引勘定）			横長半・1冊<5丁>	0153-2
森津新田惣扣地掬米取立帳（伊藤） 伊藤治郎左衛門殿・弥三郎殿・重平殿	武田沢右衛門→	嘉永7歳寅12月	横長半・1冊<20丁>/（3点一綴）	0154-1
（作人毎掬米勘定）			横長半・1冊<2丁>	0154-2
（掬米差引勘定）			横長半・1冊<3丁>	0154-3
森津新田惣扣地掬米取立帳 武田沢右衛門→伊藤治郎左 衛門殿・弥三郎殿・重平殿	武田沢右衛門→伊藤治郎左	安政2年卯12月	横長半・1冊<20丁>/（3点一綴）	0155-1
（作人毎掬米勘定）			横長半・1冊<3丁>	0155-2
（掬米差引勘定および取渡書上）			横長半・1冊<4丁>	0155-3
森津新田惣扣地掬米取立帳 武田沢右衛門→伊藤治郎左 衛門殿・弥三郎殿・重平殿	武田沢右衛門→伊藤治郎左	安政3年辰12月	横長半・1冊<20丁>/（3点一綴）	0156-1
（作人毎掬米勘定）			横長半・1冊<3丁>	0156-2
（掬米差引勘定および取渡書上）			横長半・1冊<4丁>	0156-3

森津新田惣扣地掬米取立帳 衛門殿・弥三郎殿・重平殿	武田沢右衛門→伊藤治郎左	安政4年巳12月	横長半・1冊<4丁>	0157
森津新田惣扣地掬米取立帳 衛門殿・弥三郎殿・重平殿	武田沢右衛門→伊藤治郎左	安政5年午12月	横長半・1冊<20 丁>/ (2点一綴)	0158-1
(作人毎掬米勘定・差引勘定・取渡書上)			横長半・1冊<8丁>	0158-2
森津新田惣扣地掬米取立帳 衛門殿・弥三郎殿・重平殿	武田沢右衛門→伊藤治郎左	安政6年未12月	横長半・1冊<20 丁>/ (2点一綴)	0159-1
安政6年未十二月小計（作人毎掬米勘定・差引勘定・ 取渡書上）			横長半・1冊<8丁>	0159-2
森津新田惣扣地掬米取立帳 衛門殿・弥三郎殿・重平殿・茂兵衛殿	武田沢右衛門→伊藤治郎左	万延元年申12月	横長半・1冊<10 丁>/ (2点一綴)	0160-1
(作人毎掬米勘定)			横長半・1冊<5丁>	0160-2
森津新田惣扣地掬米取立帳（伊藤控）		文久元年酉12月	横長半・1冊<20 丁>/ (3点一綴)	0161-1
(作人毎掬米勘定)			横長半・1冊<2丁>	0161-2
(掬米差引勘定)			横長半・1冊<3丁>	0161-3
森津新田惣扣地掬米取立帳（伊藤）		文久2年戌12月	横長半・1冊<18 丁>/ (4点一綴)	0162-1
戊年伊藤分（掬米勘定）			横長半・1冊<3丁>	0162-2
(掬米差引勘定)			横長半・1冊<3丁>	0162-3
戌とし伊藤小計（掬米勘定）			横長半・1冊<3丁>	0162-4
森津新田惣扣地掬米取立帳（伊藤）		文久3年亥12月	横長半・1冊<17 丁>/ (3点一綴)	0163-1
(作人毎掬米勘定)			横長半・1冊<3丁>	0163-2
武田渡米（勘定ならびに掬米差引勘定）			横長半・1冊<3丁>	0163-3
森津新田惣扣地掬米取立帳（伊藤）		元治元年子12月	横長半・1冊<17 丁>/ (3点一綴)	0164-1
(作人毎掬米勘定)			横長半・1冊<3丁>	0164-2
(掬米差引勘定および武田渡米勘定)			横長半・1冊<3丁>	0164-3
森津新田惣扣地掬米取立帳（伊藤） 藤治郎左衛門殿・勘六殿	武田哲次郎→伊	慶応元年丑12月	横長半・1冊<15 丁>/ (4点一綴)	0165-1
(作人毎掬米勘定)			横長半・1冊<2丁>	0165-2
(掬米差引勘定)			横長半・1冊<2丁>	0165-3
伊藤分（取渡勘定）			横折紙・1通	0165-4
森津新田惣扣地掬米取立帳（伊藤）		慶応2年寅12月	横長半・1冊<15 丁>	0166
森津新田扣地掬米取立帳（伊藤）		慶応3年卯12月	横長半・1冊<15 丁>	0189
森津新田扣地掬米取立帳（伊藤控）		明治2年巳12月	横長半・1冊<15 丁>/ (虫損)	0198
森津新田扣地掬米取立帳		明治3年午12月	横長半・1冊<15	0199-1

(伊右衛門他掟米取立勘定)		丁>/ (2点一綴)	
森津新田扣地掟米取立帳 (伊藤控)	明治5申年	横長半・1冊<2丁>	0199-2
森津新田扣地掟米取立帳 (伊藤)	明治6年	横長半・1冊<14丁>/ (虫損)	0200
森津新田扣地掟米取立帳 (伊藤)	明治7年	横長半・1冊<11丁>	0201
森津新田扣地掟米取立帳 (伊藤)	明治7年	横長半・1冊<10丁>/ (2点一綴)	0202-1
(与左衛門他掟米取立勘定)		横長半・1冊<2丁>/ (虫損・欠損)	0202-2
森津新田扣地掟米取立帳 (伊藤)	明治8年	横長半・1冊<10丁>/ (2点一綴)	0203-1
(茂平他掟米取立勘定)		横長半・1冊<2丁>	0203-2
森津新田扣地掟米取立帳 (伊藤)	明治9年	横長半・1冊<14丁>	0204
(伊藤分掟米取立帳)		横長半・1冊<3丁>	0227
(伊藤出米書上)		横長半・1冊<3丁>	0228
掟米取立			
森津新田惣扣地掟米取立帳 (伊藤口・田嶋屋口・鈴木口・万利口)	天保2年卯12月	横長半・1冊<17丁>	0223
森津新田長地掟米取立帳 鳥ヶ地新田松吉他保七、三右衛門	天保3年辰11月吉日	横長美・1冊<11丁>	0853
辰新田并仲満嘉兵掟米取立帳 木下扣	嘉永2年酉2月	横長半・1冊<3丁>/ (3冊一綴)	0855-1
(辰新田ならびに仲満嘉兵掟米取立覚)	嘉永5子年	横長半・1冊<2丁>	0855-2
(辰新田ならびに仲満嘉兵掟米取立覚)	嘉永4亥年	横長半・1冊<2丁>	0855-3
口地田方米取立帳	万延元年申12月	横長半・1冊<21丁>	0471
村方米取立帳	文久元年酉12月	横長半・1冊<19丁>	0467
去辰惣取立米ノ出シ帳	明治2年巳10月	横長半・1冊<23丁>	0121
去辰年口地屋敷并畑米取立帳	明治2年巳10月調	横長半・1冊<13丁>	0472
村方惣取立米仕出帳	明治8年	横長半・1冊<31丁>	0122
掟米取立帳 武田	明治22年	横長半・1冊<4丁>/ (7点一綴)	0548-7
(明治22年分覚右衛門他取立米書上)	(明治22年)	竖紙・1通/ (7点一綴) / (罫紙)	0548-4
(明治23年年正取立分書上)	(明治23年)	横長半・1冊<3丁>/ (7点一綴)	0548-5

年貢掬高差引勘定

寅季御年貢割賦除外掬・くね掬・三前北掬高持中米指引帳	文政元年12月	横長美・1冊<40 丁>	0329
卯歳御年貢割賦除外掬・くね掬・三前北掬高持中米差引帳	文政2年12月	横長美・1冊<34 丁>	0330
辰歳御年貢割賦除外掬・くね掬・三前北掬高持中米指引帳	文政3年12月	横長美・1冊<35 丁>	0331
巳歳御年貢割賦除外掬・くね掬・三前北掬高持中米指引帳	文政4年12月	横長美・1冊<35 丁>	0332
午歳御年貢割賦除外掬・くね掬・三味前北掬高持中米差引帳	文政5年12月	横長美・1冊<34 丁>	0333
未歳御年貢割賦除外掬・くね掬・三味前北掬高持中米指引帳	文政6年12月	横長美・1冊<35 丁>	0334
申年御年貢割賦除外掬・くね掬・三味前北掬高持中米指引帳	文政7年12月	横長美・1冊<35 丁>	0335
酉年御年貢割賦除外掬・くね掬・三味前北掬高持中米指引帳	文政8年12月	横長美・1冊<35 丁>	0336
子歳御年貢割賦除外掬・くね掬・三味前北掬高持中米差引帳	文政11年12月	横長美・1冊<37 丁>	0337
丑歳御年貢割賦除外掬・くね掬・北埋掬高持中米差引帳	文政12年12月	横長美・1冊<37 丁>	0338
寅歳御年貢割賦除外掬・くね掬・三味北掬高持中米差引帳	文政13年12月	横長美・1冊<37 丁>	0339
卯歳御年貢割賦除外掬・畦掬・三味北掬高持中米差引帳	天保2年12月	横長美・1冊<37 丁>	0340
御年貢割賦并埋田掬高持中米指引帳	慶応2年寅12月	横長美・1冊<27 丁>	0015
御年貢割賦并埋田掬高持中米指引帳	慶応3年卯12月	横長美・1冊<27 丁>	0016
御年貢割賦并埋田掬高持中米取立帳	明治2年12月	横長美・1冊<28 丁>	0012
御年貢割賦并埋田掬高持中米取立帳	明治3年午12月	横長美・1冊<29 丁>	0013
御年貢割賦并埋田掬高持中米取立帳	明治4年未12月	横長美・1冊<30 丁>	0014
御年貢割賦并埋田掬高持中米差引帳	明治5年申12月	横長美・1冊<30 丁>	0017

掬米差引勘定など

諸取立米指引勘定帳	明治元年辰12月	横長半・1冊<24 丁>	0450
貢租始諸差引帳	明治6年	横長半・1冊<30 丁>	0221
貢租始諸差引帳	明治7年	横長半・1冊<28 丁>	0222

森津新田／支配人／諸懸り

邨方米差引計算帳	明治8年	横長半・1冊<29丁>	0464
貢租割賦并地主諸差引帳（森津新田）	明治6年	横長半・1冊<30丁>	0454
貢租割賦並地主諸差引帳（森津新田）	明治7年	横長半・1冊<28丁>	0455
（文化6年分口地壺口分年貢作徳米・諸入用書上）		横長美・1冊<3丁> ／（2点一綴）	0547-1
（文化6年より口地壺口分年貢作徳米・埋田米ほか書上）		横長半・1冊<6丁>	0547-2
小斗米出納記（森津新田）	（明治12年）	横長半・1冊<5丁> ／（7点一綴）	0548-1
十三年端米納払（森津新田）	明治13年	横長半・1冊<4丁> ／（7点一綴）	0548-2
（森津新田掟米小斗記など）	（明治14年～同19年）	横長半・17点一綴 <57丁>	0549
（新除道敷地ならびに掘禿場所米村方へ渡方覚ほか綴）		横長半・一綴<4丁> ／（4点一綴）	0996-2
旧掟・新掟比較		半・1冊<39丁> （反故紙）	0682

諸懸り

為取替申證文之事（森津新田地主仲間永々検見取・諸入用負担などにつき取決証文控） 鎌嶋新田地主忠兵衛、対海地新田地主金右衛門、鳥ヶ地新田地主重郎治、同所地主甚助・庄蔵→松名新田治右衛門殿・森津新田沢右衛門殿	宝暦11年巳正月	豎継紙・1通	1354
寅年取立帳	天明2年11月	横長美・1冊<38丁> ／（2点一綴）	0538-1
丑年所々金銀取立帳	天明元年11月	横長美・1冊<36丁>	0538-2
丑年同寅勘定残書出帳	天保12	横長半・1冊<9丁>	0468
諸事勘定帳	嘉永元年申12月	横長半・1冊<26丁>	0264
勘定帳	嘉永2年酉12月	横長半・1冊<20丁>	0265
時々出金集通 森津新田	明治4年未正月	横半半折・1冊<4丁>	0797
堀抜井戸諸入費帳 森津村方	明治14年旧2月10日	横長半・1冊<4丁>	0302
（調達金返済につき証文取調返却の件につき書状） 木村忠右衛門→武（田）哲治郎様	正月21日	横切継紙・1通	1403
覚（メ高より利息返済など勘定）		巻紙・1通	1325
出用覚（地主出金覚）		横長半・1冊<3丁>	1318

地主作徳

米金受取

三ヶ所埋田未地主中割賦元帳	文久3亥年	横長美・1冊<4丁>	0852
御預米代割賦帳 森津新田庄屋	(慶応3年) 卯4月	横長半・1冊<6丁>	0868
去辰分取立米銘々江割渡帳	明治2年巳10月調	横長半・1冊<10丁>	0473
覚(金75両受取) 伊藤店勘六(尾州名護屋茶屋町伊藤) →武田哲次郎殿	寅2月19日	小切紙・1通	1326
覚(金100両受取) 伊藤弥三郎、十平(名古屋茶屋町尾州伊藤) →武田沢右衛門様	未正月23日	横切継紙・1通	1401
覚(米札12両受取) 万屋利助→武田沢右衛門様	申正月8日	小切紙・1通	1324
覚(加地子差引残米代金受取) 白木金太夫(西村海地新田白木氏) →武田沢右衛門殿	亥3月	巻紙・1通	1323
覚(先年取替金の半方18両3分受取) 佐野治右衛門→武田沢右衛門殿	亥12月20日	小切紙・1通	1319
覚(武田沢右衛門別米半分代銀25匁余受取) 佐野平蔵→松吉三右衛門様	亥12月27日	巻紙・1通	1321
覚(加地子米勘定) 松吉三右衛門→武田沢右衛門殿	亥12月27日	巻紙・1通	1322
覚(金25両受取) 白木金太夫(西村海地新田白木氏) →武田沢右衛門殿	亥12月	小切紙・1通	1320
(加地子米代受取ほかにつき書状) 木村忠右衛門→武田哲治郎様	4月2日	巻紙・1通	1402
覚(金575両米切手受取) 駒屋源兵衛→善八殿	11月26日	小切紙・1通	1327
覚(金575両書上) 伊藤太兵衛→森津新田善八様	11月26日	小切紙・1通	1328
(証文戻し・取次金受取に関する書状) 木村忠右衛門→武(田)哲治郎殿	ろう月21日	横切継紙・1通	1409
覚(吾代ほか米金書上)		小切紙・1通	1329

配賦

配賦(米2斗6升6合) 武田→徳太郎殿	(明治) 12年12月	横切継紙・1通	1386
配賦(口地・六人者米7石2斗7合) 伊藤	(明治) 12年1月	横切継紙・1通	1387
配賦(米2斗6升6合ほか) 武田→徳太郎殿	(明治) 12年1月	小切紙・1通	1388
配賦(口地・六人者米7石4斗3升6合) 伊藤→徳太郎殿	(明治) 12年12月	小切紙・1通	1390
配符(除外埋田二口米2斗5升7合) 地主中→恵太郎殿	(明治) 12年1月	小切紙・1通	1392
配賦(除外埋田二口米3斗9升5合) 地主→恵太郎殿	(明治) 12年1月	横切継紙・1通	1393
配符(米4斗ほか) 武田→徳太郎殿	(明治) 13年12月	小切紙・1通	1397
白木徳太郎差引書(金銭勘定調書付・請求書ほか)(第1号) (白木恵太郎) →(武田様)	(明治) 14年9月1日～16年5月17日	1冊・15通(袋入)	1465

配符 殿 (口地・六人者米6石2斗8升5合) 武田→徳太郎	(明治) 15年	小切紙・1通	1385
配符 (除外埋田二口米3斗2升8合) 武田→徳太郎殿	(明治) 15年	小切紙・1通	1389
配符 (米4斗ほか) 武田→徳太郎殿	(明治) 15年	小切紙・1通	1391
配符 (六人宿除・口地米5石8斗2升4合) 伊藤→恵太郎殿	(明治) 16年	横切継紙・1通	1394
配符 (米4斗ほか) 武田→恵太郎殿	(明治) 16年	小切紙・1通	1396
十八年配賦 (米穀など受渡関係書類) (保七、伊兵衛、武田など) → (徳太郎殿、治太郎殿、学務委員御中など)	(明治) 18年12月	小切紙・8点 (封筒入)	1439
十九年分配賦		封筒 (11通入)	1408
記 (東積米内訳ほか)		横折紙・1通	1408-1
仮証 (明治19年分絹川氏納米借有地分受取) 絹川代理服部平左衛門→佐藤民輔殿	(明治) 20年4月16日	横切継紙・1通	1408-2
配符 (米4斗ほか) 武田→徳太郎殿	(明治) 19年	横切継紙・1通	1408-3
配符 (口地米ほか7石4斗8合) 伊藤→徳太郎殿	(明治) 19年	小切紙・1通	1408-4
配符 (除外埋田3斗5升ほか) 武田→徳太郎殿	(明治) 19年	横切継紙・1通	1408-5
配符 (米1斗9升1合ほか) 武田→学務要員御中	(明治) 19年	小切紙・1通	1408-6
配符 (米2斗2升2合) 佐藤→恵太郎殿	(明治) 19年	小切紙・1通	1408-7
配符 (流作米ほか1斗9升2合) 飯田→白木徳太郎殿	12月	小切紙・1通	1408-8
(割合米の内10俵受取につき) 佐藤→白木様	8月16日	横切継紙・1通	1408-9
(明治19年分川原欠米割合ほか)		横切紙・1通	1408-10
(白木分絹川米1俵受取) (服部) →白木		小切紙・1通	1408-11
配符 (口地米など61石7斗6升4合) 伊藤→徳太郎殿	(明治) 13年12月	小切紙・1通	1381
配符 (米4斗) 武田→恵太郎殿	(明治) 21年	横切継紙・1通 / (6点一括り)	1382-1
(白木恵太郎配符米1石4斗2升) 絹川忠衛	(明治) 21年冬	横切継紙・1通	1382-2
配符 (米1斗9升1合) 武田→学校	(明治) 21年	横切継紙・1通	1382-3
(明治21年村費・学校米など勘定残分書付)	(明治21年)	小切紙・1通	1382-4
配符 (米5升8合メ代金及び鉛筆消ゴム代共2銭7厘) 飯田保七→白木恵太郎殿	(明治) 21年12月	横切継紙・1通	1382-5
配符 (口地米など6石5斗7升8合) 伊藤→徳太郎殿	(明治) 21年	小切紙・1通	1382-6
(明治22年掬米1俵受取) 服部平左衛門→白木恵太郎殿	5月9日	小切紙・1通 / (9通一綴)	1395-1
(明治22年掬米1俵受取) 服部平左衛門→清水伝吉殿	5月20日	小切紙・1通	1395-2
(明治22年掬米3俵受取) 服部平左衛門→佐藤民輔殿	5月9日	小切紙・1通	1395-3
記 (米20俵渡し願) 大字鯛浦神田佐吉→大字森津白木徳太郎殿	(明治) 23年3月7日	小切紙・1通	1395-4
配符 (米4升4合) 飯田保七→白木恵太郎殿	(明治) 22年	小切紙・1通	1395-5

配符 (米1斗9升1合ほか) 武田→徳太郎殿引受学校	(明治) 22年	小切紙・1通	1395-6
配符 (除外埋田米ほか6石2斗5升1合) 武田→恵太郎殿	(明治) 22年	横切継紙・1通	1395-7
配符 (米4斗8升) 絹川支配所服部平左衛門→白木恵太郎殿	(明治) 22年冬	横切継紙・1通	1395-8
(人別宅地・畑書上)		横切紙・1通	1395-9
廿三年配符		袋 (7点入)	1284
配符 (米1斗9升1合) 武田→学校御中	明治23年	小切紙・1通	1284-1
配符 (米8石3斗6升7合) 武田→恵太郎殿	明治23年	巻紙・1通	1284-2
配符 (米1斗2升2合) 惣代佐藤→白木恵太郎殿	明治23年	巻紙・1通	1284-3
配符 (米2石6斗8升8合) 佐藤→白木恵太郎殿	明治23年	巻紙・1通	1284-4
配符 (米1斗5升3合3勺) 清水傳吉→白木恵太郎殿	(明治) 24年12月	小切紙・1通	1284-5
配符 (米1斗2合) 保七印 (飯田) →徳太郎殿	(明治) 23年12月	小切紙・1通	1284-6
(明治23年度納米受取札綴) (海西郡鎌嶋新田服部氏印)	(明治) 24年6月5日	3通一綴	1284-7
酉明治三十拾年配賦		袋 (11点入)	1285
(白木持役所水廻り米など覚)		小切紙・1通	1285-1
明治三十年分米差引 佐藤→白木殿	明治31年5月	横折紙・1通	1285-2
(人名・米量覚ほか綴)		小切紙・3点一綴	1285-3
(明治30年度納米の内434俵売却金受取につき書状) 塚本金兵衛→白木恵太郎様	4月4日	横切紙・1通 (封筒入)	1285-4
配賦 (米8石6斗3升) 武田→恵太郎殿	明治31年12月	巻紙・1通	1285-5
記 (米2俵受取) 前ヶ須米屋助蔵→森津白木様	(明治) 31年4月4日	小切紙・1通	1285-6
記 (米2俵売却につき引渡方願) 鯛浦神田佐吉→森津佐藤民輔様	(明治) 31年3月27日	小切紙・1通	1285-7
(米5斗4升3合受取) 絹川支配人服部京平助 (鎌嶋新田) →白木恵太郎	(明治) 30年12月	小切紙・1通	1285-8
(明治30年芝井分米小計覚)		横折紙・1通 / (罫紙)	1285-9
(明治31年4月11日伊藤米船積覚)		横折紙・1通	1285-10
(恵太郎米量覚) (断簡)		小切紙・1通	1285-11
明治廿四年配符		袋 (9通入)	1411
配符 (米1斗2升2合) 惣代佐藤→白木恵太郎殿	明治24年	小切紙・1通	1411-1
明治廿四年分 (3人分・共有地米)		小切紙・1通	1411-2
配符 (米5石8斗5升5合) 佐藤→白木恵太郎殿	明治24年	横切継紙・1通	1411-3
配符 (除外埋田米ほか8石5斗2合) 武田→恵太郎殿	(明治) 24年	小切紙・1通	1411-4
配賦 (米5升8合) (飯田) 保七→恵太郎殿	(明治) 24年12月	小切紙・1通	1411-5
配符 (米1斗9升1合ほか) 武田→学校御中	(明治) 24年	横切継紙・1通	1411-6

記（絹川米3俵受取） 服部平左衛門→白木恵太郎殿	(明治) 25年5月9日	小切紙・1通	1411-7
(明治24年度納米受取) (服部) →白木恵太郎殿	明治24年	小切紙・1通	1411-8
売渡証（米3俵渡願） 神田佐吉→佐藤民輔殿		小切紙・1通	1411-9
記（明治22・3年差引過米ほか計算書上） 佐藤→白木 殿	(明治) 25年4月25日	横切継紙・1通/ (4点封筒入)	1412-1
(別紙当年分米差引書改め依頼の件ほかにつき書状) 佐藤→白木様	5月23日	小切紙・1通	1412-2
(川原欠米村方より納米の件など通知書) 佐藤→白木 様	5月23日	横切継紙・1通	1412-3
(明治23・4年納米差引勘定綴)	明治23・24年	横折紙・2通一綴	1412-4
(米5斗4升3合受取) 絹川氏支配人服部平左衛門→白木 恵太郎	明治24年12月	小切紙・1通	1413
記（明治18～24年差引過米勘定） 佐藤→白木様	(明治) 25年5月28日	横切継紙・1通	1414
諸事差引書、明治廿五年配賦（白木控）		袋（17点入）	1384
請取書（鯛浦木下分吾納米14俵） 平嶋加賀甚蔵→森津 白木徳次郎殿	明治26年3月30日	小切紙・1通	1384-1
(明治25年度絹川納米2俵受取書) (服部) →白木恵太 郎殿		小切紙・1通	1384-2
(明治25年度絹川納米1俵受取書) (服部) →白木恵太 郎殿		小切紙・1通	1384-3
記（間崎新田明治25年度掟米の内渡方済証差出） 佐 藤代白木→加藤省殿		小切紙・1通	1384-4
配符（武田米） 武田→学校	(明治) 25年	小切紙・1通	1384-5
記（間崎新田納米売払いにつき） 加藤省→森津佐藤民 輔殿	明治26年巳4月16日	小切紙・1通	1384-6
記（間崎新田明治25年度掟米納めにつき）		小切紙・1通	1384-7
請取証（鯛浦神田佐吉より米12俵） 鯛浦木下秀二郎 →白木徳三郎殿	(明治) 26年30日	横切継紙・1通	1384-8
記（川原欠新田納米12俵積送り依頼） 神田佐吉→佐 藤民輔殿	巳4月	小切紙・1通	1384-9
請取記（佐屋村加藤省より申受米の内24俵） 佐屋村 伊藤藤四郎→白木徳三郎殿		小切紙・1通	1384-10
配符（仲滴納米・伊藤米・武田米ほか） 武田→恵太 郎殿	(明治) 25年	小切紙・1通	1384-11
(白木恵太郎作米改め) 絹川氏支配所	(明治) 25年12月	小切紙・1通	1384-12
配符（米5升8合） 飯田→白木恵太郎殿	(明治) 25年12月	小切紙・1通	1384-13
記（明治25年米差引ほかに関する書状） 民輔→恵太 郎君	8月22日	横切紙・1通	1384-14
(明治25年分俵米納および渡米催促状) 飯田→白木恵 太郎様	8月7日	小切紙・1通（4点 封筒入）	1384-15-1
(25年分絹川渡米3俵余積送りなど) 佐藤→白木殿	9月16日	小切紙・2通一綴	1384-15-2
記（手作米・貴家納分7俵渡方願）		小切紙・1通	1384-15-3

(服部平左衛門へ預来受渡方ほかにつき書状)	8月31日	小切紙・1通	1384-15-4
中満口 (重三郎へ飯田分米引渡)	(明治26年6月18日)	縦紙・1通	1384-16
(明治25年分本口田畑惣米差引・田畑平均割引ほか勘定)		横長半・1冊<2丁>	1384-17
明治廿六年配符	(明治17年~27年)	袋 (27点入)	1292
記 (明治26年分佐藤出米・川原欠出米ほか書上)		横折紙・1通	1292-1
記 (米渡方通知につき納米の内より払方願) 佐藤→白木様	3月31日	小切紙・1通	1292-2
記 (明治26年度納米差引1俵2斗6升2合受取) 服部平左衛門→白木恵太郎様	(明治) 27年5月11日	巻紙・1通	1292-3
配符 (口地仲間地・伊藤・武田米8石6斗1升) 武田→恵太郎様	明治26年12月	小切紙・1通	1292-4
記 (明治19・24・26年分米高差引勘定覚)		横折紙・1通	1292-5
記 (恵太郎割付米計算覚)		巻紙・1通	1292-6
記 (明治26年佐藤・武田納口地米など勘定覚)		横折紙・1通	1292-7
記 (米1斗5升3合3勺) 清水傳吉→白木恵太郎殿	(明治) 26年12月	小切紙・1通	1292-8
記 (明治12~26年度分米) 清水傳吉→白木殿	(明治) 27年7月	巻紙・1通	1292-9
配符 (米五升八合) 飯田→徳太郎殿	(明治) 26年12月	小切紙・1通	1292-10
(明治26年度絹川納米2俵受取) 支配所→白木恵太郎殿	(明治26年) 旧12月18日	小切紙・1通	1292-11
配符 (米1斗9升1合) 武田→元芝井御中	(明治) 22年12月	小切紙・1通	1292-12
(白木分米5斗4升3合受取) 絹川氏支配所→白木恵太郎	(明治) 26年12月	小切紙・1通	1292-13
川原欠共有地納米 (内訳)		小切紙・1通	1292-14
(明治26年度掟残米木下秀次郎へ払方依頼状) 木下文吾→佐藤民輔様	5月11日	横切紙・1通 / (2通一折)	1292-15-1
記 (米17俵受取) →鯛浦木下秀二郎		小切紙・1通	1292-15-2
記 (中山新田田野村豊三郎へ米5斗4升2合売払につき渡方願) 字鯛浦神田佐吉→白木恵太郎殿	明治27年4月19日	縦切紙・1通	1292-16
記 (3名共有地分・白木分合計俵数など覚) 絹川代理服部平左衛門→白木様	明治20年冬	小切紙・1通	1292-17
(白木分ノ高米5斗3升5合) 絹川忠衛→白木恵太郎	明治20年冬	巻紙・1通	1292-18
配符 (口地半口・六人者米7石4斗8合) 伊藤、武田→恵太郎殿	(明治) 20年	小切紙・1通	1292-19
配符 (米1斗9升1合) 武田→学掛殿	(明治) 20年	小切紙・1通	1292-20
(明治) 廿年掟米本米割合 佐藤→白木殿	(明治) 21年3月18日	巻紙・1通	1292-21
記 (改良米40俵売払につき渡方願) (前欠) 鯛浦村神田佐吉→川原欠清水伝吉殿	明治21年3月	小切紙・1通	1292-22
配符 (除外新田・宅地米1斗5升3合3勺) 武田→徳太郎殿	(明治) 20年	小切紙・1通	1292-23
配付 (除外埋田ほか米6斗2升8合) 武田→徳太郎殿	(明治) 17年	小切紙・1通	1292-24

配賦（口地半口・六人者米4石9斗8升5合） 太郎殿	伊藤→徳	(明治) 17年	巻紙・1通	1292-25
配符（米4斗）	武田→徳太郎殿	(明治20年)	小切紙・1通	1292-26
配符（米1石8斗4升6合）	佐藤→白木殿	明治17年	横切紙・1通	1292-27
明治廿七年午十二月配賦			袋（20通入）	1380
キ（受取米差引勘定）	佐藤→白木殿	明治28年10月	横切紙・1通	1380-1
記（森津掟米など勘定）	佐藤→白木恵太郎殿	明治28年3月	横切紙・1通	1380-2
（川原欠米納付につき書状）	佐藤→白木君	1月21日	小切紙・1通	1380-3
配符（埋田米など合計）	武田→恵太郎殿	(明治) 27年	横切紙・1通	1380-4
記（米17俵受取）	木下秀二郎→民輔様	4月2日	横切紙・1通	1380-5
（預け米の件につき書状）	木下文吉→佐藤民輔様	3月3日	横切紙・1通	1380-6
配符（米1斗1升3合3勺）	桑名清水傳吉→白木恵太郎殿	明治27年12月	小切紙・1通	1380-7
配符（米1斗1升6合）	保七→恵太郎殿	(明治) 27年12月	小切紙・1通	1380-8
（森津納米の内米5俵払方依頼）	佐藤→白木恵太郎君	3月23日	小切紙・1通	1380-9
（束数書上）			横切紙・1通	1380-10
（束数書上）			小切紙・1通	1380-11
証（明治27年度川原欠掟米共有地差引米1俵余受取） 絹川代理服部平左衛門→白木恵太郎殿		明治28年3月23日	小切紙・1通	1380-12
（明治27年度絹川氏共有米の内納米2俵書上）	服部→ 白木恵太郎殿		小切紙・1通	1380-13
（白木恵太郎米5斗4升3合書上）	絹川支配所	明治27年12月	横切紙・1通	1380-14
配符（米1斗9升1合）	武田→大藤村役場御中	(明治) 27年	小切紙・1通	1380-15
記（川原欠小計米残納め）	→白木様	(明治) 28年2月19日	小切紙・1通	1380-16
記（明治27年分川原欠共有地米割合など合計）	佐藤 →加藤内蔵殿	明治28年3月	横切紙・1通	1380-17
記（明治27年分木下文吉ほか納米より払方願）	佐藤 →白木君	(明治) 28年3月	小切紙・1通	1380-18
配賦（埋田米など勘定）	（白木徳太郎）→周五郎殿	(明治) 28年3月	横切紙・1通	1380-19
（せん茶拝借願など書付）		11月11日	小切紙・1通	1380-20
廿八年配符			袋（2綴6通入）	1379
記（共有地差引割当米勘定）	佐藤→白木様	明治29年5月30日	横切紙・1通	1379-1
証（米4升小坂井増右衛門へ払方につき）	神田佐吉→ 白木恵太郎殿	明治29年6月20日	小切紙・1通	1379-2
渡証（米8俵売払いにつき加藤卯八へ渡方願）	鯛村 神田佐吉→森津白木恵太郎様	明治29年6月23日	横切紙・1通	1379-3
配符（流作畑米5升8合）	飯田保七→恵太郎様	(明治) 28年	小切紙・1通	1379-4
（白木恵太郎分米5斗4升3合書上）	絹川氏支配所	(明治) 28年12月	小切紙・1通	1379-5
（明治28年分渡米覚など綴）			小切紙・2通一綴	1379-6

(明治28・9年分入米より払米差引覚)	(明治30年8月2日調)	横折紙・1通	1379-7
(明治28年小計米書上など綴)		横折紙など・3通 一綴	1379-8
(明治廿九年配賦、白木控)		袋 (25点入)	1398
(佐藤差引米凡高)		小切紙・1通	1398-1
(武田差引米凡高)		横切継紙・1通	1398-2
(佐藤差引米凡高)		横切継紙・1通	1398-3
(源三郎差引米凡高)		横切紙・1通	1398-4
配賦 (除外埋田米ほか) 武田→恵太郎殿	明治29年12月	横切紙・1通	1398-5
配賦 (宅地米ほか2石7斗8升3合) 武田→半助殿		横切継紙・1通	1398-6
(武田米5斗4合書付)		小切紙・1通	1398-7
配賦 (米1斗9升1合ほか) 武田→学校御中	明治29年12月	小切紙・1通	1398-8
明治廿八年分俵米差引 佐藤→白木殿	(明治) 30年7月28日	横切継紙・1通	1398-9
(明治29年分川原欠米掬米額につき書状) 佐藤→白木君	5月19日	横切継紙・1通	1398-10
(明治29年分川原欠米計算方延引の件などにつき書状) 佐藤→白木君	5月25日	横切継紙・1通	1398-11
配符 (流作米5斗8合) 飯田→徳太郎殿	明治29年12月	小切紙・1通	1398-12
記 (米3俵払方願) 綱浦神田佐吉→森津佐藤民輔殿	明治31年7月9日	小切紙・1通	1398-13
記 (明治29年分川原欠村方小計米分より差引覚)		小切紙・1通	1398-14
(共有地米受取につき書状) 字鎌島服部京平→大字森津白木様	7月28日	横切紙・1通 (封筒入)	1398-15
(田米5斗4升3合済み) 支配人服部京平	(明治) 29年12月	小切紙・1通	1398-16
明治廿九年分 (川原欠共有米割賦計算) 佐藤→白木様	明治30年5月	横切継紙・1通	1398-17
記 (明治29年分川原欠共有米より掬米ほか差引) 佐藤→白木殿	明治30年5月	横切継紙・1通	1398-18
(川原欠六百二十三番田反別・米ほか覚)		小切紙・1通	1398-19
舌代 (武田分米差引の上明治28・9両年計算につき)		小切紙・1通	1398-20
(恵太郎分渡米書付)		小切紙・1通	1398-21
(人別俵数書付札)		小切紙・1通 / (上部に貼紙あり)	1398-22
記 (明治28・9年川原欠共有米受取) 服部京平→白木恵太郎殿	(明治) 30年7月27日	横切継紙・1通	1398-23
(封筒のみ) 佐藤民輔→白木恵太郎様		封筒・1通	1398-24
(封筒のみ) 佐藤民輔→白木恵太郎様		封筒・1通	1398-25
(明治31年配賦)		袋 (13通入)	1383
渡証 (米10俵売渡しにつき) 弥富村字綱村神田佐吉→赤沢佐藤民輔殿	明治32年7月31日	縦切紙・1通	1383-1

森津新田／支配人／不明

明治三十一年分差引米 佐藤→白木殿 (明治31年分木下米17俵余書付) 証(米1斗2升6合ほか受取) 木下秀二郎→佐藤民輔様 配符(流作畑米5升8合書付) 飯田→恵太郎殿 記(明治31年分共有地米3俵受取) 支配人服部京平→ 白木恵太郎殿 (白木恵太郎分米5斗4升8合受取証) 絹川支配人服部 京平→(白木恵太郎) 配符(除外埋田米ほか) 武田→恵太郎殿 配符(宮地米・川原欠米) 佐藤→惣右衛門殿 (明治31年分川原欠米払方依頼状) 佐藤→白木君 記(明治31年分配賦) (白木恵太郎分貸米・明治31年分利米覚) 記(明治31年武田氏分配賦)	明治32年4月 (明治) 32年7月28日 明治33年12月 明治30年5月8日 明治31年分 明治31年分 2月24日 (明治) 32年2月23日	横折紙・1通 小切紙・1通 小切紙・1通 小切紙・1通 横切継紙・1通 小切紙・1通 横切継紙・1通 小切紙・1通 小切紙・1通 横切紙・1通 小切紙・1通 横折紙・1通	1383-2 1383-3 1383-4 1383-5 1383-6 1383-7 1383-8 1383-9 1383-10 1383-11 1383-12 1383-13
---	---	--	--

不 明

(金銭年月書付) (入用金銭入手等につき書状) 服部代筆→武田様 (米石高金銭勘定書付・人名書上) (人名每石高勘定書付)(前後欠カ) (惣切米半年分差し遣わす心底などにつき書状) かり屋彦十郎→武田様・佐藤様	(已3月～同6月18日カ) 水無月3日 (明治19年～明治31年 カ)	小切紙・1通 横切継紙・1通 5点一綴 横折紙・1通 横切継紙・1通	1435 1436 1443 1448 1459
--	--	--	--------------------------------------

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

狐地・稲吉新田／庄屋

領主

留書・上納金・拝借金

請取申御借シ米之事(当春御借シ米として10石) 松井養具→天野沢右衛門殿、岡田伝七殿、中川助左衛門殿、久世岡右衛門	寛保2年戊3月	縦紙・1通	1088
海西郡狐地新田稲吉新田御触状并願事写留帳	宝暦4年戊7月	半・1冊<10丁>	0635
覚(狐地新田田方植付控) (狐地) 新田庄屋善蔵・孫四郎→松田六兵衛様	(宝暦7年) 子6月	縦紙・1通	1098
海西郡狐地新田・稲吉新田品々書ヶ帳 海西郡狐地新田庄屋太郎兵衛、森津新田庄屋善蔵→磯村藤七郎様	宝暦9年卯ノ4月	半・1冊<3丁>	0659
乍恐奉願上候御事(定免ならびに拝借金願書控) 狐地新田市江分地主森津新田沢右衛門、狐地新田地主子宝新田吉田平左衛門、右同断鯛浦村宇佐美孫左衛門→尾崎友治郎様	宝暦13年未2月	半・1冊<5丁>	1258
御調達金割付取集帳(狐地新田市江分) 右新田庄屋武田沢右衛門→右村々高御持衆中	天明元年丑6月28日	横長美・1冊<3丁> ／(2冊一綴)	0545-1
御調達金追割十月伝馬銀并輪中入用取集帳(狐地市江分) 武田沢右衛門→右村々高御持衆中	天明元年丑9月20日	横長美・1冊<3丁>	0545-2
丑九月調達金割戻渡帳(狐地市江分) 武田沢右衛門→右村高御持衆中	天明2年寅6月	横長美・1冊<3丁>	0524
狐地新田森津分調達金割賦集帳 武田沢右衛門	文政11年子6月	横長美・1冊<2丁>	0525
御借財引受高之内抱金取集帳(狐地新田森津分) 狐地新田森津分庄屋所	安政4年巳11月	横長美・1冊<2丁> ／(2冊一綴)	0540-1
御借財引受高之内抱金取集帳(狐地新田森津分) 狐地新田森津分庄屋所	安政3年辰11月	横長美・1冊<2丁>	0540-2
金札御引換上納金割賦集帳(狐地森津分) (武田) 庄屋場	明治2年巳6月	横長半・1冊<2丁>	0442
口上之御事(常山の実御尋ねにつき口上書) 狐地新田庄屋善蔵→郡御奉行所	海西郡 戌9月	縦紙・1通	1109

土地

検地・高反別改

海西郡狐地新田之内市江分御検地帳 五味所左衛門代吉川才右衛門外7名(案内勘左衛門・平右衛門)	元禄11年寅4月	美・1冊<19丁>	0571
海西郡狐地新田之内市江分検地帳(写) 埴原金左衛門・今泉忠兵衛代伊藤利平外3名→森津新田善蔵殿	寛保2年戊10月	半・1冊<10丁>	0573
海西郡狐地新田検地帳(写) 埴原金左衛門・今泉忠兵衛代伊藤利平外3名(案内定右衛門)→鯛浦村孫左衛門殿、子宝新田平左衛門殿	寛保2年戊10月	美・1冊<18丁>	0572

狐地・稲吉新田／庄屋／開発／地代金・入植・分村願

稲吉新田惣町数覚斗代成帳（控） 森津新田善蔵	宝暦2年申10月	横長美・1冊<12丁>	0507
海西郡狐地新田畑方附書上帳（控）（狐地新田）庄屋孫四郎・善蔵	宝暦5年亥5月	横長半・1冊<4丁>	0519
海西郡狐地新田市江分稲吉新田両所田地扣口附帳 庄屋武田沢右衛門	宝暦14年申正月	美・1冊<5丁>	0694
（寛保2年検地狐地新田高・田畑反別内訳ほか書上）（狐地）新田年寄・庄屋吉田平左衛門外1名→三村平六様御陣屋	（天保12年）丑8月	半・1冊<4丁>／（7点一綴）	0664-2
覚（海西郡狐地新田高・田畑書上）（狐地）新田庄屋武田沢右衛門→矢野藤助様	巳8月	縦紙・1通	1099
狐地新田起返細検帳		横長半・1冊<12丁>	0430

開 発

地代金・入植・分村願

請取申金子之事（狐地新田改出分敷金150兩受取証文控） 稲垣甚右衛門・土屋源助→海西郡西条村藤兵衛殿、同郡東条村勘兵衛殿、同郡本部田村喜三郎殿	元禄11年寅9月5日	縦紙・1通	1357
指出シ申一札之事（大風にて狐地新田市江分中堤大破につき堤敷土取場借用一札） 大野新田庄や新兵衛、同所証人清兵衛→平嶋新田平八郎殿	正徳5年未2月	縦紙・1通／（虫損大）	1102
代々請帳□物之事（狐地新田市江分小屋守として奉公につき） 海西郡六条新田本人徳左衛門、同郡同村證人善七郎→森津新田善蔵殿	享保4年亥	縦紙・1通	1262
奉願口上之御事（善蔵市江分購入につき小屋守森津新田宗門帳へ書載せ願） 海西郡森津新田庄屋宇右衛門→近松与次右衛門様	享保5年2月	縦紙・1通	1263
差出シ申 [] 事（小平次・妻子が殿名村の者に相違なき旨） 桑名郡殿名村権左衛門→海西郡森津新田善蔵殿	享保5年子3月	縦紙・1通	1265
宗旨寺手形之事（狐地新田小平次が代々本願寺宗で本山の直門徒に相違なき旨） 勢州桑名かや町最勝寺→尾州森津新田ニ而善蔵殿	享保5年子6月3日	縦切紙・1通	1264
覚（狐地新田再開発・年貢上納取決め写） 安坂才右、間宮甚五左、岡本平六→平嶋新田平右衛門殿、鯛浦村孫左衛門殿、森津村善蔵殿	享保10年巳10月	縦継紙・1通	1256
乍恐奉願上候御事（狐地新田市江分作人少なく難儀につき西条村六兵衛を引越させ地守させたき旨） 海西郡森津新田百姓同郡狐地新田庄屋善蔵→森村甚左衛門様	延享2年丑3月	縦紙・1通	1267
乍恐奉願上候御事（海西郡西条村六兵衛ならびに母を狐地新田作人小屋へ移住願下書） 善蔵	延享2年丑3月	縦紙・1通	1451
□奉願上候御事（狐地新田市江分作人少なく難儀につき西条村六兵衛を引越させ地守させたき旨） 海西郡森津新田百姓同郡狐地新田庄屋善蔵→森村甚左衛門様	延享2年丑3月	縦紙・1通	1269
乍恐奉願上候御事（狐地新田市江分作人少なく難儀につき西条村六兵衛を引越させ地守させたき旨） 海西郡森津新田百姓同郡狐地新田庄屋善蔵→森村甚左衛門	延享2年丑3月	縦紙・1通	1266

様			
乍恐奉願上候事（狐地新田市江分作人少なく難儀につき西条村六兵衛家来願）海西郡森津新田百姓同郡狐地新田庄屋善蔵→森村甚左衛門様	（延享2年）丑3月	縦紙・1通	1268
海西郡狐地之内稻吉新田御證文写之覚 中西甚太郎代・林又左衛門代山田空右衛門外3名→海西郡鯛浦村宇佐美孫左衛門外1名	延享5年辰6月	半・1冊<5丁>	0605
乍恐奉願上候御事（狐地新田の内森津新田善蔵支配市江分分村願）海西郡森津新田同郡狐地新田市江分庄屋善蔵→寄田清太夫様	寛延元年辰9月	縦紙・1通	1372
乍恐奉願上候御事（狐地新田の内森津新田善蔵支配市江分分村願）海西郡森津新田同郡狐地新田市江分庄屋善蔵→寄田清太夫様	寛延元年辰9月	縦紙・1通	1373
乍恐奉願上候御事（狐地新田の内森津新田善蔵支配市江分分村願）海西郡森津新田同郡狐地新田市江分庄屋善蔵→寄田清太夫様	寛延元年辰9月	縦紙・1通／ （貼紙訂正あり）	1374
乍恐奉願上候御事（狐地新田の内森津新田善蔵支配市江分分村願）海西郡森津新田同郡狐地新田市江分庄屋善蔵→（寄田清太夫様）	寛延元年辰9月（貼紙後筆）4年何月（訂正カ）	縦紙・1通	1376
乍恐奉願上候御事（狐地新田市江分畑少なく百姓困窮につき中堤の内起畑願）海西郡森津新田同郡狐地新田市江分地主善蔵	寛延元年辰12月	縦紙・1通	1424
御證文写并年数延御配符写帳 海西郡稻吉新田	寛延元年辰12月	半・1冊<10丁>	0606
乍恐奉願候御事（狐地新田市江分畑少なく百姓困窮につき中堤の内起畑願）海西郡森津新田同郡狐地新田市江分地主善蔵	寛延元年辰12月	縦紙・1通	1425
乍恐奉願上候御事（狐地新田の内森津新田善蔵支配市江分分村願）海西郡森津新田同郡狐地新田市江分庄屋善蔵→寄田清太夫様	寛延2年巳正月	縦紙・1通	1375
乍恐奉願上候御事（狐地新田市江分諸入用金差出延引につき分村願）海西郡森津新田願主善蔵→土肥市右衛門様	寛延4年未8月	縦紙・1通／ （貼紙あり）	1364
乍恐奉願上候御事（狐地新田の内森津新田善蔵支配市江分年貢・諸役金別納願）市江分庄屋善蔵→土岐市右衛門	寛延4年未8月	縦紙・1通	1377
（狐地新田の内私支配市江分御役金ならびに諸入用人足代等両年不足の旨訴えにつき返答書）市江分庄屋善蔵→土岐市右衛門様	（宝暦元年）未8月	横切縦紙・1通	1468
乍恐奉願候御事（狐地新田市江分分村のうえ庄屋役願）海西郡狐地新田之内市江分地主善蔵／（奥裏書）狐地新田頭宇佐美孫左衛門、同断平左衛門→森村甚左衛門様	（宝暦2年）申9月	縦紙・1通	1427
乍恐奉願候御事（狐地新田市江分分村のうえ庄屋役願）海西郡狐地新田之内市江分地主善蔵／（奥書）宇佐美孫左衛門、吉田平左衛門→森村甚左衛門様	（宝暦2年）申9月	縦紙・1通	1430
一札之事（見入新田小三郎弟新平狐地新田新八方へ養子につき村送り証文）勢州桑名郡見入新田庄屋治左衛門→尾州海西郡森津村角左衛門殿	宝暦4年戌2月	縦紙・1通	1368
一札（勘左衛門新田新平寺送り証文）本願寺兼帯所勢州長嶋願證寺→尾州西保村長東寺	宝暦4年戌3月	縦紙・1通	1367
乍恐奉願上候御事（狐地新田市江分分村のうえ庄屋役願）（海西）狐地新田之内市江分扣主善蔵／（奥	（宝暦4年）戌4月	縦紙・1通	1429

狐地・稲吉新田／庄屋／年貢／免定・減免

書) 同郡鯛浦村字佐美孫左衛門、同郡小宝新田平左衛門 →土岐市右衛門様			
一札之事 (狐地新田内市江分入用金返済滞滞につき) 海西郡森津新田善藏、同郡大野新田清兵衛→服部市兵衛 殿、忠右衛門殿	宝暦4年戊5月	縦紙・1通	1103
乍恐奉願候御事(狐地新田市江分分村のうえ庄屋役願) 狐地新田之内市江分扣主善藏／(奥書)同郡鯛浦村字佐 美孫左衛門・同郡小宝新田平左衛門→藺田利左衛門様	(宝暦4年) 戊5月	縦紙・1通	1428
狐地新田走御新田ニ相成候ニ付此方江当り候地築土代 金割付帳 狐地新田庄屋森津新田善藏→右村々高持衆中	宝暦4年戊7月23日	横長半・1冊<3丁>	0534
乍恐奉願上候御事 (狐地新田市江分作人少なく難儀に つき殿名村小平次を引越させ地守させたま旨) 海 西郡森津新田百姓同郡狐地新田庄屋善藏→富田八郎兵衛 様	宝暦6年子3月	縦紙・1通	1271
乍恐奉願上候御事 (狐地新田潮除池川開発願控) 新田庄屋太郎兵衛・善藏、狐地分地主佐美孫左衛門・ 吉田平左衛門→磯村藤七郎様	宝暦10年辰7月	半・1冊(4丁) / (3点一綴)	0661-2
乍恐口上覚 (大野綿屋新田中堤起方支障お尋ねにつき 口上) 狐地新田庄屋太郎兵衛、同断沢右衛門、大野新 田庄屋彦市→尾崎友治郎様、松田六兵衛様、田中四郎右 衛門様、桑原藤右衛門様、杉村弥左衛門様	宝暦14年申5月	縦紙・1通	1249
乍恐奉願上候御事 (大野綿屋新田と狐地新田の間の中 堤取払いにつき) 海西郡狐地新田地主庄屋沢右衛門 →尾崎友次郎様	(宝暦14年カ) 申5月	縦紙・1通	1253
由緒書写 (狐地新田) 鯛浦村字佐美孫左衛門、子宝新 田吉田平左衛門	文政5年午	半・1冊<7丁>	0623
乍恐奉願上候御事 (狐地新田市江分年貢免状別途発給 願) 右新田市江分扣主庄屋森津新田善藏→富田八郎兵 衛様	11月	縦紙・1通	1259
乍恐奉上候御事 (狐地新田市江分高96石9斗余分村願)		縦紙・1通	1260
乍恐奉願上候御事 (狐地新田市江分三役金諸入用金引 分願)		縦紙・1通	1261

年 貢

免定・減免

免定写 (狐地新田市江分) 尾友次郎判→庄屋・与頭・ 小百姓	宝暦6年子12月	縦紙・1通	1091
(狐地新田明和4年物成受取) 矢藤助代伊藤安兵衛	(明和4年) 亥10月晦日	横折紙・1通	1314
狐地新田稲吉新田免定 []	寛政2年戊12月12日	半・1冊<9丁> / (2冊一綴) / (表 紙下部欠損)	1298-1
免定 (海西郡狐地新田分) 木亀三郎→右村庄屋・組 頭・惣百姓	寛政10年午11月	半・1冊<6丁>	1298-2
免定 (狐地新田分) 金五郎兵衛→右村庄屋・組頭、惣 百姓	元治元年子11月	半・1冊<4丁> / (4点一綴)	0660-3
狐地新田稲吉新田御免定目録 (写) 当番宇佐美	文久元年酉12月	半・1冊<7丁>	0609
覚 (狐地新田分寅年納麦代金銀受取) 大沢新右衛門	卯6月23日	堅切縦紙・1通	1094

代神間茂平→(狐地新田)庄屋中			
乍恐奉願上候御事(狐地・市江分年貢を10年間減免願下書)	辰2月	縦継紙・1通	1251
免状扣		半・一綴	1515
免定(狐地新田分)		縦紙・1通	1516
戌年御年貢目録(森津新田分) (佐屋陣屋の餅米・大豆代など受取覚を貼付)		横折紙・1通	1517

免付・取高勘定

海西郡狐地新田高田畑田面附帳 新田庄屋太郎兵衛・善蔵、狐地分地主宇佐美孫左衛門・吉田平左衛門	宝暦9年卯9月	横長半・1冊<5丁>/ (4点一綴)	0529-4
海西郡狐地新田高田畑田面附帳(控) (狐地)新田庄屋太郎兵衛、市江分地主庄屋沢右衛門、狐地分地主宇佐美孫左衛門・吉田平左衛門→御代官尾崎友治郎様外4名	宝暦12年午9月	横長半・1冊<4丁>/ (4点一綴)	0529-3
未進請差引勘定帳(狐地新田市江分)	明和7年寅12月7日	横長半・1冊<10丁>	0533
海西郡狐地新田田畑高免附帳 新田庄屋太郎兵衛、地主庄屋武田沢右衛門、地主宇佐美孫左衛門・吉田平左衛門	明和9辰10月	横長美・1冊<5丁>	0526
海西郡狐地新田高田畑免附帳 (狐地)新田庄屋嘉兵衛、地主庄屋武田沢右衛門	天明2寅10月	横長美・1冊<4丁>	0527
海西郡狐地新田・稲吉新田高田畑免附帳(控) (狐地)新田庄屋善六、地主庄屋武田沢右衛門、新田頭地主宇佐美孫左衛門・吉田平左衛門	天明4年辰10月	横長美・1冊<6丁>	0528
(武田沢右衛門ほか持高・年貢勘定差引書)	天保13寅年	半・1冊<2丁>	1095
(狐地新田年貢取米高書付)		横折美・1通	1317

年貢諸入用

酉年狐地新田御年貢并諸入用割帳	寛保元年極月	横長美・1冊<8丁>	0379
狐地新田帳(鯛浦孫左衛門より年々諸懸り勘定請求)	寛保元年より(～宝暦7年12月21日)	半・一綴<19丁>	1087
寅年狐地新田御年貢諸入用割帳(市江分)	延享3年極月14日	横長美大・1冊<10丁>	0011
卯年狐地新田御年貢諸入用割帳(市江分)	延享4年極月18日	横長美・1冊<10丁>	0522
辰年狐地新田御年貢諸入用割帳(市江分)	寛延元年10月18日	横長美大・1冊<9丁>	0010
巳年狐地新田御年貢諸入用割帳(市江分)	寛延2年12月13日	横長美・1冊<8丁>	0531
午年狐地新田御年貢諸入用割帳(市江分)	寛延3年12月16日	横長美大・1冊<7丁>	0004
未年狐地新田御年貢諸入用割帳(市江分)	宝暦元年12月15日	横長美大・1冊<3丁>	0002
申年狐地新田御年貢諸入用割帳(市江分)	宝暦2年12月21日	横長美大・1冊<7丁>	0003
戌年狐地新田御年貢諸入用帳(市江分)	宝暦4年12月24日	横長美大・1冊<6丁>	0005

亥年狐地新田御年貢諸入用帳 (市江分)		宝暦5年12月15日	横長美大・1冊<6丁>	0006
子年狐地新田御年貢諸入用帳 (市江分)		宝暦6年12月17日	横長美・1冊<5丁>	0378
寅年狐地新田御年貢諸入用帳 (市江分)		宝暦8年12月27日	横長美大・1冊<6丁>	0007
卯歳狐地新田御年貢諸入用帳 (市江分)		宝暦9歳12月19日	横長美大・1冊<6丁>	0009
午年狐地新田御年貢諸入用帳 (市江分)		宝暦12年12月20日	横長美大・1冊<4丁>	0008
狐地新田追割帳		安永4年末12月	横長半・1冊<5丁> ／(2点一綴)	0532-1
覚(狐地新田年貢諸入用追割書) 武田沢右衛門→右村々高御持御衆中			横折紙・1通	0532-2
戊年狐地市江分御年貢諸入用勘定帳 庄屋武田沢右衛門		安永7年11月12日	横長美大・1冊<6丁>	0001
子年狐地市江分御年貢諸入用勘定帳 庄屋武田沢右衛門		安永9年12月16日	横長美・1冊<5丁> ／(2冊一綴)	0530-1
亥年狐地市江分御年貢諸入用勘定帳 庄屋武田沢右衛門		安永8年12月21日	横長美・1冊<5丁>	0530-2
覚(狐地出金残金差引依頼) 太郎兵衛→沢右衛門様		(江戸) 6月9日	横切継紙・1通	1449
(狐地・稲吉新田取米・諸入用書付綴)		(江戸)	横切紙・一綴<22丁>	1334

役銀諸入用

狐地新田諸入用帳 (狐地新田全域) 宇佐美当番		天保8年酉12月	横長半・1冊<8丁>	0303
狐地新田諸入用帳 (狐地新田全域) 宇佐美当番		文久元年酉12月	横長半・1冊<8丁>	0304
○				
狐地新田市右口惣割勘定帳		元文3年午極月日	横長半・1冊<7丁>	0412
巳年狐地新田市江分伝馬銀・堤銀・枯草代取集帳 森津新田沢右衛門→右村々高御持衆中		宝暦11年12月	横長半・1冊<3丁>	0523
狐地新田市江分中堤起畑諸入用割符帳 庄屋武田沢右衛門、立合西河甚助・佐野才兵衛・白木金太夫・大橋六兵衛 (裏表紙に立合人の名前あり)		明和3年戌12月25日吉日	横長美・1冊<6丁> ／(4点一綴)	0529-1
狐地森津分諸入用当座覚 武田		天保11年子7月 (~嘉永3年)	横半半折・1冊<14丁>	0804
狐地新田森津分諸入用当座覚 武田		嘉永4亥年 (~安政4年)	横半半折・1冊<14丁>	0803
狐地森津分御役銀諸入用取集帳 武田沢右衛門		安政2年卯7月	横長半・1冊<2丁>	0542
狐地森津分盆前入用集 里正		(明治5年) 壬申7月	横長半・1冊<2丁> ／(11冊一綴)	0406-1
御役銀諸入用集帳 狐地新田森津分庄屋所 (武田)		明治4年末12月	横長半・1冊<2丁>	0406-2
中堤滞留入用三ヶ村割賦集帳 狐地森津分庄屋所		明治4年末7月	横長半・1冊<2丁>	0406-3
盆前諸入用集帳 狐地新田森津分庄屋場 (武田)		明治3午年7月	横長半・1冊<2丁>	0406-4

枳三ヶ所御伏替入用集帳 狐地新田森津分庄屋場 (武田)	明治3年午7月	横長半・1冊<2丁>	0406-5
御役銀諸入用集帳 狐地森津分庄屋所 (武田)	明治3年午正月	横長半・1冊<4丁>	0406-6
干鯛金割賦集帳 狐地森津分庄屋 (武田)	明治3年4月	横長半・1冊<2丁>	0406-7
盆前諸入用集帳 狐地森津分庄屋場 (武田)	明治2年巳7月	横長半・1冊<3丁>	0406-8
干鯛金割賦集帳 (狐地新田森津分) 庄屋場 (武田)	明治2年巳4月	横長半・1冊<2丁>	0406-9
輪中御償御普請金割戻帳 (狐地新田森津分) 庄屋所	明治2年巳3月	横長半・1冊<2丁>	0406-10
辰年御中役銀諸入用集帳 狐地森津分庄屋所 (武田)	明治2年巳3月	横長半・1冊<2丁>	0406-11
稲吉新田狐地走堤修復并道植苗代割付 森津新田善蔵	丑8月7日	横長半・1冊 (2丁) / (2点一綴)	0407-2
割附 (狐地伝馬銀ほか取集) 武田沢右衛門→右村々高御持衆中	酉12月	横長美・1冊<2丁> / (2冊一綴)	0546-1
(狐地伝馬銀ほか上納分取集) 狐地新田庄屋沢右衛門→右村々高御持衆中	申閏12月	横長美・1冊<2丁>	0546-2
年々御役銀受取帳諸入用共 狐地新田太郎兵衛	[]正月吉日	半・1冊<20丁> / (虫損大)	0607
辰暮堤銀枯草伝馬銀取集帳 武田善蔵		横長半・1冊<3丁>	0358

諸入用

狐地新田・稲吉新田森津分諸入用割賦帳	安政2年卯12月	横長半・1冊<6丁>	0341
狐地新田・稲吉新田森津分諸入用割賦帳	安政3年辰12月	横長半・1冊<6丁>	0342
狐地新田・稲吉新田森津分諸入用割賦帳	安政4年巳12月	横長半・1冊<5丁>	0343
狐地新田・稲吉新田森津分諸入用割賦帳	安政5年午12月	横長半・1冊<5丁>	0344
狐地新田・稲吉新田森津分諸入用割賦帳	安政6年未12月	横長半・1冊<5丁>	0345
狐地新田・稲吉新田森津分諸入用割賦帳	嘉永4年亥12月	横長半・1冊<6丁>	0346
狐地新田・稲吉新田森津分諸入用割賦帳	嘉永5年子12月	横長美・1冊<7丁>	0347
狐地新田・稲吉新田森津分諸入用割賦帳	嘉永6年丑12月	横長美・1冊<6丁>	0348
狐地新田・稲吉新田森津分諸入用割賦帳	嘉永7年寅12月	横長美・1冊<6丁>	0349
狐地新田・稲吉新田森津分諸入用割賦帳	万延元年申12月	横長美・1冊<5丁>	0350
狐地新田・稲吉新田森津分諸入用割賦帳	文久元年酉12月	横長美・1冊<4丁>	0351

諸役

口上書之覚 (新田付狐地新田池川の川運上差出しにつき)		半・1冊<10丁>	0637
(狐地新田内市江分役銀・諸入用人足代ほか不足につき出入) 市江分庄屋善蔵→土岐市右衛門様	(宝暦元) 未8月	半・1冊<4丁>	0638
乍恐口上書之覚 (狐地新田川運上金上納願綴) 森津新田沢右衛門	(宝暦10~同11年) 辰~巳年	半・1冊 (12丁) / (3点一綴)	0661-1
乍恐奉願上候御事 (狐地新田川運上金・殺生につき) →成瀬織部様御役人様 (虫損大)	(宝暦10年) 辰7月	竖継紙・1通 / (3点一綴)	0661-3

覚 (川運上金受取) 高橋太郎兵衛→武田沢右衛門様	辰4月13日	小切紙・1通 / (虫損)	1461
年貢諸役割付			
(狐地新田市江分年貢諸懸り関係文書)	(元文3～宝暦元年)	袋 (10通入) / (上部欠損、汚損)	1476
覚 (当未年分市江分諸懸勘定) 狐地新田孫四郎→森津新田善蔵殿	(宝暦元年) 未12月27日	小切紙・1通	1476-1
覚 (当子年伝馬銀のうち受取) 郡奉行所→狐地新田庄屋	(延享元年) 子年10月 (~宝暦6年)	小切紙・1通 / (虫損・汚損)	1476-2
覚 (当午年野方御年貢米代受取) 御山廻高橋佐次兵衛→森津新田善蔵殿	元文3年午12月21日	小切紙・1通 / (下部欠損、汚損)	1476-3
請取金子之事 (伝馬銀上納につき受取) 宇佐美孫左衛門→森津新田善蔵殿	(寛保2年カ) 戌10月23日	堅切紙・1通	1476-4
狐地新田御見分衆 (手代・地方御目付ほか人名書上)	寛保元年酉3月28日	横切紙・1通	1476-5
覚 (当午年野方御年貢米代上納すべき旨) 福田新田御山廻高橋佐次兵衛→森津新田善蔵殿	元文3年午12月	巻紙・1通 / (下部欠損)	1476-6
覚 (金3両受取) 吉田→新八殿	丑8月8日	小切紙・1通 / (下部欠損)	1476-7
覚 (狐地新田諸入用金のうち受取) 吉田→武田善蔵殿	(寛延3年カ) 午12月25日	巻紙・1通 / (下部欠損、虫損)	1476-8
覚 (新田御年貢米受取) 御山廻高橋→森津新田善蔵	寛保3年亥12月	小切紙・1通 / (下部欠損、虫損)	1476-9
覚 (当卯年伝馬銀のうち受取) 郡奉行→狐地新田庄口	卯10月	小切紙・1通 / (下部欠損)	1476-10
狐地小書付入	(寛保元～寛延元年)	袋 (8点入) / (上下部欠損)	1478
覚 (当子入用金のうち受取) 孫四郎→善蔵殿	(延享元年カ) 子12月	堅切・1通	1478-1
覚 (諸入用金・麦金・伝馬銀勘定割付) 宇佐美孫左衛門→武田善蔵殿	(寛延元年カ) 辰6月18日	横切継紙・1通 / (2通こより括り)	1478-2-1
覚 (諸入用金・稲吉新田腰掛人足代割付) 宇佐美孫左衛門→武田善蔵様	7月17日	横切継紙・1通	1478-2-2
覚 (伝馬銀・鶏尾羽代受取) 孫四郎→新八殿	酉11月	小切紙・1通	1478-3
覚 (当酉年柳枯草代受取上納につき) 孫四郎	酉12月2日	小切紙・1通	1478-4
受取申金子之通 (5月25日から) 孫左衛門→善蔵殿	(寛保元年カ) 酉5月	横折紙・1通	1478-5
覚 (堤銀受取) 孫左衛門→善蔵殿	(寛保元年カ) 酉12月6日	横切継紙・1通	1478-6
(夫銀・麦金・伝馬銀など金銭勘定および過納分返金の旨書付) 孫四郎→善蔵殿	(寛保元年カ) 酉2月13日 日上納	横切継紙・1通 / (端上下部欠損)	1478-7
市江分 (取米・諸懸物等勘定書付)	亥12月	横折紙・1通 / (虫損)	1478-8
覚 (年貢米・運賃割付勘定) 孫四郎→善蔵殿	(寛保3年カ) 亥12月 (~宝暦5年)	横切継紙・1通 / (上部欠損)	1489
狐地新田御三役取締帳袋	(寛保3～宝暦9年)	袋 (25点入)	1474

午年稲吉米積割符（市江分・狐地半四郎分石高明細書付） 孫四郎→善藏殿	（寛延3年）午11月	横切紙・1通／ （虫損）	1474-1
覚（辰年市江分石高取米など書上）	辰12月	縦紙・1通	1474-2
覚（稻吉新田除地米孫四郎方にて受け取られたき旨） 吉田平左衛門→武田沢右衛門殿	亥12月6日	巻紙・1通	1474-3
亥年狐地新田諸入用立合割符（市江分） 宇佐美孫左衛門→武田善藏殿	（寛保3年）亥12月6日	横切継紙・1通	1474-4
覚（柳枯草代ほか受取） 太郎兵衛→新八郎様	12月5日	横切継紙・1通	1474-5
覚（堤銀・柳枯草代ほか金銭割付） 狐地太郎兵衛→森津村沢右衛門様	11月26日	横切継紙・1通	1474-6
覚（狐地新田市江分諸懸物割付） 孫左衛門→善藏殿	（延享4年カ）卯12月6日 （～宝暦9年）	横切継紙・1通	1474-7
覚（市江分取米石高など割符勘定書付）（後欠）		縦紙・1通	1474-8
覚（取米中作徳米など勘定書付） 新右衛門	子正月15日	小切紙・1通	1474-9
覚（麦石高代金など割付）	子6月	巻紙・1通	1474-10
（来る19日名古屋へ同道願など書状） 宇佐美孫左衛門→武田善藏様	10月16日	横切継紙・1通	1474-11
以書付申上候御事（常山の実出来方ほかにつき） 伊藤孫四郎→武田沢右衛門様	戌9月14日夜	横切継紙・1通	1474-12
覚（当子年狐地新田諸入用金受取） 孫四郎→善藏殿	（宝暦6年カ）子12月29日	縦紙・1通	1474-13
覚（狐地新田市江分取米など勘定割付）	辰12月	横折紙・1通	1474-14
覚（市江分年貢諸役銀勘定割付） 宇佐美孫左衛門→武田善藏殿	（寛延元年カ）辰12月21日	横切継紙・1通／ （虫損）	1474-15
覚（居染諸懸物書上） 孫左衛門→善藏殿	（寛延3年カ）午12月	堅切・1通	1474-16
（市江分取米諸懸物ほか勘定割付） 宇佐美孫左衛門・吉田平左衛門→善藏殿	（寛延3年カ）午12月	横折紙・1通	1474-17
覚（市江分年貢立合割符再勘定書） 孫四郎→善藏殿	（宝暦6年カ）子4月	巻紙・1通	1474-18
覚（市江分年貢立合割付） 孫左衛門→善藏殿	（寛延3年カ）午12月15日	小切紙・1通／ （虫・破損）	1474-19
覚（市江分年貢人足代残金早々送金依頼） 宇佐美孫左衛門→武田善藏殿	（寛延元年カ）辰12月24日	巻紙・1通／ （虫損）	1474-20
覚（市江分当已年夫錢上納につき送金依頼） 宇佐美孫左衛門→武田善藏殿	（寛延2年カ）巳2月11日	巻紙・1通／ （虫損）	1474-21
覚（年貢残金持参依頼） 宇佐美孫左衛門→武田善藏殿	（延享元年カ）子4月29日	巻紙・1通／ （虫損）	1474-22
覚（狐地新田市江分諸入用立合割付勘定） 孫左衛門→善藏殿	（宝暦2年カ）申12月9日	横切紙・1通	1474-23
市江分勘定（端米・諸入用等残金収納依頼） 宇佐美孫左衛門→武田善藏殿	（寛延2年カ）巳12月25日	横切継紙・1通／ （虫・破損）	1474-24
未年勘定物覚（端米・俵掛り等金銭27日までに持参依頼） 宇佐美孫左衛門→森津新田善藏殿	（宝暦元年カ）未12月14日	横切紙・1通	1474-25
稻吉新田御普請金割付面（市江分年貢諸懸物勘定割付） 宇佐美孫左衛門→武田善藏殿	（寛延2年）巳6月21日	横切継紙・1通／ （汚損）	1472

(市江分狐地・稲吉新田割賦米金勘定書付および同米金持参依頼) 宇佐美孫左衛門→武田善藏殿	(寛延2年カ) 寛正(マ) 2巳12月11日	横長半・3点一綴	1454
覚(狐地新田諸入用割付) 孫左衛門→善藏殿	(寛延3年) 午3月17日	横切継紙・1通/ (汚損)	1473
狐地新田森津分諸書附入	(宝暦元~弘化2年)	袋(14点入)	0830
(狐地新田市江分給米の儀お尋ねにつき書状下書) 武田沢右衛門→吉田平左衛門	天保6年未正月	横切継紙・1通	0830-1
覚(堤銀枯草代・入用金1両余書上) 吉田平左衛門→武田沢右衛門	11月15日	小切紙・1通	0830-2
覚(当戌年利銀40匁受取) 吉田平左衛門→勘七殿	戌霜月20日	横切継紙・1通	0830-3
(狐地走り半口分米ほか書上)(前欠) 狐地新田庄屋善六→武田沢右衛門	辰極月	横切継紙・1通	0830-4
勘定物(年貢・諸懸りほか納入通知) 吉田平左衛門→武田善藏殿	宝暦元12月24日	横折紙・1通	0830-5
覚(御城米・掬米ほか差引勘定) 勘七→武田様	丑12月	横折紙・1通	0830-6
(稲吉・狐地新田組込御普請拝借金返上すべき旨通知)	丑12月	半・1冊<2丁>	0830-7
(見取場地代金関係綴)	(天保5年~嘉永4年)	横長半・3通一綴	0830-8
覚(市江分・埋田新田分日懸り錢渡方願) 吉田→武田氏	(弘化2年) 7月7日	横切紙・1通/(2通一綴)	0830-9-1
覚(武沢伝馬分など狐地盆前入用渡方願) 吉田→武田氏	(弘化2年) 巳7月	横切継紙・1通	0830-9-2
(市江寄諸入用・柳枯草代ほか諸掛り割合勘定関係綴)	(天保6年~嘉永2年)	横折紙・1綴(12点一綴)<15丁>	0830-10
(勘七分ほか反別書上)		横長半・1冊<2丁>	0830-11
覚(壱口取米勘定など)		横折紙・1通	0830-12
配符覚(米の勘定) 宇佐美孫左衛門→善六殿	天保2卯12月	横折紙・1通	0830-13
(材木長さ・巾、人足人数、賃金ほか覚) 御普請方	4月	横折紙・1通	0830-14
(御年貢米差引勘定書付など) 吉田平左衛門→武田沢右衛門殿/(奥書) 武田哲次郎殿	(慶応2年カ) 寅12月~明治6年	横折紙・横切継紙など・7通一綴	1467
(諸入用金等御渡方依頼および入用金・よし代等割付) 高橋太郎兵衛→武田沢右衛門様	子12月24日	横切継紙・1通/ (虫損)	1486
覚(当寅年柳枯草代銀受取) 矢埜藤助・岡村安左衛門→海西狐地新田右村庄屋中	寅12月3日	横切紙・1通	1438
覚(寅年柳枯草代銀受取) 矢埜藤助・岡村安左衛門→(海西郡森津新田) 村庄屋中	寅12月3日	横切紙・1通	1466
覚(麦代金・伝馬金割付書) 高橋太郎兵衛→武田沢右衛門様	卯6月21日	横切紙・1通/ (虫損、汚損)	1487
覚(伝馬銀・麦金など諸役金割付) 高橋太郎兵衛→武田沢右衛門様	卯6月21日	横切継紙・1通	1485
覚(諸入用割合金書付) 太郎兵衛→沢右衛門殿	巳5月27日	小切紙・1通/ (虫損)	1471
覚(夫銀・稲吉入用等諸入用勘定遣方依頼および先の書付間違につき用捨願) 清兵衛→森津新田善藏様	巳12月24日	横切継紙・1通	1458

覚（市江分年貢諸入用勘定） 宇佐美孫左衛門・吉田平 左衛門→善蔵殿	申12月15日	横折紙・1通／（4 通一綴）	0995-4
覚（当酉年伝馬銀等10月上納分割付） 孫四郎→沢右 衛門殿	（酉年）11月	横切紙・1通	1464

戸口

人別改

宗門一札（狐地新田六兵衛宗門改） 海西郡東条村成 満寺→森津村善蔵殿	延享2年丑3月	縦紙・1通（包紙 入）	1080
一札之事（西対海地新田さよが狐地新田新八郎へ縁付 につき宗門改） 勢州桑名郡西対海地新田庄屋利兵衛 →尾州海西郡森津新田喜治郎殿	延享4年卯3月	縦紙・1通（包紙 入）	1078
一札之事（鯛浦村勘右衛門支配狐地新田たねが森津新 田善蔵支配同新田文吉へ縁付につき宗門改） 海西 郡鯛浦村庄屋勘右衛門→（海西）郡森津新田角左衛門殿	宝暦4年戌2月	縦紙・1通（包紙 入）	1076
一札之事（見入新田新平が狐地新田新八郎へ養子につ き宗門改） 勢州桑名郡見入新田庄屋次左衛門→尾州海 西郡森津新田庄屋角左衛門殿	宝暦4年戌2月	縦紙・1通（包紙 入）	1077
一札之事（狐地新田百姓庄助娘たね婚姻につき村送り 証文） 海西郡鯛浦村庄屋誰印→同郡森津新田角左衛門 殿	宝暦4年戌2月	縦紙・1通	1369
送り一札之事（桑名郡長嶋殿名村小平次・勘七郎両家 狐地新田市江分へ引越しにつき宗門改） 勢州桑名 郡長嶋殿名村庄屋傳次・同村肝煎伊兵衛→尾州海西郡森 津新田御庄屋中	宝暦6年子3月	縦紙・1通（包紙 入）	1079
海西郡狐地新田宗門御改帳 海西郡鯛浦村右新田庄屋宇 佐美孫左衛門、子宝新田同断吉田平左衛門→尾崎友次郎殿	宝暦8年寅3月	半・1冊<9丁>	0577
森津新田武田哲次郎家来狐地新田稻吉新田森津分百姓 人数書上帳 森津新田組頭丸九郎、同所庄屋武田哲次郎 →安井喜一殿	明治3年午3月	半・1冊<12丁>	0630
指上申一札之事（狐地新田百姓宗門改めにつき雛型） 何郡何村狐地新田庄屋三人→森口甚左衛門殿	年号月	縦紙・1通／（虫 損大）	1370

村政

覚書

古来之覚庄屋役相済候節狐地新田市江分庄屋儀覚帳 持主沢右衛門	宝暦4年戌5月20日（～ 宝暦11年巳12月）	半・1冊<20丁>／ （虫損大）	0633
亥年より年々狐地諸事覚帳 武田沢右衛門	寛政3年正月吉日（～ 文政8年）	横美半列・1冊<50 丁>	0723
狐地新田森津分諸事覚帳（表紙・裏表紙欠） 武田沢右 衛門	文政10年ヨリ（嘉永元 年）	横美半列・1冊 <138丁>	0724
狐地新田森津分萬覚帳 武田	嘉永元年申正月吉日 （～明治4年）	横美半列・1冊 <188丁>	0725
狐地新田諸事覚帳 武田沢右衛門	正月日	横半半列・1冊<94 丁>	0728

井戸堀

堀抜井戸諸入用割賦集帳 狐地新田森津分庄屋武田沢右衛門	天保12年丑閏正月	横長半・1冊<3丁>	0301
-----------------------------	-----------	------------	------

出入

孫左衛門平左衛門願書写シ（庄屋善蔵と村方出入） 海西郡狐地新田地主宇佐美孫左衛門外1名→森村甚左衛門様	寛延4年辛未10月	半・1冊<15丁>	0636
--	-----------	-----------	------

庄屋役印

売渡シ申田地証文之事（狐地新田市江分・稲吉新田の内代金51両）（下書） 勢州加路戸新田売主武左衛門、証人警八、狐地市江分庄屋・稲吉新田・森津新田沢右衛門→海西郡鳥ヶ地村佐野才兵衛殿	宝暦14年申正月	堅紙・1通／（虫損）	1470
質地証文之事（狐地新田森津分口地半口ほか） 狐地新田森津分金借主勘七、森津新田証人円蔵／（奥書）森津新田右地所庄屋武田沢右衛門→田嶋屋利左衛門殿	文政13年寅12月	堅紙・1通（包紙付）	1172
借用金子証文之事（質物狐地新田森津分十口割のうち八分の一高） 狐地新田森津分金借主勘七、森津新田証人円蔵／（奥書）庄屋武田沢右衛門→二井利左衛門殿	天保4年巳12月	堅紙・1通（包紙付）	1178
相渡申田地証文之事（代金100両）（後欠）		堅紙・1通	1518

諸務

宝暦十一年狐地新田諸事書付入（袋表書）	（宝暦11年カ）	袋（6通入）／（虫損、破損）	1477
（狐地川の件などにつき書状） 高橋太郎兵衛→武田沢右衛門様	6月28日（カ）	横切継紙・1通	1477-1
（明日稲吉新田小検見につき来訪願） 高橋太郎兵衛→武田沢右衛門様	10月19日	横切継紙・1通	1477-2
（免割10日に予定の旨ならびに来宅願） 高橋太郎兵衛→武田沢右衛門様	11月8日	横切継紙・1通	1477-3
覚（金銭を遣したので上納方依頼） 高はし→武田様	10月23日	巻紙・1通	1477-4
口上（昨日の目録書付不明につき勘定不能の旨また御蔵入用出金依頼） 高橋太郎兵衛→武田沢右衛門様	11月晦日	巻紙・1通	1477-5
（枋方連絡への御礼ならびに新田川の件につき来宅願） 高橋太郎兵衛→武田沢右衛門様	3月3日	堅紙・1通／（虫損）	1477-6
狐地川出入取継状入		10点こより括り（懸紙付）／（上部欠損）	1475
（狐地新田川名代金につき伺い状控） 武田沢右衛門→吉田平左衛門様・宇佐美孫左衛門様	5月22日	堅紙・1通／（下部虫損）	1475-1
（平左衛門方よりの書状拝見願状） 宇佐美孫左衛門→武田沢右衛門様机下	5月晦日	横切継紙・1通	1475-2
（かけ枋戸前両戸損壊につき御役所様へ同道依頼状） 高橋太郎兵衛より→武田沢右衛門様	6月19日	横切継紙・1通	1475-3

(相談ごとにつき明後日来宅願) 宇佐美孫左衛門→武田沢右衛門様	5月27日	横切継紙・1通	1475-4
(祭礼上納物につき書状) 高橋太郎兵衛→武田沢右衛門様	8月21日	横切継紙・1通	1475-5
(祭礼取決め延引し後日連絡の旨書状) 高橋太郎兵衛→武田沢右衛門様	8月10日	横切継紙・1通／(虫損)	1475-6
(諸書付・新田道付人足代ならびに権願方同道の旨書状) 高橋太郎兵衛より→武田沢右衛門様	3月9日	横切継紙・1通	1475-7
(权伏替ならびに川の件兩人衆にて委細不明につき留意を要す旨書状) 高橋太郎兵衛→武田沢右衛門様	4月13日	横切継紙・1通	1475-8
(先日他行につき再度来訪願) 高橋太郎兵衛→武田沢右衛門様	3月17日	横切継紙・1通	1475-9
(川運上上納の是非報知されたき旨依頼状控) 森津新田武田沢右衛門→吉田平左衛門様、宇佐美孫左衛門様	4月14日	横切継紙・1通	1475-10
(肴代入用および川の儀相談につき書状) 吉田平左衛門→武田沢右衛門様	3月13日	横切継紙・1通	1452

普 請

乍恐奉願上候御事 (狐地新田悪水落杖御普請願) (狐地) 新田庄屋善蔵、同断孫四郎→杖方御奉行所	(宝暦4年カ) 戌9月	堅紙・1通	1250
乍恐奉願上候御事 (权伏替願) 海西郡狐地新田庄屋善蔵→杖御奉行所	宝暦5年亥11月	堅紙・1通	1246
(低田へ入土困難願につき金46両無利子10か年賦貸与申渡) 矢藤助→(狐地) 新田庄屋	(宝暦6年) 子3月	堅継紙・1通	1426
(明和5年狐地新田置土拝借金受取) 大橋新郎代伊藤安太郎	(明和5年)	横長美・1冊<3丁>	0521
狐地南ヶ輪新埋地勘定帳 狐地庄屋太郎兵衛	明和9年辰12月	半・1冊<3丁>／(2冊一綴)	0608-1
狐地新田市江分入土御拝借割符帳	明和5年子	半・1冊<15丁>	0608-2
奉窺御事 (濃州より出願の境川通川浚の儀お尋ねにつき支障有無確認) 海西郡大野綿屋・稲荷新田庄屋彦市、同郡狐地新田・稲吉新田庄屋太郎兵衛、同郡右同断森津新田庄屋沢右衛門、同郡鎌嶋新田庄屋忠右衛門、同郡寛延・稲狐新田庄屋理兵衛、同郡右同断芝井新田庄屋佐久間善左衛門→尾崎友次郎様、松田六兵衛様、水野清左衛門様	(享和元年) 酉3月	堅継紙・1通	1362
乍恐奉願上候 (先祖由緒により狐地新田の堤起方願) 鯛浦村宇佐美孫左衛門、子宝新田吉田平左衛門→石川小兵衛様御陣屋	(文政5年) 午2月	半・1冊<2丁>	0874
乍恐奉願上候 (先祖由緒により狐地新田の堤起方願) 子宝新田吉田平左衛門・鯛浦村宇佐美孫左衛門／奥書新田庄屋善六→石川小兵衛様御陣屋 (狐地新田庄屋善六の添願書あり)	(文政5年) 午8月	半・1冊<6丁>	0665
持溜土御普請内金取集帳 (狐地森津分) 狐地新田森津分庄屋武田沢右衛門	天保13年寅3月	横長半・1冊<3丁>	0544
約定為取替一札之事 (新田古堤借地につき普請手当金上納) 三稲新田庄屋信重郎外2名→狐地新田・稲狐新田	弘化3年午12月	半・1冊<3丁>／(7点一綴)	0664-3

狐地・稲吉新田／支配人／土地 救済

御庄屋衆中			
狐地新田稲吉新田御冥加自普請所勘定帳 立合字佐美・吉田・武田 (10月29日稲吉堤再改め)	嘉永元年申9月8日見分	横長半・1冊<7丁>	0476
狐地森津分御普請金取替割賦帳 庄屋場	嘉永6年丑7月	横長半・1冊<2丁>	0543
杵伏替土方金取替集帳 武田沢右衛門	安政2年卯12月	横長美・1冊<2丁> ／(2冊一綴)	0541-1
杵土方金割返帳 武田沢右衛門	安政2年卯7月	横長半・1冊<2丁>	0541-2
狐地新起返り嵩上普請野帳	安政6年未4月14日	横長半・1冊<3丁>	0555
狐地東堤起米積帳 (慶応4年8月13日吉田氏より借用写)	元治元年子12月	横長半・1冊<2丁>	0554
覚 (当2月稲吉新田道付普請人足代書付) 高橋太郎兵衛→武田沢右衛門様	(江戸) 3月9日	横切紙・1通	1440
(狐地新田川の件につき成瀬大和守様御屋敷へ入用額通知方依頼) 武田沢右衛門→宇佐美孫左衛門様、吉田平左衛門様	(江戸) 3月13日	縦紙・1通	1437
狐地新田西堤 (長さなど書上) (狐地) 新田→武田沢右衛門様	寅3月24日	縦紙・1通	1097
乍恐口上之覚 (狐地新田用水へ新規採用の乗込船形杵不適當につき伺) 右新田庄屋武田沢右衛門、同所組頭嘉兵衛→杵御奉行所	卯5月	縦紙・1通	1420
覚 (悪水杵長さ・巾など書上) 海西郡狐地新田庄や善蔵→杵御奉行所	辰2月	縦紙・1通	1114
(狐地新田川の儀につき武田沢右衛門書状への返答) 吉田平左衛門→武田沢右衛門様	3月13日	縦継紙・1通	1110
覚 (一番から四番までの土坪数勘定書付)		横切継紙・1通/ (虫損)	1462
(狐地・稲吉新田出割入用覚)		横長半・1冊<3丁>	1316

支配人

土地

狐地新田市右口地割帳	元文4未2日	横長半・1冊<8丁>	0385
狐地新田市右口地割帳	延享3年寅2月日	横長半・1冊<12丁>	0386
(稲吉新田小貝謙三郎の郡村宅地・田反別、地価覚)		半・1冊<7丁>/ (7冊一綴) / (青色野紙)	0663-6
(稲吉開墾地地目変換願、元間ノ川内堤干拓鉦下年季につき願写など綴) → (愛知縣令安場保和殿)	(明治6~16年)	6点一綴 (袋付) <10丁>	0841

救済

(卯年年小前之者借用につき未進書出)		横長半・1冊<6丁>	0397
--------------------	--	------------	------

掟米

積帳

狐地新田稲吉新田森津分日記	天保12年丑9月ヨリ	横半半折・1冊<14 丁>	0558
(狐地南ケ輪埋田海用上りなど反別・作人書上)	(弘化3年写カ)	横長半・1冊<12 丁>/ (2冊一綴)	0562-1
(狐地南ケ輪埋田海用上りなど反別・作人書上)	(弘化3年写カ)	横長半・1冊<20 丁>	0562-2
覚(狐地走・稲吉新田掟米積り書上) 門・宇佐美孫左衛門) → 武田沢右衛門殿	(吉田平左衛 (江戸)	横長美・1綴<30 丁>	0552

検見

海西郡稲吉新田狐地新田中満検見帳 庄屋	明和4年亥9月	横長半・1冊<10 丁>	0391
稲吉新田并狐地仲満検見坪附積帳 武田沢右衛門	天明元年10月吉日	横長半・1冊<7丁>	0439
丑年より狐地新田森津分口地検見帳 武田沢右衛門	寛政5年10月	横長美・1冊<45 丁>	0380
狐地仲間検見坪附帳	文化4年	横半半折・1冊<9 丁>	0733
年々狐地并稲吉仲満掟検見帳 武田沢右衛門	文化7年午11月	横半半折・1冊<12 丁>	0734
稲吉新田並狐地仲満検見坪附帳 庄屋武田沢右衛門	文化12年亥11月7日	横長半・1冊<8丁>	0420
年々狐地并稲吉仲満掟検見帳 武田猪八	文政4年巳11月	横半半折・1冊<18 丁>	0735
稲吉新田并狐地仲満検見坪附帳 庄屋武田沢右衛門	文政12己丑11月	横長半・1冊<10 丁>	0266
稲吉新田并狐地仲満検見坪附帳 庄屋武田沢右衛門	文政13庚寅11月	横長半・1冊<10 丁>	0267
稲吉新田并狐地仲満検見坪附帳 庄屋武田沢右衛門	天保2辛卯11月	横長半・1冊<10 丁>	0268
稲吉新田并狐地仲満検見坪附帳 庄屋武田沢右衛門	天保3壬辰11月19日	横長半・1冊<10 丁>	0269
丑年狐地新田森津分口地検見帳 武田沢右衛門	天保12年11月	横長美・1冊<6丁>	0381
狐地新田森津分口地検見帳 武田沢右衛門	天保13年寅11月	横長美・1冊<3丁>	0382
狐地新田森津分口地検見帳 武田沢右衛門	天保14年卯11月	横長美・1冊<3丁>	0383
狐地新田森津分口地検見帳 武田沢右衛門	天保15年辰11月	横長美・1冊<3丁>	0384
中堤起検見帳	嘉永元年申10月	横半半折・1冊<5 丁>	0736
狐地検見帳 武田	嘉永3戌年ヨリ明治2年	横半半折・1冊<25 丁>	0737
狐地中堤検見帳	嘉永5年子10月	横半半折・1冊<4 丁>	0738

狐地・稲吉新田／支配人／掬米／掬米取立

東堤検見帳	嘉永6年丑11月	横半半折・1冊<4丁>	0740
東堤起検見帳 立合字佐美・武田	安政4年巳10月15日	横半半折・1冊<6丁>	0739
狐地森津分口地・仲間地検見帳 武田	安政5年午11月	横半半・1冊<24丁>/ (2冊一綴)	0741-1
(り)之割再改)	文久2年	横長半・1冊<3丁>	0741-2
田面不作之ヶ所検見帳 (狐地森津分)	文久元酉年11月	横長半・1冊<8丁>	0426
ろはにほる之割耆枚検見坪取帳並いへとちりぬ之割式口式分五厘分米取立共	慶応元年丑1月	横長半・1冊<10丁>	1519
狐地新田口地検見帳	明治6年	横長半・1冊<11丁>	0463
狐地新田字森津分検見引方積帳 (荒尾長治郎宿地主立会)	明治18年11月12日より至27日	横長半・1冊<15丁>/ (2冊一綴)	0518-1
同新田中再検見追増勘弁積帳	明治18年11月12日より至同月27日	横長半・1冊<5丁>	0518-2
(狐地新田など検見引米勘定ほか)		半・1冊<5丁>/ (4点一綴)	0660-1

掬米取立

酉年狐地新田稲吉共配賦留帳 武田沢右衛門	寛政元年11月29日	横長美・1冊<11丁>	0363
戌年狐地新田稲吉共配符留帳 武田沢右衛門	寛政2年12月	横長美・1冊<10丁>	0364
亥年狐地新田森津分并稲吉共配符帳 武田沢右衛門	寛政3年12月	横長美・1冊<10丁>	0365
子年狐地新田森津分并稲吉共配符 武田沢右衛門	寛政3(4ヵ)年12月	横長美・1冊<13丁>	0366
丑年狐地稲吉森津分配符帳 武田沢右衛門	寛政5年11月	横長美・1冊<14丁>	0367
寅年狐地新田森津分配符牒 武田沢右衛門	寛政6年11月	横長美・1冊<14丁>	0368
卯年狐地新田森津分掬米取立帳 武田沢右衛門	寛政7年卯11月	横長美・1冊<14丁>	0369
午歳狐地稲吉両新田森津分取立帳 武田沢右衛門	寛政10年11月	横長美・1冊<13丁>	0370
申年狐地稲吉両新田森津分取立帳 武田勝旨	寛政12年11月	横長美・1冊<12丁>	0371
酉歳狐地・稲吉両新田森津分掬米取立帳 武田沢右衛門	享和元年12月	横長美・1冊<11丁>	0362
狐地并稲吉共森津分取立帳 武田沢右衛門	文化元年子11月	横長美・1冊<14丁>	0310
狐地并稲吉共森津分取立帳 武田沢右衛門	文化2年丑11月	横長美・1冊<12丁>	0311
狐地并稲吉共森津分取立帳 武田沢右衛門	文化3年寅11月	横長美・1冊<13丁>	0312

狐地并稻吉森津分米取立帳	武田沢右衛門	文化4年卯11月	丁> 横長美・1冊<13	0313
狐地并稻吉森津分米取立帳	武田沢右衛門	文化5年辰11月	丁> 横長美・1冊<10	0314
狐地并稻吉森津分米取立帳	武田沢右衛門	文化6年巳11月	丁> 横長美・1冊<11	0315
狐地並稻吉森津分米採立帳	武田沢右衛門	文化7年午11月	丁> 横長美・1冊<12	0316
狐地并稻吉森津分米採立帳	武田沢右衛門	文化8年未11月	丁> 横長美・1冊<14	0317
狐地并稻吉森津分米採立帳	武田沢右衛門	文化9年申11月	丁> 横長美・1冊<15	0318
狐地並稻吉森津分米採立帳	武田沢右衛門	文化10年酉11月	丁> 横長美・1冊<15	0319
狐地並稻吉森津分米採立帳	武田沢右衛門	文化11年戌12月	丁> 横長美・1冊<14	0320
狐地並稻吉森津分米採立帳	庄屋武田猪八	文化13年子12月	丁> 横長美・1冊<13	0321
狐地並稻吉森津分米採立帳	庄屋武田氏	文化14年丑12月	丁> 横長美・1冊<14	0322
狐地新田森津分米取立帳	庄屋武田猪八	文化14年丑12月	横長美・1冊<9丁>	0323
狐地新田森津分畑米取立帳	庄屋武田猪八	文政4年巳11月	丁> 横長半・1冊<19	0517
狐地并稻吉森津分米取立帳	庄屋武田沢右衛門	天保15年辰11月	丁> 横長美・1冊<16	0324
狐地並稻吉森津分米取立帳	庄屋武田沢右衛門	弘化2年巳11月	丁> 横長美・1冊<15	0325
狐地并稻吉森津分米取立帳	庄屋武田沢右衛門	弘化3年午11月	丁> 横長美・1冊<16	0326
狐地并稻吉森津分米取立帳	庄屋武田沢右衛門	弘化4年未11月	丁> 横長美・1冊<16	0327
狐地並稻吉森津分米取立帳	庄屋武田沢右衛門	嘉永元年申12月	丁> 横長美・1冊<16	0328
狐地并稻吉森津分米取立帳	庄屋武田沢右衛門	嘉永2年酉12月	丁> 横長半・1冊<22	0167
狐地并稻吉森津分米取立帳		嘉永3年戌12月	丁> 横長半・1冊<22	0168
狐地并稻吉森津分米取立帳		嘉永4年亥12月	丁> 横長半・1冊<22	0169
狐地并稻吉森津分米取立帳		嘉永5年子12月	丁> 横長半・1冊<21	0170
狐地并稻吉森津分米取立帳		嘉永6年丑12月	丁> 横長半・1冊<22	0171
狐地并稻吉森津分米取立帳		嘉永7年寅12月	丁> 横長半・1冊<22	0172

狐地並稻吉森津分米取立帳	安政2年卯12月	横長半・1冊<22 丁>	0173
狐地并稻吉森津分米取立帳	安政4年巳12月	横長半・1冊<15 丁>	0174
狐地并稻吉森津分米取立帳	安政5年午12月	横長半・1冊<15 丁>	0175
狐地並稻吉森津分米取立帳	安政6歳未12月	横長半・1冊<15 丁>	0176
狐地并稻吉森津分米取立帳	文久元年酉12月	横長半・1冊<15 丁>	0177
狐地并稻吉森津分米取立帳	文久2年戌12月	横長半・1冊<15 丁>	0178
狐地并稻吉森津分米取立帳	文久3年亥12月	横長半・1冊<14 丁>	0179
狐地并稻吉森津分米取立帳	元治元年子12月	横長半・1冊<13 丁>	0180
狐地并稻吉森津分米取立帳	慶応元年丑12月	横長半・1冊<13 丁>	0181
狐地并稻吉森津分米取立帳	明治3年午12月	横長半・1冊<12 丁>	0182
稻吉狐地米取立帳	明治4年未12月	横長半・1冊<12 丁>	0207
狐地并稻吉森津分米取立帳	明治6年	横長半・1冊<16 丁>	0183
狐地并稻吉森津分米取立帳	明治7年	横長半・1冊<20 丁>	0184
狐地稻吉取立米計算帳	明治8年	横長半・1冊<30 丁>	0210
狐地稻吉取立米計算帳	明治10年	横長半・1冊<25 丁>	0211
狐地稻吉米取立帳	明治10年	横長半・1冊<23 丁>	0209
狐地稻吉両村掬米取立帳	明治12年	横長半・1冊<28 丁>	0095
狐地稻吉両村掬米取立帳	明治13年	横長半・1冊<35 丁>	0096
狐地稻吉両村掬米取立帳	明治14年	横長半・1冊<36 丁>	0097
狐地稻吉両村掬米取立帳	明治16年	横長半・1冊<39 丁>	0098
狐地稻吉両村掬米仕出取立帳	明治17年	横長半・1冊<28 丁>	0099
狐地稻吉両村掬米取立帳	明治18年	横長半・1冊<37 丁>	0100
狐地稻吉両村掬米取立帳	明治19年	横長半・1冊<36 丁>	0101

掟米仕出

狐地稲吉掟米仕出帳	明治12年	横長半・1冊<18 丁>	0102
狐地稲吉掟米仕出帳	明治13年	横長半・1冊<25 丁>	0103
狐地稲吉掟米仕出帳	明治14年	横長半・1冊<22 丁>	0104
狐地稲吉掟米仕出帳	明治16年	横長半・1冊<21 丁>	0105
狐地稲吉掟米仕出帳	明治18年	横長半・1冊<21 丁>	0106
狐地稲吉掟米仕出帳	明治19年	横長半・1冊<20 丁>	0107

口地米取立

狐地新田森津分口地米取立帳 (10年分) 武田沢右衛門 作人：勘七・新八・新助・六兵衛・小三郎・勘藏・勇吉・与左衛門・長左衛門・庄藏・吉右衛門	文政13年寅12月ヨリ亥 (天保10)年マテ	横長半・1冊<17 丁>	0215
狐地新田森津分口地米取立帳 寛延新田竹吉	天保4年巳12月	横長半・1冊<3丁>	0413
狐地新田森津分口地米取立帳 (9年分) 武田沢右衛門	天保11年子12月ヨリ申 (嘉永元年)マテ	横長半・1冊<15 丁>/ (虫損)	0216
狐地新田森津分口地米取立帳 (5年分) 武田	嘉永2年酉12月ヨリ丑 (嘉永6)年マテ	横長半・1冊<8丁>	0217
狐地新田森津分口地米取立帳 武田沢右衛門	安政元年寅11月	横長半・1冊<15 丁>	0516
狐地新田森津分口地米取立帳	明治3年午12月	横長半・1冊<18 丁>	0218
狐地口地米取立帳	明治8年	横長半・1冊<16 丁>	0208
狐地口地掟米帳	明治13年	横長半・1冊<13 丁>	0185
狐地口地掟米帳	明治14年	横長半・1冊<13 丁>	0186
狐地口地掟米帳	明治16年	横長半・1冊<13 丁>	0187
狐地口地掟米帳	明治18年	横長半・1冊<15 丁>	0219
狐地口地掟米帳	明治19年	横長半・1冊<15 丁>	0220

仲間掟并口地米書出

狐地新田仲間掟并口地米書出帳	安政2年卯12月	横長半・1冊<12 丁>	0492
狐地新田仲間満掟并口地米書出帳	安政3年辰12月	横長半・1冊<19 丁>	0493
狐地新田仲間掟并口地米書出帳	安政4年巳12月	横長半・1冊<16 丁>	0495

狐地新田仲間掟並口地米書出帳	安政5年午12月	丁> 横長半・1冊<22 丁>	0496
狐地新田仲間掟并口地米書出帳	安政6年末12月	横長半・1冊<19 丁>	0497
狐地新田仲間掟并口地米書出帳	文久元年酉12月	横長半・1冊<20 丁>	0490
狐地新田仲間掟并口地米書出帳	文久2年戌12月	横長半・1冊<17 丁>	0491
狐地新田仲間掟并口地米書出帳	文久3年亥12月	横長半・1冊<21 丁>	0494
狐地稲吉仲間掟并口地米書出帳	元治元年子12月	横長半・1冊<20 丁>	0498
狐地稲吉仲間掟并口地米書出帳	慶応元稔丑12月	横長半・1冊<22 丁>	0499
狐地稲吉仲間掟并口地米書出帳	明治3年午12月	横長半・1冊<20 丁>	0212
狐地稲吉仲間掟并口地米書出帳 (附、取米出米書上)	明治6年	横長半・1冊<20 丁>/ (附、横折 紙)	0213
狐地稲吉仲間掟并口地米書出帳	明治7年	横長半・1冊<26 丁>	0214

仲間地米差引

狐地・稲吉仲間地米差引帳	明治7年	横長半・1冊<5丁> / (5冊一綴)	0515-1
稲吉・狐地仲間地掟帳 (控) 武田・三井	明治7年	横長半・1冊<15 丁>	0515-2
(人別掟米高書上)		横長半・1冊<3丁>	0515-3
(明治10年分・11年分差引勘定)	(明治10~11年)	横長半・1冊<2丁>	0515-4
明治十年差引	(明治10年)	横長半・1冊<2丁>	0515-5
狐地・稲吉仲間地米差引帳	明治8年	横長半・1冊<5丁> / (3冊一綴)	0514-1
狐地・稲吉仲間地米差引帳	明治8年	横長半・1冊<12 丁>	0514-2
狐地・稲吉仲間地米差引帳	明治9年	横長半・1冊<3丁>	0514-3

地主作徳

覚 (米切手金50兩受取) 子寶新田吉田平左衛門→森津 新田武田沢右衛門殿	弘化4年末12月5日	縦紙・1通	1116
金子受取書之事 (金18兩3分) 吉田平左衛門→武田沢 右衛門殿	巳12月27日	縦紙・1通	1133
覚 (金29兩余受取) 熊谷庄藏代彦七→武田哲次郎殿	午8月7日	縦紙・1通	1134

覚（正金・御国米切手・金札額書上および農方・商方 金銭書上）	午4月26日～午8月5日	横切紙・1通／（2 通包紙入）	1488-1
（別紙の通り送金の旨ほか狐地の所持地見取などに つき書状）彦七（熊谷庄蔵店）→武田様（哲次郎）様	7月22日	横切継紙・1通	1488-2

貢租・入費

明治九年入費取調帳	明治9年	横長半・1冊<10 丁>	0433
明治拾年ヨリ同拾壹年九月迄内集精算集帳 狐地・稻吉 新田用掛	明治11年9月14日	横長半・1冊<6丁> ／（5点一綴）	0520-1
明治拾三年畑宅第一期貢金集帳 狐地・稻吉新田用係	明治11年9月15日	横長半・1冊<4丁>	0520-2
明治九年石代三納分割符違精算集帳 狐地・稻吉新田	明治9年	横長半・1冊<4丁>	0520-3
證（稻吉新田明治9年貢租石代領収） 第六区会所→狐 地新田	明治10年3月29日	小切紙・1通	0520-4
證（狐地新田明治9年貢租石代領収） 第六区会所	明治10年3月29日	小切紙・1通	0520-5
狐地稻吉貢金諸入費清算帳	明治11年寅9月改	横長半・1冊<15 丁>	0432

諸 務

南田面仲間地吉田差引書類	明治3年（～18年）	袋（14点入）	1359
（明治15・16年度米差引勘定） 吉田→武田様		横切継紙・1通	1359-1
差引計算記（明治4～16年過米・不足米勘定） 吉田 →武田様	（明治）18年9月17日	横長半・1冊<2丁>	1359-2
（亥年分米差引勘定ほか）		横長半・1冊<4丁>	1359-3
差引米出金利子積候記（明治4～16年分）		横長半・1冊<2丁>	1359-4
（明治15年分差引米と同16年分米合計覚）		横切継紙・1通	1359-5
（2月中末迄延引との紙面拜見につき書状） 吉田→武 田大君	3月2日	横切継紙・1通	1359-6
（不足米差引勘定）		小切紙・1通	1359-7
川運上金不足記		横折紙・1通	1359-8
（米取立願につき書状）（海西郡子宝新田）吉田（平左 衛門）→（熱田木免町）小貝（謹三郎）君	11月15日	横切継紙・1通 （封筒入）	1359-9
記（明治4～14年過米・不足米勘定）		横折紙・1通	1359-10
（明治12～14年度米差引勘定）		横長半・1冊<2丁>	1359-11
（反別地価内訳覚書）		縦紙・1通	1359-12
（狐地午新田図）		25×34cm・1枚	1359-13
（差引米に関する書状） 吉田（平左衛門）→武田鏡次郎 君	6月15日	横切紙・1通（封 筒入）	1359-14
覚（受取カ）（断片）		小切紙・1通／ （欠損）	1479

狐地書付入	(明治5～11年)	袋 (4点入)	1360
池川年季約定記 (明治12～17年狐地新田池川運上金差出につき) 吉田平左衛門・武田哲次郎→川受負釜井与十郎殿・添証人横井弥三郎殿・同横井庄三郎殿・同伊藤五左衛門殿	明治12年3月3日	縦紙・1通 / (赤色罫紙)	1360-1
(米差引の儀につき書状) 吉田→武田君	6月5日	巻紙・1通	1360-2
覚 (普請関係代金勘定)		巻紙・1通 (39点こより括り)	1360-3-1
(貢租につき書状) 山晃→武田君	7月3日	巻紙・1通 (4点こより括り)	1360-3-2-1
癸酉貢米目録 吉田平左衛門→狐地新田副戸長御中		縦紙・1通 / (黒色罫紙)	1360-3-2-2
(地券入用二井利左衛門分につき書状) 山田晃平→武田哲次郎	6月27日	巻紙・1通	1360-3-2-3
記 (年貢米差引取調につき書状) 吉田→武田君	6月25日	巻紙・1通	1360-3-2-4
(金子100両受取につき武田分53両を使いへ渡した旨書状) 服部祐一郎→武田哲次郎様	正月25日	横切紙・1通	1360-3-3
(米俵数など覚)		小切紙・1通 / (貼紙あり)	1360-3-4
御請取書 (米1石1斗3升6合4勺) 服部祐一郎→武田哲次郎様	5月19日	小切紙・1通	1360-3-5
(庄屋給米など惣米より差引勘定)		横折紙・1通	1360-3-6
(稲吉新田普請出来につき覚)		横折紙・1通	1360-3-7
(金子書上)		横折紙・1通	1360-3-8
(金15円差し上げにつき書状) 山晃→武田君	8月24日	巻紙・1通	1360-3-9
記 (亥取立米割符) 吉田→武田君	亥12月	巻紙・1通	1360-3-10
覚 (杖長さなど)	4月3日	横切紙・1通	1360-3-11
(作人より差出の畝歩調帳返却の件など書状) 吉田→武田君	11月5日	巻紙・1通	1360-3-12
(狐地新田残金14両余書上)	壬申2月	巻紙・1通	1360-3-13
(森津新田公有地畝歩・税金書上) (森津新田) 副戸長佐藤円九郎、小区長武田哲次郎→愛知縣令鷺尾隆聚殿 (裏面利用)	明治7年2月25日	縦紙・1通 / (黒色罫紙)	1360-3-14
覚 (辰下用メ高市江割当銀より人足代など差引勘定)		横折紙・1通	1360-3-15
(稲吉北提起返り一件につき書状) →武田哲次郎様	癸酉2月17日	巻紙・1通	1360-3-16
証 (癸子年新田壱口分諸入費など差引残米森津分徳米・石代米受取) 服部信成→武田哲次郎殿	明治7年戌8月28日	巻紙・1通	1360-3-17
(狐地川運上延引につき内金5円余差上げの旨書状) 吉田→武田君	2月1日	小切紙・1通	1360-3-18
(貢租相違の儀承知の旨書状) 吉田平左衛門→武田哲次郎様	7月28日	巻紙・1通	1360-3-19
(借覧の入用帳返上の件などにつき書状) 吉田→武田君	1月16日	巻紙・1通	1360-3-20

送り状之事 (卯年分米3石5斗) 狐地新田長次郎→武田様	辰5月	小切紙・1通	1360-3-21
記 (米18石2斗3合より市江分四分一など差引)		小切紙・1通	1360-3-22
(金納勘定にて差引願) →武田様	甲戌10月29日	巻紙・1通	1360-3-23
(入費分検査の上割符したき旨など書状) 狐地長右衛門方ニ而吉田→武田君	2月26日	縦紙・1通	1360-3-24
(当春下用金受取の内2両2分封一つ引替願の件など書状) 吉田平左衛門→武田哲次郎様	正月20日	巻紙・1通	1360-3-25
(狐地にて二井より借用金高覚)		小切紙・1通	1360-3-26
(巳冬差引取米など勘定)		小切紙・1通	1360-3-27
(狐地川金60円の内金10円お預けにつき書状) 吉田→武田様	4月10日	巻紙・1通	1360-3-28
(狐地川運上取立につき書状) 吉田→武田君	1月21日	巻紙・1通	1360-3-29
(下用帳につき面会願) 吉田平左衛門→武田哲次郎様	2月28日	巻紙・1通	1360-3-30
覚 (中堤悪水留入用3か村引分割符通知) 吉田平左衛門→武田哲次郎様	未7月10日	縦切紙・1通	1360-3-31
覚 (大宮御所・船役など代銀合計ならびに市江分高・役銀書上)		巻紙・1通	1360-3-32
(子宝・森津より入金勘定など覚)		巻紙・1通	1360-3-33
(区内割拝借金収納につき書状) 山晃→武田君	8月23日	継紙・1通 / (青色便箋)	1360-3-34
(昨酉年差引方延引につき無沙汰詫び状) 吉田平左衛門→武田哲次郎様	7月23日	巻紙・1通	1360-3-35
(米石高・俵数・船積など書付)		小切紙・2通一綴	1360-3-36
(昨年分年貢につき書状) 吉田平左衛門→武田哲次郎様	4月18日	横切紙・1通	1360-3-37
(石代納めにつき書状) 晃→武田様	4月14日	巻紙・1通	1360-3-38
記 (雑税など差引勘定) 服部信成→武田君	子2月1日	小切紙・1通	1360-3-39
(旧字東堤仲間地・稲吉新規取立米・地租金割符覚)		小切紙・1通 / (16点こより括り) / (青色便箋)	1360-4-1
(子丑両年稲吉割符米の儀につき書状) 吉田→武田君	寅4月19日	巻紙・1通 / (青色便箋)	1360-4-2
(市江分差引米勘定に関する書状) 吉田→武田君	7月15日	巻紙・1通	1360-4-3
覚 (稲吉砂入・土物入用など差引勘定) 吉田平左衛門→武田哲次郎様	12月28日	巻紙・1通	1360-4-4
(稲吉新田ほか作人別田畑畝歩覚)		横折紙・1通	1360-4-5
(金16円余森津・南田面分内訳・人別一口代金覚)		巻紙・1通	1360-4-6
(不足米など差引勘定につき書状) 吉田→武田貴君	8月22日	巻紙・1通 (封筒入)	1360-4-7
(差引過金尋ねにつき書状) 吉田→武田君	10月□日	巻紙・1通	1360-4-8

(寅卯南埋田米の事など覚)			横切紙・2通	1360-4-9
(狐地川運上金取立につき書状) 吉田→武田君	5月11日		巻紙・1通／(赤色便箋)	1360-4-10
(仲間掟勘定残り清算方法につき書状) 吉田平左衛門→武田哲次郎様	6月28日		横切紙・1通	1360-4-11
記(武田氏収納米作人より取立書上) 吉田→留八殿	戌12月		横切紙・1通／(青色便箋)	1360-4-12
記(狐地・稲吉新田石代金33円受取) 右村用掛伊藤菊一郎→武田哲次郎様	明治11年3月25日		巻紙・1通	1360-4-13
(東埋田ほか惣取立米覚・作人別取立米覚・戌年差引残米勘定) 吉田→武田	亥		小切紙・3通一綴	1360-4-14
(三役銀・人足舟人代などより差引銀長次郎へ手渡方依頼) 吉田→武田様	午12月		巻紙・1通	1360-4-15
(稲吉納米勘定・舟運賃・普請金・杭木代覚など)			横長半・巻紙・横折紙・3点一綴	1360-4-16
狐地書類	(明治15年～19年)		袋(38通入)	0818
(狐地・稲吉新田堤敷地代金収納依頼) 狐地長治郎→武田様	6月16日		横切紙・1通	0818-1
記(棒落し造用代金・人足覚) 市江分村方中→御旦那様	旧7月		横切紙・1通	0818-2
記(地租金并に郡役所新築費割符) 戸長役場→武田様・小貝様	(明治)15年2月17日		横切紙・1通	0818-3
(荒尾長次郎方預け米差引勘定遅滞分清算につき書状) 服部信成→武田鏡次郎君	6月24日		横切紙・1通(封筒入)	0818-4-1
明治十八年分差引勘定 服部信成→武田鏡次郎殿	明治19年6月24日		横折紙・1通	0818-4-2
米代金受取証(預かり米売払いにつき) 武田鏡次郎→服部信成殿	明治19年6月24日		堅紙・1通	0818-4-3
記(人名別米俵数書付)			小切紙・1通	0818-4-4
(海西郡狐地・稲吉新田明治17年分村内協議費受取) 右村惣代伊藤菊十郎→武田鏡次郎殿	明治18年1月29日		小切紙・1通	0818-5
(海西郡狐地新田間之川滞留入費受取) 右村惣代伊藤菊十郎→武田鏡次郎殿	明治18年1月29日		小切紙・1通	0818-6
(明治17年7月～12月迄学費金受取) 狐地・稲吉新田惣代→小貝謹三郎殿	(明治)17年11月		小切紙・1通	0818-7
(稲吉米割合計算につき書状) 熱田木之免町小貝謹三郎→尾張海西郡森津村武田誠一様	4月25日		小切紙・1通	0818-8
送状(狐地新田仲満地米9俵積送りにつき) 伊藤菊十郎→武田鏡治郎殿	明治19年3月		小切紙・1通	0818-9
(酒2升・米津出し時の酒代金など勘定) 新九郎→武田様			小切紙・1通	0818-10
記(川運上金5円など差送りにつき) 荒尾長治郎→武田様	明治18年12月5日		小切紙・1通	0818-11
(改反別書上)			小切紙・1通	0818-12
池川年季約定証(狐地新田池川にて5か年間漁業請負) 吉田平左衛門、武田哲次郎代武田誠一→川受負主花井與	明治16年3月3日		堅紙・1通	0818-13

十郎殿、横井弥三郎殿			
(米受取差引一件に関する書状) 小貝→武田様	2月8日	横切継紙・1通 (2通封筒入)	0818-14-1
(諸入用ほか割合書上) 小貝→武田様		横切継紙・1通	0818-14-2
(明治13・14年分狐地川運上8円余送り状) 吉田平左衛門→武田哲次郎様	4月11日	横切継紙・1通	0818-15
(小計・米津出時の酒代金など勘定) 引請留八→森津武田様	午12月	小切紙・1通	0818-16
記 (小貝・武田分地租金・新築費59円拾銭受取) 狐地新田戸長役場→武田様、小貝様	明治15年2月27日	横切紙・1通	0818-17
(稲吉新田田畑引方の件につき書状) 服部信成→武田鏡次郎様	12月25日	横切継紙・1通	0818-18
(田税受領証の記載に疎漏があった旨の書状) 第四十八組書役伊藤甚三郎→(森津村) 武田鏡次郎様	12月15日	縦紙・1通 (2通封筒入)	0818-19-1
(明治17年第3期狐地・稲吉新田田税24円受領証) 海東・西郡第四十八組戸長役場→武田鏡次郎殿	明治17年12月14日	堅切紙・1通 / (郵便紙)	0818-19-2
記 (狐地米受取状) 小貝→武田様	10月12日	堅切紙・1通	0818-20
記 (明治12年後期分など金銭書上)		横折紙・1通	0818-21
(仲間地米勘定・村費につき書状) 服部信成→武田鏡次郎様	7月4日	横切継紙・1通 (封筒入)	0818-22
(米売払い値段につき書状) (小貝) 謹三郎→(武田) 誠一殿	4月26日	横切継紙・1通 (封筒入)	0818-23
記 (小計りの時の酒代請求) →武田様	申12月	小切紙・1通	0818-24
記 (米津出し酒代ほか代金請求) 留八→武田様	申2月	小切紙・1通	0818-25
(狐地・稲吉田方反別・金銭書上)		横折紙・1通	0818-26
(武田分田方反別・地価など書上)		横折紙・1通	0818-27
(三好九郎治新田地租物諸費割当清算などにつき書状) 服部信成→武田雅兄	8月27日	横切継紙・1通	0818-28
(買苗の儀伺い書状) (熱田木之免町小貝謹三郎) →(尾張海西郡森津村武田誠一様)	9月5日	横切継紙・1通 (封筒入)	0818-29-1
記 (苗代勘定)		横切継紙・1通	0818-29-2
(金銭勘定)		切紙・1通	0818-30
(米高割引勘定)		小切紙・1通	0818-31
(稲吉森津分反別)		小切紙・1通	0818-32
(稲吉米直に積送方依頼状) 熱田木ノ芽町小貝謹三郎 →尾張海西郡森津村武田誠一様	(明治) 17年12月19日	横切継紙・1通 (2点封筒入)	1359-15-1
(狐地・稲吉仲満地割符方に関する書状) 伊藤東十郎 →小貝謹三郎様		横切紙・1通	1359-15-2
(明治11~16年米差引計算)		横折紙・1通 / (虫損大)	1359-16
(明治12年受取米内訳覚)		小切紙・1通	1359-17
(狐地新田川運上金など割符の件につき願)		堅切紙・1通 /	1359-18

記(明治4~14年不足米・過米差引勘定) 武田→吉田様	明治15年6月	(青色罫紙) 横折紙・1通	1359-19
(名古屋より帰宅際に吉田氏来宅につき書状) 東十郎→武田様	(明治)17年12月25日	横切継紙・1通	1359-20
(物件状書換入用渡しにつき書状) 吉田→武田君	7月4日	横切継紙・1通	1359-21
(伊藤東十郎へ面談のうえ返事願) 吉田→武田君	11月11日	横切継紙・1通	1359-22
(狐地新田米清算・川運上金取調べにつき書状) 吉田代理伊藤東十郎→佐藤民輔様	4月1日	横切継紙・1通	1359-23
記(寅年差引米の儀金子出金につき書状) 吉田平左衛門→武田哲次郎様	5月11日	横切継紙・1通 (封筒入)	1359-24
(9・10両日の内自ら参る旨書状) 吉田→武田君	9月7日	横切紙・1通	1359-25
(吉田から小貝・武田への渡米書付に関する書状) 東十郎→武田様		横切継紙・1通	1359-26
(吉田より割符米の内米10俵など積送状)		堅切紙・1通	1359-27
(3か年分差引延引につき書状) 吉田→武田君	3月21日	横切継紙・1通	1359-28
(12年分の内3か年の間の書付の米に関する書状)	7月2日	横切紙・1通	1359-29
(明治6年12月中ノ切・東ノ切など場所別割符米覚ほか)	(明治7年カ)9月7日	横長半・1冊<3丁>	1359-30
覚(当巳年仲間掬米積書上) 吉田平左衛門→武田沢右衛門殿	巳12月	横折紙・1通	1359-31

不 明

覚(市江分金銭書上) 孫四郎→沢右衛門殿	酉4月	小切紙・1通	1446
覚(4石1斗6升4合新八へ引渡しにつき) 太兵衛→沢右衛門殿	12月27日	巻紙・1通	1494
覚(運上金勘定につき)		小切紙・1通/ (虫損)	1496

稲吉新田

庄 屋

土 地

稲吉畑方検地帳 (吉田順治・宇佐美嘉藏・武田沢右衛門・同茂兵衛)	天明5年巳正月28日	横長半・1冊<17丁>	0408
乍憚口上之覚(稲吉新田御前帳差出期限延期願) 森津新田沢右衛門	未3月	堅紙・1通	1108

年貢・諸役

稲吉米割(杵守給・作人中掬米等を差引いた米高勘定) 孫四郎→善藏殿	(寛保2年カ) 戌12月 (~宝暦4年)	横切継紙・1通/ (上部汚損・前欠)	1490
-----------------------------------	-------------------------	-----------------------	------

午年免定 (海西郡稲吉新田高51石6斗2升) → (海西郡稲荷新田) 庄屋・組頭・惣百姓	尾友治郎	宝暦12年午11月	あるいは前部裁断 カ) 縦継紙・1通	1089
申年免定 (海西郡稲吉新田高51石6斗2升) → (海西郡稲荷新田) 庄屋・組頭・惣百姓	尾友治郎	明和元年申11月	縦継紙・1通	1090
元治元子年御物成廣井於御蔵請取通 附鈴木与一郎→稲吉新田	金森五郎兵衛手	元治元子年 (翌カ正月 19日納～21日納)	横折紙・1通/ (一部木版)	0973-19
覚 (稲吉除地代ほか差引取米勘定)		子12月	横切継紙・1通/ (虫損)	1495
稲吉新田高割并麦高割帳 沢右衛門・太郎兵衛		未2月	横長半・1冊<4丁> / (2点一綴)	0407-1
(稲吉新田御取米の確認および入用金孫四郎へ渡され たき旨書状) 吉田平左衛門→武田善蔵様		3月26日	横切紙・1通/ (欠損)	1483

普 請

宝暦六子年切込普請仕様帳扣書入 海西郡稲吉新田 (宝暦7.8年の書込あり)		宝暦6年8月16日	横長半・1冊<4丁>	0501
稲吉新田御償普請丁張帳 武田		万延元年申5月	横長半・1冊<4丁>	0452
記 (御普請内金受取) 稲吉新田伊藤東十郎→武田哲次 郎様		明治10年4月21日	横切紙・1通	1444
稲吉新田海用留人足諸色覚 太郎兵衛		8月3日	横長半・1冊<3丁>	0500
(稲吉新田普請金取り集めにつき書状) (前欠) 宇佐 美孫左衛門→武田善蔵様		2月8日	横切継紙・1通	1480
覚 (稲吉新田御普請金割符額および草刈代など送金依 頼) 宇佐美孫左衛門→武田善蔵様		7月7日	横切継紙・1通	1481

戸 長

土 地

稲吉地割			横長半・1冊<9丁>	0393
海西郡稲吉新田地割帳 (控) 沢右衛門		宝暦14年申3月	横長半・1冊<15 丁>	0389
海西郡稲吉新田地割口割帳 持主沢右衛門		宝暦14年申4月	横長美・1冊<12 丁>	0390
稲吉新田田方地割帳 (稲吉新田全体) (吉田平左衛門・ 宇佐美孫左衛門・武田沢右衛門立合)		天明5年巳正月22日初	横長半・1冊<24 丁>	0392
稲吉新田田方検地小割覚帳 (稲吉新田全体)		天明5年巳正月22日	横長半・1冊<12 丁>	0394
稲吉堤畑細間帳		明治6年9月	横長半・1冊<5丁>	0414

支配人

掟米

稲吉畑方反畝米積帳（吉田氏帳面写）	天保7年申11月（慶応4年写）	横長半・1冊<9丁>	0435
稲吉口改帳（立合吉田・武田） 武田	天保8年酉4月25日	横半半折・1冊<7丁>	0557
覚（稲吉畑米ほか石高勘定書付） 門殿 嘉兵衛→武田沢右衛門	寅12月	横折紙・1通	1460

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

森津・狐地新田／庄屋

領 主

調達金

(御達金一卷)	慶応3年	14点一綴（袋付）	0885
調達金割賦集帳（狐地森津分） 庄屋	慶応3卯年7月	横長半・1冊<2丁>	0885-1
調達金割賦集帳（森津新田） 庄屋所	慶応3卯年8月	横長半・1冊<4丁>	0885-2
調達金割賦集帳（狐地森津分） 庄屋場	慶応3卯年12月	横長半・1冊<2丁>	0885-3
調達金割賦集帳（森津新田） 庄屋場	慶応3卯年7月	横長半・1冊<4丁>	0885-4
御年貢米御引当調達金集帳（狐地新田森津分） 庄屋所	慶応3卯年8月	横長半・1冊<2丁>	0885-5
(卯冬御払居米引当て地主ごと調達金勘定)		横折紙・1通	0885-6
覚（年貢米の内御払居先納金34両2分受取） 佐屋陣 屋→海西郡森津新田	慶応3卯年12月	縦切紙・1通	0885-7
(村々調達金書上)		横折紙・1通	0885-8
覚（作徳米110石余ほか受取） 茶屋町伊藤→武田哲次郎殿	辰正月18日	小切紙・1通	0885-9
(米預かり証) 木村忠右衛門→武田哲二郎	卯12月26日	巻紙・1通	0885-10
(御払居米受取) 稲荷新田庄屋代治八→森津新田庄屋衆中	卯12月26日	巻紙・1通	0885-11
(御払居米受取) 稲狐新田庄屋→森津新田庄屋衆中	卯12月26日	小切紙・1通	0885-12
(森津新田調達金高書上)		縦紙・1通	0885-13
(市江・平島ほか調達金高合計)		縦紙・1通	0885-14

支配人／掟米

惣扣地掟米取立（伊藤・二井）

森津新田・狐地森津分両新田惣扣地掟（米取立帳） 武田沢右衛門→伊藤次郎左衛門殿・太兵衛殿・弥六殿	天保8年酉12月	横長半・1冊<18丁>/（5点一綴）/ （表紙一部破損）	0231-1
酉年新居口（掟米取立控）		横長半・1冊<2丁>	0231-2
酉年伊藤口（掟米取立控）		横長半・1冊<4丁>	0231-3
狐地分（掟米取立控）		横折紙・1通	0231-4
覚（両新田米ノ高勘定）		横折紙・1通	0231-5
森津新田・狐地森津分両新田惣扣地掟米取立帳（伊藤口・新居口） 武田沢右衛門→新居利左衛門殿	天保3年辰12月	横長半・1冊<14丁>/（3点一綴）	0224-1

森津・狐地新田／支配人／掟米／惣扣地掟米取立（伊藤・二井）

いとう（掟米書上）		横長半・1冊<3丁>	0224-2
（伊藤入・伊藤出米高書上ほか）		横長半・1冊<3丁>	0224-3
森津新田・狐地森津分両新田惣扣地掟米取立帳（伊藤口・新居口）（武田沢右衛門）→（伊藤治郎左衛門殿・重平殿・太兵衛殿）	天保4年巳12月	横長半・1冊<17丁>/（2冊一綴）	0225-1
巳とし（伊藤小計）		横長半・1冊<5丁>	0225-2
森津新田・狐地森津分両新田惣扣地掟米取立帳（伊藤口・新居口）（武田沢右衛門）→（伊藤次郎左衛門殿・重平殿・太平殿）	天保5年午12月	横長半・1冊<17丁>	0226
森津新田・狐地森津分両新田惣扣地掟米取立帳（伊藤・新居口）武田沢右衛門→伊藤次郎左衛門殿・理兵衛殿・太兵衛殿	天保6年未12月	横長半・1冊<15丁>/（2冊一綴）	0229-1
伊藤（小計）		横長半・1冊<3丁>	0229-2
森津新田・狐地森津分両新田惣扣地掟米取立帳（伊藤口・新居口）武田沢右衛門→伊藤次郎左衛門殿・重平殿・太兵衛殿	天保7年申12月	横長半・1冊<18丁>/（2冊一綴）	0230-1
申年（伊藤小計）	（天保8カ）酉3月4日	横長半・1冊<4丁>	0230-2
森津新田・狐地森津分両新田惣扣地掟米取立帳（二井口・伊藤口、米積送り覚共）武田沢右衛門→伊藤次郎左衛門殿・太兵衛殿・弥六殿	天保9年戌12月	横長半・1冊<20丁>/（2冊一綴）	0232-1
伊藤船積（「舟引請七話人、惣七・三九郎」とある）〔天地逆転し裏表紙側が表紙に〕	12月11日舟積	横長半・1冊<4丁>	0232-2
森津新田・狐地森津分両新田惣扣地掟米取立帳（二井口・伊藤口、米積送り覚共）武田沢右衛門→二井利左衛門殿／伊藤次郎左衛門殿・太兵衛殿・安兵衛殿	天保10年亥12月	横長半・1冊<25丁>/（4点一綴）	0233-1
亥年伊藤取立	亥年	横長半・1冊<3丁>	0233-2
小計（米取・同出し勘定）		横折紙・1通	0233-3
伊藤出米	（12月12日舟積）	横長半・1冊<2丁>	0233-4
森津新田・狐地森津分両新田惣扣地掟米取立帳（二井口・伊藤口）武田沢右衛門→伊藤治郎左衛門殿・太兵衛殿・嘉兵衛殿	天保11年子12月（丑正月16日舟積）	横長半・1冊<25丁>	0234
森津新田・狐地森津分両新田惣扣地掟米取立帳（二井口・伊藤口）	天保12年丑12月	横長半・1冊<24丁>/（6点一綴）	0235-1
（丑年惣米ノ高ほか）		横折紙・1通	0235-2
伊藤小計（但惣米ノ高）		横長半・1冊<5丁>	0235-3
（二井口小計）		横折紙・1通	0235-4
（上組小計）		横折紙・1通	0235-5
（下組小計）		横折紙・1通	0235-6
森津新田・狐地森津分両新田惣扣地掟米取立帳（二井口）	天保13年寅12月	横長半・1冊<13丁>/（3点一綴）	0236-1
（上組小計）		横折紙・1通	0236-2
（下組小計）		横折紙・1通	0236-3
森津新田・狐地森津分両新田惣扣地掟米取立帳（二井口）武田沢右衛門→二井理左衛門殿	天保14年卯12月	横長半・1冊<15丁>/（2冊一綴）	0237-1

(卯年上下組小計)		横長半・1冊<3丁>	0237-2
森津新田・狐地森津分両新田惣扣地掟米取立帳（二井控） 武田沢右衛門→二井理左衛門殿	天保15年辰12月	横長半・1冊<16丁>/（2冊一綴）	0238-1
(辰年上下組小計)		横長半・1冊<3丁>	0238-2
森津新田・狐地森津分両新田惣扣地掟米取立帳（二井控） 武田沢右衛門→二井理左衛門殿	弘化2年巳12月	横長半・1冊<15丁>/（2冊一綴）	0239-1
(巳年上下組小計)	(弘化2) 巳年	横長半・1冊<2丁>	0239-2
森津新田・狐地森津分両新田惣扣地掟米取立帳（二井控） 武田沢右衛門→二井理左衛門殿	弘化3年午12月	横長半・1冊<14丁>/（3点一綴）	0240-1
(午年上下組小計)		横長半・1冊<3丁>	0240-2
(九吉他取立米書上)		横折紙・1通	0240-3
森津新田・狐地森津分両新田惣扣地掟米取立帳（二井口） 武田沢右衛門→二井理左衛門殿	弘化4年未12月	横長半・1冊<13丁>/（4点一綴）	0241-1
(未年下組小計)		横長半・1冊<2丁>	0241-2
(武田引請分)		横折紙・1通	0241-3
(上組小計)		横折紙・1通	0241-4
森津新田・狐地森津分両新田惣扣地掟米取立帳（二井扣） 武田沢右衛門→二井理左衛門殿	嘉永元年申12月	横長半・1冊<12丁>/（4点一綴）	0242-1
(上組小計)		横折紙・1通	0242-2
(下組小計)		横折紙・1通	0242-3
(武田分小計)		横折紙・1通	0242-4
森津新田・狐地森津分両新田惣扣地掟米取立帳（二井扣） 武田沢右衛門→二井利左衛門殿	嘉永2年酉12月	横長半・1冊<11丁>	0243
森津新田・狐地森津分両新田惣扣地掟米取立帳 武田沢右衛門→二井利左衛門殿	武田 安政3年辰12月	横長半・1冊<10丁>	0244

掟米取立（二井）

森津新田・狐地森津分両新田掟米取立帳（二井）	文久3年亥12月	横長半・1冊<10丁>/（2冊一綴）	0188-1
田島屋口取立（取米ほか勘定）	文久3亥年（12月27日）	横長半・1冊<3丁>	0188-2
森津新田・狐地森津分両新田米取立帳（二井両家控）	元治元年子12月	横長半・1冊<10丁>	0194
森津新田・狐地森津分両新田米取立帳（二井両家控）	慶応元年丑12月	横長半・1冊<10丁>	0195
森津新田・狐地森津分両新田米取立帳（二井両家）	明治2年巳12月	横長半・1冊<10丁>	0196
森津新田・狐地森津分両新田米取立帳	明治3年午12月	横長半・1冊<9丁>	0197
森津新田・狐地森津分掟米取立帳（二井）	明治4年未12月	横長半・1冊<10丁>	0190
森津新田・狐地森津分掟米取立帳（二井）	明治5申年	横長半・1冊<10丁>/（2冊一綴）	0191-1

森津・狐地新田／支配人／掟米／掟米取立（二井）

大下畑来酉年より取立之分改（人名毎長さ・巾書上および図）	（明治6年）戌4月改 （書込年代カ）	横長半・1冊<2丁>	0191-2
森津新田・狐地森津分掟米取立帳（二井）	明治6年	横長半・1冊<10 丁>	0192
森津新田・狐地森津分掟米取立帳（二井）	明治7年	横長半・1冊<10 丁>	0193

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
三稲外操出新田			
開 発			
(三稲外操出新田開発関係書類)	(元治元～明治年間)	袋 (95点入)	1415
佐屋ニ而預り金 (森津輪中・狐地ほか分)		横折紙・1通/ (10点こより括り)	1415-1-1
(山路・三稲・森津ほか新田別金額覚)		横折紙・1通	1415-1-2
記 (局借入金返済ならびに地代金勘定)		半・1冊 (2丁)	1415-1-3
(操出新田川一条につき書状) 石原→森津新田武田誓太郎様	7月21日	横切継紙・1通	1415-1-4
(三稲荷新田松岡扣地所下用諸入用出金不足分御教示方依頼状) 大谷甚平→武田鉄治郎様	卯月12日	横切継紙・1通	1415-1-5
(三稲懸廻内地主申付につき普請仕立方など諸事尽力の旨通知) → (三稲懸廻内地主)	未5月	巻紙・1通	1415-1-6
長嶋諸入用 (明依代・役人酒料ほか) 長兵衛→武田様		巻紙・1通/状下 部破損大	1415-1-7
(諸入用出金書上) 三稲懸廻内地主共	(明治年間)	横長半・1冊<2丁>	1415-1-8
(今日新開新田清算につき会所へ出張願) 大谷→武田君	10月16日	巻紙・1通	1415-1-9
(三稲掛当家扣分の名前書換差支につき書状) 橋本善兵衛→武田哲次郎様	4月6日	巻紙・1通	1415-1-10
覚 (川運上金28兩預かり取計いにつき) 大谷甚平→武田鉄治郎様	西4月5日午刻	横切継紙・1通/ (上部破損大)	1415-2
覚 (板代金など) 飛嶋清四郎→三戸新田会所橋	申正月	巻紙・1通	1415-3
(武田哲次郎分調達金割合・未年下用86兩余書上)	申3月	堅紙・1通	1415-4
(名古屋よりの幸便御届けにつき書状) 藤之助→武田君	1月27日	巻紙・1通/ (3点包紙入)	1415-5-1
(武田方へ別紙到着方取計願) 大谷→山田藤之助様	1月17日	小切紙・1通	1415-5-2
(新田小前差入組がましき儀数度申し出の件ほかにつき書状) 名古屋より大谷甚平→武田哲治郎様	1月27日	巻紙・1通	1415-5-3
(成立方尽力されたく別紙2通を添え依頼状) 吉兵衛→武田哲次郎様	9月10日	巻紙・1通/ (3点封筒入)	1415-6-1
(三稲前新開の成立方森津村武田哲次郎ら裁許に随い取扱の旨書状) →飛鳥新田青木治三郎・稲荷新田渡辺治三郎	(明治5年カ) 壬申9月	巻紙・1通	1415-6-2
(三稲前新開の成立方森津村武田哲次郎取扱の旨書状) →春日井郡土器野新田高野伝兵衛	(明治5年カ) 壬申9月	巻紙・1通	1415-6-3
口演 (市蔵事件取計いの旨書状) 寛延・松名→森津様、芝井様	4月9日	巻紙・1通	1415-7
(森津・鎌島など新田区割図)		25×34.2cm・1枚	1415-8

(帳入方頼み及び三稲外新田作人共より草越代金取立方につき書状) 金森弥三郎→武田哲次郎様	9月12日	横切継紙・1通	1415-9
(新開の件につき書状) 今野佐兵衛→竹田哲治郎殿	1月3日	横切継紙・1通	1415-10
三稲操出新開内家御扣半口分田畑地直調出帳 福原新田加藤太兵衛→森津新田武田哲次郎様	(明治5年カ) 壬申9月	横切継紙・1通	1415-11
覚(武田方半口ほか14円余受取) 伊藤弥三郎→武田様	3月5日	横切紙・1通	1415-12
記(局返金1250両差引勘定書) 山路村黒宮民三郎→松岡利平様、山本九八郎様	(明治5年カ) 壬申2月	縦紙・1通／(青色罫紙)	1415-13
(扣地所作人名前など見分方依頼状) 吉兵衛→竹田哲次郎様		縦紙・1通	1415-14
覚(武田・吉田ほか人別銀額書上)		横切継紙・1通	1415-15
(戸長・副戸長入替えにつき忝副戸長職残留の是非確認状) 大谷甚平→武田鉄治郎様	5月12日	横切継紙・1通	1415-16
(市江分調達金不足分支払方依頼状) 服部→武田様	5月29日	横切継紙・1通	1415-17
おぼへ(日別人名・人数書上)		横切継紙・1通	1415-18
(小屋入用、枇杷葉湯入用ほか記)		横切継紙・1通／(5点こより括り)	1415-19-1
(三稲地主預分・御上被下分差引勘定書)		小切紙・1通	1415-19-2
(割賦の事など覚書)		横切継紙・1通	1415-19-3
覚(代金8両2分2朱書上) 表屋庄兵衛→武田様、吉田様	未7月	小切紙・1通	1415-19-4
(人名・酒量など覚書)		横切継紙・1通	1415-19-5
覚(小杈用の松板など代金書上) 六条源三郎→たけ田沢右衛門様		小切紙・1通	1415-20
(新開普請勘定などにつき書状) 大谷甚平→武田鉄治郎様	4月18日	横切継紙・1通	1415-21
(三稲川運上未納者のため差支への旨書状) 大谷甚平→吉田平左衛門様、武田鉄治郎様、渡邊治三郎様	4月18日	横切継紙・1通／(4点こより括り)	1415-22-1
(三稲川運上願の件につき書状) 大谷→武田様、吉田様	3月11日	横切継紙・1通	1415-22-2
(新開川運上揃い次第上納する旨書状) 大谷→武田鉄治郎様、渡邊治三郎様	3月25日	横切継紙・1通	1415-22-3
御用向大急廻章(新開魚税上納方差支への件) 新開副戸長→伊藤市三郎様、大谷甚平様、渡邊彦左衛門様	3月14日	横切継紙・1通	1415-22-4
(延期神祭実施につき会所へ参集願状) 大谷→武田様	10月22日	横切継紙・1通	1415-23
(三稲前懸廻内地主名前書上ならびに地所割渡のうえ銘々裁許取計の旨書状)	未5月	横切継紙・1通	1415-24
(新田掛廻し堤修築入費のうち地主方調達金取調べにつき愛知県土木係から達の旨書状) 山田藤之助→武田哲次郎様	5月5日	横切継紙・1通	1415-25
(都合3365両余の證書提出の件につき出張依頼状) 加藤□右衛門→武田哲次郎様	6月26日	横切継紙・1通(封筒入)	1415-26
(新田作人の儀につき書状) 山田屋より黒宮民三郎→森津新田武田哲次郎様	4月12日	横切継紙・1通	1415-27

記（新田残金・鳩居堂請取替金150両余請渡） 武田 謹吉→武田哲次郎様	未7月14日	横切紙・1通	1415-28
（両輪中悪水除道壺坪代金ほか書上） 稲吉新田藤次郎、 稲元市蔵→上	明治4年8月	縦紙・1通	1415-29
（両輪中悪水除道壺坪代金ほか書上） 狐地新田長兵衛、 与六		縦紙・1通	1415-30
（用水三間掘壺坪賃金ほか書上） 稲元惣代勝兵衛、藤 五郎→新開會所	（明治4年）未8月	縦紙・1通	1415-31
（用水三間掘壺坪代金ほか書上） 稲吉新田惣代栄四郎、 文四郎→新開會所	（明治4年）未8月	縦紙・1通	1415-32
覚（普請諸掛黒宮民三郎へ引渡分勘定通知）	（明治4年）未7月	横折紙・1通	1415-33
（人別金銭書上）		横折紙・1通	1415-34
新開長尾治右衛門叩地（図面）		24.5cm×32.5cm・1 枚	1415-35
（地割番号別新田名など書上）		横折紙・1通	1415-36
（口数別新田名など書上）		横折紙・1通	1415-37
（11月11日見分の長・繋など覚）		横折紙・1通	1415-38
記（金400両拝借証文） 新開庄屋武田哲次郎、同吉田平 左衛門→伊藤今平殿、中野庄兵衛殿	明治4年末8月日	縦紙・1通	1415-39
一札（三稲操出シ新開普請所の内不出米があれば指図 次第取り直す旨） 稲元新田市蔵・衆八ノ（奥書）荒 尾長次郎、渡辺喜平→副戸長御中、地主御中	明治5年申11月	縦紙・1通	1415-40
四番手損料（人足23人分など）		横折紙・1通	1415-41
（三稲新開勘定合の儀につき書状） 辰巳吉兵衛→武田 哲次郎様	8月28日	横切継紙・1通	1415-42
（不足分割合方につき書状） 四ヶ村→武田様	7月4日夕	横切継紙・1通	1415-43
（帳面取調のうえ出金の旨書状） 大谷→武田様	7月5日	横切継紙・1通/ （2通一折）	1415-44-1
記（三番集金・川埋金割合ほか書付）		横切継紙・1通	1415-44-2
（今般引請の半口地所の件などにつき書状） 新開會 所ニ而大谷→武田様		縦紙・1通	1415-45
（山路黒宮殿新開へ出張の件につき書状）（後欠） 大 谷甚平→武田哲治郎様		縦切紙・1通	1415-46
魚税上納金割賦帳 三稲外操出新田武田哲二郎、吉田平 左衛門	（明治6年）第6第3月	横長半・1冊<3丁>	1415-47
記（局返金1250両差引勘定書写） 山路村黒宮民三郎→ 松岡利平様、山本九八郎様	（明治5年）壬申2月	縦紙・1通	1415-48
（長島行弁当・諸入用など諸掛書付）		横折紙・1通	1415-49
（新開調達金の儀につき証書・人名など取調方依頼状） 山田藤之助→武田哲次郎様	5月16日	横切継紙・1通	1415-50
（新開外用水堀堤初普請清算遅延につき請負人より訴 訟の件廻章） 新開副戸長→諏訪市兵衛様外14名各位	4月27日	横切継紙・1通	1415-51
（三稲懸廻新開組頭任命申渡）（組頭は狐地新田荒尾長次		横切継紙・1通	1415-52

三稲外操出新田／開発

郎、稻荷新田渡辺治三郎、三稲新田山田慶助)			
(甚平大病につき川運上の件親類より書状) 大谷親類→森津新田武田哲次郎様	2月27日	横切継紙・1通	1415-53
記(申年下用取替分の内より麦金上納の節借金など差引勘定の旨通知) イナリ治三郎→森津武田哲次郎様	西9月5日	縦紙・1通	1415-54
(新田堤巾・長など書込み絵図)		34.0×24.0cm・1枚	1415-55
(帳だんすの三稲外書付類など人足に持たせ遣わされたき旨書状) 武田→佐藤円九郎様	2月26日	横切継紙・1通(包紙入)	1415-56
覚(当春皆出米勘定願) 山田藤之助	壬申11月	横折紙・1通	1415-57
(魚税金取集めの件につき書状) イナリ治三郎→森津武田様	西3月19日	縦紙・1通	1415-58
(新開悪水東杖寸法覚)		横切紙・1通	1415-59
試細入用覚 惣會所長左衛門、与六	6月13日	横長半・1冊<3丁>	1415-60
(新田植付につき参会に出席依頼の件など書状) 大谷甚平→武田哲治郎様	6月2日	縦紙・1通	1415-61
(治三郎申出の一件伺いのため書状) 吉田平左衛門→武田哲次郎様	4月26日	横切継紙・1通	1415-62
覚(杵品代金受取) 三好九八→かんへ利兵衛様		横切継紙・1通	1415-63
(午之割西仮割地森津一口分三稲新田新四郎・悦蔵兩人へ切渡願書状) 山田藤之助→武田哲次郎様	7月23日	横切継紙・1通	1415-64
(当申年入札取決め事項などにつき書状) 諏訪市兵衛→武田哲次郎様	(明治5年カ) 6月朔日	横切継紙・1通	1415-65
(新開割地早々に取計い控主名前帳・図面差出の件など達) →三稲懸廻内地主	5月	横切継紙・1通	1415-66
(名古屋連中金子未払などの件につき書状) 大谷甚平→武田哲治郎様	8月22日	横切継紙・2通	1415-67
一札(年季中田畑預け証文雛型) 何之誰→武田哲次郎殿御引請	明治6年1月	縦紙・1通	1415-68
(名古屋連中割符金未納の件などにつき書状など) 大谷甚平→武田哲治郎様	8月18日	横切継紙・2通	1415-69
(繫稻荷悪水杖下笠木丁場より尺改代金支払願) 吉田平左衛門→武田哲次郎様	2月28日	横切継紙・1通	1415-70
(天野利一郎ほか出金覚)		横切継紙・1通	1415-71
(三稲外新田起立より現今にいたる手続書付受取などにつき書状) 黑板俊三→武田哲次郎殿	10月28日	横切継紙・1通(封筒入)	1415-72
(地所の儀割付取計の件書状) 辰巳吉兵衛→武田哲次郎様	7月6日	横切継紙・1通	1415-73
(三稲新開普請につき書状)	2月晦日	横切継紙・1通	1415-74
覚(九番割地森津新田分普請惣出来の上金銭渡すべき旨達)	未7月	横折紙・1通	1415-75
覚(三十一番割地森津新田分普請惣出来の上金銭渡すべき旨達)	未7月	横折紙・1通	1415-76
(地割の儀依頼など書状) 兩人→武田哲太郎様	9月2日	横切継紙・1通	1415-77

記 (杖長さ・巾・高さ書上)		横折紙・1通	1415-78
記 (綿実・豆種・人足代ほか書付) →中野君		横折紙・1通	1415-79
(長兵衛方参会の評議にて丁場金渡さず当春会所にて 清算の旨取決につき書状) 大谷甚平→武田鉄治郎様	8月29日 8月22日	横切紙・1通	1415-80
(山路村の世話分取計方依頼状)	9月7日	横切継紙・1通	1415-81
(各区割合金収集の件につき書状) (裏面使用)	11月24日	横切継紙・1通	1415-82
(新開小前共出訴一件につき大谷氏の伝言書送り状) 吉田平左衛門→武田哲次郎様	1月22日	横切継紙・1通	1415-83
記 (一～五番集金・川埋入用勘定)		横切紙・1通	1415-84
(三稲新開諸入用取替えなどの件につき書状) 辰巳 吉兵衛→武田哲次郎様	11月23日	横切継紙・1通 (封筒入)	1415-85
(昨年分新開下用金蟹江分以外未納金の旨書状) 無半輔→新開御役人武田哲次郎様、吉田平左衛門様	木 3月20日	横切継紙・1通	1415-86
(先集會地概評決通知遅滞などの件につき書状) 開會所当番 (三稲操出新田會所当番) →武田様	新 4月23日	縦紙・1通 / (2通 一折)	1415-87-1
(丑寅之割地鬮取につき通知) 新開會所当番→武田哲 次郎様	4月23日	横切継紙・1通	1415-87-2
覚 (掛廻新開の内汐除用悪水掘など普請につき地代金 入札の件など覚)		縦紙・1通	1415-88
(武田分調達割合金70両余書付) (「申三月廿日渡西五月 十八日戻ル」との記載あり)		小切紙・1通	1415-89
(集金にても1軒も出金なき旨) (断簡)	11月23日	小切紙・1通	1415-90
(屋敷取極など要件列記)		横切紙・1通	1415-91
乍恐 (人別金額書上)		横折紙・1通	1415-92
(金銭差引勘定覚)		横折紙・1通	1415-93
(石川太八郎内家河野富行と記された紙片)		小切紙・1通	1415-94
(金銭勘定覚)		横切継紙・1通 / (7点こより括り)	1415-95-1
(取分・出分など勘定覚)		横切継紙・1通	1415-95-2
(年賦分など差引勘定内訳通知) いとう→たけた殿	12月27日	横切継紙・1通	1415-95-3
借用申 (金6両)		小切紙・1通	1415-95-4
(人別割当額合計より渡金差引覚)	文久3年亥11月	横切継紙・1通	1415-95-5
元治元甲子年分別段口納払	元治元子年	横長半・1冊<3丁>	1415-95-6
(文久3年分別段口納払)	文久3亥年	横長半・1冊<5丁>	1415-95-7
覚 (代金240両余書上) いろいろ大蔵→御元会所	(明治) 4月22日	縦紙・1通 / (5通 一綴)	1433-1
(三稲操出新田川運上1年分305両3か年分5月切で皆金 できれば任せる旨書付)	(明治)	縦紙・1通	1433-2
元鯛江川・新開汐除壱ヶ年銀入札 (金255両3分) 大 井村浅蔵→御元會所	(明治5年) 壬申4月	縦紙・1通	1433-3

三稲外操出新田／諸懸り 土地讓渡 掬米取立

(新開汐除通り明治5年1か年分金入札) 新開御會所	稻荷崎治平→	(明治5年) 申4月	豎紙・1通	1433-4
入札 (元鰯江川・新建川176両余にて入札)	兵四郎	(明治)	豎紙・1通	1433-5

諸懸り

三稲外操出新田杖樋修繕金集帳 藤東十郎	狐地・稻吉新田用掛伊	明治11年寅11月	横長半・1冊<4丁>	0477
---------------------	------------	-----------	------------	------

土地讓渡

永代売渡耕地証文之事 (三稲外操出新田2町8反7畝6歩地券証19枚・金2400円) 渡主伊藤次郎左衛門→伊勢国桑名郡桑名今一色二井與吉殿	愛知郡名古屋茶屋町地所売	明治12年1月	豎紙・1通	1235
--	--------------	---------	-------	------

掬米取立

繰出掬米取立帳		明治12年	横長美・1冊<28丁>	0018
繰出掬米取立帳		明治13年	横長美・1冊<25丁>	0019
繰出掬米取立帳		明治14年	横長美・1冊<25丁>	0020
明治十六年繰出新田小斗記入		(明治16年)	横長半・1冊<2丁> ／(7点一綴)	0548-3
繰出十五年十六年分不納米計算帳		明治17年8月10日	横長半・1冊<7丁> ／(2冊一綴)	0427-1
繰出掬米取立帳		明治16年	横長半・1冊<21丁>	0427-2
繰出掬米取立帳		明治17年	横長半・1冊<23丁>	0443
繰出掬米取立帳		明治18年	横長美・1冊<20丁>	0021
繰出掬米取立帳		明治19年	横長美・1冊<21丁>	0022

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
輪中惣代／西国出陣			
夫人足			
西国御出陣夫人足一卷	元治元年子10月	袋 (21通入)	0833
(締役入用割合相談につき書状) 武田→佐野様、佐久間様	6月2日	巻紙・1通	0833-1
(森津組目印代上納分1分2朱余ほか書上)		小切紙・1通	0833-2
(締役芸州表派遣人足手当金など相談につき書状) 服部市兵衛→武田哲次郎様	11月7日	巻紙・1通	0833-3
(大納言様上京につき森津ほか新田別人足手筈など書付) 右肝煎武田哲次郎・伊藤権次郎		横折紙・1通	0833-4
(夫人足くじ市江輪中引当につき覚)		巻紙・1通	0833-5
(成瀬隼人正出陣行列構成図)		巻紙・1通	0833-6
口上代 (5両余差上げ) 服部市兵衛→武田哲次郎様	5月11日	巻紙・1通	0833-7
(大坂より芸州・明石・姫路道中方諸色高直の旨ならびに人足の件につき書状) 姫路二而二郎兵衛→服部市右衛門様外2名	11月8日	巻紙・1通	0833-8
覚 (金5両余受取) 加藤源八→村瀬助八様	丑5月29日	小切紙・1通	0833-9
覚 (金70両2分受取) 芝井新田助八→武田様	子11月18日	小切紙・1通	0833-10
(お茶代など領収書綴)		巻紙・一綴<4丁>	0833-11
覚 (大坂より広島まで道中入用など諸掛り勘定)		巻紙・1通	0833-12
(明日15日参会につき召集) 木村小兵衛→武田哲治郎様	5月14日	巻紙・1通	0833-13
(大坂表より金銭催促につき1組15両出金依頼書状) 服部市兵衛→武田哲次郎様	11月8日	巻紙・1通	0833-14
(人馬数・代金割合覚)		巻紙・1通	0833-15
申合定 (陣屋などの夫人足兩輪中惣高にて以後割賦の旨など申合下書)		縦紙・1通	0833-16
(入用・供人足代金ほか覚)		巻紙・1通	0833-17
(締役として芸州下向につき金子無心書状) 二郎右衛門→服部市兵衛様外2名	11月3日四ツ時認	巻紙・1通	0833-18
(道中入用出銭願書状) 植秋→武田様	正月13日	巻紙・1通	0833-19
(村方取集金子差出しにつき書状) 庄右衛門→武田哲次郎様	10月28日	小切紙・1通	0833-20
覚 (大坂人足など道中入用書上)	10月21日～正月23日	横折紙・1通	0833-21
(長州戦争出陣入用上納金の儀につき指示)	(元治元年) 子10月	縦紙・1通／(9点一綴)	0838-1
(長州戦争出陣入用上納につき返書・請書写) 市江組村々引受服部弥兵衛外十四山組・三島組・森津組村々26名→金森五郎兵衛様御陣屋	(元治元年) 子10月	半・1冊<4丁>	0838-2

(御軍費等御用途差上金の覚綴) (松名新田佐野治右衛門外) →金森御郎兵衛様御陣屋	(元治2年) 丑正月	半・一綴<7丁>	0838-3
乍恐奉願上候御事 (昨年凶作のため軍費調達金上納残金分猶予願) 森津輪中惣代森津新田武田哲次郎	(元治2年) 丑5月	縦紙・1通	0838-4
乍恐奉願上候御事 (昨年凶作のため軍費調達金上納残金分納猶予願) 佐久間右馬之助・木村小八郎・伊藤権次郎・黒宮孫兵衛・富尾儀一郎・武田哲次郎	(元治2年) 丑正月	半・1冊<2丁>	0838-5
乍恐御願奉申上候御事 (昨年凶作のため軍費調達金上納残金分納猶予願) 森津輪中惣代森津新田武田哲次郎→金森五郎兵衛様	(元治2年) 丑3月	縦紙・1通	0838-6
乍恐奉願上候御事 (昨年凶作のため軍費調達金上納残金分納猶予願) 輪中惣代芝井新田佐久間右馬之助、森津新田武田哲次郎→金森五郎兵衛様御陣屋	(元治2年) 丑2月	縦紙・1通	0838-7
(御軍費等御用途差上金人別書綴) (芝井新田庄屋佐久間右馬之助外) →金森五郎兵衛様御陣屋	(元治2年) 丑正月	半・一綴<17丁>	0838-8
乍恐御達奉申上候 (出陣軍費・將軍進発入用森津新田引受分書上) (森津) 新田庄屋武田哲次郎→金森五郎兵衛様御陣屋	(元治元年) 子正月	半・1冊<4丁>/ (貼紙あり)	0838-9
長州御征伐御軍費調達割賦帳 武田哲次郎扣	元治元年甲子10月	横長半・1冊<13丁>/ (7冊一綴)	0862-1
御軍費調達金高抱集帳 狐地森津分庄屋所	元治元年子12月	横長半・1冊<2丁>	0862-2
御軍費調達金高抱集帳 森津新田庄屋	元治元年子10月	横長半・1冊<3丁>	0862-3
御軍費調達金高抱集帳 森津新田庄屋	元治元年子12月	横長半・1冊<3丁>	0862-4
御軍費差上金高抱集帳 狐地森津分庄屋	元治2年丑2月	横長半・1冊<2丁>	0862-5
御繰込夫人足一条願入用割当り 武田哲次郎	(元治2年) 丑2月	横長半・1冊<3丁>	0862-6
村方割賦巨割		横長半・1冊<5丁>	0862-7
芸州御出陣夫人足御用留	元治元子年10月	横長半・1冊<16丁>	0864

軍費調達

御軍費調達一卷	元治元子年10月・12月	袋 (9通入)	1514
覚 (軍費用途引受分金53両受取) 佐屋陣屋→森津新田武田哲次郎初引受六ヶ村分	(元治元年) 子12月	縦切紙・1通	1514-1
覚 (軍費用途引受分金108両1朱受取) 佐屋陣屋→松名新田佐野治右衛門、鎌嶋新田木村忠左衛門、森津新田武田哲次郎、稲元新田伊藤庄左衛門、芝井新田佐久間右馬之助、寛延新田伊藤権次郎引請村々之分	(慶応元年) 丑2月	縦切紙・1通	1514-2
覚 (軍費用途引受分金15五両受取) 佐屋陣屋→森津新田武田哲次郎外五人	(慶応元年) 丑9月4日	縦切紙・1通	1514-3
覚 (軍費用途引受分上納残金51両3分受取) 佐屋陣屋→森津新田武田哲次郎外五人引受村々之分	(慶応元年) 丑9月3日	縦切紙・1通	1514-4
覚 (狐地・稲吉出金高より上納分など差引勘定)		横折紙・1通	1514-5
(未納分51両3分受取につき書状) 服部作助→武田哲次郎様	9月3日	巻紙・1通	1514-6
別段差上金之分覚(軍費など用途再度徴収につき書状)	2月4日	巻紙・1通	1514-7

永田市蔵、服部作助→服部弥兵衛様、服部市兵衛様、吉田平左衛門様、松井定八様、武田哲次郎様、伊藤庄左衛門様			
覚（軍費調達上納金22両余受取） 佐久間右馬之助→武田哲次郎様	（元治元年）子10月28日	巻紙・1通	1514-8
乍恐奉願上候御事（軍費30両献金の件） 服部市兵衛外26名→金森五郎兵衛様御陣屋	（慶応元年）丑2月	堅紙・1通	1514-9

大久手宿繰込人足

大湫宿繰込夫一卷	慶応元年丑3月	袋（7点入）	0822
中仙道繰込夫諸入用帳（森津新田他12か村分取り集め） 武田哲次郎	元治2年丑5月	横長半・1冊<3丁>	0822-1
大久手引締役諸入用		横折紙・1通	0822-2
大久手人足入用村方割賦入用		横折紙・1通	0822-3
（慶応元年陣屋より御下金当村受取分及び人足計算など書上）		横折紙・1通	0822-4
（12か村人足割当書）		横切継紙・1通	0822-5
人足おほえ（10か村人足数・代金書上）		横折紙・1通	0822-6
（金銭勘定）		小切紙・1通	0822-7

芸州人足

芸州夫人足入用内金取集帳（狐地森津分） 狐地森津分庄屋	元治2年丑3月	横長半・1冊<2丁>	0440
名古屋出人足・芸州夫人足・大久手宿出人足入用割賦集帳 森津新田庄屋	元治2年丑5月	横長半・1冊<4丁>	0977
芸州夫人足入用割賦帳	元治2丑年5月	横長半・1冊<17丁>	0863
乍恐御達奉申上候（新田別芸州夫人足名・人数覚） （芝井新田・森津新田・鎌島新田・松名新田・寛延新田・稲元新田・狐地新田・稲吉新田・稲狐新田・三稲新田・稻荷新田）	（元治2年か）	半・1冊<7丁>／ （3点一綴）	0839-1
覚（子年10月20日に発足し丑年正月24日帰村夫人足名覚綴） （松名新田・寛延新田・芝井新田・鎌島新田） →（金森五郎兵衛様御陣屋）	（元治2年）丑2月	半・一綴<5丁>	0839-2
（10月20日出立から帰村までの日数・人足勘定覚）		半・1冊<3丁>	0839-3

宿繰込人足など

御進発御用起宿・墨股宿繰込人馬帳	慶応元年丑臯月	横長半・1冊<21丁>	0428
御進発御用起宿繰込諸色留	慶応元年丑5月	横長半・1冊<20丁>	0434
御進発ニ付起宿繰込草鞋馬沓并飼馬草運送入用割	慶応元年丑5月	横長半・1冊<3丁>	0484
御進発ニ付起宿江繰込飼草并諸色入用集帳	慶応元年丑6月	横長半・1冊<2丁>	0415
西国御出陣夫人足入用追割集帳 夫馬惣代→村々御庄屋衆中	慶応元年丑6月	横長半・1冊<3丁>	0866

御新発ニ付起宿繰込人足并諸色入用 佐屋陣屋→右 (森津新田) 村庄屋	辰12月	横折紙・1通 / (貼紙あり)	0983
(起宿繰込草鞋馬背飼葉送方運賃など調達につき書状) 服部市兵衛→武田哲次郎様	7月6日	巻紙・1通	1404
(夫人足凡入用集金関係書類綴)		横長半・一綴<12 丁>	0865

普 請

水難ニ付諸事書上御用留 当輪中 (中山・中川原新田、寛 延新田、松名新田、森津新田、鎌嶋新田、芝井新田)	安永8年亥8月26日	半・1冊<20丁>/ (2点一綴)	0611-1
川原欠新田本海用人足諸色書上帳 中山・中川原新田庄 屋留兵衛外6名	(安永8年) 亥9月	横長半・1冊<3丁>	0611-2
五ヶ村輪中・中山輪中・稲元輪中・御普請入用并内輪 入用御請見入用共村々割賦帳	天保13年寅 8 月	横長半・1冊<9丁> / (虫損大)	1337
(御普請諸入用割符帳綴)	天保13年	横長半・3冊一綴	1340
五ヶ村輪中・中山輪中・稲元輪中御普請諸入用割符帳	天保13年寅 7 月	横長半・1冊<12 丁>	1340-1
御請見入用・内輪入用・当日割造用村々割符帳	天保13年 8 月22日	横長半・1冊<6丁>	1340-2
五ヶ村輪中・中山輪中・稲元輪中御普請諸入用割符集 帳 森津新田→右村々御庄屋衆中	天保13年寅 8 月	横長半・1冊<6丁>	1340-3
自普請勘定帳 (筏川・鍋田川通堤) 森津	嘉永元年申9月	横長半・1冊<7丁> / (虫損)	0879
中堤普請才土数舟中諸事覚帳	嘉永2年酉6月15日ヨリ	横長半・1冊<11 丁>/ (6点一綴)	0878-1
中堤自普請金割賦取集帳 森津新田庄屋→ (松名・芝 井・寛延・鎌嶋) 村々御庄屋御中	嘉永2年酉7月	横長半・1冊<3丁>	0878-2
中堤普請丁張帳	嘉永2年酉5月朔日	横半半折・1冊<9 丁>	0878-3
(自普請勘定覚)		横長半・1冊<3丁>	0878-4
(自普請金割賦覚)		横長半・1冊<5丁>	0878-5
覚 (輪中4か村分・伊藤取集金など内訳ほか)		横折紙・2通	0878-6
中堤自普請金割賦取集帳 森津新田武田沢右衛門	嘉永2年酉7月 (奥付に は未とあり)	横長半・1冊<5丁>	0877
(稲狐分御手当金差引勘定ほか)	(慶応3年カ)	横長半・1冊<12 丁>/ (9冊一綴)	0563-1
天保十四卯取立 (取米勘定)		横長半・1冊<2丁>	0563-2
(弥三七貸金・利足合計、その他)		横長半・1冊<12 丁>/ (反古紙利 用)	0563-3
未進米弁金勘定		横長半・1冊<2丁>	0563-4
覚 (稲吉御償普請金ほか勘定)		横長半・1冊<3丁>	0563-5
(糸八ほか畑面積・石高書上)	嘉永3戌年	横長半・1冊<4丁>	0563-6

覚（作人別元年貢・上り年貢書上）		横長美・1冊<3丁>	0563-7
狐地稲吉仲間掬米割賦覚	慶応3年卯12月	横長半・1冊<6丁>	0563-8
辛未年御渡米割賦		横長美・1冊<3丁>	0563-9
拾ヶ村割并五ヶ村割三合割 円吉	明治元年辰12月	横長半・1冊<4丁> ／（3冊一綴）	0871-1
水行拾ヶ村割并四ヶ村割 円吉	明治2年巳正月より	横長半・1冊<8丁>	0871-2
村々諸入用引請差引帳（森津・芝井・鎌島・松名・寛延・稲元・狐地・稲吉・稲狐）	明治2年巳5月24日	横長半・1冊<10丁>	0871-3
（御救御普請関係書類綴） 輪中扣	明治2年巳3月	横長半・一綴<18丁>	0873
両輪中御救割符帳（森津・芝井・鎌島・松名・寛延・稲元・狐地・稲吉・稲狐・三稻）	明治2年巳5月	横長半・1冊<5丁> ／（2冊一綴）	0872-1
両輪中御救普請御下金割符控	明治2年巳5月	横長半・1冊<3丁>	0872-2
（芝井・稲元両輪中普請入用金拝借関係書類綴）	（明治2年カ）	5点一綴	1274
（当輪中水行御普請入用金拝借願綴）（輪中庄屋惣代 武田哲次郎・同佐久間多助）→（海西方御役所）	（明治4年～5年）	半・一綴<5丁>	1274-1
芝井輪中拝借金返納方二付届（水行御普請）元佐屋出張所懸り喜一事曲井重賢外1名→愛知縣令鷲尾隆聚殿	明治7年6月	半・1冊<2丁>／ （青色罫紙）	1274-2
拝借金年賦済願（芝井輪中）村々副戸長惣代森津新田副戸長佐藤円九郎外2名→愛知縣令鷲尾隆聚殿	明治7年6月	半・1冊<3丁>／ （黒色罫紙）	1274-3
両輪中御救普請御下ヶ金割符帳	明治2年巳2月17日	横長半・1冊<5丁>	1274-4
借用申金子之事（芝井・稲元両輪中窮民御救普請などのため金100両借用）吉田平左衛門・伊藤権二郎外2名→佐屋御陣屋	明治2巳年2月16日	罫紙・1通	1274-5
未年御償米勘定帳（三稻・稲狐・狐地・稲元・稲荷新田普請御償米勘定）	明治4年12月	横長半・1冊<13丁>／（2冊一綴）	0882-1
未年御償御渡米勘定帳	明治5年正月	横長半・1冊<6丁>	0882-2
御償書付入	（明治4～5年）	袋（12点入）	0815
安政二卯年以来三稻輪中御普請御入用并御償米引去勘定書 三稻輪中地主惣代伊藤庄右衛門、同武田哲次郎、庄屋惣代大河内庄五郎→海西郡御出張所	明治4年未12月	半・1冊<10丁>	0815-1
安政二卯年以来御償中利足之小割書		半・1冊<2丁>	0815-2
御償残金（狐地・三稻・稲荷・稲元新田杵橋分、堤分）		横長半・1冊<4丁>	0815-3
伊藤雑用覚（参入用など）	（午～未年）	横折紙・1通	0815-4
（木村・伊藤・武田ほか雑用覚）		横長半・1冊<3丁> ／（2冊一綴）	0815-5-1
未年御償米之差米代		横切継紙・1通	0815-5-2
未年御償勘定 →上		横折紙・1通／（2通一綴）	0815-6-1
辛未年御償武田引受口 →上		横折紙・1通	0815-6-2
御償残金（狐地・三稻・稲荷・稲元新田杵橋分、堤分）三稻輪中伊藤庄右衛門→海西郡御出張所		横折紙・1通	0815-7

御届申上候（堤杖橋御普請御入用御償勘定書下書） 三稲中地主惣代伊藤庄右衛門外2名→海西郡御出張所	(明治5年) 壬申正月	半・1冊<7丁>	0815-8
乍恐再三奉願上候事（御普請御償残金1万156両余のうち半分献納半分御下金願） 三稲輪中地主惣代伊藤庄右衛門外2名／（奥書）右輪中庄屋惣代大河内庄五郎、同武田哲次郎、庄屋惣代大河内庄五郎→佐屋御出張所	(明治4年) 未6月	豎紙・3通	0815-9
(新田別償残・雑用など勘定覚書)		横長半・1冊<2丁>	0815-10
(未年差米代・申年御物成ほか勘定)		横長半・1冊<13丁>	0815-11
(巳年入用・御下げ米勘定)		小切紙・1通／ (18点一綴)	0815-12-1
(御償勘定につき割賦金支払依頼及び受取証) 伊藤 庄右衛門→武田哲次郎様	7月9日	小切紙・1通	0815-12-2
御請取書（当輪中佃堤普請金年賦返却米受取） 三稲輪中地主惣代武田哲次郎・伊藤庄右衛門／（奥書）木村小平・渡辺治八→海西郡御出張所	(明治4年) 未11月	豎紙・1通／（貼紙あり）	0815-12-3
覚（御下ケ米内訳）		小切紙・1通	0815-12-4
覚（米55石輪中村々内訳）		小切紙・1通	0815-12-5
(稲荷差引内訳及び差引勘定にて金米差出の件につき願) 木むら→武田様	(明治5年) 申7月	横切継紙・1通	0815-12-6
覚（引残米算出）		巻紙・1通	0815-12-7
(東堤復古願済みの件字佐美不承知につき相談)		小切紙・1通	0815-12-8
(明日勘定書提出指示につき書状) 稲元二郎右衛門→ 武田哲次郎様	6月9日	横切紙・1通	0815-12-9
覚（米55石輪中村々新田割内訳）		小切紙・1通	0815-12-10
口上（先日依頼の金銭使いへ渡方願状） 木むら→武 田様	正月15日	横切紙・1通	0815-12-11
口上（御償米残り9斗余から中堤年貢差引願） 伊藤 庄右衛門→武田哲次郎様	4月18日	小切紙・1通	0815-12-12
(稲元・稲荷差引金未払につき繰替願) 木村小平→武 田哲次郎様	正月13日	巻紙・1通	0815-12-13
口上（御償米3石収納の旨依頼）（稲元新田）伊藤庄 右衛門→武田哲次郎様	6月15日	巻紙・1通	0815-12-14
(狐地杖・諸色代御下げ金高書付)	8月10日	小切紙・1通	0815-12-15
覚（割当米・稲荷当分差引覚）		小切紙・1通	0815-12-16
(御償米収納ならびに御下げ金につき書状) 伊藤庄 右衛門→武田哲次郎様	3月17日	横切継紙・1通	0815-12-17
(御償米金納ならびに猶予の旨書状) →武田君	6月15日	巻紙・1通	0815-12-18
東京行入費簿 森長介	明治9年子8月	横長半・1冊<9丁>	0880
(笠松縣水行見分につき御立合御休泊入用綴)	(巳3月～7月)	横長半・一綴<15丁>	0876
御元小屋料方帳 善八	寅7月13日	横長半・1冊<11丁>	0409
預米（森津新田ほか輪中村預米高書上）	(慶応2年カ)	横切継紙・1通	0982

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

御用

出入扱人

(三州拳母領国役御普請金出入扱人として名古屋出張出精により苗字許可申渡) →海西郡森津新田沢右衛門	明和8年12月	横切紙・1通／(5点包紙入)	1060-3
差上申内済証文之事(小林新田新次郎加地子米滞り出入内済証文) 尾州海西郡芝井村願主善左衛門、勢州桑名郡小林新田新次郎倅長吉、右村庄屋長十郎、尾州海西郡森津村取暖人沢右衛門→笠松御役所	寛政6年寅正月	縦紙・1通／(虫損大)	1104
(公事争論取扱につき帯刀を許す旨申渡) →海西郡森津新田沢右衛門	寅12月	横切継紙・1通／(5点包紙入)	1060-4

普請

堤守役・堤見廻役

定(飛鳥新田堤大手当御役所萱葺小屋管理方につき) 御普請方→飛嶋新田庄屋	文化5年辰12月	横切継紙・1通	1434
(飛嶋新田堤守由緒書付) 森津新田武田沢右衛門→岡勝右衛門様御陣屋	(文化11年) 戌8月	縦紙・1通	1371
(堤通見廻・土取場締り方格別出精につき10匁遣わず旨申渡) →武田沢右衛門(端裏書「文政十一子正月」)	(文政10年カ) 12月	横切継紙・1通	1043
(海辺村々浪請堤見廻方・飛嶋新田堤守方勤めにつき加金1分遣わず旨申渡) →飛嶋新田堤守役・西海辺堤見廻役兼武田沢右衛門	文政13年寅正月	横切継紙・1通	1040
(飛嶋新田堤守役を免じ西海辺堤見廻役勤めるべき旨申渡) →海西郡森津新田庄屋武田沢右衛門	文政13年丑正月	横切継紙・1通	1049
(立田輪中切所御普請御用につき金2朱遣わず旨申渡) →武田沢右衛門	天保14卯年12月	横切紙・1通	1074
(西海辺堤丈夫附御普請御用出精につき銀3匁遣わず旨申渡) →武田沢右衛門	天保14卯年12月	横切紙・1通	1050
(大水で堤通難所出来の際人足遣し方・諸色手当など骨折につき金3分2朱遣わず旨申渡) →海西郡森津新田武田沢右衛門	弘化2巳年2月14日	横切継紙・1通	1067
(大水の際芝井輪中へ人足差出方格別骨折につき酒代1匁遣わず旨申渡) →海西郡森津新田武田沢右衛門	弘化2年2月	横切継紙・1通／(損傷大)	1068
(芝井輪中堤丈夫附普請の節人足締惣代役出精につき金2朱遣わず旨申渡) →木村忠右衛門、武田沢右衛門外5名	弘化2巳年5月	横切紙・1通	1042
(筏川・西海辺堤廻役見習申付書) →筏川并西海辺堤廻役森津新田武田沢右衛門倅哲二郎	嘉永元申年4月	横切継紙・1通	1051
(筏川・西海辺堤廻役見習い申付書) →筏川并西海辺堤廻役森津新田武田沢右衛門倅哲二郎	嘉永元申年5月	横切継紙・1通	1055
(飛嶋新田普請中交代で元小屋詰め出精につき奇特の	子6月	横切紙・1通	1057

旨申渡) →森津新田武田沢右衛門			
(平嶋新田より甚兵衛後新田辺まで并向輪中新田堤守に任命し加金1文遣わす旨など申渡) →飛嶋新田堤守・森津新田住居武田沢右衛門	巳2月	横切紙・1通	1039
(松名新田役儀退役の件につき相談書状) 忠兵衛・忠右衛門→沢右衛門様	正月3日	横切継紙・1通	1041
(堤通見廻・飛嶋村新開土取場締り方勤め格別出精につき20匁遣わす旨申渡) →武田沢右衛門	正月	横切継紙・1通	1048
(西海辺村々堤廻役申付につき加金2分遣わす旨申渡) →飛嶋新田堤守役森津新田武田猪八	4月	横切紙・1通	1062
(役儀中に帯刀を許す旨申渡) →海西郡森津新田庄屋武田猪八	6月	横切紙・1通／(5点こより括り)	1059-5
(堤通見廻・土取場締筋行届きにつき金1分遣わす旨申渡) →武田沢右衛門	10月	横切継紙・1通／(5点こより括り)	1059-3
(堤通見廻・土取場締筋行届きにつき金1分遣わす旨申渡) →武田沢右衛門	10月	横切紙・1通／(5点こより括り)	1059-4
(加金1両遣わす旨申渡) →飛嶋新田堤守役・西海辺村々堤廻り役兼森津新田武田沢右衛門	11月	横切紙・1通	1038
(飛嶋新田守役を免じ海辺村々および飛嶋新田見廻り役申渡) →飛嶋新田堤守役	12月27日	横切継紙・1通	1052
(武田沢右衛門らへ飛嶋新田堤守り方雑用金支給)	12月	横切紙・1通	1056
(新開築方につき西海辺通土取そのほか勤めにつき銀10匁遣わす旨申渡) →武田沢右衛門	12月	横切継紙・1通	1073
(堤通・土取場見廻勤め格別出精につき銀10匁下賜申渡) →武田沢右衛門 (端裏書「文政七正月」)	12月	横切継紙・1通	1053
(堤通見廻・土取場締筋行届きにつき金1分遣わす旨申渡) →武田沢右衛門	12月	横切紙・1通／(5点こより括り)	1059-2
(銀1枚下賜申渡) →海西郡森津新田武田沢右衛門		横折紙・1通	1058
堤塘締役			
堤防杖橋一卷	明治5年申より	袋(5点入)	1030
御届(筏川通堤ほか御配府12通届) 森津新田庄屋武田哲次郎→愛知縣御廳	(明治5年) 壬申9月	半・1冊<2丁>	1030-1
(森津新田旧高・反別内訳など書上控) (森津新田) 村副戸長介佐藤門九郎／(奥書) 小区長武田哲次郎→愛知縣令鷲尾隆聚殿	明治7年3月	半・一綴<6丁>／(青・黒色罫紙)	1030-2
(森津新田高・筏川通堤・杖ほか書上) (森津新田) 百姓惣代佐藤嘉平、同組頭武田茂兵衛、同断佐藤門九郎、同庄屋武田哲次郎→愛知縣御廳	(明治5年) 壬申7月	半・1冊<3丁>	1030-3
(中堤長さ・敷など覚)		小切紙・1通／(8点一綴)	1030-4-1
(与藏山新田午新田高反別より定引など差引書上ほか)		半・1冊<3丁>	1030-4-2
覚(堤築立の旨、長さ・堤敷巾など書上) 鎌島	未8月	横折紙・1通	1030-4-3
覚(雪隠一軒島名新田佐右衛門扣堤外にある旨届) 島名新田庄屋黒宮孫兵衛→武田哲次郎様	未8月	縦紙・1通	1030-4-4

覚（鳥名新田外川堤長さなど届） 宮孫兵衛→武田哲次郎様 （筏川添堤長さなど覚）	（鳥名）新田庄屋黒	未8月	縦紙・1通	1030-4-5
覚（稲元新田堤長さなど外川堤通り取調届） 田庄屋→堤塘御締役衆中様	稲元新	未8月	半・1冊<2丁> 半・1冊<2丁>	1030-4-6 1030-4-7
御達奉申上候（稲荷新田外川通など取調届） 村庄屋村井定八→堤塘御締役様 （森津新田内堤・橋などの図）	（稲荷）	未8月	縦紙・1通 38.5×27cm・1枚	1030-4-8 1030-5

蒲穂締役

（村々蒲穂締役申渡） 右衛門	金（森）市之進→森津新田武田沢	（文化4年）卯5月	横切紙・1通	1069
（卯年蒲穂締役任命後出精骨折につき申渡） 郡森津新田武田沢右衛門	→海西	午12月	横切紙・1通	1072

村々見分

森津海用留見分積帳		安永8年亥霜月12日	横長半・1冊<24丁>	0438
（乙狩山御用材森津村へ指置の節世話行届き国奉行より御誉につき申渡） 門	橋長七郎→森津新田武田沢右衛門	寛政5年丑正月4日	横切継紙・1通	1045
（手当雑用として金15両拝領） 門	→森津新田武田沢右衛門	12月	横切紙・1通	1035

借財締役

質流譲り渡し申田地証文之事（森津新田のうち字六人物にて43両借用） 田地譲主鎌島新田木村忠右衛門、親類証人同所木村小八郎→桑名今一色田島屋与吉殿、森津新田武田哲治郎殿御取次		文久2年戌3月	縦継紙・1通	1200
質流譲り渡し申田地証文之事（与蔵山新田のうち字辰新田） 田地譲主鎌島新田木村忠右衛門、親類証人同所木村小八郎／（奥書）奥蔵山新田庄屋服部多三郎→桑名今一色田島屋与吉殿、森津新田武田哲治郎殿御取次（村方地帳面名前変更の旨奥書あり）		文久2年戌3月	縦継紙・1通	1201
質流譲渡申田地証文之事（鎌嶋新田口地にて代金300両） （写）地所譲主鎌嶋新田木村忠右衛門、親類地仲満名古屋茶屋町伊藤喜兵衛、鎌嶋新田証人藤左衛門、竹田新田治左衛門／（奥書）（鎌島）新田庄屋木村小八郎→山岸甚兵衛殿、奥田重助殿		元治元年子12月	縦紙・1通／（2点糊付）	1202-1
覚（借用金200両受取につき） 小左衛門→絹川十郎殿	金借主木村忠右衛門・	11月晦日	縦紙・1通	1202-2
借用申金子証文之事（金50両） 小左衛門、同所証人助重郎→忠平殿御取次	鎌島新田金子借主木村	慶応2年寅12月	縦紙・1通	1124
質流譲渡申田地之事（鎌島新田口地割のうちにて金1000両借用） 地所譲り主鎌島新田木村忠右衛門、親類証人同所同小左衛門、地仲満証人益屋町伊東喜兵衛、（鎌島）新田庄屋木村小八郎→森本善七殿		慶応3年卯2月	縦継紙・1通／（2点糊付）	1205-1
添一札之事（小作支配預かりにつき） 小作預り主木		慶応3年卯2月	縦継紙・1通	1205-2

村忠右衛門、親類証人同小左衛門、地仲満証人伊東喜兵衛、(鎌島) 新田庄屋木村小八郎→森本善七殿			
質流相渡申田地証文之事(鎌嶋新田本田田畑にて代金150両借用) 鎌嶋新田質流渡主木村小左衛門、同加判木村忠右衛門、同証人助重郎/(奥書1)(鎌島) 新田庄屋木村小八郎/(奥書2) 質流渡主木村小左衛門、加判木村忠右衛門、証人助重郎→佐屋黒宮平八殿	慶応3年卯12月	縦継紙・1通	1204
質流相渡申田地証文之事(38石4斗余・代金500両) 質流渡主鎌島新田木村忠右衛門、同村加判証人木村小左衛門、同所親類惣代助十郎、佐屋村証人加藤宗之輔/(奥書)(鎌島) 新田庄屋木村小八郎、同村組頭忠平→大河内竹右衛門殿	明治元年辰12月	縦継紙・1通/(2点糊付)	1207-1
差入申添証文之事(小作支配預かりにつき) 海西郡鎌島新田地所譲り主木村忠右衛門、同村加判親類証人木村小左衛門、同所親類惣代助重郎、佐屋村証人加藤宗之輔/(奥書)(鎌島) 新田庄屋木村小八郎、同村組頭忠平→大河内竹右衛門殿	明治元年辰12月	縦継紙・1通	1207-2
質流相渡申田地証文之事(38石4斗余・代金500両) 質流渡主鎌島新田木村忠右衛門、同村加判証人木村小左衛門、同所親類惣代助十郎、佐屋村証人加藤宗之助/(奥書)(鎌島) 新田庄屋木村小八郎、同村組頭忠平→大河内竹右衛門殿	明治元年辰12月	半・1冊<2丁>/ (2冊一綴)	1206-1
差入申添証文之事(小作支配預かりにつき) 鎌嶋新田地所譲主木村忠右衛門、同所加判親類証人木村小左衛門、同所親類惣代助十郎、佐屋村証人加藤宗之輔→大河内竹右衛門殿	明治元年辰12月	半・1冊(2丁)	1206-2
借用申金子之事(金200両) 金子借主鎌嶋新田木村忠右衛門、證人同所同小左衛門、親類惣代証人助十郎/(奥書) 鎌嶋新田庄屋木村小八郎→渡辺関三郎殿	明治元年辰12月	横切紙・1通	1125
借用申金子証文之事(質物鎌島新田口地割のうち3町・300両) 鎌嶋新田借用主木村忠右衛門、同所親類証人庄屋兼半之助→八木常助殿	明治2年巳正月	縦継紙・1通(一部破損)	1210
質流譲渡証文之事(鎌嶋新田本田口地割のうち2町・235両) 地所譲り主鎌嶋新田木村小左衛門、証人同村助十郎/(奥書)(鎌島) 新田庄屋半之助→佐藤七三郎殿	明治2年巳正月	縦継紙・1通	1215
質流譲渡証文之事(鎌嶋新田本田口地割のうち2町・235両) 鎌島新田地所譲主木村小左衛門、同村証人助十郎/(奥書)(鎌島) 新田庄屋半之助→佐藤七三郎殿	明治2年巳正月	縦継紙・1通	1213
田畑譲り渡証文之事(鎌島新田3町5反・金150両) 海西郡鎌嶋新田畑譲渡主木村忠右衛門、親類惣代証人助重郎/(奥書)(鎌島新田) 村庄屋半之祐→八嶋喜左衛門殿	明治2年巳正月	縦継紙・1通	1211
高田畑引当金子借用申証文之事(38石4斗余・代金500両) 金子借主鎌島新田木村忠右衛門、親類証人同所同小左衛門、加判人藤左衛門、加判人佐屋村山田九郎右衛門/(奥書)(鎌島) 新田庄屋木村小八郎→和泉屋長左衛門殿	明治2年巳4月	縦継紙・1通/(3点糊付)	1212-1
差入申添証文之事(利足返済につき口入) 金子借主木村忠右衛門、親類証人同小左衛門、加判証人藤左衛門、加判人佐屋村山田九郎右衛門→和泉屋長左衛門殿	明治2年巳4月	縦紙・1通	1212-2
覚(金銭書付) 水野長左衛門→木村忠右衛門様・山田九郎右衛門様	明治4年未10月	小切紙・1通	1212-3
高田畑引当金子借用申証文之事(鎌島新田の内38石4斗余・500両) 金子借主鎌島新田木村忠右衛門、親類証人同所同小左衛門、加判人藤左衛門、加判人佐屋村	明治2年巳4月	縦継紙・1通/(2点糊付)	1209-1

山田九郎右衛門(印墨抹) / (奥書)(鎌島)新田庄屋木村小八郎→和泉屋長左衛門殿			
差入申添証文之事(利足返済などにつき) 金子借用主木村忠右衛門、親類証人同小左衛門、加判証人藤左衛門、加判人佐屋村山田九郎右衛門→和泉屋長左衛門殿	明治2年巳4月	縦継紙・1通	1209-2
借入金証文之事(金50両) 金子借用主木村小左衛門、右新田庄屋木村小八郎→忠平殿取次	明治2年巳5月	縦紙・1通	1127
借用申金子証文之事(金200両、次賀村源蔵写) 金子借用主鎌嶋新田木村小左衛門、親類証人同所助十郎 / (奥書) 鎌嶋新田庄屋木村小八郎→加藤宗之助殿御取次	明治2年巳7月	縦紙・1通	1136
借用申金子証文之事(金100両) 金子借用主木村忠右衛門、証人同小左衛門、(鎌島)新田庄屋同小八郎→小川忠七殿御取次	明治2年巳7月	縦紙・1通	1126
借用申金子証文之事(金180両) 借主人木村忠右衛門、証人助重郎→神戸忠七殿	明治2年巳10月	縦紙・1通	1128
借用申金子証文之事(金64両) 鎌嶋新田借用主木村小左衛門、同証人忠右衛門 / (奥書) 鎌嶋新田村庄屋半之助→米屋東四郎殿	明治2年巳11月	縦紙・1通	1135
高田畑質入証文之事(38石4斗余・代金500両) 海西郡鎌島新田地所譲り主木村忠右衛門、同親類惣代木村小左衛門、同証人助十郎、佐屋村同証人加藤宗三 / (奥書)(鎌島)新田庄屋半之助→笹屋勘助殿	明治2年巳12月	縦継紙・1通 / (2点糊付)	1208-1
添一札(小作支配預かりにつき) 海西郡鎌島新田地所譲り主木村忠右衛門、同親類惣代木村小左衛門、同証人助十郎、佐屋村同証人加藤宗三 / (奥書)(鎌島)新田庄屋半之助→笹屋勘助殿、口入若松屋半三郎殿	明治2年巳12月	縦継紙・1通	1208-2
質流譲り渡田地証文之事(鎌島新田37石5斗余ほか・代金1749両余) 田地譲り渡主鎌島新田木村忠右衛門、同人悻同小左衛門、親類惣代□□新田木村小平→加藤五左衛門殿	明治2年巳12月	半・1冊<2丁>	1214
借用申金子証文之事(金300両) 鎌嶋新田借用主木村忠右衛門、同所親類半助 / (奥書) 鎌嶋新田庄屋半之助→小川忠七殿取次	明治2年巳12月	縦紙・1通	1129
質流相渡申地所証文之事(鎌嶋新田3町歩・300両) 地所譲渡主鎌嶋新田木村忠右衛門、証人同所同人悻同小左衛門、親類証人助重郎、同所木村佐五郎 / (奥書)(鎌島)新田庄屋半之助→山岸甚兵衛殿	明治3年午正月	縦紙・1通	1223
質流譲渡シ証文之事(鎌嶋新田1町5反歩・銀代金120両、ならびに期限内返金時地所返還につき約定書) 鎌嶋新田地所譲り主春樹、同親類証人助十郎 / (奥書) 右村庄屋半之助 / (約定書) 鎌嶋新田預ヶ主春樹・同証人助十郎→米屋藤四郎殿 /	明治3年午2月(約定書より、本証文年代記載なし)	縦継紙・1通	1224
高田畑譲り渡田地証文之事(鎌嶋新田15石3斗余・銀代金200両) 木村忠右衛門、親類惣代同小左衛門 / (奥書)(鎌島)村庄屋半之助→佐野由蔵殿	明治3年午3月	縦紙・1通	1218
質流譲渡申高田地証文之事(写)(鎌島新田のうち・250両) 右地所譲渡主鎌嶋新田木村忠右衛門、同所同人悻同小左衛門、親類惣代半之助 / (奥書) 鎌島新田梅之口庄屋佐野周平→渡辺治左衛門殿	明治3年午3月	縦紙・1通	1217
譲渡田地証文之事(鎌島新田19石2斗余・銀代金250両) 鎌島新田譲主木村忠右衛門、同所親類証人木村小左衛門 / (奥書)(鎌島)新田庄屋半之助→小出定吉殿、渡辺治左衛門殿	明治3年午3月	縦紙・1通	1216

御用／借財締役

高田畑譲り渡田地証文之事（鎌嶋新田15石3斗余・代金200両）金子借用主木村忠右衛門、親類惣代同小左衛門／（奥書）（鎌島）新田庄屋半之助→佐野由蔵殿 御取次	明治3年午3月	縦継紙・1通／（2点糊付）	1227-1
添一札之事（小作支配預かりにつき）木村忠右衛門→佐野由蔵殿	明治3年午3月	縦継紙・1通	1227-2
譲渡田地証文之事（写）（鎌島新田22石5斗余・欵代金300両、添書あり）鎌島新田譲り主木村忠右衛門、同所証人同小左衛門／（奥書）（鎌島）新田庄屋半之助→子宝新田米屋長三郎殿	明治3年午6月	縦紙・1通	1220
借入金証文之事（金200両）鎌嶋新田金借主木村忠右衛門、同村証人木村小左衛門／（奥書）鎌嶋新田庄屋半之助→子寶新田米屋長三郎殿	明治3年午6月	縦紙・1通	1130
譲渡田地証文之事（鎌島新田19石2斗余・欵代金250両）鎌島新田譲主木村忠右衛門、同所親類証人木村小左衛門／（奥書）（鎌島）新田庄屋半之助→小出定吉殿、渡辺治左衛門殿	明治3年午8月	縦紙・1通／（2点糊付）	1229-1
添一札（別紙証文通り返済、役銀など勤める旨）鎌嶋新田木村忠右衛門、木村小左衛門→山岸甚兵衛殿、渡辺治左衛門殿（宛先「山岸甚兵衛」記載脇に「右、小出定吉殿ニ改」とある）	明治3年午8月	縦紙・1通	1229-2
高田畑質入証文之事（鎌島新田38石4斗余・代金500両）金借主鎌嶋新田木村小左衛門、同人父同春樹、親類証人同所助十郎／（奥書）（鎌島）新田庄屋并地仲満証人木村半之助→絹川十太郎殿	明治3年午10月	縦紙・1通	1222
高田畑質入証文之事（鎌島新田38石4斗余・金500両）金子借用主鎌嶋新田木村小左衛門、同人父同春樹、親類証人同所助重郎／（奥書）（鎌島）新田庄屋并地仲満証人木村半之輔→絹川多重郎殿	明治3年午閏10月	縦紙・1通	1226
高田畑質入証文之事（鎌島新田23石余・金300両）金子借用主鎌島新田木村小左衛門、同人父同春樹、親類惣代証人助重郎／（奥書）（鎌島）新田庄屋并地仲満証人木村半之輔→絹川多重郎殿	明治3年午閏10月	縦紙・1通	1225
高田畑質入証文之事（鎌嶋新田のうち23石余・代金300両）金子借主鎌島新田木村小左衛門、同人父同春樹、親類惣代証人助十郎／（奥書）（鎌島）新田庄屋并地仲満証人木村半之助→絹川十太郎殿	明治3年午閏10月	縦紙・1通	1221
質流譲り渡証文之事（鎌島新田1町5反歩・欵代金150両）鎌島新田地所譲主木村春樹、同親類証人助十郎／（奥書）（鎌島）新田庄屋半之助→子宝新田米屋長三郎殿	明治3年午閏10月	縦継紙・1通	1219
乍恐御請旁奉願上候御事（借財金分散滞りにつき）海西郡鎌島新田木村春樹→名古屋縣廳市井	（明治4年）辛未11月	半・1冊（4丁）	1305
乍恐御嘆願奉申上候（鎌嶋新田木村様へ貸金180両返済滞りにつき願）服岡新田忠七→元木村様御田地御締役蟹江旦那様、同断武田哲治郎様、副戸長木村半之助様	（明治5年）申11月	縦紙・1通／（5通一綴）	1432-1
乍恐御願奉申上候（兄忠七借入金300両返済滞りにつき名前附替願）忠平代忠蔵／（奥書）兄忠七→元木村旦那様御田地御締役蟹江旦那様、同断武田哲治郎様、副戸長木村半之助様	（明治5年）申11月	縦紙・1通	1432-2
乍恐御歎願奉申上候（鎌嶋木村旦那様へ取次金返済滞りにつき願）忠七／（奥書）兄忠七→元木村旦那様御田地御締役蟹江旦那様、同断武田哲治郎様、副戸長木村半之助様	（明治5年）申11月	縦紙・1通	1432-3

乍恐御願奉申上候 (兄忠七借入金300両返済滞りにつき名前附替願) 名前渡主忠平代忠藏 / (奥書) 兄忠七→元木村旦那様御田地御締役蟹江旦那様、同断武田哲治郎様、副戸長木村半之助様	明治5年申11月	縦紙・1通	1432-4
乍恐御解キ奉願上候 (鎌嶋木村様へ取次金) 服岡新田忠七→鎌嶋木村様借材御締役蟹江四郎様、同断武田哲治郎様	(明治6年) 酉1月20日	縦紙・1通	1432-5
永代譲渡申田地証文之事 (鎌嶋新田1石1斗8升3合余・銀代金35円5匁7分) 地所譲主海西郡鎌嶋新田木村忠右衛門、親族証人同郡同新田木村助重郎 / (奥書) (鎌嶋) 新田副戸長木村半之輔→浅井吉四郎殿、渡邊関三郎殿	明治6年酉3月	縦継紙・1通	1231
永代譲渡申田地証文之事 (鎌嶋新田1石1斗8合余・銀代金30円38銭) 地所譲主海西郡鎌嶋新田木村忠右衛門、親類証人同郡同新田木村助重郎 / (奥書) (鎌嶋) 新田副戸長木村半之輔→渡邊関三郎殿	明治6年酉3月	縦継紙・1通	1230
覚(金400両のうち渡し残金100両追って渡す旨・受取) 浅井吉四郎→助重郎様、彦四郎様、鎌嶋村木村小左衛門様、鎌嶋村木村忠右衛門様、加藤京之助様	辰12月22日・巳12月朔日・巳12月29日	横切継紙・1通 / (10点こより括り)	1456-1
(木村氏事件への配慮につき礼状) 山田九郎右衛門→武田雅君	4月17日	横切継紙・1通 / (虫損)	1456-2
(木村一件につき地所所有者・規模不明の旨など書状) 鎌嶋副戸長→武田哲次郎様	6月8日	横切継紙・1通 / (2点一折)	1456-3-1
口達 (木村家一件につき地主地券記載の旨など) 木村半之輔→武田哲次郎様→	6月9日	横切継紙・1通	1456-3-2
(今日金30円入手につき書状) 大河内竹右衛門→武田哲次郎 (大人) 様	2月8日	横切継紙・1通	1456-4
(金銭書付)		小切紙・1通	1456-5
(渡金・受取金書上)	(9月7日)	横折紙・1通	1456-6
(黒宮平八・大河内竹右衛門分地所不足金割合など金銭書上)		横折紙・1通	1456-7
記 (田畑反別金銭書上)		小切継紙・1通	1456-8
(黒宮証書過日配慮を受けるも他出無念の旨など書状) 春樹→武田哲次郎様	14日	横切継紙・1通	1456-9
覚 (金159両ト60銭2厘5毛内金140両差上げにつき) 絹川多十郎→武田哲四郎様	申10月晦日	小切継紙・1通 / (2通こより括り) / (虫損)	1456-10-1
覚 (鎌嶋一件預金200両受取につき) しじみ太郎→竹田様	申4月14日	小切継紙・1通	1456-10-2
(過多忙の詫などにつき書状) 春樹→武田様	6月11日	横切継紙・1通	1457
田畑并家財有物 (鎌嶋新田木村右衛門借財カ)		半・1冊<5丁>	1307
(鎌嶋新田木村忠右衛門など借入金関係書類綴)		半・一綴<25丁>	1296

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

家

領主

覚（庄屋役勤めにつき帯刀を許す旨申渡） 飯定右衛門→海西郡森津新田庄屋沢右衛門	天明6午年12月	横切紙・2通／（5点包紙入）	1060-1
（庄屋役勤めにつき帯刀に加え苗字も許す旨申渡） 飯定右衛門→森津新田庄屋武田沢右衛門	天明7年12月	横切紙・1通／（5点包紙入）	1060-2
（一代切苗字を許す旨申渡） →森津新田庄屋猪八	文化13年閏8月	横切紙・1通／（5点包紙入）	1060-5

公職

農事通信者

（農事通信関係書類）	（明治11～12年）	17点一綴	0843
年報（稲作農事景況届） 農事通信者海西郡森津村武田哲次郎→愛知縣令安場保和殿	明治12年1月16日	半・1冊<2丁>／（青色罫紙）	0843-1
受取書（本年上半年分年給66錢7厘） 元通信者勸業係附属武田哲次郎代白木惠太郎→愛知縣令安場保和殿	明治12年6月30日	縦紙・1通<2丁>／（青色罫紙）	0843-2
（第二係附属給料2円8錢3厘受取） 第六区森津新田武田哲次郎	明治11年6月19日	縦紙・1通<2丁>／（青色罫紙）	0843-3
農事景況届（朱筆訂正あり） 第六区農事通信者森津村武田哲次郎→愛知縣第二課御中	明治11年9月	縦紙・1通<2丁>／（青色罫紙）	0843-4
（報告書編纂につき稲作景況及び耕耘の順序など報告依頼） 愛知縣勸業課地産課→武田哲次郎殿	明治11年12月	半・1冊<2丁>／（赤色罫紙）	0843-5
（稲作耕耘の順序など書上） 農事通信者海西郡森津村武田哲次郎→愛知縣令安場保和殿	明治12年1月15日	縦紙・2通／（青色罫紙）	0843-6
農事景況届 第六区農事通信者森津村武田哲次郎→愛知縣令安場保和殿	明治11年5月19日	縦紙・1通	0843-7
（麦の品種・反稜書上） 第六区海西郡森津村武田哲次郎	明治11年9月	縦紙・1通／（青色罫紙）	0843-8
（明治11年稲作景況書不分明につき書直別紙提出依頼） 勸業課→武田哲次郎殿	1月28日	縦紙・1通／（赤色罫紙）	0843-9
請書（勸業課附属農事通信者を委嘱されるにつき） 海西郡森津村武田哲次郎→愛知縣令安場保和殿	明治12年1月23日	縦紙・1通／（青色罫紙）	0843-10
（勸業博覧会に穀物種子出品につき一部穂のまま貯蔵の旨通達ほか） 愛知縣第二課農事通信委員外→農事通信者第六区森津新田武田哲次郎殿外	（明治11年）	半・一綴（6点）／（赤・青色罫紙）	0843-11
退役願（眼病につき第二課附属農事通信者御免願） 尾張国海西郡森津村五十三番地武田哲次郎→愛知縣令安場保和殿	明治12年1月11日	縦紙・1通／（青色罫紙）	0843-12
（愛知県附属員旅費の件につき通知） 勸業課→海東海西郡長横田太一郎殿	明治12年1月27日	縦紙・1通／（青色罫紙）	0843-13
（耕耘の順序記載のための見本）		縦紙・1通／（赤	0843-14

(甲第貳拾七號農事通信仮規則ほか) 愛知縣令安場保和	明治11年2月7日	色罫紙 半(版本)・一綴(12丁)	0843-15
(勸業課附属農事通信者委嘱状) 愛知縣→武田哲次郎	明治12年1月22日	豎紙・1通	0843-16
(農事通信者兼務申付状) 愛知縣→第二課附属武田哲次郎	明治11年2月2日	豎紙・1通	0843-17
(勸業係付属在勤中年給支給につき当役所へ受取方申出られたき旨通知状) 海東・西郡役所(勸業係)→竹田哲次郎殿(印文「勸業係」)	(明治)12年6月25日	巻紙・1通	1484
(御辞金下付回送通知) 第六区会所→第二課附属武田哲次郎殿(角印印文「愛知県第六区会所印」、丸印印文「大鏡」)	2月5日	小切紙・1通	1491

農業改良米連合組合

森津外八ヶ村聯合改良米一卷		袋(4点入)	0825
(森津外八ヶ村聯合米拵并に俵拵改良組合発行米種・米主・米改掛の書入用紙)		小切紙・32通/(紐括)	0825-1
記(人別ごと改良米書上) 川原欠新田清水傳吉	明治21年	横切継紙・1通	0825-2
米拵及俵拵改良組合同規約案		半・1冊<3丁>/ (2冊紐括)/(青色罫紙)	0825-3-1
(明治20年1月8日開催の改良米聯合組合村の集會にて規約の内追加変更議決事項書上) 頭取佐藤國弘、副頭取武田誠一外16名		半・1冊<2丁>/ (青色罫紙)	0825-3-2
(改良米机紙300枚受取) 白木半七	2月26日	豎切紙・1通/(5通一綴)/(朱色罫紙)	0825-4-1
報告書(森津村米450俵検査済につき) 右米改掛白木半七→森津村外八ヶ村改良米組合武田誠一	明治22年2月26日	豎切紙・1通/(朱色罫紙)	0825-4-2
報告書(森津村米413俵検査済につき) 右米改掛白木半七→森津村外八ヶ村改良米組合武田誠一	明治21年4月12日	豎紙・1通/(朱色罫紙)	0825-4-3
証(森津村米外8ヶ村改良米中札500枚受取) 海西郡森津村米改掛白木半七→改良米頭取御中	明治22年1月19日	小切紙・1通	0825-4-4
証(森津村米外8ヶ村改良米中札200枚受取) 川原欠新田米掛清水傳吉→武田様	明治22年1月24日	小切紙・1通	0825-4-5

家 格

由 緒

由来書并帯刀一卷(控) (森津) 新田武田沢右衛門→郡御奉行所	天明3年卯正月	半・1冊<19丁>/ (2点一綴)	0904-1
覚(武田沢右衛門名字帯刀御免年次届) (森津) 新田武田沢右衛門→飯沼定右衛門様	天明3年卯9月	豎紙・1通	0904-2
由緒書上帳(控)	天明6年午5月	半・1冊<17丁>	0905
由緒書上帳(天明9年まで利用) 武田沢右衛門	天明8年申12月	半・1冊<15丁>	0906

由緒書上帳（控） →海西郡森津新田武田沢右衛門	天明9年酉正月日	半・1冊<15丁>	0907
乍恐奉願上候御事（代々森津・狐地新田共庄屋など勤めにつき御目見願下書） 海西郡森津新田庄屋武田沢右衛門→飯沼定右衛門様	（寛政元年）酉10月	縦紙・1通	1063
由緒書上帳（寛政元酉年控） 武田沢右衛門	（寛政7年）卯6月	半・1冊<16丁>	0908
由緒書 海西郡森津新田庄屋留木裁許役西海辺堤守方武田沢右衛門	文化8年未3月	半・1冊<18丁>	0909
由緒書 海西郡森津新田庄屋留木裁許役西海辺堤守方武田沢右衛門	文化8年未3月	半・1冊<19丁>	0910
由緒書 海西郡森津新田庄屋留木裁許役西海辺堤守方武田沢右衛門→岡勝右衛門様御陣屋	文化8年未3月	半・1冊<21丁>	0911
由緒書（役所へ差上控） 海西郡森津新田庄屋留木裁許役飛嶋新田西海辺堤守方武田沢右衛門→岡勝右衛門様御陣屋	文化8年未6月	半・1冊<24丁>	0912
由緒書 海西郡森津新田庄屋留木裁許役西海辺飛嶋新田堤守方武田沢右衛門→岡勝右衛門様御陣屋	文化11年戌正月	半・1冊<17丁>	0913
由緒書 海西郡森津新田庄屋留木裁許役西海辺堤守役武田沢右衛門→児玉貞一郎様御陣屋	天保15年辰3月	半・1冊<17丁>	0915
（飯沼方へ由緒書共早速差出すべき旨書状） 牧野官大夫→武田沢右衛門様	10月28日	横切紙・1通	1064

記 録

日 記

永代帳（万帳） 武田沢右衛門	寛政3年	横長美・1冊<46丁>	0539
午年日記（公私万日記）	弘化3年	半・1冊<130丁>	0701
明治三庚午日誌	明治3年	半・1冊<101丁>／ （虫損大）	0702
明治五壬申日誌	明治5年	半・1冊<93丁>	0703
二千五百三十三年明治六年日誌	明治6年	半・1冊<90丁>	0704
日記（第二号）	明治6年10月30日	半・1冊<10丁>／ （虫損）	0705
二千五百三十四年明治七年日記	明治7年	半・1冊<84丁>／ （虫損）	0706
明治九年日記	明治9年	半・1冊<101丁>／ （武田所用罨紙）	0707
明治十年日誌	明治10年	半・1冊<90丁>／ （青色罨紙）／ （虫損）	0708
明治十一年日記	明治11年	半・1冊<89丁>	0709
明治十二年日記	明治12年	半・1冊<85丁>／ （武田所用罨紙）	0710
明治十三年日記	明治13年	半・1冊<90丁>／ （罨紙）	0711

明治十四年日記	明治14年	半・1冊<77丁>/ (郵便)	0712
明治十五年日記	明治15年	半・1冊<75丁>/ (郵便)	0713
明治十六年附陰曆月日日誌	明治16年	半・1冊<87丁>/ (郵便)	0714
明治十七年附陰曆月日日誌 (第一号)	明治17年	半・1冊<72丁>/ (郵便)	0715
明治十八年附陰曆月日附日誌 (第二号)	明治18年	半・1冊<71丁>/ (郵便)	0716
明治十九年日誌	明治19年	半・1冊<72丁>/ (郵便)	0717
明治戊子廿一年附陰曆月日日誌 思誠堂	明治21年	半・1冊<82丁>/ (郵便)	0718
明治二十三年庚寅日誌	明治23年	半・1冊<69丁>/ (郵便) / (虫損)	0719

家 計

貨幣出納

第壹号貨幣出納帳 武田	自明治7年1月至8年2月	横長半・1冊<75 丁>	0288
第貳号貨幣出納帳	自明治8年3月至同9年4 月	横長半・1冊<72 丁>	0289
第参号貨幣出納帳	自明治9 (年) 5月至同 10年8月	横長半・1冊<71 丁>	0290
第四号貨幣出納帳	自明治10 (年) 9月至 同11年11月	横長半・1冊<59 丁>	0291
第六号貨幣出納帳	自明治12年12月至同14 年1月	横長半・1冊<62 丁>	0292
第七号貨幣出納帳	自明治14年2月至同15 年6月	横長半・1冊<62 丁>	0293
第八号貨幣出納帳	自明治15年7月至16年6 月	横長半・1冊<53 丁>	0294
第壹号金錢出納帳 武田	自明治16年7月1日至17 年6月	横長半・1冊<55 丁>	0295
第貳号之内第貳金錢出納帳	自明治17年7月至18年6 月	横長半・1冊<30 丁>	0296
別途貨幣出納簿	自明治19年7月至20年6 月	横長半・1冊<26 丁>	0297
第五号貨幣出納帳	自明治11 (年) 12月至 12年12月	横長半・1冊<58 丁>	0298
金銀出納簿 武田誠	自明治20年7月至21年1 月	横長半・1冊<38 丁>	0299
貨幣日記簿 武田	自明治20年至22年1月	横長半・1冊<36 丁>/ (反古紙)	0300

差引計算

第壹号差引計算帳 武田	自明治7年1月、8年5月マテ	横長半・1冊<80丁>	0284
第貳号差引計算帳	自明治8年6月至10年2月	横長半・1冊<66丁>	0285
第三号差引計算帳	(明治) 自10年3月至11年9月	横長半・1冊<49丁>	0286
第四号差引計算帳	自明治11年10月13年4月マテ	横長半・1冊<57丁>	0287

諸入費日記

諸入費日記 (月々出金記、所替金銭当座覚など)	(明治9年1月26日～同10年2月12日)	横長半・1冊<33丁>	0270
諸入費日記 (月々出金記、所替金銭当座覚など)	自明治10年2月13日至同11年2月1日	横長半・1冊<30丁>	0272
諸入費日記 (月々出金記、所替金銭当座覚など)	自明治11年2月2日至同12年2月21日	横長半・1冊<30丁>	0273
諸入費日記 (月々出金記、所替金銭当座覚など)	自明治12年1月22日至同13年2月9日	横長半・1冊<30丁>	0274
諸入費日記	自明治13年2月10日至同14年1月29日	横長半・1冊<31丁>	0275
第五号差引計算帳	自明治13年5月至同15年6月	横長半・1冊<54丁>	0276
諸入費日記	自明治14年1月30日至同15年2月17日	横長半・1冊<34丁>	0277
諸入費日記	自明治15(年)2月18日至同16年1月7日	横長半・1冊<32丁>	0278
諸入費日記	自明治16(年)1月8日至同17年	横長半・1冊<31丁>	0279
第壹号諸入費日記	自明治16年7月1日至同17年11月中旬	横長半・1冊<21丁>	0280
第貳号諸入費日記	自明治17年11月下旬至	横長半・1冊<34丁>	0281
第貳号之内第壹金銭出納日記帳簿	初明治17年7月終同18年3月下旬	横長半・1冊<16丁>	0282
諸入費日記	自明治16年7月至同20年6月	横長半・1冊<38丁>	0283

勝手諸事覚

勝手諸事覚帳 (雇人足・薬・杣・大工など) 武田	嘉永3年正月吉日	横長半・1冊<18丁>	0305
勝手諸事覚帳 武田	嘉永4年亥正月	横長半・1冊<15丁>	0306
勝手諸事覚帳 武田	嘉永5年子正月	横長半・1冊<7丁>	0307
勝手諸事覚帳 武田	嘉永6年丑正月	横長半・1冊<11丁>	0308

勝手諸事覚帳 武田	嘉永7年寅正月	丁> 横長半・1冊<15 丁>	0309
勝手諸事覚帳 武田	安政2年卯正月吉日	横長半・1冊<12 丁>	0437

人足帳

申年人足覚帳	嘉永元年	横長半・1冊<8丁>	0248
酉年人足帳	嘉永2年正月	横長半・1冊<20 丁>	0249
壬申年人足帳 (田面雇人足・田面日用・内日用・大工・杣)	(明治5年)	横長半・1冊<10 丁>	0246
明治七年諸人足帳 (日用・雇)	明治7年	横長半・1冊<11 丁>	0247
明治八年諸人足帳	明治8年	横長半・1冊<14 丁>/ (反古紙)	0250
明治九年人足帳	明治9年	横長半・1冊<6丁> / (反古紙)	0251
明治十年人足帳	明治10年	横長半・1冊<12 丁>/ (反古紙)	0252
人足帳	明治11年	横長半・1冊<8丁> / (反古紙)	0253
十二年卯人足帳	(明治) 12年	横長半・1冊<7丁> / (反古紙)	0254
十三年人足帳	(明治) 13年	横長半・1冊<7丁> / (反古紙)	0255
明治十四年中人足帳	明治14年	横長半・1冊<7丁> / (反古紙)	0256
十五年人足帳 (日用・雇人足帳)	(明治) 15年	横長半・1冊<13 丁>/ (反古紙) 横長半・1冊<5丁> / (反古紙)	0257 0271

奉公人

奉公人請状証券 (海西郡六条新田大野とも長男米次郎奉公につき) 右請主大野とも、本人同米次郎、保証人栄九郎、森津村世話人飯田伴平→森津村武田鏡次郎殿	明治19年戌旧12月26日	縦紙・1通/ (2通 一折)	1280-1
証 (明治20年分給金の内金8円受取) 大野米次郎→武田鏡次郎殿	明治20年1月21日	小切紙・1通	1280-2

米藏出入

十三年米藏出入帳	(明治) 13年	横長半・1冊<9丁>	0258
十四年米藏出入帳	(明治) 14年	横長半・1冊<10 丁>	0259
十六年米藏出入帳	(明治) 16年	横長半・1冊<10 丁>	0260

十七年米藏出入帳	(明治) 17年	横長半・1冊<12丁>	0261
明治十八年度米藏出入帳	自明治18年7月第1日至同19年	横長半・1冊<13丁>	0262
明治十九年度米藏出入帳	明治19年	横長半・1冊<13丁>	0263
金銭支払			
寅暮より卯暮迄私用万入用帳 森津新田沢右衛門	宝暦8年12月30日	横長半・1冊<13丁>	0424
寅年諸払覚帳	文政13年	横長半・1冊<5丁> ／(4冊一綴)	0422-1
子年諸支払		横長半・1冊(5丁)	0422-2
辰年諸払覚		横長半・1冊<3丁>	0422-3
卯年諸払覚帳	天保2年	横長半・1冊<5丁>	0422-4
貨殖帳	元治元年子10月	横半半折・1冊<10丁>	0801
(品代支払受取)〔袋書には「明治廿二年已前支払書付」とあり〕	(明治10～17年)	袋(43点入)	1279
記(七寸竹26銭請求) 嘉左衛門(愛知森津・竹屋嘉左衛門)→武田様	3月28日	巻紙・1通	1279-1
記(丸石壺艘代2円余請求) 嘉左衛門(愛知森津・竹屋嘉左衛門)→武田様	3月	小切紙・1通	1279-2
記(八寸竹ほか2円余請求) 村嘉左衛門(愛知森津・竹屋嘉左衛門)→村武田様	巳旧7月	巻紙・1通	1279-3
記(うなぎ代ほか勘定) 中山助三郎→森津村武田様	辰7月	横折紙・1通	1279-4
記(丸瓦ほか代内金2円受取) 六条瓦屋平三郎(尾州六条・瓦平)→もりず大工藤重郎様	(明治)12年卯7月11日	巻紙・1通	1279-5
覚(酒ほか代金2円余受取) 美誠→武田様	午9月1日	巻紙・1通	1279-6
記(明治13年分宅地米・埋田米の内蔵入につき) 佐野→武田哲次郎殿	明治14年2月21日	巻紙・1通	1279-7
記(代金1銭余受取) 村新吉→村武田様	巳7月	巻紙・1通	1279-8
記(32銭受取) →九み殿	月日	小切紙・1通	1279-9
記(運賃ほか2円余受取) 幸助→武田様	11月24日	横切紙・1通	1279-10
記(丸茶ほか代金30銭受取) 丸茶や(名古屋区本町二丁目・丸屋善八)→武田様	11月21日	横切紙・1通	1279-11
記(なわほか1円余受取) 角屋幸助→森津武田様	未3月	横切紙・1通	1279-12
(明治13年分人足人数・代金書上) 藤十郎→武田様	(明治)17年4月	巻紙・1通	1279-13
(金銭勘定) →久太郎殿	8月27日	小切紙・1通	1279-14
記(蓮根代書上) 八百屋宗左衛門→上	4月	巻紙・1通	1279-15
記(上20人前ほか代金98銭5厘受取) まつや周吉→武田様	4月21日	小切紙・1通	1279-16

記(つき麦1俵代金1円余受取) 米藤→武田様	4月21日	小切紙・1通	1279-17
記(なわほか代金内6円余受取) 角屋幸助(平島・角幸) →森津武田様	未7月	巻紙・1通	1279-18
記(代金39銭3厘受取) あつまや→上		巻紙・1通	1279-19
覚(こもほか代金1円余受取) た々みや安兵衛→武田 様		巻紙・1通	1279-20
記(代金38銭8厘渡し) 油屋仙助→上	11月24日	横切紙・1通	1279-21
記(炭代金30銭余受取) 久右衛門→上	4月20日	小切紙・1通	1279-22
記(米7俵受取) 鯛浦郎角屋秀次郎→武田様	明治15年午5月29日	小切紙・1通	1279-23
記(樽代ほか5円余受取) 八鳥店(尾張海西屋島新田・ 八鳥新田)→森津年番御中	午9月25日	横切紙・1通	1279-24
記(八寸竹ほか2円余請求) 嘉左衛門(愛知森津嘉左 衛門)→武田様	己旧3月5日	小切紙・1通	1279-25
記(90銭書上) 芝井円蔵→竹田様	旧2月10日	小切紙・1通	1279-26
記(酒ほか代金1円余受取) 角庄(イセ塩濱・勿庄・今 村)→上様	2月16日	巻紙・1通	1279-27
記(杉尺角代金内金差引13銭3厘書上) 六上瓦屋平三 郎→森津武田様	辰12月	小切紙・1通	1279-28
覚(村瀬様より代金85銭6厘受取) 万屋貞助→森津武 田様	午12月	小切紙・1通	1279-29
(たたまほか代金残り16銭受取) 傳吉→武田様	明治13年	横切紙・1通	1279-30
記(豆腐代金ほか15銭8厘書上) 久平→武田様	(明治)10年	巻紙・1通	1279-31
記(豆腐ほか代金3銭書上) 久平→武田様	明治11年	小切紙・1通	1279-32
記(綿実9銭余渡し) 鍋屋喜治郎→森津村忠五郎様	1月28日	小切紙・1通	1279-33
覚(代金勘定済み) 円蔵→竹田様		小切紙・1通	1279-34
記(米18俵代金より内金差引91銭貸し) 二井与吉→ 佐藤民助様	3月25日	横切紙・1通	1279-35
記(木綿代金35銭受取) 鳥羽屋藤七→上	1月30日	巻紙・1通	1279-36
記(豆腐代金ほか15銭余書上) たけや久平→武田様	丑12月	巻紙・1通	1279-37
記(かきほか代金32銭余受取) みや魚半→足立様御浦 様	辰12月	小切紙・1通	1279-38
記(米代金勘定済み) 米屋→茂狸津武田殿	7月3日	巻紙・1通	1279-39
記(糸代ほか35銭余受取) 儀兵衛→森津竹田様	10月日	巻紙・1通	1279-40
記(糸代ほか60銭余受取) 儀兵衛→森津竹田様	3月日	小紙・1通	1279-41
記(米代金315円余受取) 宇八→武田様	7月6日	巻紙・1通	1279-42
記(代金50銭余受取) いとう甚助→武田沢右衛門殿	9月28日	横切紙・1通	1279-43
米金貸借上受取確証	(明治13~25年)	袋(42点入)	1278
證(亡兄遺囑金30円受取) 武田禮吉→武田誠一殿	明治17年4月30日	縦紙・1通/(青 色罫紙)	1278-1

記（亡兄遺囑金70円受取） 武田禮吉→武田誠一殿	明治17年5月10日	縦紙・1通	1278-2
記（金5円受取） 山田しづ→武田おくみ殿	6月20日	小切紙・1通	1278-3
記（金5円受取） 山田しづ→武田様		小切紙・1通	1278-4
仮請取書（亡兄遺囑金250円受取につき請書返却の件） 浜一色郡八十八番地武田禮吉→武田誠一殿	明治19年5月2日	縦紙・1通	1278-5
證（亡兄遺囑金中金150円受取） 武田禮吉→武田誠一殿	明治18年5月4日	縦紙・1通	1278-6
（金2000円の内1000円受取につき書状） 服部信成→武田哲次郎君	（明治）14年1月14日	横切紙・1通（封筒入）／（21点こより括り）	1278-7-1
（明治18年度利子金4円受取につき書状） 伊藤内中島茂兵衛（宮町2丁目）→武田誠一様	（明治）19年5月14日	横切紙・1通（封筒入）	1278-7-2
地券書換延期届（下書カ）		便箋・1通（便箋紙）	1278-7-3
証（金10円落手につき） 横地竜吉→武田様	9月14日	巻紙・1通	1278-7-4
（米5俵受取につき礼状） やまだしづ→武田様		横切紙・1通	1278-7-5
記（米5俵受取） 山田光三郎→武田様	2月2日	縦紙・1通／（青色罫紙）	1278-7-6
記（金5円受取） 山田光三郎→武田様	12月29日	小切紙・1通	1278-7-7
記（金5円受取） 山田光三郎→武田様	6月30日	小切紙・1通	1278-7-8
記（明治19年度分利子金4円受取） 伊藤中島茂兵衛→武田様	明治20年11月30日	小切紙・1通	1278-7-9
記（明治20年度分利子金4円受取） 伊藤代中島茂兵衛→武田様	明治21年4月29日	小切紙・1通／（青色罫紙）	1278-7-10
記（病院長参上の御森津行船賃ほか諸掛受取） 二井与吉→武田哲次郎様	明治17年6月30日	巻紙・1通	1278-7-11
記（米130俵代金より差引金22銭5厘受取） 二井与吉→武田哲次郎様	9月28日	横切紙・1通／（青色罫紙）	1278-7-12
（取替金160円受取并に利子の件につき書状） 足立→佐藤尊君	10月23日	横切紙・1通	1278-7-13
記（明治16年度分利子金4円受取） 伊藤金兵衛、茂兵衛→武田様	（明治）17年4月8日	小切紙・1通	1278-7-14
記（明治14年取替金500円より差引残金53円余受取） 狐地新田荒尾長治郎→森津新田武田鉄次郎様	明治14年12月28日	横切紙・1通	1278-7-15
記（操出新田諸掛差引金56銭差上） 足立→武田君	（明治）13年3月	巻紙・1通／（青色罫紙）	1278-7-16
記（元金300円・利子金15円受取） 足立→武田様	（明治）13年5月26日	巻紙・1通	1278-7-17
記（明治13年分利子金180円受取） 服部信成→武田哲次郎殿	（明治）14年1月23日	巻紙・1通	1278-7-18
記（期限までに米代54銭勘定する旨） 稻吉新田花井慶九郎→武田哲治郎様	明治11年寅9月6日	小切紙・1通	1278-7-19
（学材預かり金利息20円差出、預かり学材金証書を暴徒侵入の節焼失につき断りの旨書状） 元戸長伊藤正→武田哲次郎殿	明治10年1月5日	横切紙・縦紙・2通（封筒入）	1278-7-20

(操出新田売却につき代金の内700円受取礼状) 与吉→武田誠一様	二井	6月10日	横切紙・1通(封筒入) / (青色罫紙)	1278-7-21
証(取替金証券返却証控) ノ免町小貝謙三郎殿	森津村武田哲次郎→熱田木	明治16年4月5日	縦紙・1通	1278-8
記(金子入書状一通受取)	小貝謙三郎殿→武田誠一様	(明治25年)8月2日	小切紙・1通	1278-9
(損米の件につき嘆願状) 三郎→海西郡森津邨武田清一殿	名古屋区長島壱町目山田光	4月4日	縦紙・2通(封筒入) / (青色罫紙)	1278-10
証(狐地納り米50俵売渡証書紛失につき) 字八代中山希三郎→大藤村武田誠一殿	米屋加藤	明治24年12月11日	縦紙・1通 / (青色罫紙)	1278-11
記(米5俵受取) 制作販売業守隨鐘三郎商店→武田様	尾州名古屋□□町納屋橋東詰南側漆器	第1月17日	小切紙・1通	1278-12
芝井助十郎初貸金一卷		明治15・6年	袋(7点入)	1278-13
(一同貸金の儀は帰宅の上佐久間宅へ参り相談の件書状) 恵太郎→佐久間殿		5月10日	横切縦紙・1通	1278-13-1
(助十郎貸金一件につき書状)	佐久間→白木先生	5月10日	横切縦紙・1通	1278-13-2
(返済期限遵守の旨)	右戸長		小切紙・1通	1278-13-3
受取証(鈴木助十郎始め4名貸金50円の内5円受取) 武田哲次郎亡相続人武田鏡次郎代理佐藤民輔→芝井新田戸長佐久間代輔殿		明治16年7月26日	縦紙・1通 / (青色罫紙)	1278-13-4
記(鈴木助十郎始め4名へ貸金50円の内3円受取) 森津村武田哲次郎代理佐藤民輔→芝井新田戸長佐久間代輔殿		明治16年5月25日	横折紙・1通	1278-13-5
代人届(鈴木助十郎貸金事件で出頭の際に佐久間代輔を代人としてほしい旨) 愛知縣海西郡森津村武田鏡次郎		明治16年7月25日	縦紙・1通 / (青色罫紙)	1278-13-6
口上(佐久間氏より打ち合せの件など書状、貸金に関する佐久間氏書簡とも) 恵太郎→武田鏡次郎殿		3月8日	縦切紙・巻紙・2通(封筒入)	1278-13-7
明治十五年後季拂書付		明治15年	袋(23点入)	1282
(森津引方の儀につき書状) 様	塚本金兵衛→武田哲太郎	1月12日	巻紙・1通	1282-1
(領収書綴)			巻紙など・11通一綴	1282-2
記(人足覚)	藤十郎→武田様	未2月11日	巻紙・1通	1282-3
収領之證(金8錢2厘受取) 武田様	名古屋鹽町表善社→新柳町	明治14年6月日	小切紙・1通	1282-4
武田人足覚帳	佐藤半輔	明治15年午1月吉日	横半半折・1冊<10丁>	1282-5
人足大覚恵	利八→武田様	明治15年午正月吉日	横半半折・1冊<10丁>	1282-6
(森津下用引方の儀につき書状) (日別人名ほか書上覚)	塚本金兵衛→武田様	1月28日	巻紙・1通	1282-7
記(玄米58俵受取) 治郎様	佐々部茂右衛門(桑名)→武田哲	1月12日	小切紙・1通	1282-8
記(品物代金86錢余書上)	角屋幸助→森津武田様	午12月	巻紙・1通	1282-9
			巻紙・1通	1282-10

家／家計／金銭支払

(茶代金6銭書上) 赤江や甚松→森津武田様	午12月	小切紙・1通	1282-11
記(金2円受取) 村瀬厚美薬室→武田様	(明治) 15年12月	横切紙・1通	1282-12
覚(50銭書上) 新□川→森す竹太様	午10月	巻紙・1通	1282-13
(元金利子差引過上分返却につき書状) 勢州桑名二井 与吉→武田哲次郎様	1月31日	巻紙・1通(包紙入)	1282-14
記(代金覚)		巻紙・1通	1282-15
(鎌島新田内貴家下作名義の件につき書状) 武田→ 西村君	2月18日	巻紙・1通	1282-16
記(金納分・利子分など受取) 塚本金兵衛→武田様	6月7日	小切紙・1通/ (罫紙)	1282-17
記(品物代金内金1円受取) 笹屋惣助→荒尾長次郎様	12月20日	横切紙・1通	1282-18
(おはつ預り金覚ほか)		横切紙・1通	1282-19
記(氷袋ほか代金1円余受取) 竹内伊右衛門→竹田様	(明治) 14年11月22日	小切紙・1通	1282-20
(板代ほか代金差引覚)		小切紙・1通	1282-21
記(代金20銭受取) 稲吉武兵衛→森津武田様	8月13日	小切紙・1通	1282-22
人足大宝恵 森津久太郎	明治12年午(明治15カ) 7月日	横長半・1冊<4丁>	1282-23
(明治15年後季払い書付)		20点こより括り	1283
記(南京小紋ほか代金36銭8厘受取) 袋屋太助、八十 六→竹田様	午12月	横切紙・1通/(9 点こより括り)	1283-1-1
記(代金10銭受取) 村正→モリツ竹田様	午12月	小切紙・1通	1283-1-2
記(菓子代金5円43銭受取) 中野茶宝(隆輔)→武田 哲次郎様	12月31日	横切紙・1通	1283-1-3
(謝儀として金3円余受取につき礼状) 村瀬多→武田様	12月31日	横切紙・1通	1283-1-4
おほへ(人足人数・賃金受取) さくま→竹た殿	12月	巻紙・1通	1283-1-5
記(服茶代金5円43銭書上) 中野茶宝→武田哲次郎様	12月	小切紙・1通	1283-1-6
記(代金2円36銭受取) 竹内伊右衛門(名古屋本町)→ 森津竹田様	明治15年12月	小切紙・1通	1283-1-7
記(代金20銭2厘受取) せき→竹田殿	12月	横切紙・1通	1283-1-8
記(20銭書上) 小島や忠助→武田様	12月	小切紙・1通	1283-1-9
記(品物代金35銭9厘受取) 袋屋太助→堀切武田様	7月31日	巻紙・1通	1283-2
記(ふし米沢裕羽織ほか代金47銭8厘受取) 駒屋長 兵衛→武田様	11月29日	巻紙・1通	1283-3
覚(すみ代金37銭5厘受取) かぶら屋→竹田様	8月	小切紙・1通	1283-4
預り金証券(金731円50銭) 預り主武田哲次郎→足立 太郎曾殿	明治15年1月1日	縦紙・1通	1283-5
(金6円送りにつき渡してくれるよう願ほか書状) 堀 田理右衛門→神谷幸七様	12月14日	縦紙・1通/(罫 紙)	1283-6
記(肴・酒・人力車代より香典ほか差引覚)		巻紙・1通	1283-7

記 (服茶代金2円63銭書上) 中野茶宝→武田様	6月	小切紙・1通	1283-8
記 (せん茶代金ほか98銭4厘受取) 水口軒→竹田様 (代金勘定覚)	8月30日	巻紙・1通 横折紙・1通	1283-9 1283-10
記 (代金6円35銭受取) 大和屋儀平→森津竹田様	已12月	巻紙・1通	1283-11
記 (代金40銭受取) 指物町源兵衛→足立様	已8月1日	小切紙・1通	1283-12
記 (差引代金50銭受取) 笹屋惣助→荒尾長治郎様	1月11日	巻紙・1通	1283-13
記 (小倉男帯ほか代金14銭8厘受取) 袋屋太助→武田様	午3月	巻紙・1通	1283-14
記 (黒八丈ほか代金31円余受取) いとう店彦八、甚助 →武田沢右衛門様	12月	巻紙・1通	1283-15
記 (白木綿代金19銭受取) 袋屋太助→武田様	午1月	小切紙・1通	1283-16
覚 (代金17銭余受取) いとう栄七→武田沢右衛門様	3月	横切紙・1通	1283-17
記 (地券証36枚証印税1円8銭余受取) 三稲外操出新 田戸長山田慶輔→武田哲次郎殿	明治14年11月22日	堅切紙・1通/ (青色郵紙)	1283-18
記 (肝油ほか代金1円16銭受取) 小島屋忠助→武田様	12月	横切紙・1通/ (10点こより括り)	1283-19-1
記 (差引代金1円30銭受取) 長江軒薬種→武田様	已12月	小切紙・1通	1283-19-2
記 (代金2円18銭受取) 十助→武田様	已12月	巻紙・1通	1283-19-3
記 (謝儀として金30銭受取礼状) 村瀬多→武田様	12月	横切紙・1通	1283-19-4
おほへ (芋ほか代金書上) さくま→武た殿	12月	巻紙・1通	1283-19-5
記 (たばはさみほか代金20銭受取) 勢き→も印竹田 様	12月	横切紙・1通	1283-19-6
覚 (代金11銭8厘受取) むら田→武田様	已12月	巻紙・1通	1283-19-7
(金506円25銭の件につき) 謹之助→武田様 (利息ほか勘定覚)	12月30日	横切紙・1通 小切紙・1通	1283-19-8 1283-19-9
記 (代金2円18銭8厘受取) 宮魚半→武田様	已12月	横長半・1冊<3丁>	1283-19-10
覚 (代金25銭受取) 善兵衛→竹田様	已6月	小切紙・1通/ (5点こより括り)	1283-20-1
おほへ (人足人数・賃金) さくま→武た殿	6月	横切紙・1通	1283-20-2
記 (びん付ほか代金21銭9厘受取) せき→森印武田様	6月	巻紙・1通	1283-20-3
記 (謝儀として金1円50銭受取礼状) 村瀬多→武田哲 二郎様	6月30日	横切紙・1通	1283-20-4
記 (代金3円44銭余受取) みや魚半→堀切竹田様	已6月	横長半・1冊<3丁>	1283-20-5
萬御通 (豆腐など) 若サ屋精輔→武田様	明治16年1月吉日	横半半折・1冊<8 丁>/ (2冊一綴)	1277-1
萬之通 (紙屋) せいほや保兵衛→武田沢右衛門様	明治16年未1月吉日	横半半折・1冊<7 丁>	1277-2
拾六年分受取書類	(明治16未年)	袋 (34点入)	0837
記 (品物代金受取) 甚松→森武田様	(明治16年) 未8月	巻紙・1通	0837-1

家／家計／金銭支払

記（品物代金受取） かじや源七→竹田様	(明治16年) 未7月	小切紙・1通	0837-2
記（上粉木代金64銭受取） 吹屋佐平→上	8月12日	巻紙・1通	0837-3
記（品物代金55銭7厘受取） 桑名鍛冶町萬金物類賣捌所鍛冶屋治助→上	8月14日	小切紙・1通	0837-4
記（品物代金1円24銭余受取） 魚屋甚四郎→武田様	10月10日	巻紙・1通	0837-5
記（品物代金1円余受取） 本屋→久三郎	1月25日	巻紙・1通	0837-6
記（品物代金75銭受取） 油や多三郎→上	旧12月24日	小切紙・1通	0837-7
記（みそほか代金22銭受取） 若清→武田様	(明治16年) 未12月23日	巻紙・1通	0837-8
記（人足代2円余受取） 大工善八→武田様	(明治16年) 未12月	小切紙・1通	0837-9
記（呉服代金1円78銭余受取） いたう店基助→武田沢右衛門様	12月20日	巻紙・1通	0837-10
覚（酒代など勘定） 半三郎→武田様	(明治16年) 未9月	巻紙・1通	0837-11
（金銭支払方覚）（前欠） 林三郎→武田様	9月10日	小切紙・1通	0837-12
記（まんじゅうなど代金勘定）		巻紙・1通	0837-13
記（麦代金1円余受取） 近江金右衛門→上	10月26日	小切紙・1通	0837-14
覚（酒代など22銭余受取） 半三郎→武田様	3月21日	巻紙・1通	0837-15
覚（直し代38銭余受取） 忠五郎→武田様		巻紙・1通	0837-16
記（石灰ほか代金2円余受取） 田嶋屋八十七→武田様	8月31日	巻紙・1通	0837-17
記（金2円70銭ほか受納） 村瀬厚美、薬宝→武田様	8月14日	巻紙（版）・1通	0837-18
記（石灰など1円80銭受取） 田嶋屋八十七→武田様	8月8日	巻紙・1通	0837-19
覚（品物代金11銭受取） 孫吉→竹田殿	(明治16年) 未12月	巻紙・1通	0837-20
記（品物代金55銭余受取） 平島酒清→上	1月26日	巻紙・1通	0837-21
記（品物代金37銭受取） 名古屋住吉町魚屋作二	11月□日	小切紙・1通	0837-22
記（人足代など勘定） 茂三郎→武田様	(明治16年) 未12月	巻紙・1通／（虫損）	0837-23
キ（品物代金20銭受取） 菱屋弥兵衛→上	9月24日	巻紙・1通	0837-24
記（薬代金勘定） →武田様	12月17日	巻紙・1通／（25点こより一括り）	0837-25-1
記（品物代金91銭受取） 魚屋甚四郎→もり武田様	(明治16年) 未8月	巻紙・1通	0837-25-2
記（人足代50銭受取） むら新吉→村武田様	(明治16年) 未7月	巻紙・1通	0837-25-3
記（人足代・桧材など代金10円余受取） 竹や嘉左衛門（愛知森津竹田嘉左衛門）→武田様	(明治16年) 未8月	巻紙・1通	0837-25-4
記（代金勘定済） 釜屋角八→森津武田様	8月18日	巻紙・1通	0837-25-5
記（代金受取） 米屋→円右衛門様	8月17日	巻紙・1通	0837-25-6
記（代金87銭受取） 田嶋や八十七→上	8月18日	巻紙・1通	0837-25-7
記（板代金1円余受取） 問蔵→竹田様	7月18日	巻紙・1通	0837-25-8
仮送り（白炭2俵受取及び運賃渡し） 万屋貞助（濃州	11月29日	巻紙・1通／（貼	0837-25-9

沢田) →尾州森津村武田様		紙あり)	
覚 (品物代金2円余受取) 美代→森津村武田様	未12月14日	巻紙・1通	0837-25-10
記 (代金円受取) 大新→森津竹田様	12月17日	巻紙・1通	0837-25-11
記 (あづきほか代金14銭) 金右衛門→上	7月4日	巻紙・1通	0837-25-12
記 (麦3俵代金1円余済) 宇八→武田様	5月	巻紙・1通	0837-25-13
記 (代金勘定) →円右衛門殿	5月17日	巻紙・1通	0837-25-14
覚 (米3俵代金受取) 宇八		巻紙・1通	0837-25-15
記 (代金勘定) 小島宿安太郎→中野隆助様	3月19日	巻紙・1通	0837-25-16
記 (品物代金24銭余受取) →上様	5月9日	巻紙・1通	0837-25-17
記 (呉服代金25円15銭受取) いとう音十良 (尾州名古屋京町通) →武田様	4月30日	横切継紙・1通	0837-25-18
記 (やかん直し代ほか75銭受取) 長江軒薬種→竹田様	5月5日	巻紙・1通	0837-25-19
記 (蠟燭代金1円84銭余受取) 井筒屋善左衛門 (名古屋傳馬町六丁目) →武田沢右衛門様	未5月5日	小切紙・1通	0837-25-20
記 (品物代金12銭2厘受取) 袋屋太助→竹田様	2月	小切紙・1通	0837-25-21
諸仕払ノ証綴 狐地荒尾長二郎外→武田様	(明治16年ほか)	巻紙・8通一綴	0837-25-22
記 (代金勘定) 米屋→武田殿	7月12日	小切紙・1通	0837-25-23
(森津武田分金85銭余受取) 万屋貞助→円右衛門様	未11月27日	小切紙・1通	0837-25-24
覚 (代金14銭4厘受取) 福山屋喜七→上	11月29日	巻紙・1通	0837-25-25
覚 (酒代金勘定) 半三郎→武田様	未極月	巻紙・1通	0837-26
記 (手桶ほか代金11銭余受取) 桶米→武田様	12月	巻紙・1通	0837-27
記 (卯年分桶代金92銭余受取) 桶屋浅右衛門→武田様	未12月	巻紙・1通	0837-28
記 (海老代金6銭5厘受取) 赤甚松→森武田様	未12月	小切紙・1通	0837-29
記 (桑名舟乗代ほか45銭五厘受取) 大工才次郎→武田様	未12月	巻紙・1通	0837-30
記 (平くわほか代金26銭余受取) かじや源七→竹田様	未12月	巻紙・1通	0837-31
記 (品物代金16銭受取) 魚屋甚四郎→もり武田様	未12月	巻紙・1通	0837-32
覚 (たまごほか代金50銭受取) 角屋幸助→森津武田様	未旧12月	巻紙・1通	0837-33
記 (木挽人足代ほか4円余受取) 竹屋嘉左衛門 (愛知森津) →武田様	未旧12月	巻紙・1通	0837-34
記 (人足人数・代金書上) 藤十郎→武田様	辰旧12月	巻紙・1通/ (4点こより括り)	1281-1
覚 (備後表ほか代金5円受取) 田利→武田様	5月22日	巻紙・1通	1281-2
記 (地券書換証印税90銭4厘受取) 佐藤 (海西郡森津村役場印) →武田様	(明治) 17年4月1日	堅切紙 (青色野紙)・1通	1281-3
(米・茶・酒代など領収書綴)	(明治21年カ)	小紙・23通一綴	1281-4
廿二年度支拂書付	明治22年	袋 (5点・4綴入)	0836
万之通 (紙屋) 海東郡津島稲垣保兵衛 (津島製保屋) →	明治22年2月～明治23	横半半折・1冊<10	0836-1-1

武田沢右衛門様	年1月	丁>/ (4点一綴)	
肴御通 魚屋甚四郎→武田様	明治22年2月1日～明治23年1月	横半半折・1冊<8丁>	0836-1-2
染物通 竹屋嘉左衛門→武田様	明治22年2月	横半半折・1冊<4丁>	0836-1-3
(諸品代金等受取証) → (武田様)		小切紙・13点一綴	0836-1-4
キ (代金受取) 藤清石油店 (名古屋木挽町傳馬橋南) → 守随様	1月21日	小切紙・1通	0836-2
記 (諸品代金受取) 前ヶ須驛加藤清兵衛→森津新田武田様	(明治) 23年3月28日	堅切紙・1通 / (青色罫紙)	0836-3
証 (扶桑代受取) 蟹江町文照堂→武田様	6月11日	小紙・1通	0836-4
記 (諸品代金受取) 前ヶ須驛加藤清兵衛→森津新田武田様	1月28日	堅切紙・1通 / (青色罫紙)	0836-5
記 (2月分ほか金受取) 前ヶ須驛加藤清兵衛→森津新田武田様	(明治) 23年2月27日	堅切紙・1通 / (青色罫紙)	0836-6
記 (諸品代金受取) 前ヶ須驛加藤清兵衛→森津新田武田様	明治22年1月26日	藁半紙・1通 / (7点一綴) / (青色罫紙)	0836-7-1
記 (諸品代金受取) 桶屋米次→武田様	丑7月	巻紙・1通	0836-7-2
(武田家宛領収証綴)	(明治21年)	巻紙・12通一綴	0836-7-3
記 (品代金受取) 竹屋→武田様	丑旧7月	小切紙・1通	0836-7-4
記 (品代金受取) →森津村武田誠一様	丑旧7月	小切紙・1通	0836-7-5
記 (新聞代金受取) 前ヶ須驛加藤清兵衛→森津新田武田様	5月28日	堅切紙・1通 / (青色罫紙)	0836-7-6
記 (新聞代金受取) 前ヶ須驛加藤清兵衛→森津新田武田様	7月29日	堅切紙・1通 / (青色罫紙)	0836-7-7
記 (米代受取) 宇八→武田様	4月17日	巻紙・1通 / (40点こより一括り)	0836-8-1
記 (大豆代受取) 米屋万兵衛→上様		巻紙・1通 / (紫色紙)	0836-8-2
口上 (品代受取) 久右衛門		巻紙・1通	0836-8-3
記 (戸井竹ほか代受取) 竹や嘉左衛門→武田様	申旧12月30日	巻紙・1通	0836-8-4
記 (平くわ先代受取) かドや源七→竹田様	申12月	小切紙・1通	0836-8-5
記 (かつを・ぶりほか代受取) さかなや甚四郎→森武田様	申12月	小切紙・1通	0836-8-6
覚 (品代金書上) □□□七→上様	9月18日	小切紙・1通	0836-8-7
記 (手をけほか代金受取) 桶米→武田様	申12月	小切紙・1通	0836-8-8
記 (金銭書上) 善川→武田様	申12月	小切紙・1通	0836-8-9
証 (寄付金5円受取) 稲元新田説教場掛員→森津新田武田様、狐地新田荒尾様 (差出印は受取印と同印、印文「海西郡稲元新田真宗東大谷派説教場」)	明治19年1月8日	堅紙・1通	0836-8-10
記 (米代金ほか書上) →武田殿	9月24日	小切紙・1通	0836-8-11

記（銀時計代受取） 後藤万造→守随様	明治19年8月17日	小紙・1通	0836-8-12
証（米代勘定済） 米藤→久四郎様	8月27日	小切紙・1通	0836-8-13
記（皿付ほか代金受取） 角屋幸助→森津武田様	明治19年戌1月	小切紙・1通	0836-8-14
記（清酒1本代19銭受取） 平島新田酒造屋→森津武田様	戌1月	小切紙・1通	0836-8-15
記（板代書上） 久助→武田様	11月日	小切紙・1通	0836-8-16
記（朝鮮事変戦死者法会金10銭受納） 海東西郡発起者→森津新田武田鏡治郎殿	(明治) 18年10月20日	小切紙・1通	0836-8-17
記（杉皮ほか代受取） 三之丸小出材木屋→森津村久四郎殿（差出印は受取印と同印、印文「桑名三之丸小出兵治郎材木課之印」）	(明治) 18年9月24日	小切紙・1通	0836-8-18
記（紬代・寸法直し代書上） いとう店廣助→武田沢右衛門様	3月	小切紙・1通	0836-8-19
記（半額金差送りにつき）	2月11日	小切紙・1通	0836-8-20
記（つな・はしなど代金受取） 孫吉→武田様	未12月	小切紙・1通	0836-8-21
記（大豆代受取） 近江や久左衛門→上	3月2日	小切紙・1通	0836-8-22
記（17年分金4円受取） 伊藤茂兵衛→武田誠一様（受取印「名護屋茶屋町尾州伊藤」）	(明治) 18年2月22日	小切紙・1通	0836-8-23
記（米代勘定済） →武田様	6月17日	小切紙・1通	0836-8-24
記（金銭受取） 鎌倉太郎→上	10月27日	小切紙・1通	0836-8-25
証（人数金銭書上） モリス新蔵→村武田様	申10月	小切紙・1通	0836-8-26
口上（つななど品代受取） →久太郎様		小切紙・1通	0836-8-27
証（品代受取） 米屋→武田殿	8月15日	巻紙・1通	0836-8-28
証（炭代受取） 薪屋→上	3月3日	巻紙・1通／（紫色紙）	0836-8-29
（品代受取） →久兵衛様	6月27日	巻紙・1通	0836-8-30
（品代受取） →久太郎様	6月22日	巻紙・1通	0836-8-31
（品代受取） →久太郎様	6月22日	巻紙・1通	0836-8-32
（竹代受取書） ひしや清助→上様		巻紙・1通／（紫色紙）	0836-8-33
（品代書上） →久太郎様	6月19日	巻紙・1通	0836-8-34
証（麦代受取） 米屋久左衛門→久太郎様	10月27日	巻紙・1通	0836-8-35
記（米代勘定済） 米屋→武田様	7月15日	巻紙・1通	0836-8-36
記（水見舞志として塩漬魚収納） 桑名別口台所→尾州森津村武田清市殿	酉7月14日	小切紙・1通	0836-8-37
記（なわ代書上） 角屋幸助→森津武田様	酉2月	小切紙・1通	0836-8-38
記（根竹花メ代受取） 指物屋源兵衛→竹田清七様	丑11月20日	小切紙・1通	0836-8-39
開運（恵比寿画）		摺切紙（版）・1通	0836-8-40
（諸品代金書上・受取書類綴）	(明治22年) 丑7月～	巻紙・33通一綴	0836-9

受領証（金1円余） 芝大門紀伊國屋酒店→上様 （たばこ他諸買物書上帳） 忠五郎→武田様 記（人力車代・宿払など金銭書付） （ふとんほか諸品代書上）（前欠）	(明治) 23年4月1日 明治年月日 (辰) たつとし	小紙(版)・1通 横長半・1冊<6丁> 横折紙・1通 巻紙・1通	1348 0480 1469 1492
--	-----------------------------------	---	------------------------------

家蔵普請

亥年人足帳（家普請）	天保10年正月吉日	横長半・1冊<10丁>	0245
米蔵普請一卷	(明治12年)	袋(29点入)	0821
米蔵新築入費	明治12年	横長半・1冊<6丁>	0821-1
記（五目板・丸瓦ほか米蔵新築入用代金受取） 瓦屋 平三郎（尾州六条）→森津村大工藤重郎様	(明治) 12年9月7日	横切継紙・1通	0821-2
記（銅釘代金44銭受取） 笹屋惣助（名古屋本町）→ 上	11月19日	小切紙・1通	0821-3
記（二寸釘ほか代金2円余受取） 笹屋惣助→上	9月22日	横切紙・1通	0821-4
覚（そで2枚代金4銭余受取） 宗右衛門→上様	10月9日	巻紙・1通	0821-5
記（四尺あみ戸2本代金9銭6厘受取） ナコヤ六日町古 木屋権四郎→森津村嘉左衛門殿上り、武田様行		巻紙・1通	0821-6
覚（紙布代金受取） 紙屋（紙善）→九蔵様	12月7日	縦切紙・1通	0821-7
覚（物品覚） 宗右衛門→武田様	12月14日	巻紙・1通	0821-8
記（檜丈丸太ほか代金2円余受取） 忠四郎（桑名材木 間屋）→森津村嘉平様	(明治) 12年12月28日	巻紙・1通	0821-9
記（丸瓦ほか代金勘定） 瓦屋平三郎（尾州六条）→森 津村竹田様	11月15日	巻紙・1通	0821-10
記（材木代金14円余受取） 瓦屋平三郎→もりざ大工藤 重郎様	(明治12年) 卯7月11日	巻紙・1通	0821-11
送り状之事（くみ石1船送りにつき） 升や加右衛門 （尾州森津）→武田様		巻紙・1通	0821-12
覚（品代書上）		巻紙・1通	0821-13
記（八分板2枚ほか代金1円余受取） 円蔵→竹田様		巻紙・1通	0821-14
覚（材木代金勘定） 芝井円蔵→森津竹田様	12月	巻紙・1通	0821-15
覚（大ぬきほか代3円余受取） 円蔵→竹田様	11月25日	巻紙・1通	0821-16
覚（材木代金2円余より内金手附受取） 芝井円蔵→森 津竹田様	旧11月26日	巻紙・1通	0821-17
覚（なみ100枚代金65匁ほか書上）		巻紙・1通	0821-18
記（京土1斗ほか代金80銭受取） 梅屋清兵衛（名古屋 傳馬町）→竹田様	(明治12年) 卯12月15 日	小切紙・1通	0821-19
記（あみき1本代金2円内金受取） 松島屋与七→竹田様	11月24日	縦切紙・1通	0821-20
記（戸・鉄車ほか代金2円余受取） 松島屋与七→竹田 様	12月29日	小切紙・1通	0821-21

記(金物代金残金受取) 笹屋惣助(名古屋本町)→竹田様	12月23日	小切紙・1通	0821-22
記(鉄3分半目金銅代金内金50銭書上) ささや惣助(名古屋本町)→竹田様	12月15日	小切継紙・1通	0821-23
記(銅針金代金60銭受取) 白木屋庄左衛門→上	10月15日	巻紙・1通	0821-24
覚(油4升代1円ほか代金勘定) 宗右衛門→上様	10月7日	巻紙・1通	0821-25
記(両角2枚ほか代金17銭余受取) (瓦屋) 平三郎→もり津村竹田様	(明治13年) 辰1月4日	巻紙・1通	0821-26
記(品代金80銭受取) →上	1月10日	巻紙・1通	0821-27
記(代金受取) 丸井屋与兵衛外1名→上	(明治12年) 卯12月7日	小切紙・1通	0821-28
記(鉄七分物ほか代金内金差引受取) 笹屋惣助→竹田鐵治郎様	12月25日	小切紙・1通	0821-29

土地

資産

寛政四子暮惣勘定棚おろし覚帳(土地) 武田沢右衛門扣	寛政4年子暮(12月カ)	横長半・1冊<4丁>	0861
一札(森津南川添屋敷の者立合い屋敷地面借用取決め) 屋敷借主甚三郎→武田沢右衛門殿 (「甚三郎屋敷地面貸渡し証文」と記す紙を包紙とす)	寛政12年申5月	縦紙・1通(包紙付)	1105
武田口地覚帳 佐藤半輔	明治13年辰12月吉日	横長半・1冊<5丁>	0403
口地仲間地旧字每反別取調帳(写) 森津村	明治22年第1月	横長半・1冊<11丁>	0417
分高所有者旧字每反別取調帳(写) 森津村	明治22年1月	横長半・1冊<17丁>	0418
本口仲間地分高旧字総計寄帳 森津村	明治22年1月	横長半・1冊<17丁>	0419
武田口合		横折紙・1通/(2点一綴)	0398-1
(地価控帳)		半・1冊<10丁>/ (郵便)	0721

地租改正

明治十年八月地租改正ニ付武田哲次郎扣宅地堤塘無之事□届并堤外竹木伐払之節土木司江差出候図面入	明治10年	袋(2点入)	1288
堤塘無之事故届 第六区海西郡森津新田右村用係佐藤民輔→愛知縣令安場保和殿	明治10年8月	縦紙・1通/(青色郵便)	1288-1
(明治4年土木司堤外竹木伐払廻村の節提出図面)		39×27.5cm・1枚	1288-2
字每収獲地価仕出帳 尾張国海西郡森津村		横長半・1冊<4丁>	0404

譲渡

永代相渡シ申田地之事(森津新田津嶋口壱口の内)	宝曆8年寅2月	縦紙・1通	1148
-------------------------	---------	-------	------

森津新田地売主泉新田彦兵衛、同所庄屋角左衛門→森津新田沢右衛門殿			
永代相渡申田地証文之事（森津新田山路口八口の内の森津新田地渡主忠八郎、同所証人久四郎→沢右衛門殿	明和4年亥12月	縦紙・1通	1154
返証文之事（田地請返証文、勢州御料所見入外新開の内田4反3畝歩、草切鋤代30両）尾州森津新田武田沢右衛門、證人庄太夫→長嶋松ヶ嶋村源右衛門殿・同村清吉殿	安永5申年3月	縦紙・1通	1343
返証文之事（田地請返証文、勢州御料所鎌ヶ地新田の内田5反歩、草切鋤代30両）尾州森津新田武田沢右衛門、證人庄太夫→松嶋新田治右衛門殿・同村新七郎殿	安永5申年3月	縦紙・1通	1344
質流相渡申口場証文之事（桑名郡富田子新田外新所山走り三分の一ほか）勢州桑名郡和泉新田霞場渡主富田才兵衛、同所証人富田彦兵衛、同所新所山走り地仲満富田豊八郎、同所庄屋喜右衛門／（奥書同）→尾州海西郡森津新田武田沢右衛門殿 御取次	安永6年酉12月	縦継紙・1通	1155
永代相渡シ申証文之事（堤長28間半代金2両2分受取）右堤渡し主おべん、証人繁八・惣四郎・市左衛門→（森津新田）庄屋武田沢右衛門殿（端裏下「買手形 堤新兵衛屋敷買証文」とある）	安永6年酉12月	縦紙・1通	1157
永代相渡申田地証文之事（狐地・稲吉市江分拾口割壱口通高残らず）（海西郡狐地稲吉市江分）渡し主伊藤権七、証人地仲満伊藤権兵衛→狐地新田御庄屋武田沢右衛門殿（端裏上で懸紙を貼付、懸紙に「上 狐地・稲吉市江分壱口武田沢右衛門へ譲古証文」「佐藤権七」とある）	安永9年子6月	縦紙・1通（包紙付）	1159
永代相渡シ申田地之事（森津新田式拾四口の内のほか）勢州桑名郡外平喜新田地渡主丹木金右衛門、尾州森津新田証人繁七→森津新田庄屋武田沢右衛門殿	天明元年丑12月	縦紙・1通	1162
質流ニ相渡シ申田地証文之事（桑名郡横満蔵新田の内）勢州桑名郡東對満地新田地渡主又左衛門、同州証人九郎右衛門、同州西對満地新田仲満証人清太夫、同郡横満蔵新田庄や平八→沢右衛門殿御取次	天明4年辰12月	縦紙・1通／（貼紙あり）	1163
返り証文之事（与蔵山字辰新田1反歩売切証文預り代金8両と取替につき）七郎治→武田沢右衛門殿	寛政12年申12月	縦紙・1通	1345
譲渡申田地証文之事（森津新田のうち字90間外ならびに呼嶋掟丸池淵3か所1反歩）森津新田地所讓主武田沢右衛門、同所証人善右衛門、同所組頭久右衛門→万屋利助殿	天保5年午12月	縦紙・1通	1179
譲渡堤証文之事（与蔵山新田文助屋敷附堤）与蔵山新田地讓主平吉、同所同断善蔵、同所親類証人円助、同所証人定蔵、同所同断藤七、森津新田証人善右衛門→武田沢右衛門殿	天保5年午12月	縦紙・1通	1180
譲渡申地所証文之事（与蔵山新田のうち堤外野方壱口分）与蔵山新田地所讓主平吉、同所同断善蔵、同所親類証人円介、同所証人定蔵、森津新田同断善右衛門／（奥書）與蔵山新田庄屋服部市兵衛→武田沢右衛門殿	天保5年午12月	縦継紙・1通	1181
質流譲渡申田地証文之事（森津新田口地五口および沢右衛門元屋敷代金・575両）（森津新田）田地譲り主駒屋源兵衛、平島新田親類証人源助、同所証人野村留兵衛→武田沢右衛門殿	天保13年寅11月	縦継紙・1通（包紙付）	1190
売渡申下作証文之事（堤添元孫右衛門屋鋪下作）森津新田下作売渡主嘉平、同所親類証人甚九郎・平六、同所与頭善八→武田沢右衛門殿	弘化3年午11月	縦紙・1通（包紙付）	1191

質流相渡申田地証文之事(森津新田口地3口にて代金300両) 森津新田質流渡主武田哲次郎、同村加判証人円九郎・惣右衛門/(奥書) 地所預り主円九郎、惣右衛門→黒宮織之助殿御取次	慶応元年丑12月	縦継紙・1通(包紙付)	1203
覚(森津新田の内質流れ田畑買い戻しにつき金子受取) 伊藤次郎左衛門・助十郎・弥三郎→森津新田武田哲治郎	慶応2年寅3月	横切紙・1通	1330
質流譲渡申田地証文之事(狐地新田森津分口地壹口・代金200両) 質流譲渡主熊谷庄蔵、親類証人熊谷猪三郎/(奥書) 右地所庄屋代組頭円九郎→武田哲次郎殿	明治3年午3月	縦継紙・1通/(2通一折)	1228-1
添証文之事(狐地新田森津分口地代金200両および手切金150両受取につき) 熊谷庄蔵→武田哲次郎殿	明治3年午3月	縦紙・1通	1228-2
乍恐御達旁奉願上候御事(狐地新田森津分口地一口質流れ武田哲次郎へ受渡につき陣屋帳面書換え願) 熊谷庄蔵/(奥書) 地主庄屋代組頭円九郎→安井喜一様御邑宰所	(明治3年カ) 午8月	縦紙・1通	1418
地代金受取証(三好新田九分沢新田地内・金370円) 海西郡子宝新田吉田平左衛門→服部信成殿	明治12年卯2月5日	縦紙・1通/(朱色罫紙)	1236
地所売渡及代金請取証券(芝井新田2町1反7畝21歩・代金734円63銭7厘) 愛知県下名古屋区六句町九十六番屋敷神谷為吉/(奥書)(芝井) 新田戸長佐久間代輔→武田哲次郎殿	明治12年2月24日	縦紙・1通	1237
(地所売買地券書換願綴)		半・6冊一綴	0679
地所賣買地券御書換願(売主芝井新田伊藤為助、買主武田哲次郎) (芝井新田) 村戸長佐久間代輔→愛知県令安場保和殿	明治12年5月	半・1冊<19丁>	0679-1
(森津新田地券証書受取りにつき請書) 森津新田戸長武田哲次郎外6名→愛知県令鷲尾隆聚殿	明治6年10月	半・1冊<3丁>	0679-2
地券証御書換願(売主二井利左衛門、買主武田哲次郎) 森津新田村用係佐藤民輔→愛知県令安場保和殿		半・1冊<2丁>	0679-3-1
地券証御書換願(売主二井利左衛門、買主武田哲次郎) 森津新田村用係佐藤民輔→愛知県令安場保和殿	明治10年8月	半・1冊<4丁>	0679-3-2
地券証御書換願(売主二井与吉、買主武田哲次郎) 森津新田村用係佐藤民輔→愛知県令安場保和殿	明治10年3月	半・1冊<11丁>	0679-3-3
地券証御書換願(売主二井与吉、買主佐藤円九郎) 森津新田村用係佐藤民輔→愛知県令安場保和殿	明治10年8月	半・1冊<11丁>	0679-3-4
(地引帳名前御書換願綴)	(明治11~21年)	半・5冊一綴	0677
地引帳名前御書換願(田地売買につき) 伊勢国桑名郡桑名今一色売主二井利左衛門、愛知県熱田木ノ芽町買主小貝謙三郎、森津新田買主武田哲次郎外1名→愛知県令安場保和殿	明治11年	半・1冊<4丁>/ (青色罫紙)	0677-1
地引帳名前御書換願 伊勢国桑名郡桑名今一色売主二井利左衛門、森津村買主武田哲次郎、同村買主佐藤円九郎外1名→愛知県令安場保和殿	明治11年	半・1冊<10丁>	0677-2
地引帳名前御書換願 伊勢国桑名郡桑名今一色売主二井利左衛門、森津村買主武田哲次郎外1名→愛知県令安場保和殿	明治11年	半・1冊<3丁>	0677-3
委任状(稲吉新田所有地売渡につき登記委任) 愛知県熱田木ノ芽町買主小貝謙三郎	明治21年5月	半・1冊<2丁>/ (青色罫紙)	0677-4
地引帳名前御書換願 伊勢国桑名郡桑名今一色売主二井利左衛門、愛知県熱田木ノ芽町買主小貝謙三郎、森津村	明治11年	半・1冊<4丁>	0677-5

買主武田哲次郎外1名→愛知県令安場保和殿			
地所賣渡指定証 伊勢国三重郡塩濱村伊藤吉左衛門、同良吉→足立太郎曾殿、小貝謙三郎殿、武田哲次郎殿	明治12年12月	半・1冊<11丁>	0690
地所賣渡証書 伊勢国三重郡塩濱村売主伊藤吉左衛門、証人伊藤吉左衛門→森津村武田哲次郎殿	明治12年12月20日	美・1冊<4丁>	0691
地所賣渡証書 伊勢国三重郡塩濱村伊藤岩太郎、保証人伊藤吉左衛門→名古屋栄町足立太郎曾殿	明治13年1月	美・1冊<6丁>	0692
地所賣渡証書 伊勢国三重郡塩濱村酒井幸兵衛、同村伊藤岩太郎、保証人伊藤吉左衛門→熱田駅木挽町小貝謙三郎殿	明治13年1月	美・1冊<8丁>	0693
(地所分裂ニ付地券書換願綴)	明治14年6月	半・1綴<42丁>	0680
地所売渡証券(加稲九郎治新田1反8畝21歩・代金90円) 海西郡六条新田地所売渡人加藤直四郎、同新田保証人加藤治右衛門/(奥書) 右村戸長黒宮三郎右衛門→同郡森津新田武田誠次郎殿 (端に朱筆「第五拾号」とあり)	明治16年11月12日/(奥書同)	縦紙・1通	1238
地所売渡証券(三好新田9反1畝19歩・代金410円) 海西郡六条新田地所売渡人加藤治右衛門、同新田保証人加藤直四郎→同郡森津新田武田誠次郎殿 (端に朱筆「第四拾九号」とあり)	明治16年11月12日	縦紙・1通	1239
地所売渡ニ付約定証(森津村田畑・代金113円うち33円受取) 森津村地所売主飯田半左衛門、保証人佐藤伊三郎・佐藤民輔→武田誠次郎殿	明治20年3月3日	縦紙・1通	1241
地所永代売渡証券(森津村計2反3畝15歩・代金113円) 海西郡森津村廿壹番屋敷地所売主飯田さミ、同村廿九番屋敷佐藤伊三郎→森津村武田誠次郎殿	明治20年	縦紙・1通/(懸紙付)	1240
地所売渡証券(森津村字奥蔵山荒地3畝20歩・代価金1円83銭) 愛知県森津村売渡人武田誠一、同郡同村同服部次郎、同郡同村同服部助、同郡中山新田同野村元七→武田誠一殿 (宛先直前に朱筆「森津村地所登記第拾式号」とあり)	明治21年5月23日	縦紙・1通	1242
地所売渡証券(加稲九郎治新田宅地田畑計4筆・代金25円) 右売地主海西郡加稲九郎治新田式番戸佐藤宗五郎、同郡六条新田八十式番戸加藤直四郎、同郡加稲新田十八番戸佐藤孫右衛門、伊勢国桑名郡又木村廿番戸佐藤金三郎→海西郡森津新田武田誠一殿 (差出上に朱筆「加稲九郎治新田地所登記第八号」とあり)	明治21年7月5日	縦紙・1通	1244
地所売渡証券(稻吉新田田畑八筆・代金145円) 尾張国愛知郡熱田木ノ免町地所売渡人小貝謙三郎→海西郡森津村武田誠一殿 (差出記載直後に朱筆「稻吉新田地所登記第五号」とあり)	明治21年9月15日	半・1冊<2丁>/ (小豆色野紙)	1243
地所売渡証(三好新田田2畝28歩・代金12円余) 烏ヶ地新田八拾四番戸売渡人大野米作、右後見人同村四拾番戸宮崎十郎二、狐地新田廿壹番戸保証人荒尾光太郎、同村四拾式番戸大野米作親戚佐野儀八、同村四拾三番戸同上折吉俊二→尾張国海西郡森津村五拾三番戸武田誠一郎殿	明治22年9月5日	縦紙・1通	1245
地所売買ニ付登記済証御下附願(登記済印あり) 尾張国海西郡森津村五十三番戸武田誠一→榎場登記所御中	明治21年10月13日	半・1冊<3丁>/ (7冊一綴) / (青色野紙)	0663-5
桑名町北魚町地所建物買受書類	明治24年9月28日	袋(8点入)	1290
記(酒代金ほか勘定) 橘屋→武田誠一様	4月6日	巻紙・1通	1290-1
(明治24年度地方税地租割追加金14銭9厘領収) 桑名	明治25年1月14日	小切紙・1通/(4	1290-2-1

町取入役小川鉦→武田誠一殿 (封筒に「武田誠一殿分 役場へ納者受取書在中」とあるが、内容違いもあり)		点封筒入)	
(明治24年度後半分宅地租附加町費3円70銭9厘領収) 桑名町取入役小川鉦→武田誠一殿	明治25年1月21日	小切紙・1通	1290-2-2
(明治24年度後期地方税地租割追加金32銭4厘領収) 桑名町取入役小川鉦→伊藤栄次郎殿	明治24年10月1日	小切紙・1通	1290-2-3
(明治25年度前半分地租地租3円77銭9厘領収) 桑名町取入役小川鉦→武田誠一殿	明治25年7月22日	小切紙・1通	1290-2-4
口述(帰り次第返事する旨書状) 白木屋宗八→武田様、 佐藤様	8月12日	小切紙・1通／(9 点封筒入)	1290-3-1
(父留守により返事遅滞の旨書状) 伊藤ます、白木宗 八より→武田様、佐藤様	8月14日	巻紙・1通	1290-3-2
(帰り次第参殿する旨書状) 白木宗八、伊藤ますより →武田様、佐藤様	8月13日	巻紙・1通	1290-3-3
(先方へ掛合につき返事次第の旨書状) 伊藤ます、白 木宗八→武田誠一様、佐藤民助様	9月15日	小切紙・1通	1290-3-4
(栄次郎家内死亡取込につき片付次第返答の旨書状) 白木宗八→武田誠一様、佐藤民輔様	8月12日	巻紙・1通	1290-3-5
(先方留守につき帰宅次第面談の旨書状) 白木宗八→ 武田誠一様	4月4日	巻紙・1通	1290-3-6
(山分村上君留守につき書状) 従桑名、白木宗八→大 藤村大字森須村武田誠一様	4月13日	横切紙・1通	1290-3-7
(地所売却方種々奔走の件葉書) 桑名三崎通、白木屋 宗八より→愛知縣海西大藤村大字森津村武田誠一様	(明治24年) 5月31日	葉書・1通	1290-3-8
(地所売却方お尋ねにつき近日中売却の旨書状) 白 木宗八、伊藤ますより→武田誠一様	明治24年6月6日	横切紙・2通(封 筒入)／(4点こ より括り)	1290-3-9-1
(惣坪数ほか覚)		縦紙・1通	1290-3-9-2
(明地67坪余代金などより元金・利子差引覚ほか)		巻紙・1通	1290-3-9-3
証(桑名町伊藤栄次郎屋敷借用につき返却取り決め)	明治24年	縦紙・1通／(青 色罫紙)	1290-3-9-4
記(障子・押入戸ほか本数・代金書上)		横折紙・1通	1290-4
(地所売買証券写しほか)		巻紙・1通	1290-5
記(宿料・酒ほか代金受取) 橘屋→武田様・佐藤様		巻紙・1通	1290-6
キ(天井二間・かすかいほか代金受取) 大工佐吉→ 武田様	2月19日	横切紙・1通	1290-7
仮記(地所家屋売買につき町内規約による分一金6円 受納) 大字北魚町総代野間角蔵→武田誠一殿	明治25年4月6日	小切紙・1通	1290-8
(桑名町大字北魚町地所・宅地売渡一件書類綴) (売渡人伊勢県桑名郡北魚町伊藤栄次郎)→(森津武田誠 一殿)	明治24年	半・一綴<22丁>	1291
差入申一札(鎌島新田本田の内請作証文控) 鎌島新 田請作人惣代彦助・新右衛門・清兵衛・周吉・小兵衛→ 加藤五左衛門殿	12月	縦紙・1通	1417

地主

丸山葭野新開

辰年丸山ニ付江戸衆御吟味付入用并葭野代取立割符帳 (控)	天明4年12月	横長半・1冊<6丁>	0479
(勢州加路戸川地先丸山葭野新開一件書類)		半・4冊一綴	0669
(勢州和泉新田彦兵衛ら出願の丸山葭野新開許可をめぐ る吟味記録控) 服部市兵衛、武田沢右衛門	天明4年	半・1冊<40丁>	0669-1
丸山一件扣 (丸山新開取立につき)		半・1冊<4丁>	0669-2
質流相渡し申論証文之事 (丸山5反歩質物にて借用 金150両請返不可能につき) 勢州桑名郡和泉新田葭 輪渡主留田才兵衛外2名→武田沢右衛門御取次	安永6年酉12月	半・1冊<5丁>	0669-3
(勢州和泉新田彦兵衛ら出願の丸山葭野新開記録) 尾州海西郡平嶋村市兵衛、尾州海西郡森津村武田沢右衛 門	辰4月	半・1冊<6丁>	0669-4
覚 (丸山葭御年貢代金書上) 和泉新田庄屋喜左衛門→ 武田沢右衛門殿、服部市兵衛殿	辰極月	横折紙・1通/ (4 通一綴)	0995-1

稻荷外新開

御請一札之事 (勢州老松新田外猿尾の儀新開差障なき につき) 尾州海西郡森津輪中惣代森津新田長平→御見 分御役人中	天保5午年5月	縦紙・1通/ (10 点一綴)	0626-1
乍恐奉願上候御事 (稻荷外野新開願、絵図面共) 武 田沢右衛門→岡勝右衛門	(文化6年) 巳3月	半・1冊<4丁>	0626-2
乍恐往々奉願上候 (稻荷外野新開願) 森津新田武田 沢右衛門→岡勝右衛門様御陣屋	文化9年申9月	半・1冊<2丁>	0626-3
(稻荷外野新開地につき願、図共)		半・1冊<2丁>	0626-4
乍恐御内願申上候御事 (稻吉と寛延新田の間川新開願) 海西郡稻吉新田地主頭森津新田武田沢右衛門/ (奥書) 右地所控芝井新田佐久間善兵衛外4名	12月	半・1冊<2丁>	0626-5
乍恐往々奉願上候 (稻荷新田外新開願) 森津新田武 田沢右衛門	文化9年申9月	半・1冊<2丁>	0626-6
乍恐再奉願上候御事 (稻荷新田堤外野新開願) 森津 新田武田沢右衛門、稻荷新田庄屋利兵衛・善之→岡勝右 衛門様御陣屋	(文化6年) 巳6月	半・1冊<4丁>	0626-7
乍恐御内願奉申上候御事 (稻荷新田堤外野新開願) 森津新田武田沢右衛門	申9月	半・1冊<2丁>	0626-8
(稻荷新田堤外野新開願書)		縦紙・1通	0626-9
乍恐願上候御事 (稻荷新田堤外野新開願) 森津新田 武田沢右衛門→岡勝右衛門殿	(文化6年) 巳3月	半・1冊 (2丁)	0626-10

新田経営

證文之事 (新田取立許可につき取決め証文) 林又左 衛門・水野伴左衛門代山田空右衛門・小林佐左衛門、地 方目付河野猪左衛門・藺田利左衛門、山方野方奉行鬼頭 伝太夫、濃州郡奉行土岐市右衛門、杵奉行鳥居覚右衛門、	寛延3午年4月	縦継紙・1通	1342
---	---------	--------	------

大代官浅井茂左衛門→海東郡福田新田西川甚兵衛殿			
亥年寛延新田御年貢取立帳 持主沢右衛門	宝曆5年霜月	横長半・1冊<3丁>	0481
免定 (海西郡稻元新田分写) 住少属	明治4年末11月	堅切継紙・1通	1092
免定 (海西郡稻荷新田分写) 住少属→ (海西郡稻荷新田) 庄屋・組頭・惣百姓	明治4年末11月	堅切継紙・1通	1093
(新開下用金・普請金取集帳) 狐地新田副戸長介→武田哲次郎殿外9名	明治7年4月15日	半・1冊<5丁>/ (7冊一綴) / (黒色罫紙)	0663-7
川原關芝井両村取立帳	明治12年	横長半・1冊<9丁>	0446
他邨掟地反別帳 (第貳号鎌嶋分)	明治13年	横半列・1冊<55丁>	0790
川原關芝井鎌島三箇村取立帳	明治13年	横長半・1冊<10丁>	0447
川原芝井鎌島三個村取立帳	明治14年	横長半・1冊<10丁>	0448
川原欠芝井鎌島三箇村取立帳	明治16年	横長半・1冊<13丁>	0449
覚 (芝井新田分草11貫目上納) (芝井) 新田庄屋佐久間右馬之助→御惣代衆中様	丑5月	縦紙・1通	1100

取 米

武田反掟三口通改帳	文化3年寅12月	横長半・1冊<7丁>	0396
本郷通作徳米納方	文化4年卯12月	横長半・1冊<3丁>/ (2点一綴)	0398-2
取米覚 (各人出分毎米石高勘定書) (前欠) 武左衛門→沢右衛門殿	極月25日	横切継紙・1通	1447

小作争議

森津永小作権被告并掟米請求原告訴訟賃計算帳	明治32年7月より同33年7月	横長半・1冊<9丁>	1336
-----------------------	-----------------	------------	------

経 営

金銭出納 (全体)

入費年々金額表	明治元年~15年	半・1冊<22丁>	0600
別途金年々出納表	明治4年~20年	半・1冊<34丁>/ (武田所用罫紙)	0599
当座借貸及諸取替覚帳 武田勘定場	明治16年7月 (~明治26年)	横半列・1冊<79丁>	0788
諸地方・米價・金子借貸工付出納帳 (控) 武田	明治16年7月第1日ヨリ (明治17年)	横半半折・1冊<34丁>	0802
大福帳 (明治17~19年度米価・入金・返済金など) 武田鏡次郎信近	明治17年6月吉辰 (~明治19年)	横半列・1冊<118丁>	0792

(地所請戻金・道具類売立勘定世話関係書類綴)	(江戸)	横長半・一綴<18丁>	1331
------------------------	------	-------------	------

金銭貸借

以質物借用申金子事(金2両) 屋敷書入主金主幸助、証人宇平治・忠蔵・藤左衛門→森津新田庄屋沢右衛門殿／(奥書) 森津新田村庄屋武田沢右衛門殿	明和7年寅12月／(奥書) 安永6年酉4月差出	縦紙・1通	1158
覚(勢州桑名郡長地附新田田畑1町歩質物に書入、金54両借用証文) 和泉新田田地渡主富田彦兵衛外4名→尾州森津竹田沢右衛門様	安永6年酉6月	縦紙・1通	1416
借用申金之事(金100両) 千種六郎右衛門手代渡辺忠三郎、竹中重五郎、加藤三治／(奥書) 千種六郎右衛門→武田沢右衛門殿	安永6年酉8月	縦紙・1通	1137
借用申金子之事(稻荷新田下作地質物に書入) 金借り主大野新田友八、稻荷新田庄屋請人清兵衛→森津新田武田沢右衛門殿	天明4年辰11月	縦紙・1通	1164
請取申證文金子一札之事(金30両) 名古屋本町駒屋源兵衛、證人内田了甫→森津新田武田沢右衛門殿	享和2年戌3月	縦紙・1通(包紙付)	1115
質地相渡申田地証文之事(狐地新田森津分十口割の内) 海西郡森津新田地渡主武田沢右衛門、同所証人円蔵、同断服部市兵衛、同断佐野治右衛門、地仲満証人西河甚助・佐野才兵衛→佐野新蔵殿	享和2年戌4月	縦紙・1通	1166
借用申金子之事(下作森津新田口地四分の壹書入) 河原欠新田金借り主傳三郎森津新田同断丹七郎、河原欠新田証人長左衛門、森津新田組頭久左衛門→武田沢右衛門殿	文化5年辰12月	縦紙・1通	1167
借用申金子之事(狐地新田森津分質物) 森津新田金借主武田沢右衛門、狐地新田庄屋善六→長左衛門殿 御引受	文化13年子2月	縦紙・1通(包紙付)	1168
借用申金子之事(家諸道具居屋敷残らず書入) 弥三七、九吉、武田沢右衛門→田嶋屋利左衛門殿	天保元年寅12月	縦紙・1通／(2通一折)	1173-2
借用申金子證文之事(金45両) 川原欠新田金借り主七郎治、竹田新田証人彦助、右村庄屋倉田祐三郎→武田沢右衛門殿御取次	嘉永5子年9月	縦紙・1通	1118
借用申金子證文之事(金20両) 狐地新田借主勘七、證人孫七→武田沢右衛門殿	嘉永6年丑12月	縦紙・1通(包紙付)	1117
一札之事(円右衛門下作地を質物に鮎浦村服部治左衛門より借金するも円右衛門入用につき質地差戻し一札) 右金借主新三郎・半六・平六・与左衛門・久五郎→武田沢右衛門殿	安政4年巳2月	縦紙・1通(包紙付)	1197
借用申金子証文之事(質物森津新田口地にて金456両余) 金借主武田沢右衛門、親類証人樋口龍吉／(奥書) 右(森津新田) 地所庄屋武田哲次郎→伊藤治郎右衛門殿	安政6年未正月	縦紙・1通	1198
借用申金子証文之事(質物森津新田字嘉兵衛壺口) 金借主森津新田清七、証人同断円九郎・惣右衛門、同所庄屋武田沢右衛門→大塚與六郎殿、武田哲次郎殿御取次	文久元年酉12月	縦紙・1通(包紙付)	1199
借用仕金子之事(金83両2分) 留田一宮伊藤孫左衛門、伊藤孫十郎→武田哲次郎殿	文久2年戌正月	縦紙・1通(包紙付)	1119
借用申證文一札之事(米4石2斗) 米借主丹七、證人栄五郎・清四郎・植九郎→武田殿	文久2年戌正月	縦紙・1通(包紙付)	1121
借用申金子證文之事(金35両) 稲元新田伊藤庄右衛門	文久2年戌7月	縦紙・1通	1122

→武田哲次郎殿御取次			
一札之事 (年貢米未進ならびに借用金12兩返済方法につき) 金借主栄三郎、引請人新助・治兵衛→武田哲次郎殿	文久3年亥12月	堅紙・1通 (包紙付)	1123
乍恐奉願上候御事 (上野村重助金子返済遅滞につき) 尾州御領分海西郡森津村武田沢右衛門→桑名御役所様	巳6月	半・1冊<3丁>	1524
請取覚 (森津新田の内貴殿扣二十四口の内五口分ほか) 伊藤→武田沢右衛門殿		横半半折・1冊<6丁>	1289
證書 (二分判150兩借用) 小貝謙三郎→武田哲次郎様	明治3年午2月	堅紙・1通	1131
借用申金子証文之事 (質物居宅家道具・金30円) 金借主伊藤惣七、証人伊藤嘉左衛門 / (奥書) 副戸長佐藤民輔→武田哲次郎殿	明治7年7月1日	堅紙・1通	1232
借用証書 (船78石積・74石積各一艘居宅家具質物にて金316円) 森津新田借用主伊藤嘉左衛門、同村証人伊藤惣七・佐藤治平 / (奥書) 右邨副戸長佐藤民輔→武田哲次郎殿	明治8年6月	堅継紙・1通	1233
借用金証券 (金30円) 金借り主山田傳左衛門→武田哲次郎殿	明治9年6月27日	堅紙・1通	1234
地所書入借用金証券 (金150兩狐地新田所有地担保) 愛知郡熱田木之芽町右金借用人小貝謙三郎、森津新田金借人武田哲次郎、保証人佐藤民輔→海西郡神戸新田神戸分左衛門殿	明治13年辰1月16日	美大・1冊<3丁> / (8点一綴)	0850-1
地券書入借用金証券 海西郡森津村五十三番邸金借用主武田哲次郎、熱田木之芽町保証人小貝謙三郎 / (奥書) 愛知県海西郡森津村戸長佐藤民輔→加藤仙之助殿	明治13年12月19日	美・1冊<2丁>	0850-2
地所書入借用金証券 愛知県海西郡森津村五十三番屋敷金借主武田哲次郎、愛知郡木之免町保証人小貝謙三郎 / (奥書) 愛知県海西郡森津村戸長佐藤民輔→名古屋区杉ノ町金森弥三郎殿	明治13年3月11日	美・1冊<2丁> / (赤色罫紙)	0850-3
地所書入借用金証券 海西郡森津村五拾三番地金借主武田哲次郎、狐地新田荒尾長治郎 / (奥書) 海西郡狐地新田戸長荒尾長兵衛→海西郡鮎浦村服部信成殿	明治13年4月1日	美・1冊<2丁> / (赤色罫紙)	0850-4
地所書入借用金証券 海西郡森津新田右借用本人→海西郡神戸新田村神戸分左衛門殿	明治13年1月	半・1冊<3丁>	0850-5
地券仕出帳 (書損じにつき地券の控) 右地主		半・1冊<7丁>	0850-6
地券仕出帳 右地主武田哲次郎、同断小貝謙三郎、戸長荒尾長兵衛	明治13年1月16日	半・1冊<6丁> / (青色罫紙)	0850-7
地券書入借用金証券 海西郡森津村五十三番邸金借用主武田哲次郎、愛知郡熱田木ノ芽町百三十五番邸保証人小貝謙三郎→加藤仙之助殿	明治13年12月19日	半・1冊<2丁>	0850-8
記 (金195円受取) 加藤省→武田哲次郎殿	明治15年巳6月28日	堅紙・1通	1132
仮受取証 (金1円余) 海西郡森津村神部田助→森津武田誠一殿	明治21年4月16日	堅紙・1通 / (青色罫紙)	1138
(金子出入の件につき書状) 太郎兵衛→沢右衛門様	11月20日	横切紙・1通	1407
(借用金返済に関する書状) →武田沢右衛門様	2月5日	横切継紙・1通	1406
他村米金貸渡証書		袋 (10通入)	0831
預金証券 (金10円) 海西郡稲元新田三拾番戸金預主宮田勇治郎→海西郡森津村武田誠一殿	年3月5日	横切紙・1通	0831-1

家／経営／金銭貸借（足立）

地所書入借用証文之事（金15円） 第六大区廿二区海西郡芝井新田金借主村瀬延十郎、証人1名→武田哲治郎殿	明治10年丑2月	縦紙・1通（包紙入）	0831-2
肥料借用証券（金9円余） 海西郡狐地新田作人借り主伊藤安三郎外証人2名→森津新田武田鏡治郎殿支配人加藤留八殿	明治18年酉5月15日	縦紙・1通	0831-3
借用申金子証文之事（金15両） 借用主稲吉新田与左衛門、狐地新田甚蔵、当村与六・孫七→森津新田円九郎殿	慶応2年寅4月	縦紙・1通（包紙入）	0831-4
年賦金証券（金15円） 狐地新田弁償人横井孫三郎→武田哲治郎殿	明治13年辰12月28日	縦紙・1通	0831-5
借用申金子証文之事（金3両） 狐地新田金借主治右衛門外1名→森津新田武田沢右衛門様	安政6年未2月	縦紙・1通（包紙入）	0831-6
借用申金子証文之事（金7両3分余） 狐地新田金借主安三郎、親類証人佐五郎、市江支配人証人留八→武田沢右衛門殿御取次	文久3年戊正月	縦紙・1通（包紙入）	0831-7
金子借証券（金50円） 狐地新田借用主伊藤安三郎・荒尾甚蔵、親類証人伊藤佐五郎→佐藤円九郎殿／（奥書）戸長武田哲次郎	明治6年12月22日	縦紙・1通（包紙入）	0831-8
金借用証（金5円） 狐地新田金借用主加藤留八→武田誠一殿	明治21年5月31日	縦紙・1通	0831-9
肥金借用金添証（元金40両） 狐地新田森津分村方惣代加藤留八外3名→武田鏡治郎殿	明治19年4月12日	半・1冊<2丁>	0831-10

金銭貸借（足立）

明治十六年已降足立借入金受取書并諸差引書類 （元金・利金返済の覚）	（明治16～19年）	袋（31点入）	1378
（金80円返却につき記帳した旨など書状） 守随□之助 →武田誠一様	8月29日	巻紙・1通	1378-1
（守随が東京では足立と名乗っている旨など覚）	（明治4～5年）	巻紙・1通（封筒入）	1378-2
森津取替金利子延滞		堅切紙・1通／ （青色罫紙）	1378-3
記（元金・利子皆済勘定） 足立→武田様	（明治）18年6月23日	小切紙・1通	1378-4
記（元金・利子金受取） 足立→武田様	（明治）19年7月	横継紙・1通	1378-5
記（帯代など書上） →武田様		横切紙・1通	1378-6
（森津へ取替分勘定）		巻紙・1通	1378-7
（送金・運賃・集代など覚）		巻紙・1通	1378-8
記（元金・利子金受取） 足立→武田様	（明治）16年5月5日	巻紙・1通	1378-9
（武田へ取替分金銭覚）		小切紙・1通	1378-10
（森津へ取替分代金勘定）		巻紙・1通	1378-11
金子借用証券（金115円） 海西郡森津村武田鏡次郎→ 足立太郎曾殿（裏面使用）	明治16年10月16日	横折紙・1通	1378-12
（利子勘定）		縦紙・1通	1378-13
（利子勘定）		巻紙・1通	1378-14
		小切紙・1通	1378-15

記（元金・利子金受取） 足立→武田様	(明治) 16年 5月20日	小切紙・1通	1378-16
記（元金・利子金受取） 足立→武田様	(明治) 16年5月9日	小切紙・1通	1378-17
請取証（取替金の内金50円受取） 足立→武田様	(明治) 17年2月29日	巻紙・1通／（青色罫紙）	1378-18
記（米五俵車力・下駄代など88銭書上） 足立	3月6日	小切紙・1通／（青色罫紙）	1378-19
記（元金・利金勘定） 足立→武田様	(明治) 18年 2月	横切継紙・1通	1378-20
(村方借金利子金受取につき書状) 足立太郎曾→武田誠一様	12月26日	横切継紙・1通	1378-21
記（利子金勘定および受取） 足立→武田様	4月4日	横切継紙・1通	1378-22
請取之証（貸金の内金80円受取） 足立→武田様	(明治) 17年2月3日	小切紙・1通	1378-23
記（5・6月分銀行利子11円受取） 足立→武田様	(明治) 16年 6月23日	小切紙・1通	1378-24
足立差引		横切紙・1通／（4点こより括り）	1378-25-1
記（呉服物代金勘定および受取） いとう甚助、宗七→武田沢右衛門様	(明治) 16年3月30日	横折紙・1通	1378-25-2
記（かんでん代など代金勘定） 足立→武田様	(明治) 16年8月2日	横切継紙・1通	1378-25-3
(操出地代など勘定)		小切紙・1通	1378-25-4
記（蠟燭代など代金勘定につき書状） 足立→武田様	(明治) 17年 4月17日	横切継紙・1通（封筒入）／（青色罫紙）	1378-26
記（借金書上）		横切継紙・1通	1378-27
受取之証（貸金の内金200円受取） 足立→武田殿	(明治) 17年 2月12日	堅切紙・1通	1378-28
森津江取替（代金合計）		横折紙・1通	1378-29
記（元金・利金勘定） 足立→武田様	(明治) 17年3月1日	横切継紙・1通	1378-30
記（元金・利金勘定および利子金受取） 足立→武田様	(明治) 17年5月27日	横切継紙・1通	1378-31

金融講

御融通講月掛之通 御掛所元方→森津新田武田沢右衛門		横長美・1冊<35丁>	0553
(諸講中文書) (袋書には管利肝煎講用とある)	明治11年	袋 (8点入)	0824
肝煎講中入費帳	明治11年ヨリ(～14年)	横長半・1冊<5丁>	0824-1
(別院講金15円受取につき書状) 二井与吉→武田誠一様	10月1日	横切継紙・1通	0824-2
御再建（金2朱） 森津村北組女人講中		小切紙・1通	0824-3
積金講仕方書 別院輪番足田秀舎、同肝煎中、同世話方中→武田誠一様	10月1日	横切継紙（版）1通	0824-4
(綿入料など受取) 下間大蔵・井上要人→武田沢右衛門	午3月11日	横切紙・1通	0824-5
(御本山金100疋ほか金銭書上)		小切紙・1通	0824-7

家／諸務

(伊勢国支局設立につき世話係依頼) 真利寶會→武田哲治郎殿	明治15年1月5日	小切紙・1通	0824-8
堪忍講勘定帳 与藏山勘右衛門	文化5年辰12月9日	横長半・1冊<11丁>	0486
金主方江金子割符請取帳 武田沢右衛門	享和2年戌4月	横長美・1冊<7丁>	0851
記(御本山月調達足利5円収納) 桑名別院臺所→尾州森津新田武田哲次郎殿	卯2月27日	小切紙・1通	0824-6
覚(地主方収納年貢米35石貴殿へ送付の旨) 稲元新田百姓惣代新三郎・新右衛門/(奥書)庄屋山口長三郎→武田哲次郎殿	文久2年戌7月	縦紙・1通	1120

諸務(庄屋・支配人関係文書を含む)

御上納物御請取書付入	弘化元辰年ヨリ	袋(35点入)	1503
覚(酒代金書上) 銭屋惣兵衛→武田沢右衛門様	午正月15日	巻紙・1通	1503-1
(15日に馬の出馬の際には御供したい旨書状) 鎌治郎→武田哲治郎様	7月13日	巻紙・1通	1503-2
おぼへ(米2斗1升3合受取) 熊野屋源助印(桑名・熊源)→武田沢右衛門様	正月13日	縦切紙・1通	1503-3
口上(かけ物5匁を宇佐美へ遣わすにつき) 善八→武田様	7月13日	巻紙・1通	1503-4
(大宮御神前大々御神楽執行につき知らせ) 熱田権宮司馬場家執事役→庄屋御衆中	丑3月	横切紙(版) / 1通	1503-5
(諸金銭覚)	(明治)	巻紙・1通	1503-6
覚(品代銀1匁7分受取) 浅右衛門→武田様	辰7月	巻紙・1通	1503-7
覚(たい・酒ほか代金書上)		巻紙・1通	1503-8
覚(黒紬など呉服代金受取) 糸屋弥兵衛→武田沢右衛門様	辰7月18日	巻紙・1通	1503-9
覚(代銀3匁余書上) か見屋半助→武田沢右衛門様	寅7月	小切紙・1通	1503-10
舎則(寄宿舎の規則) 大阪英語學校	明治10年1月刊行	版本・1冊<5丁>	1503-11
覚(絹糸など代銀書上) かみや幸七→武田沢右衛門様	(寅)とら7月	巻紙・1通	1503-12
(白米政九郎取替高覚)(前欠) 利左衛門→武田沢右衛門様	午正月	巻紙・1通	1503-13
(相撲勝敗覚)		横切紙(版)・1通	1503-14
(今日中に元利支払または手附流れの撰扱返答願) 宇佐美孫左衛門→武田哲次郎様	7月10日	横切紙・1通	1503-15
(砂子方道具に関する書状) 西川忠兵衛→隨行寺様	3月10日	縦紙・1通	1503-16
(作徳米積送り受取につき書状) いとう太兵衛、十平→武田沢右衛門様	11月26日	縦紙・1通	1503-17
覚(金銭勘定) 万や善八→武田様	午12月	横長半・1冊<5丁>	1503-18
(井伊大老などより大地震難洪者御救小屋設置につき仰渡)		巻紙・1通	1503-19

(隠居様病氣養生かなわず逝去につきお悔やみ書状) 與兵衛→武田沢右衛門様、同哲次郎様	6月11日	巻紙・1通	1503-20
(狐地米など入手につき書状) 二井→武田様	3月1日	巻紙・1通	1503-21
覚(いかなど代金書上) 魚屋甚四郎→武田沢右衛門様	丑3月	巻紙・1通	1503-22
(三稻普請近々片付につき出張する旨など書状) 吉 田平左衛門→武田哲次郎様	7月29日	巻紙・1通	1503-23
(人名・合計人数・米高)		横長半・1冊<2丁>	1503-24
(田嶋屋利左衛門米差引勘定受取など)		巻紙・4通(紐結び)	1503-25
(柚井村源蔵の意向につき書状) 桑名黙堂→武田大御 隠居沢右衛門様	3月21日	巻紙・1通	1503-26
覚(油など代金書上) 水口屋傳吉、代小八→武田沢右 衛門様	丑7月9日	横長美・1冊<2丁>	1503-27
(作徳米・加地子米の受取に関する書状) 田嶋や利左 衛門(勢州桑名田嶋屋)→武田沢右衛門様	9月26日	巻紙・1通	1503-28
覚(御城米より船積分など差引勘定) 勘七→武田沢 右衛門様	酉12月	巻紙・1通	1503-29
覚(金銭書上) 井桁屋久助→竹田沢右衛門様	寅7月27日	小切紙・1通	1503-30
(米船積み廻送依頼の旨など書状) 田嶋や利左衛門 (勢州桑名田嶋屋)→武田沢右衛門様	12月25日	巻紙・1通	1503-31
覚(納米1石受取) 佐野治右衛門(松名)→武田沢右衛 門殿	午12月23日	巻紙・1通	1503-32
覚(直し物共糸代など受取) 治助→武田沢右衛門様	午極月	小切紙・1通	1503-33
覚(代金書上) 板屋久八→武田様	午12月23日	巻紙・1通	1503-34
覚(金銭勘定) 九吉→武田様	午12月	巻紙・1通	1503-35
(森津新田武田沢右衛門天明2寅年分・丑年分納金勘定 書付)	丑3月	縦紙・1通/(虫損)	1463
(森津新田公租・諸懸勘定綴)	(明治初年～明治32年)	横長半・一綴<55 丁>	1333
狐地明治十六年分村費	明治16年	横長半・1冊<8丁>	0884
(金子別紙の通り受取につき書状) 伊藤弥三郎→武田 哲次郎様	正月23日	横切紙・1通	1400
東京旅行日記(守随宅訪問)	明治32年10月9日(～ 16日)	横半半折・1冊<10 丁>	1309
中山新田初四箇村悪水成功式録(武田家準備担当) (武田家雜記綴)	明治19年5月12日	横長半・1冊<5丁> 横長半・1冊<49 丁>	1335 0564

親族

扶持米小使金受取帳 →山田おしげ殿	(明治16年～明治22年)	横半半折・1冊<17 丁>	0799
-------------------	---------------	------------------	------

家/信仰

(金子早速遣わしてもらい礼状) 山田傳左衛門→武田様	6月30日	横切継紙・1通	1405
渡証雑書翰類		袋 (5点入)	1286
(金10円50銭受取につき書状) 熱田小貝謹三郎→尾張海西郡大藤村大字森津武田誠一様	8月3日	巻紙・1通 (封筒入)	1286-1
(昨11日書状拝見につき返書) 諸戸清六→森津武田誠一様	4月12日	小切紙・1通 / (3点封筒入)	1286-2-1
(依頼状) 金子五郎治→武田様	4月12日	巻紙・1通	1286-2-2
(別紙手紙承知および依頼の書状) 金子→武田様	4月14日	小切紙・1通	1286-2-3
(妊娠帯祝いの件につき書状) 小貝謹三郎→武田誠一様	6月30日	横切紙・1通	1286-3
(綿入・帯送付の旨依頼状) 龍池清道→武田誠一様	3月12日	横切紙・1通	1286-4
(眼病療治費用などにつき書状) 熱田小貝謹三郎→尾張海西郡大藤村字森津武田誠一様	3月26日	巻紙・1通	1286-5

信 仰

(本山再建につき普請費用借金の件書状) 遠坂涉、大石悠次、藤井中書、長井半弥→木村忠右衛門様、武田沢右衛門様	5月朔日	横切継紙・1通 (包紙入)	1075-1
(桑名御坊肝煎役依頼状) 池尾伊織・下間大蔵郷→武田沢右衛門殿	8月13日	横折紙・1通	1075-2
(武田沢右衛門・木村忠右衛門兩人へ桑名御坊在方肝入役依頼状) 桑名御坊三ヶ寺→森津新田武田沢右衛門様	12月14日	横切継紙・1通	1075-3

史料館所蔵史料目録 第66集

尾張国海西郡森津新田武田家文書目録

印刷発行 平成10年 3月31日

編集兼 国文学研究資料館
発行者 史料館

〒142-8585

東京都品川区豊町1丁目16番10号

電話 03-3785-7131(代)

印刷所 株式会社 三協社